平成30年度　老人保健事業推進費等補助金
老人保健健康増進等事業

特別養護老人ホームにおける個別ケアの手法開発に関する調査研究事業

報告書

一般社団法人　日本ユニットケア推進センター

平成 31（2019）年3月

目　　次

本報告書について

１章　調査概要 ･･ 3

２章　１次調査結果

１．調査対象施設の概要･･･ 9

２．施設の考え方と実践方法・課題･･･････････････････････････････････ 12

①　起床

②　排泄

③　食事

④　入浴

⑤　レクリエーション

⑥　看取り

⑦　利用者の身の回りの環境

⑧　施設の理念

⑨　職員配置

⑩　勤務表の作成方法

⑪　アセスメント

⑫　チームケア（多職種協働）

⑬　記録

⑭　個別ケアの実践

⑮　回答者の属性

３章　施設の状況と個別ケアの実践に関する考察

１．職員配置と個別ケアの関係･･･････････････････････････････････････ 75

２．利用者の状態像との関係･･･ 79

３．実際の支援方法と個別ケアの関係･････････････････････････････････ 81

４．施設の理念や全体方針と個別ケアの関係･･･････････････････････････ 93

５．施設の課題と個別ケアの関係･････････････････････････････････････ 102

４章　２次調査結果･･･ 113

附録

１次調査・調査票 ･･･ 125
１次調査データ一覧 ･･ 143
２次調査シート ･･ 215

別冊　特別養護老人ホームにおける個別ケアのガイドライン

本報告書について

我が国は、かつて例のない少子高齢社会にあり、2025 年には、いわゆる「団塊の世代」の方々が 75 歳を迎え、75 歳以上の高齢者が２千万人を超えることとなる。特別養護老人ホーム（介護保険法上は指定介護老人福祉施設）は、現在、全国で約 61 万人[1]の要介護高齢者が入所しており、地域における介護ニーズの支え手である介護施設のうちの一類型として重要な役割を担っている。平成 27 年４月からは、新規入所者については原則、要介護３以上の高齢者に限定されており、日常生活を送る上で、排せつ、食事、入浴等に支援が必要な、より個別ケアが必要な高齢者が多く入所していると言える。特別養護老人ホームは、特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準（平成 11 年厚生省令第 46 号）第２条第２項において、「入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るようにすることを目指すものでなければならない。」とされ、同条第４項では「明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行う」ことが求められている。

また、同規則第 33 条第 1 項においては、ユニット型特別養護老人ホームに対して、「入居者一人一人の意思及び人格を尊重し、（中略）入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものになるよう配慮しながら、（中略）自律的な日常生活を営むことを支援しなければならない」とされているが、これは特別養護老人ホーム全体が実践すべき基本哲学と言える。

各施設では、これらの求められている役割も踏まえ、それぞれの施設の理念に基づいた個別ケアが実施されており、その考え方には施設の個性やそれぞれの歴史や理念も反映されている。個別ケアについては、本調査研究では、一般に、利用者が入所（入居）前と入所（入居）後の暮らしを継続して、自分らしく日常生活を送ることができるよう、施設が利用者一人ひとりに寄り添って行うケアのこととする。

現在、介護現場では、介護人材確保の難しさから人員が限られているなかで、各施設工夫をしながら利用者へのケアが行われている。経験年数が様々な職員がいるなかで、どのように介護の質を保っていくか、ケアの標準的な指標がない状況で苦慮しているといった状況が伺える。このような現場の状況を受けて、本調査研究は、どのような施設規模・種別においても利用者が自分らしく暮らしを継続できるよう、施設がどのように支援を行っていくか、個別ケアの手法に関する調査・研究を行ったものである。

調査データを基に、特別養護老人ホームにおいて個別ケアを実施するにあたり施設でどのようなことが課題となっているかを調査によって探りながら、施設での個別ケアの考え方や実際に行われているケアの方法について報告書を取りまとめた。その上で、各施設での個別ケアの取組みや工夫を参考にしながら、個別ケアの実践に向けた考え方や方法について提示する「個別ケア実践のガイドライン」を策定した。利用者が自分らしく暮らし続けられるよう介護の質を担保するため、施設において個別ケア実践の材料、指標として活用いただくことを期待している。

---

[1] 介護給付費等実態統計（平成 30 年 10 月審査分）による。

1章

調 査 概 要

１章　調査概要

１．調査研究の目的

特別養護老人ホームへアンケート調査及びヒアリング調査を行い、施設における個別ケアに関する考え方と実際行っている方法の現状を捉え、比較・分析研究を行うことを目的とした。

２．実施体制

本調査研究の実施にあたって調査研究委員会を設置し、特別養護老人ホームの現場の個別ケアの状況について意見交換を行い、調査研究方法、個別ケアの実践方法について議論を行った。

調査研究委員会の委員は、介護施設のケアに関する知見を有する有識者や特別養護老人ホームの現場の状況を熟知している施設管理者、自治体職員等により構成した。

	氏　名	所　　属
委員	石井　敏	東北工業大学　工学部　建築学科　教授
委員	植田　誠	公益社団法人　全国老人福祉施設協議会 介護保険事業等経営委員会　特別養護老人ホーム部会　委員
委員	江森　光芳	埼玉県福祉部　地域包括ケア局長
委員長	大橋　謙策	公益財団法人　テクノエイド協会　理事長
委員	小野　幸子	新潟県立看護大学大学院　看護研究科　老年看護学　教授
委員	金子　智代美	社会福祉法人恩賜財団　神奈川県同胞援護会 シルバータウン相模原特別養護老人ホーム　施設長
委員	木村　哲之	公益社団法人　全国老人福祉施設協議会 副会長
委員	野口　典子	中京大学　現代社会学部　教授
委員	山下　聡理	社会福祉法人　久義会　特別養護老人ホーム　高秀苑　統括
委員	山野　良夫	社会福祉法人　伯耆の国　理事長

オブザーバー	佐藤　秀祟	厚生労働省老健局高齢者支援課　課長補佐
オブザーバー	橋本　圭司	厚生労働省老健局高齢者支援課　課長補佐
オブザーバー	小笠　智樹	厚生労働省老健局高齢者支援課　企画法令係長
オブザーバー	村上　祥千	厚生労働省老健局高齢者支援課　企画法令係

事務局	秋葉　都子	一般社団法人　日本ユニットケア推進センター 専務理事（センター長）
事務局	中島　謙次	一般社団法人　日本ユニットケア推進センター 常務理事
事務局	佐橋　麻里子	一般社団法人　日本ユニットケア推進センター 研修課長
事務局	古屋　博子	一般社団法人　日本ユニットケア推進センター 研修課長

調査研究委員会

開催回	日時・場所	議題
第 1 回	平成 30 年 10 月 22 日（月） 15 時 30 分～18 時 00 分 TKP ガーデンシティ御茶ノ水 カンファレンスルーム 2C	調査概要・目的の説明、意識共有 調査内容についての討議・介護現場の状況の意見交換
第 2 回	平成 30 年 11 月 28 日（水） 15 時 00 分～18 時 00 分 TKP ガーデンシティ御茶ノ水 カンファレンスルーム 3D	1 次調査内容についての討議 現場の課題検討
第 3 回	平成 31 年 2 月 25 日（月） 14 時 00 分～17 時 00 分 TKP ガーデンシティ御茶ノ水 カンファレンスルーム 3D	1 次調査概要・結果の報告 報告書の骨子についての討議 1 次調査結果を踏まえての討議 調査結果から見えた現場の課題についての意見交換 2 次調査方法についての確認
第 4 回	平成 31 年 3 月 18 日（月） 14 時 00 分～17 時 00 分 TKP ガーデンシティ御茶ノ水 カンファレンスルーム 3D	調査報告書・ガイドラインの概要報告 今後の取組み方法について意見交換

３．調査方法

【１次調査】

・実施方法

調査票を郵送により配布・回収

・調査対象

全国の特別養護老人ホーム（地域密着型を含む）8341 施設の施設長

※平成 30 年 12 月 1 日時点で介護サービス情報公表システム（URL）に掲載されている施設。ただし、平成 30 年度に発生した災害の災害救助法の適用区域にある施設を除外。

・調査期間

平成 30 年 12 月 25 日～平成 31 年 1 月 15 日

・調査内容

施設の基本情報、ケアの考え方・実践方法、施設内の環境、職員の状況、施設の理念等

・回収率

38.2％（有効回答数：3187 施設）

※1次調査のデータの見方

グラフに記載している「n」の数値は、当該設問で回答のあった施設数（無回答を除く。）

百分率（％）の計算は、小数点以下第二位を四捨五入し、小数以下第一位まで表示した。そのため、単数回答の合計が 100％にならない場合がある。

【2 次調査】

・実施方法

1 次調査のアンケートにおいて協力可能と回答のあった施設で取組みに工夫の見られる施設のうち、7 施設について訪問調査（ヒアリング）を実施。

・ヒアリング内容

1 次調査の回答に基づき、施設における個別ケアの考え方・実践方法、工夫している点や個別ケアを行う上での施設の課題について具体的に聞き取り。

・訪問施設

施設名	居室種別	訪問日
藤代なごみの郷	従来型個室	3 月 7 日
きりしまの園	従来型多床室	3 月 11 日
国津園	従来型多床室	3 月 14 日
伸幸苑	従来型個室＋多床室（併設）	3 月 11 日
晃の園	従来型個室＋多床室（併設）	3 月 7 日
かざこしの里	ユニット型個室	3 月 12 日
ユートリア	ユニット型個室	3 月 12 日

2 章

1 次調査結果

２章　１次調査結果

１．調査対象施設の概要

１次調査のアンケートに回答した施設の概要は以下のとおり。

①　回答施設の施設種別内訳（地域密着型施設を含む）

合計	ユニット型個室	従来型個室	多床室	従来型個室+多床室(併設)	無回答
3,187 施設	1,821 施設	63 施設	480 施設	773 施設	50 施設
100.0%	57.0%	2.0%	15.1%	24.3%	1.6%

②　運営開始年

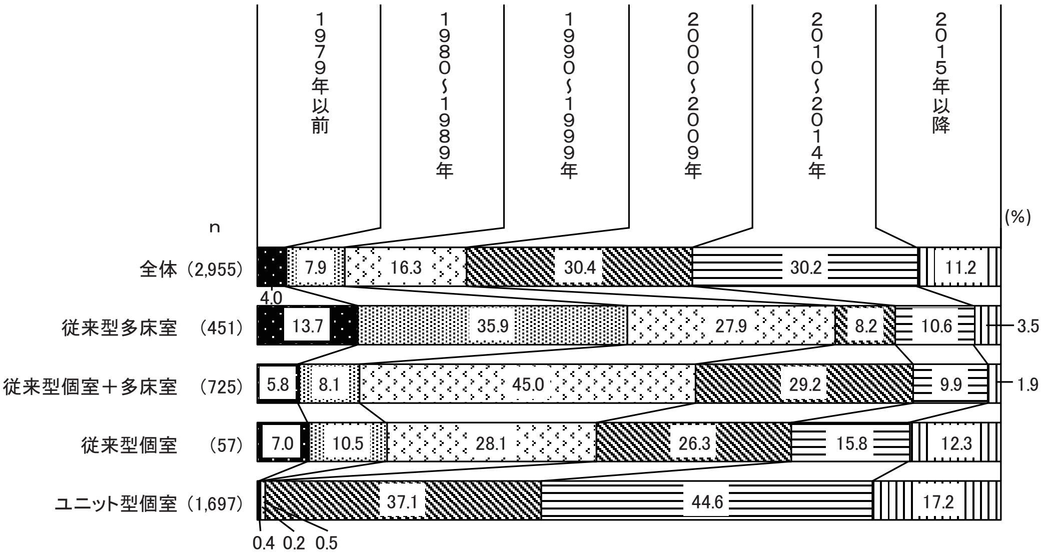


図2-1-②-1　運営開始年

③　入所（入居）定員数

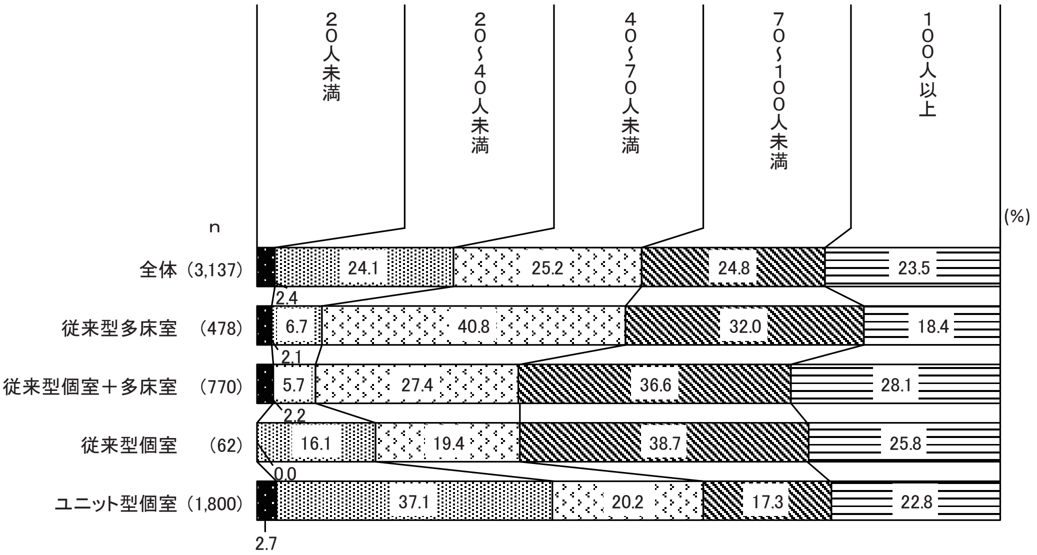


図２－１-③-１　入所（入居）定員数

１次調査のアンケートに回答した施設で最も多かった施設種別は「ユニット型個室」(57.0%(1,821 施設)）である。次いで「従来型個室＋多床室」が 24.3%(773 施設)となっている。

現在の施設種別で運営を開始した年は、全体では、「2000～2009 年」と「2010～2014 年」がそれぞれ３割と高く、次いで「1990～1999 年」が 16.3%(483 施設)となっている。

施設種別ごとにみると、従来型多床室は、「1980～1989 年」に運営開始した施設が 35.9%と最も多く、1989 年以前に運営開始した施設で約５割（49.6%）を占めている。従来型個室＋多床室は、「1990～1999 年」に運営開始した施設が 45.0%を占め、従来型個室では 2000 年以降に運営開始した施設が半数を超えている（54.4%)。

ユニット型個室や地域密着型の施設のほとんどが 2000 年以降の運営開始であるのは、それぞれにかかる介護保険法上の制度改正が影響している。

施設規模は、全体では、入所（入居）定員「40～70 名未満」が 25.2%(792 施設)と最も多く、次いで「70～100 名未満」が 24.8%(777 施設)、「20～40 名未満」が 24.1%(757 施設)となっている。

施設種別ごとにみると、従来型多床室では、「40～70 名未満」が 40.8%と最も多く、従来型個室＋多床室と従来型個室は、「70～100 名未満」が最も高かった。

一方、ユニット型個室では、「20～40 名未満」が 37.1%（667 施設）と最も多くなっており、このうち 73.3%（489 施設）が地域密着型の施設となっている。

④ 平均人員配置

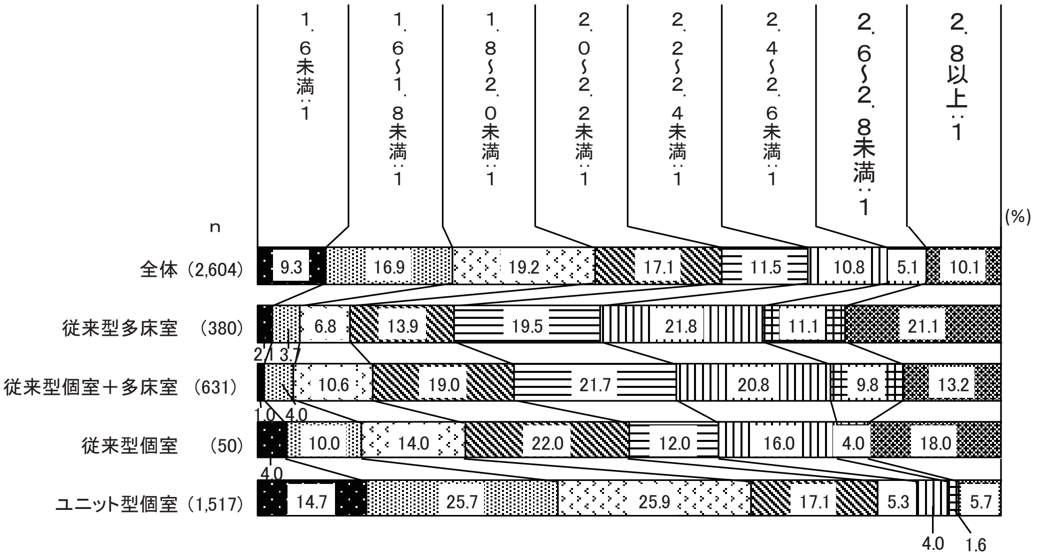


図2-1-④-1　平均人員配置

⑤　平均要介護度

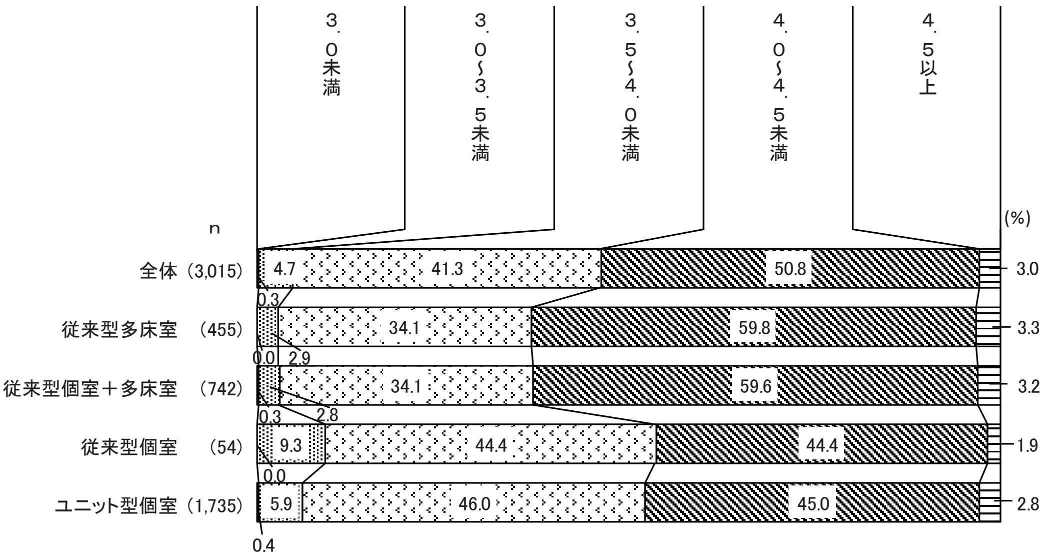


図2-1-⑤-1　平均要介護度

施設の平均人員配置（常勤換算・職員１人あたり入所（入居）者数）は、全体の平均値は2.09：１となっており、図１－３を見ると、国の省令上の基準より多く人員配置をしている施設が多いことがわかる。

施設種別ごとにみると、ユニット型個室では、「2.0未満」の施設が約３分の２であり、従来型の施設に比べるとより多く人員配置をしている施設が多い。

入所（入居）者の平均要介護度は、全体では、「4.0～4.5未満」が50.8％(1,532施設)と最も高く、次いで「3.5～4.0未満」が41.3％(1,244施設)となっている。

施設種別ごとにみると、とくに従来型多床室や従来型個室＋多床室では、平均要介護度4.0以上の施設が６割を超えており、入所（入居）者の要介護度の重度化の傾向が伺える。

2．施設の考え方と実践方法・課題

以下の分析では、回答施設数の分布を考慮して、施設種別を「従来型」と「ユニット型」の２分類で表している。「従来型」には、従来型多床室、従来型個室＋多床室、従来型個室が含まれ、「ユニット型」はユニット型個室を指し、それぞれ地域密着型施設も含むものとする。

①　起床

起床支援の方法についての考え方（方針）（施設が「望ましい」とするもの）） ＜選択肢＞ ・　施設全体で決められている起床時間に合わせ、起床支援を行う ・　施設で決められた朝食の時間に間に合うように起床支援を行う ・　規則正しい生活リズムを大事にし、一定の時間には起きるよう起床支援を行う ・　利用者に、毎回、起床の意思を確認した上で起床支援を行う ・　予め利用者の起床の時間、意向や好み等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う ・　その他

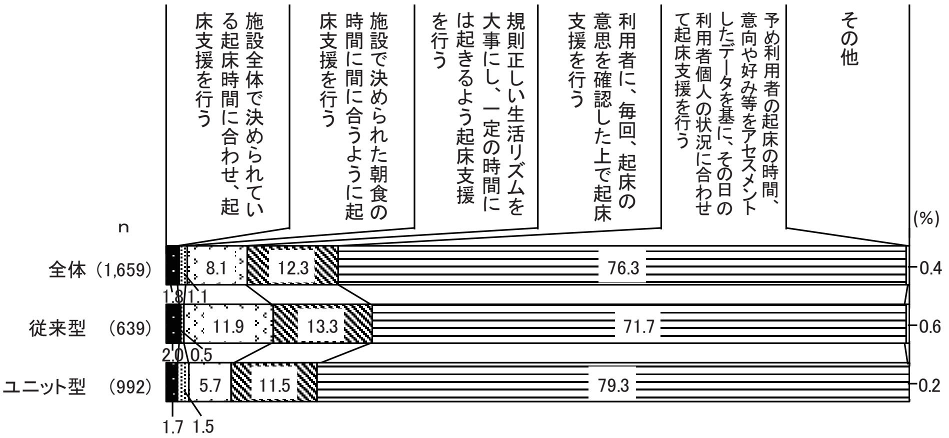


図2-2-①-1　起床支援の方法についての考え方

起床支援の方法についての考え方（施設が「望ましい」とするもの）は、全体では、「予め利用者の起床の時間、意向や好み等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う」とした施設が 76.3％(1,266 施設)と最も多く、次いで「利用者に、毎回、起床の意思を確認した上で起床支援を行う」が 12.3％(204 施設)となっている。

起床支援の方法（実際の支援方法）
＜選択肢＞
・　施設全体で決められている起床時間に合わせ、起床支援を行う
・　施設で決められた朝食の時間に間に合うように起床支援を行う
・　規則正しい生活リズムを大事にし、一定の時間には起きるよう起床支援を行う
・　利用者に、毎回、起床の意思を確認した上で起床支援を行う
・　予め利用者の起床の時間、意向や好み等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う
・　その他

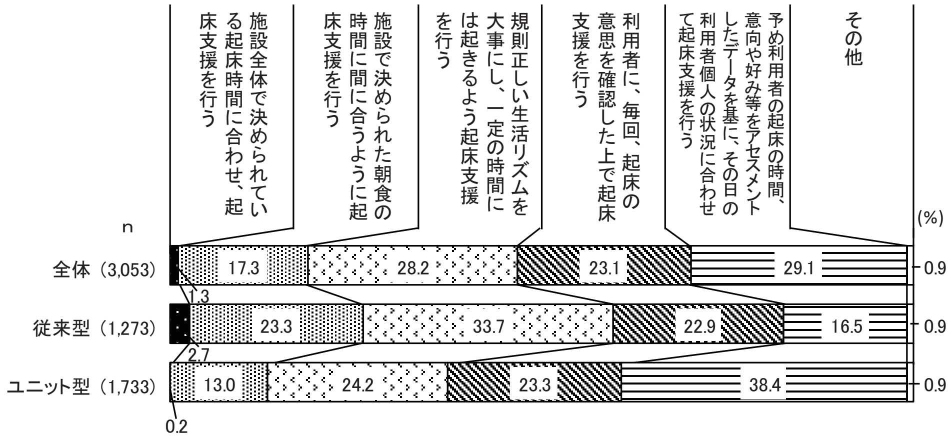


図2-2-①-2　実際に行っている起床支援の方法

実際に行っている起床支援の方法は、全体では、「予め利用者の起床の時間、意向や好み等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う」とした施設が 29.1%(889 施設)と最も多く、次いで「規則正しい生活リズムを大事にし、一定の時間には起きるよう起床支援を行う」が 28.2%(862 施設)、「利用者に、毎回、起床の意思を確認した上で起床支援を行う」が 23.1%(706 施設)となっている。

従来型とユニット型で分けてみると、従来型では、「規則正しい生活リズムを大事にし、一定の時間には起きるよう起床支援を行う」が 33.7%（429 施設）と最も多く、次いで「施設で決められた朝食の時間に間に合うように起床支援を行う」が 23.3%（297 施設）であった。一方、ユニット型では、「予め利用者の起床の時間、意向や好み等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う」が 38.4%（665 施設）と最も多く、次いで「規則正しい生活リズムを大事にし、一定の時間には起きるよう起床支援を行う」が 24.2%（419 施設）であった。

起床支援について抱えている課題（複数回答）
＜選択肢＞
・　職員が不足しているので、一人ひとりの生活リズムに合わせた起床支援ができない
・　利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない
・　限られた朝食の時間に合わせて、（ある程度）決まった時間に起こさなければならない
・　起床支援が夜勤職員の業務となっている等、勤務時間の都合や他の業務の都合に合わせた支援になっている
・　起床支援の考え方や方法を職員に周知できていない
・　起床支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
・　その他

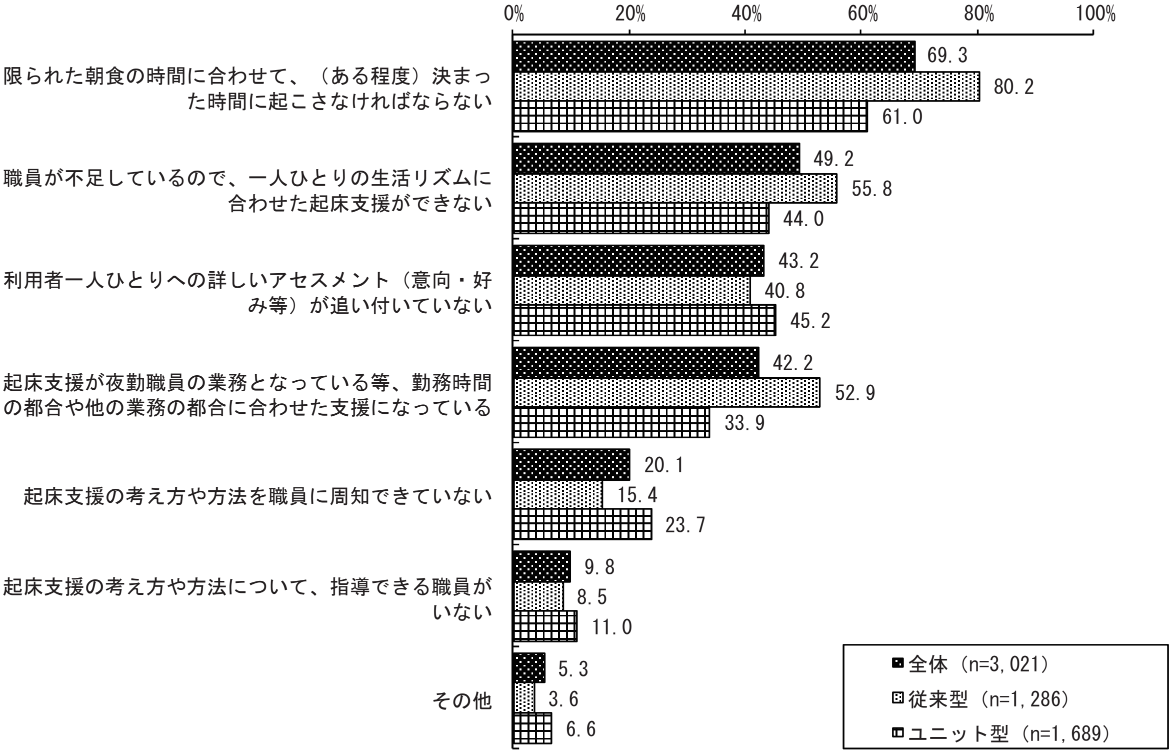


図2-2-①-3　起床支援についての課題

起床支援について抱えている課題は、全体では、「限られた朝食の時間に合わせて、（ある程度）決まった時間に起こさなければならない」が 69.3％(2,094 施設)と最も高く、次いで「職員が不足しているので、一人ひとりの生活リズムに合わせた起床支援ができない」が 49.2％(1,486 施設)、「利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない」が 43.2％(1,306 施設)となっている。

施設種別でみると、２番目に多い理由が、従来型は「職員が不足しているので、一人ひとりの生活リズムに合わせた起床支援ができない」（55.8％（717 施設））、ユニット型は、「利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない」（45.2％（763 施設））と異なっている。

② 排泄

排泄支援についての考え方（方針）（施設が「望ましい」とするもの） ＜選択肢＞ ・　予め施設全体で排泄介助する時間や回数を決め、決められた時間に排泄支援を行う ・　利用者に排泄の意思を確認しながら、その都度、個別に排泄支援を行う ・　利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う ・　その他

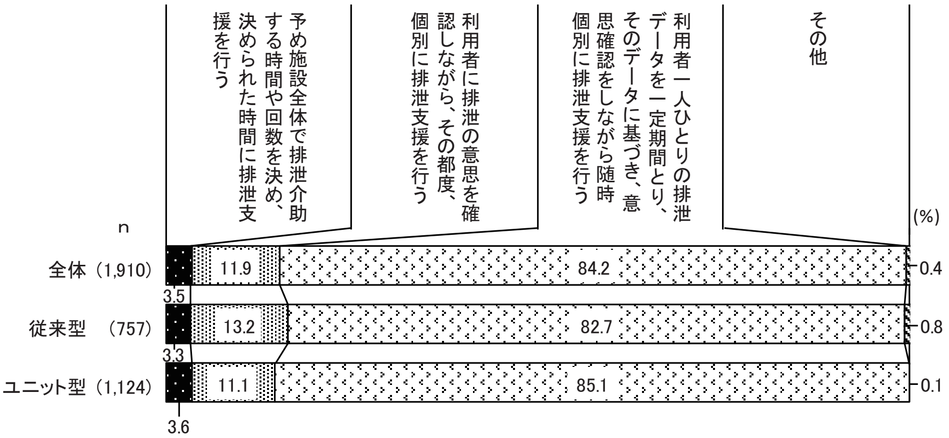


図2-2-②-1　排泄支援の方法についての考え方

排泄支援の方法についての考え方（施設が「望ましい」とするもの）は、全体では、「利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う」とした施設が 84.2％(1,608 施設)と最も多かった。

従来型とユニット型で傾向に大きな違いは見られなかった。

排泄支援の方法（実際の支援方法）
＜選択肢＞
・　予め施設全体で排泄介助する時間や回数を決め、決められた時間に排泄支援を行う
・　利用者に排泄の意思を確認しながら、その都度、個別に排泄支援を行う
・　利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う
・　その他

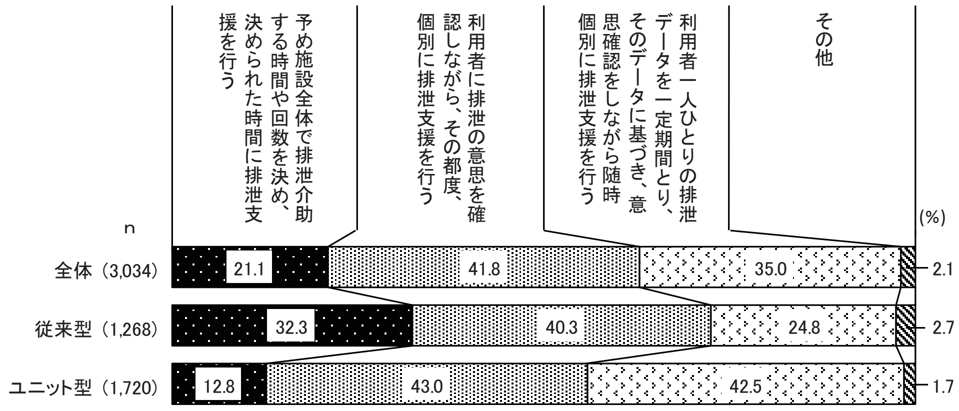


図2-2-②-2　実際に行っている排泄支援の方法

実際に行っている排泄支援の方法は、全体では、「利用者に排泄の意思を確認しながら、その都度、個別に排泄支援を行う」とした施設が 41.8%(1,269 施設)となっており、従来型（40.3%）、ユニット型（43.0%）とも、この回答の割合が最も高かった。

ユニット型では、「利用者に排泄の意思を確認しながら、その都度、個別に排泄支援を行う」と回答した施設（43.0%）と、「利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う」と回答した施設（42.5%）がほぼ同割合であった。また、従来型では「予め施設全体で排泄介助する時間や回数を決め、決められた時間に排泄支援を行う」とした施設が 32.3%（409 施設）と、ユニット型で同回答を選択した施設割合の約３倍であった。

排泄データのとり方

※　排泄支援の方法（実際の支援方法）を「利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う」と回答した施設に質問

＜選択肢＞

・　毎日の排泄チェック表等に記載した数値等を基にデータ化している

・　１週間等期間を決め、１時間ないし２時間等時間間隔を決め、排泄の有無と量を測定し、データ化している

・　その他

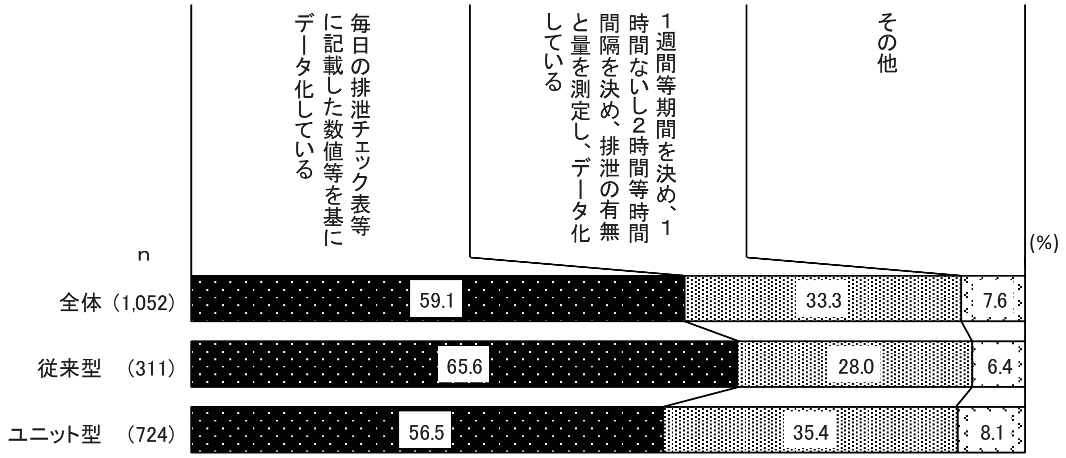


図2-2-②-3　排泄データの取り方

排泄データの取り方について、全体では、「毎日の排泄チェック表等に記載した数値等を基にデータ化している」とした施設が 59.1％(622 施設)、「１週間等期間を決め、１時間ないし２時間等時間間隔を決め、排泄の有無と量を測定し、データ化している」とした施設が 33.3％(350 施設)となっている。

未使用の排泄用品を置いている場所（複数回答） ＜選択肢＞ ・　備品等を入れる倉庫 ・　便所 ・　利用者の部屋等本人の近辺 ・　その他

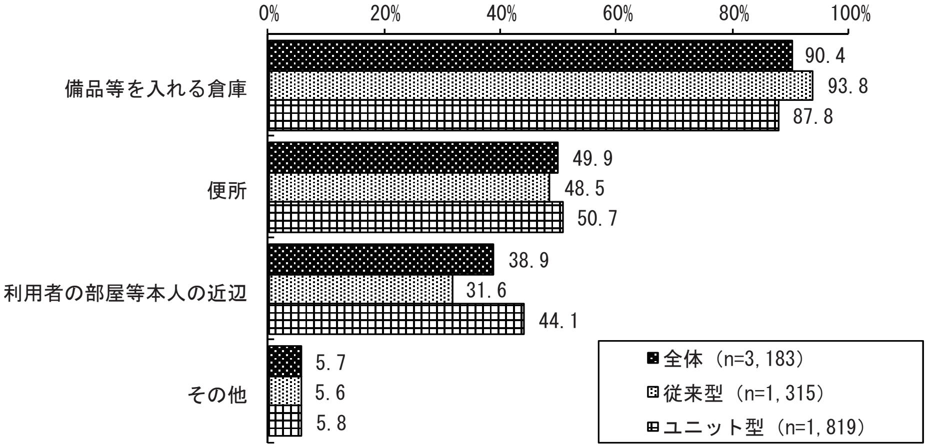


図2-2-②-4　未使用の排泄用品の置き場所

未使用の排泄用品を置いている場所について、「備品等を入れる倉庫」とした施設が全体で９割を超えている。

従来型とユニット型で回答の順位に違いはない。

排泄用品の種類の数
＜選択肢＞
- ５種類以内
- 10 種類以内
- 15 種類以内
- 20 種類以内
- 21 種類以上

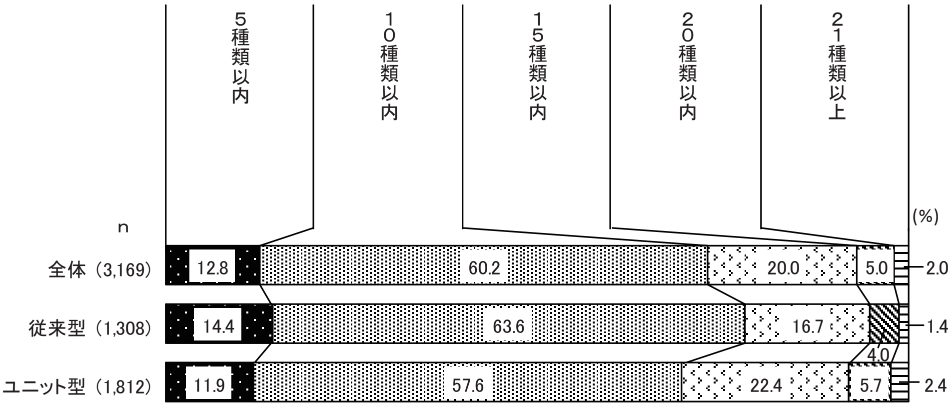


図2-2-②-5　排泄用品の種類

排泄用品の種類の数について、全体では、「10 種類以内」としている施設が 60.2%（1,908 施設）と最も多く、次いで「15 種類以内」が 20.0%（634 施設）と、６～15 種類程度用意している施設が８割以上であった。

使用済み排泄用品の回収方法
＜選択肢＞
・　使用済み排泄用品を新聞紙等に包んで持ち運びをしている
・　使用済み排泄用品を台車で回収・運搬している
・　使用済み排泄用品をバケツで回収・運搬している
・　１～３以外の方法で、使用済みの排泄用品とわからないようトートバッグに入れる等、工夫して持ち運びをしている
・　その他

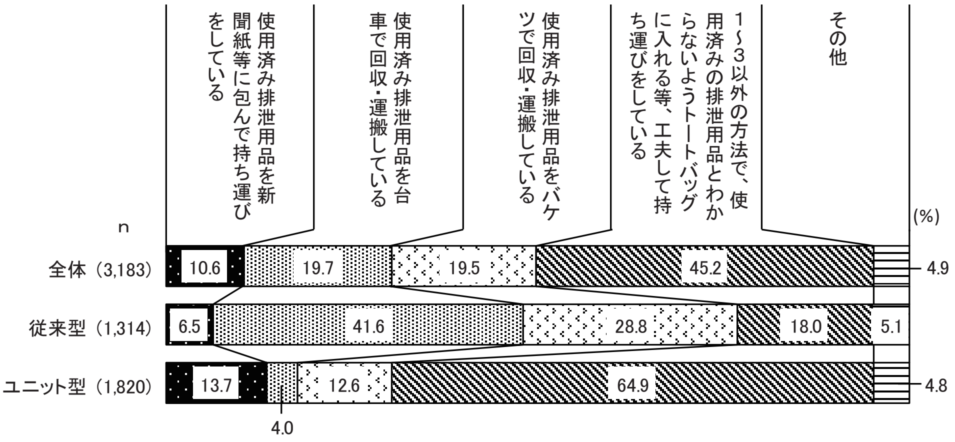


図2-2-②-6　使用済み排泄用品の回収方法

使用済みの排泄用品の回収方法は、施設種別での差が大きく見られ、従来型では、「使用済み排泄用品を台車で回収・運搬している」が 41.6%(546 施設)と最も多く、ユニット型では、「使用済みの排泄用品とわからないようトートバッグに入れる等、工夫して持ち運びをしている」とした施設が 64.9%(1,181 施設)と最も多かった。施設種別で回答の順位も異なっている。

排泄支援について抱えている課題（複数回答）
＜選択肢＞
・　職員が不足しているので、一人ひとりの排泄リズムに合わせた排泄支援ができない
・　利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない
・　便所の位置が居室や共同生活室から遠いため、排泄支援に時間がかかる
・　従来の定時交換（１日に決められた回数、決められた時間に行う）から、随時交換に変える方法がわからない
・　排泄支援の考え方や方法を職員に周知できていない
・　排泄支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
・　利用者の要介護度の重度化により、排泄支援に時間がかかる
・　利用者の要介護度の重度化により、排泄支援について職員の負担が大きくなっている
・　その他

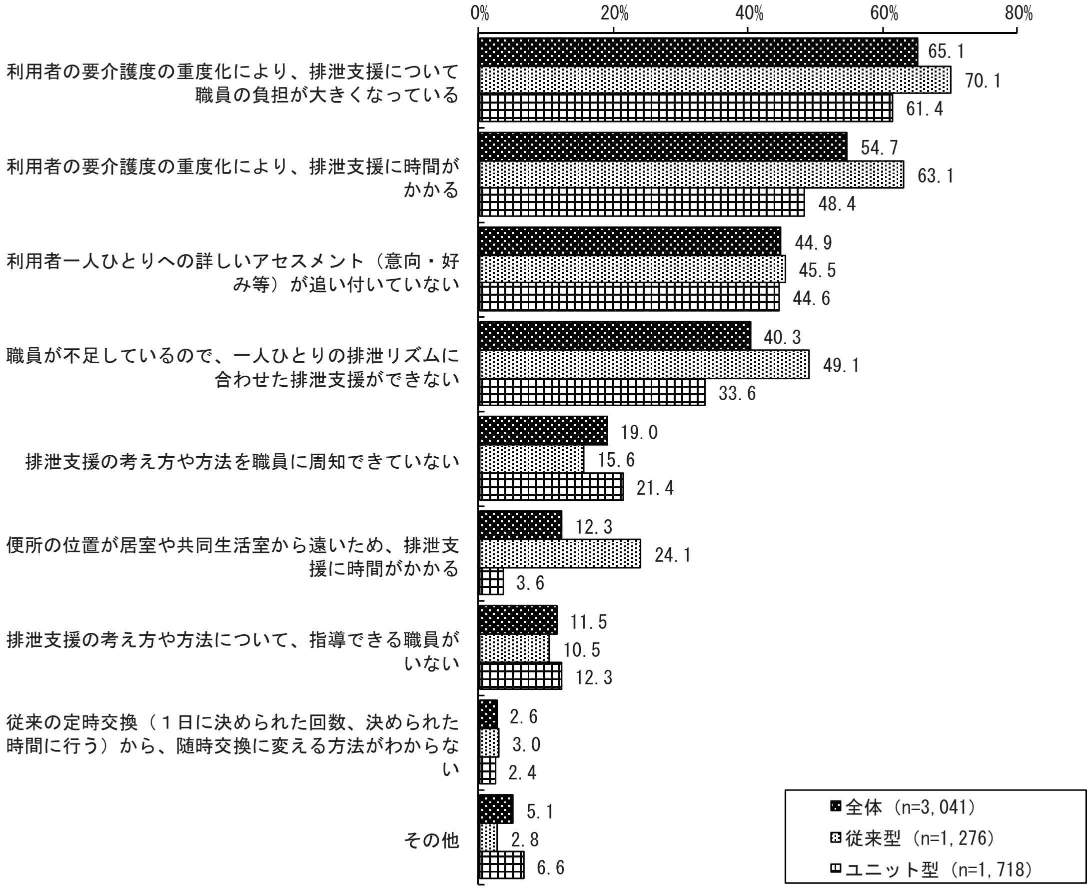


図2-2-②-7　排泄支援について抱えている課題

排泄支援について抱えている課題は、全体では、「利用者の要介護度の重度化により、排泄支援について職員の負担が大きくなっている」が 65.1％(1,979 施設)と最も多く、次いで「利用者の要介護度の重度化により、排泄支援に時間がかかる」が 54.7％(1,663 施設)となっている。

施設種別でみると、上位２つの回答は従来型・ユニット型双方で同じであったが、３番目に多い課題としては、従来型では、「職員が不足しているので、一人ひとりの排泄リズムに合わせた排泄支援ができない」(49.1％（626 施設））が挙げられているが、ユニット型では、「利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない」(44.6％（766 施設））が挙げられている。

③　食事

食事支援についての考え方（方針）（施設が「望ましい」とするもの）（複数回答）
＜選択肢＞
- 利用者全員同一量・同メニューになるよう食事支援を行う
- 利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う
- 利用者個人の持ち込みの食事等も可とし、柔軟に対応する
- 何よりも栄養価やカロリーを重視した量や内容にする
- 利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う
- （規則正しい生活の維持、健康管理の面から）食事時間以外の食事等の提供はしない
- 夜間でも利用者の要望に応じて軽食等を提供する
- その他

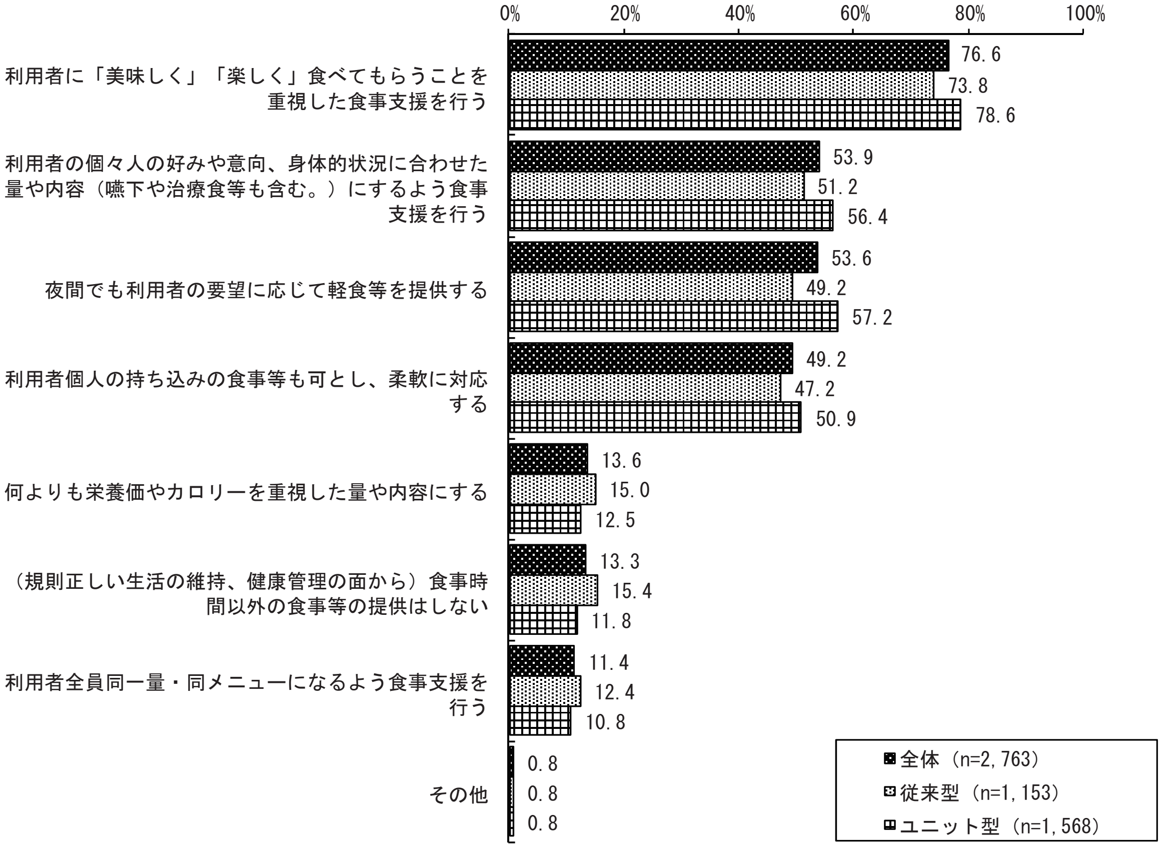


図2-2-③-1　食事支援の方法についての考え方

食事支援の方法についての考え方（施設が「望ましい」とするもの）は、全体では、「利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う」が 76.6％(2,116 施設)と最も多く挙げられており、次いで「利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う」が 53.9％(1,490 施設)、「夜間でも利用者の要望に応じて軽食等を提供する」が 53.6％(1,482 施設)となっている。

食事支援の方法（実際の支援方法）（複数回答）
＜選択肢＞
・　利用者全員同一量・同メニューになるよう食事支援を行う
・　利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う
・　利用者個人の持ち込みの食事等も可とし、柔軟に対応する
・　何よりも栄養価やカロリーを重視した量や内容にする
・　利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う
・　（規則正しい生活の維持、健康管理の面から）食事時間以外の食事等の提供はしない
・　夜間でも利用者の要望に応じて軽食等を提供する
・　その他

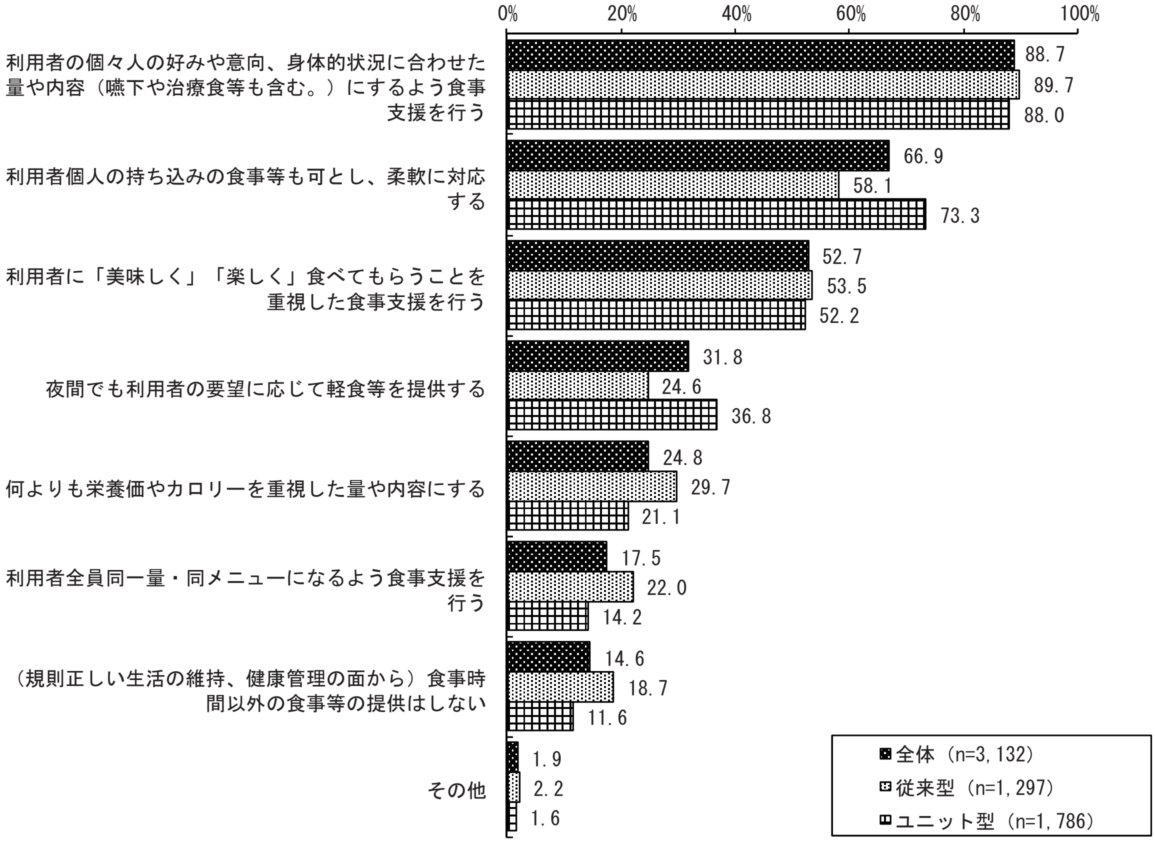


図2-2-③-2　実際に行っている食事支援の方法

実際に行っている食事支援の方法は、全体では、「利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う」が 88.7％（2,779 施設）と最も多く挙げられており、次いで「利用者個人の持ち込みの食事等も可とし、柔軟に対応する」が 66.9％（2,095 施設）、「利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う」が 52.7％（1,651 施設）となっており、考え方と実際に行っている方法で違いがみられた。

食器についての工夫をしているか
＜選択肢＞
・　利用者個人の食器（ご飯茶碗、湯飲み、マグカップ等）を使用している
・　施設で用意した統一のものを使用している
・　１、２の両方を使用している

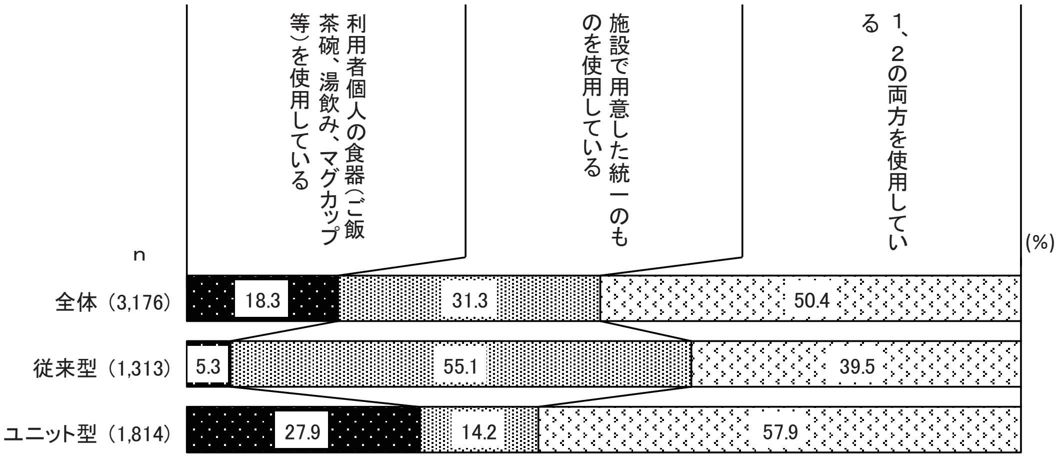


図2-2-③-3　食器についての工夫

食器について、全体では、「利用者個人の食器と施設で用意した食器の両方を使用している」とした施設が 50.4%(1,601 施設) と最も多く、次いで「施設で用意した統一のものを使用している」が 31.3%(995 施設) となっている。

施設種別でみると、「施設で用意した統一のものを使用している」とした施設が従来型は 55.1%(724 施設) と最も多かったが、ユニット型で同回答を選択した施設は 14.2% (257 施設) と４分の１程度の割合となっている。

食事の際のテーブルやいすの高さ
＜選択肢＞
・ すべて同一のものを使用している
・ 高さ調整のため２種類を用意している
・ 高さ調整のため３種類以上を用意している

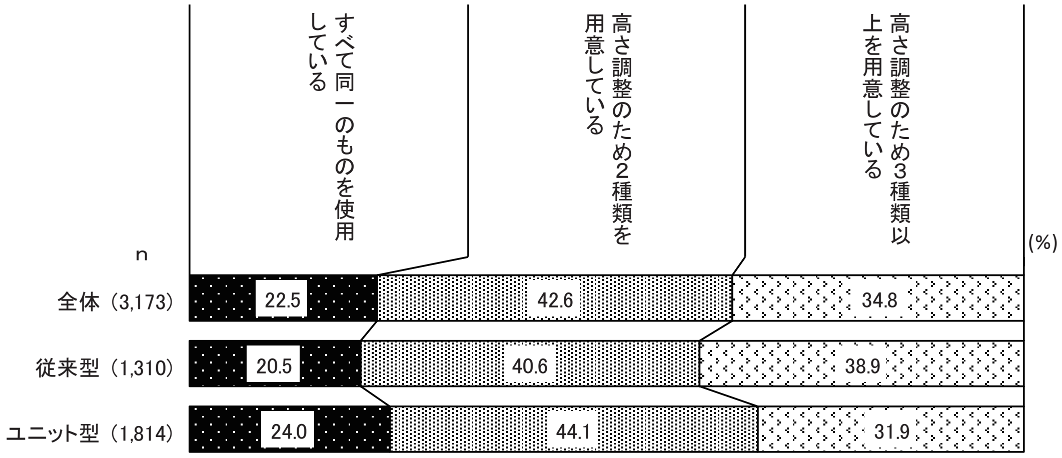


図2-2-③-4　食事の際のテーブルやいすの高さ

食事の際のテーブルやいすの高さについて、全体では、「高さ調整のため２種類を用意している」とした施設が 42.6％(1,353 施設)と最も多く、次いで「高さ調整のため３種類以上を用意している」とした施設が 34.8％(1,105 施設)、「すべて同一のものを使用している」とした施設が 22.5％(715 施設)となっている。

食事支援について抱えている課題（複数回答）
＜選択肢＞
・　職員が不足しているので個別の対応ができない
・　利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない
・　利用者が希望する食事と栄養アセスメントがうまく調整できない
・　食事支援の考え方や方法を職員に周知できていない
・　食事支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
・　利用者の要介護度の重度化により、食形態が多様になり思うような食事支援ができない
・　利用者の要介護度の重度化により、食事介助が多く、食事支援に時間がかかる
・　調理員の人材不足、厨房業者の撤退等の食事提供体制の理由により、思うような食事支援ができない
・　衛生管理面への配慮から食事提供の内容やタイミングに制限をかけてしまう
・　その他

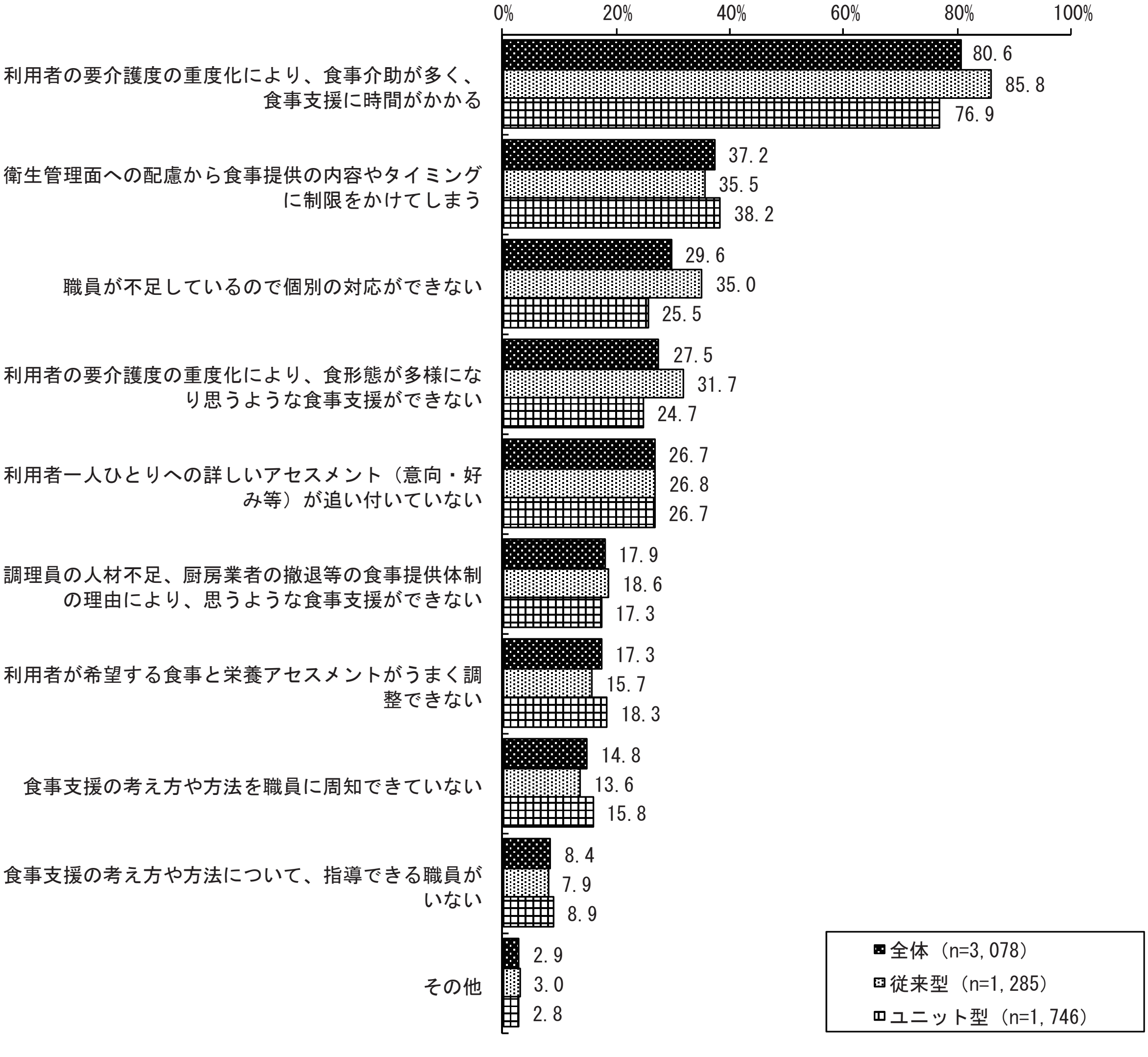


図2-2-③-5　食事支援について抱えている課題

食事支援について抱えている課題は、全体では、「利用者の要介護度の重度化により、食事介助が多く、食事支援に時間がかかる」が 80.6%(2,482 施設)と最も多く挙げられており、次いで「衛生管理面への配慮から食事提供の内容やタイミングに制限をかけてしまう」(37.2%(1,145 施設))、「職員が不足しているので個別の対応ができない」(29.6%(911 施設)) となっている。

施設種別にみると、上位２つの課題は従来型・ユニット型双方で同じであったが、３番目に多い課題としては、従来型では「職員が不足しているので個別の対応ができない」が挙げられているのに対し、ユニット型では、「利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない」が挙げられている。

④ 入浴

入浴支援についての考え方（方針）（施設が「望ましい」とするもの）（複数回答）
＜選択肢＞
・ マンツーマン入浴*の体制で入浴支援を行う
・ 誘導・着替え・洗身等に職員の役割を決め、複数の職員で対応する
・ タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう
・ タオルやシャンプー等は施設で統一する
・ 利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う
・ 入浴介助の安全性や効率を考え、主に機械（臥位式）浴槽を使用する
・ その他
＊ マンツーマン入浴：１人の職員が１人の利用者に対して一連の入浴支援を行う。必要に応じて、職員がもう１人加わり２人で支援する場合も含む。

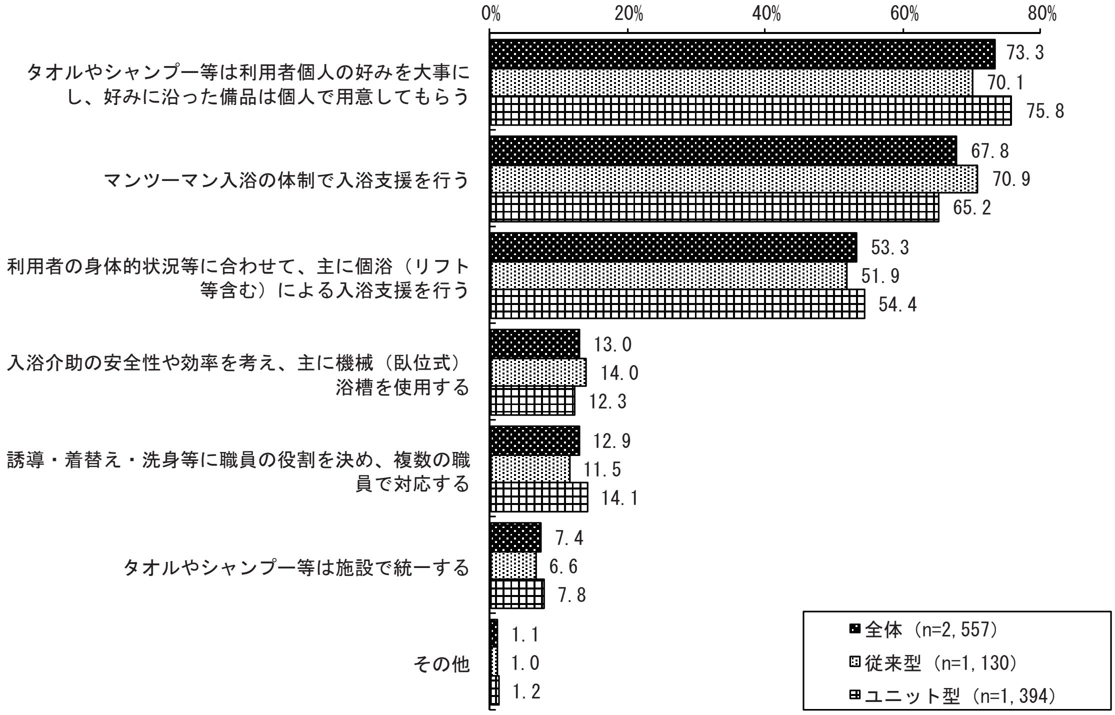


図2-2-④-1 入浴支援の方法についての考え方

入浴支援の方法についての考え方（施設が「望ましい」とするもの）は、全体では、「タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう」が73.3％(1,874 施設)と最も多く挙げられており、次いで「マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う」が 67.8％(1,734 施設)、「利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う」が 53.3％(1,364 施設)となっている。

施設種別でみると、従来型では、１位の「マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う」(70.9％(801 施設)）と２位の「タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう」(70.1％(792 施設)）の割合がほとんど変わらないのに対し、ユニット型では、１位「タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用

意してもらう」(75.8%(1,056 施設))、2位「マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う」(65.2%(909 施設)) となっており、1位と2位の間で 10 ポイント程度の差がみられる。

入浴支援の方法（実際の支援方法）（複数回答）

＜選択肢＞

- ・ マンツーマン入浴*の体制で入浴支援を行う
- ・ 誘導・着替え・洗身等に職員の役割を決め、複数の職員で対応する
- ・ タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう
- ・ タオルやシャンプー等は施設で統一する
- ・ 利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う
- ・ 入浴介助の安全性や効率を考え、主に機械（臥位式）浴槽を使用する
- ・ その他

* マンツーマン入浴：１人の職員が１人の利用者に対して一連の入浴支援を行う。必要に応じて、職員がもう１人加わり２人で支援する場合も含む。

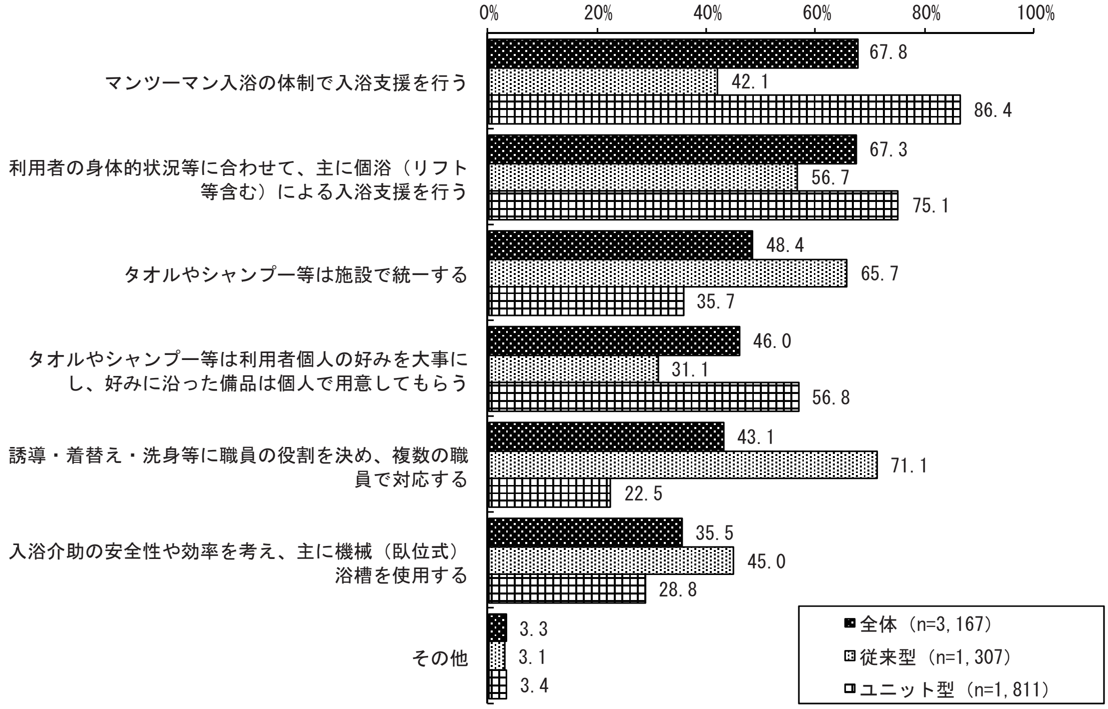


図2-2-④-2 実際に行っている入浴支援の方法

実際に行っている入浴支援の方法は、全体では、「マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う」が 67.8%(2,146 施設)と最も多く挙げられており、次いで多く挙げられている順に「利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う」(67.3%(2,132 施設))、「タオルやシャンプー等は施設で統一する」(48.4%(1,534 施設)) となっている。

施設種別でみると、従来型では、「誘導・着替え・洗身等に職員の役割を決め、複数の職員で対応する」が 71.1%(929 施設)と最も多く挙げられており、次いで多く挙げられている順に「タオルやシャンプー等は施設で統一する」(65.7%(859 施設))、「利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う」(56.7%(741 施設)) となっている。

ユニット型では、「マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う」が 86.4%(1,565 施設)と最も多く挙げられており、次いで多く挙げられている順に「利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う」(75.1%(1,360 施設))、「タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう」(56.8%(1,029 施設)）となっている。

入浴支援について抱えている課題（複数回答）
＜選択肢＞
・　職員が不足しているので、個別の入浴支援ができない
・　利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない
・　入浴支援の考え方や方法を職員に周知できていない
・　入浴支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
・　利用者の要介護度の重度化により、入浴支援に時間がかかる
・　利用者の要介護度の重度化により、入浴支援について職員の負担が大きくなっている
・　リフト等の福祉用具の設備が十分でなく、職員の負担が大きい
・　居室や共同生活室等から浴室までの場所が遠い
・　その他

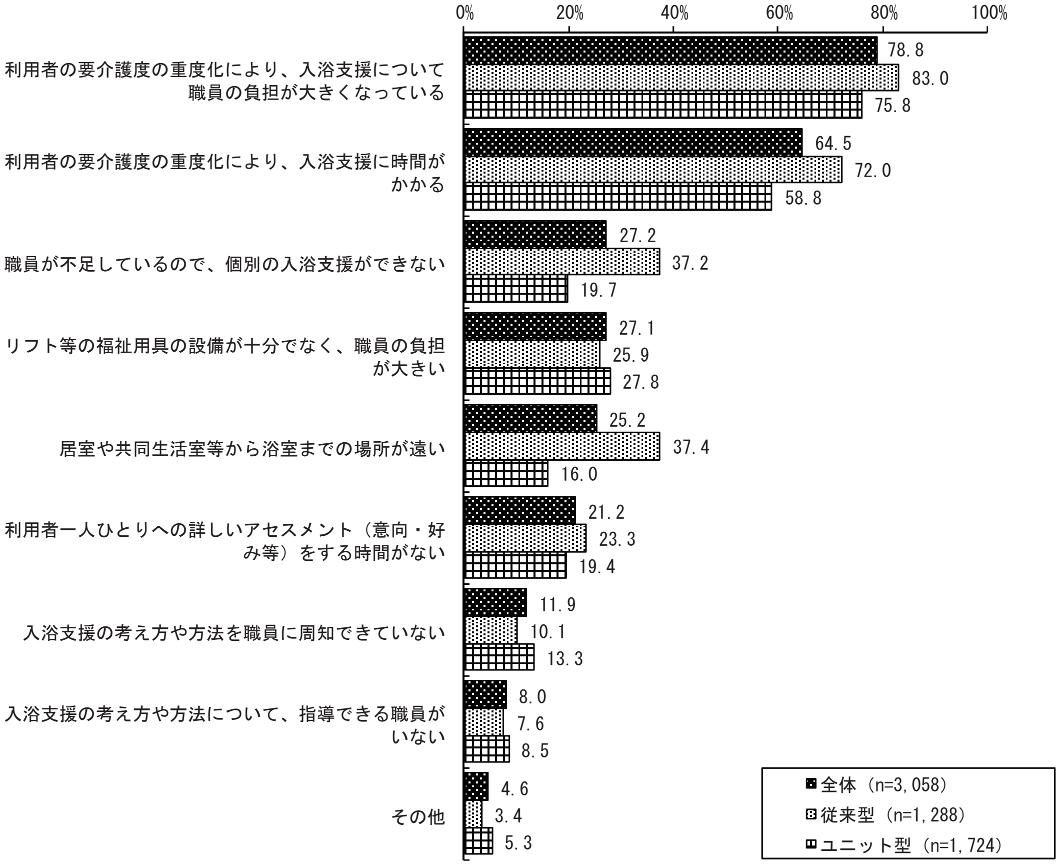


図2-2-④-３　入浴支援について抱えている課題

入浴支援について抱えている課題は、全体では、「利用者の要介護度の重度化により、入浴支援について職員の負担が大きくなっている」が 78.8%(2,410 施設)と最も多く挙げられており、次いで「利用者の要介護度の重度化により、入浴支援に時間がかかる」(64.5%(1,973 施設))、「職員が不足しているので、個別の入浴支援ができない」(27.2%(832 施設)) となっている。

施設種別でみると、上位２つの課題は従来型・ユニット型双方で同じであったが、３番目に多い課題としては、従来型では「居室や共同生活室等から浴室までの場所が遠い」(37.4%(482 施設))、ユニット型では、「リフト等の福祉用具の設備が十分でなく、職員の負担が大きい」(27.8%(479 施設)) が挙げられている。

⑤　レクリエーション

レクリエーション活動や行事の実施方法
＜選択肢＞
・　レクリエーション活動や行事は施設全体で行っている
・　レクリエーション活動や行事は施設全体とユニット（グループ）ごとに行っている
・　レクリエーション活動や行事はユニット（グループ）ごとに行っている
・　レクリエーション活動や行事は、特別行わない

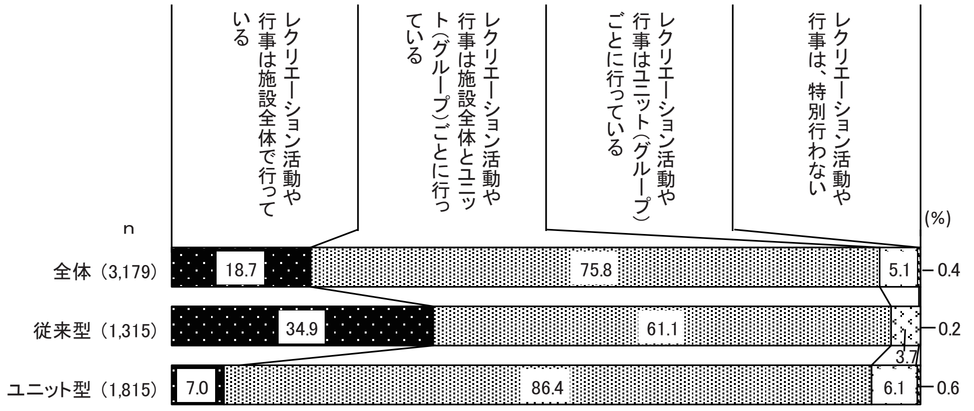


図2-2-⑤-1　レクリエーション活動や行事の実施方法

レクリエーション活動や行事の実施方法について、全体では、「レクリエーション活動や行事は施設全体とユニット（グループ）ごとに行っている」とした施設が 75.8%(2,409 施設)と最も多く、「レクリエーション活動や行事は施設全体で行っている」とした施設は 18.7%(596 施設)であった。

施設種別でみると、従来型は、「レクリエーション活動や行事は施設全体で行っている」とした施設が 34.9%と、ユニット型で同回答を選択した施設割合（7.0%）の約５倍であった。

レクリエーション活動や行事の企画方法
＜選択肢＞
・　職員のみで企画している
・　利用者の趣味・意向を聞いた上で、企画している
・　利用者の趣味・意向に加えて、家族や地域の方等、第三者の意見を取り入れて企画している

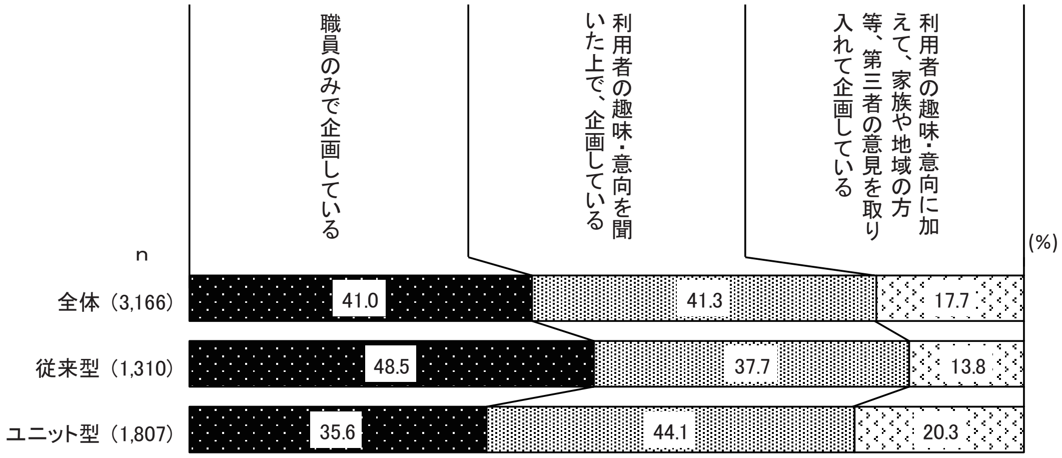


図2-2-⑤-2 レクリエーション活動や行事の企画方法

レクリエーション活動や行事の企画方法について、全体では、「利用者の趣味・意向を聞いた上で、企画している」(41.3%(1,309 施設))、「職員のみで企画している」(41.0%(1,297 施設)) とした施設がほぼ同じ割合であった。

従来型では、「職員のみで企画している」とした施設が 48.5%(635 施設)と最も多く、次いで「利用者の趣味・意向を聞いた上で、企画している」とした施設が 37.7%(494 施設)となっているが、ユニット型では、「利用者の趣味・意向を聞いた上で、企画している」とした施設が 44.1%(797 施設)と最も多く、次いで「職員のみで企画している」とした施設が 35.6%(643 施設)となっており、１位と２位の回答がそれぞれ逆になっている。

レクリエーション活動や行事の参加についての考え方（方針）（複数回答）
＜選択肢＞
・　可能な限り利用者全員に参加してもらう
・　利用者に毎回参加の意思・意向を尋ねる
・　希望者だけ（少人数）の参加でも実施する
・　利用者が直接参加できなくとも、見ているだけでもコミュニケーションがとれればいい
・　利用者が積極的に参加できるよう工夫する

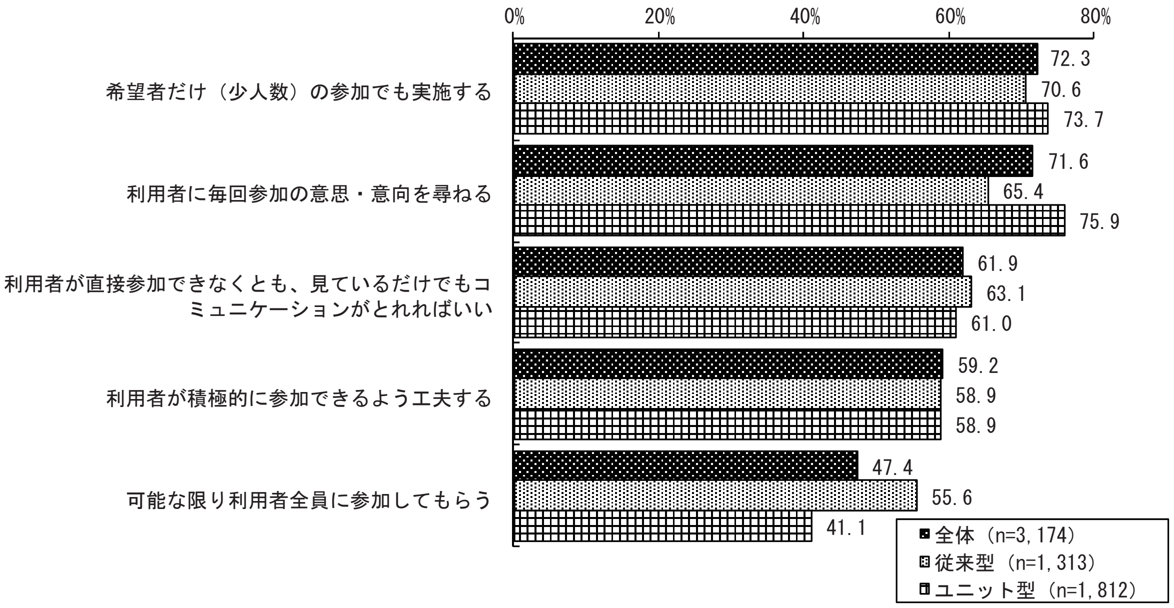


図2-2-⑤-3　レクリエーション活動や行事の参加についての考え方

レクリエーション活動や行事の参加についての考え方は、全体では、「希望者だけ（少人数）の参加でも実施する」（72.3％(2,295 施設)）と「利用者に毎回参加の意思・意向を尋ねる」（71.6％(2,274 施設)）が同じ割合で多く挙げられており、次いで「利用者が直接参加できなくとも、見ているだけでもコミュニケーションがとれればいい」（61.9％(1,966 施設)）となっている。

レクリエーション活動や行事の内容（複数回答）
＜選択肢＞
・ 施設外で行う（外出する）レクリエーションや行事がある
・ 家族も共に参加できるレクリエーションや行事がある
・ 地域の方が参加できるレクリエーションや行事がある

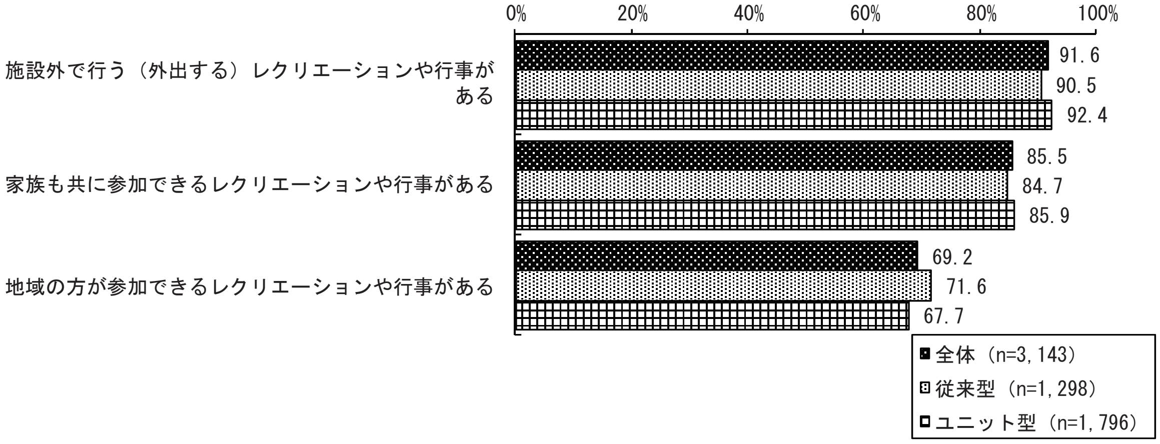


図2-2-⑤-4 レクリエーション活動や行事の内容

レクリエーション活動や行事の内容について、施設種別でみても、従来型とユニット型でほぼ同じ傾向を示しており、従来型ユニット型ともに、「施設外で行う（外出する）レクリエーションや行事がある」を挙げた施設割合が９割を超えている。

レクリエーションや行事にかかる経費について（複数回答）
＜選択肢＞
・ ユニットやグループ単位で一定の金額を割り当て、自由に使えるようにしている
・ 必要な都度、購入伺い等の書類手続により支出する
・ 職員に立て替え払いをしてもらい、領収書等により事後的に支払う
・ 基本的にレクリエーションや行事にあてる費用はない
・ その他

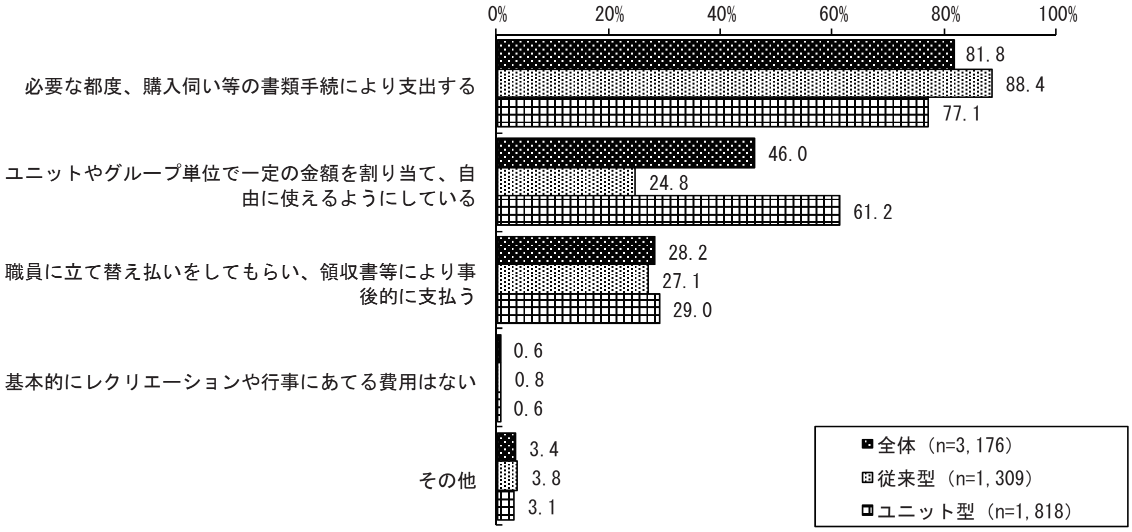


図2-2-⑤-5 レクリエーション活動や行事にかかる経費について

レクリエーション活動や行事にかかる経費について、全体では、「必要な都度、購入伺い等の書類手続により支出する」が 81.8％(2,599 施設)と最も多く挙げられている。

施設種別でみると、「ユニットやグループ単位で一定の金額を割り当て、自由に使えるようにしている」とした施設割合が、従来型では 24.8％(325 施設)であるのに対し、ユニット型では 61.2％(1,113 施設)と比較的多くなっている。

レクリエーション活動や行事で抱えている課題（複数回答）
＜選択肢＞
・　職員が不足している
・　利用者一人ひとりの詳しい意向や希望を十分聞いて対応できていない
・　利用者の要介護度が重度化しているので、どのようなレクリエーションや行事をしたらいいかわからない
・　レクリエーションや行事の企画・実施ができる職員がいない
・　レクリエーションや行事を実施するボランティアや外部講師として協力してくれる人がいない
・　レクリエーションや行事を実施するための費用を捻出できない
・　その他

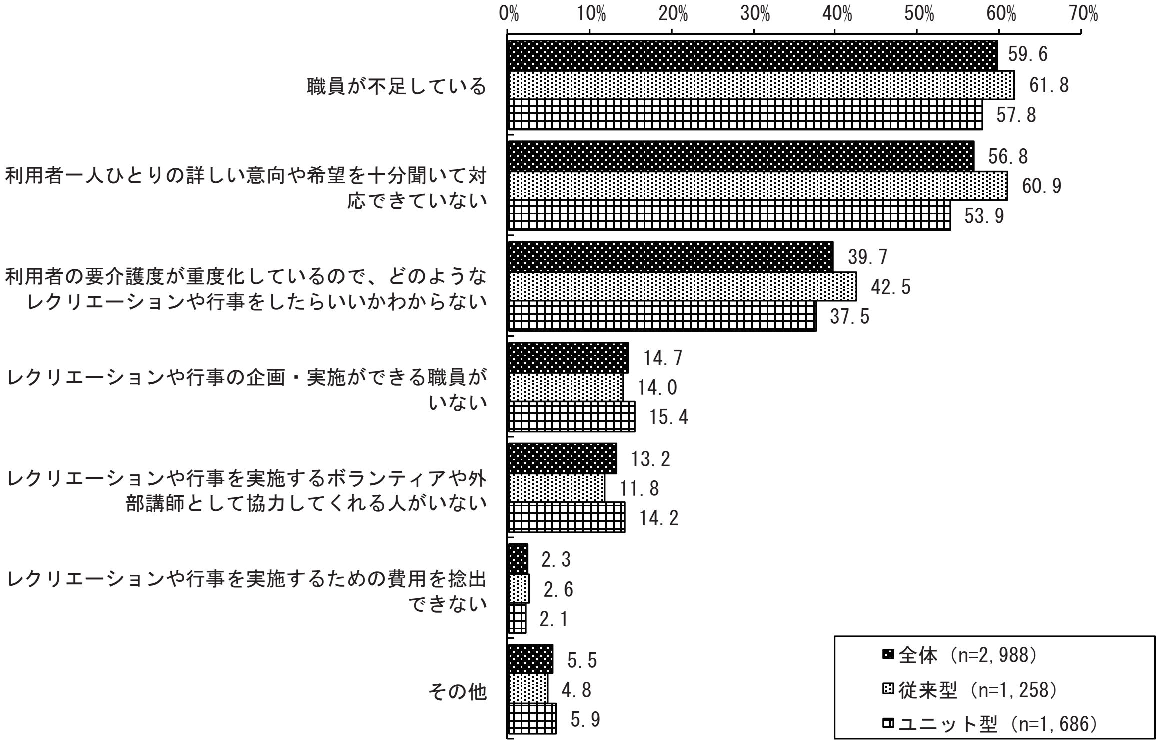


図2-2-⑤-6　レクリエーション活動や行事で抱えている課題

レクリエーション活動や行事で抱えている課題は、全体では、「職員が不足している」と「利用者一人ひとりの詳しい意向や希望を十分聞いて対応できていない」がそれぞれ約６割と、多く挙げられている。次いで「利用者の要介護度が重度化しているので、どのようなレクリエーションや行事をしたらいいかわからない」を挙げた施設割合が約４割となっている。

⑥　看取り

看取り支援についての考え方（方針）（施設が「望ましい」とするもの）

＜選択肢＞

・　看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う
・　看取りを積極的に行っている
・　医療職の協力等の実践する要件が満たされるのであれば、行っていい
・　医療は医療機関で行うという認識のもと、積極的には行わない
・　その他

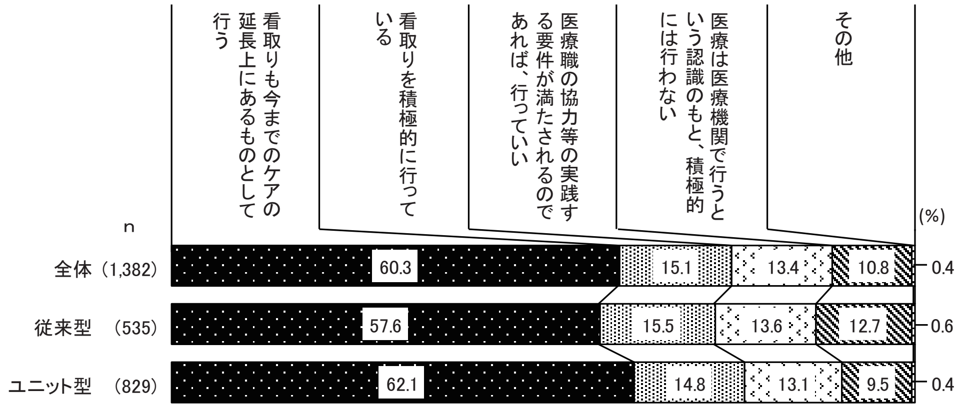


図2-2-⑥-1　利用者の看取り支援についての考え方

看取りについての考え方（施設が「望ましい」とするもの）は、全体では、「看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う」とした施設が約６割（60.3％(833 施設)）と最も多く、次いで「看取りを積極的に行っている」(15.1％(209 施設))、「医療職の協力等の実践する要件が満たされるのであれば、行っていい」(13.4％(185 施設)）となっている。

看取り支援の方法（実際の支援方法）
＜選択肢＞
- 看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う
- 看取りを積極的に行っている
- 医療職の協力等の実践する要件が満たされるのであれば、行っていい
- 医療は医療機関で行うという認識のもと、積極的には行わない
- その他

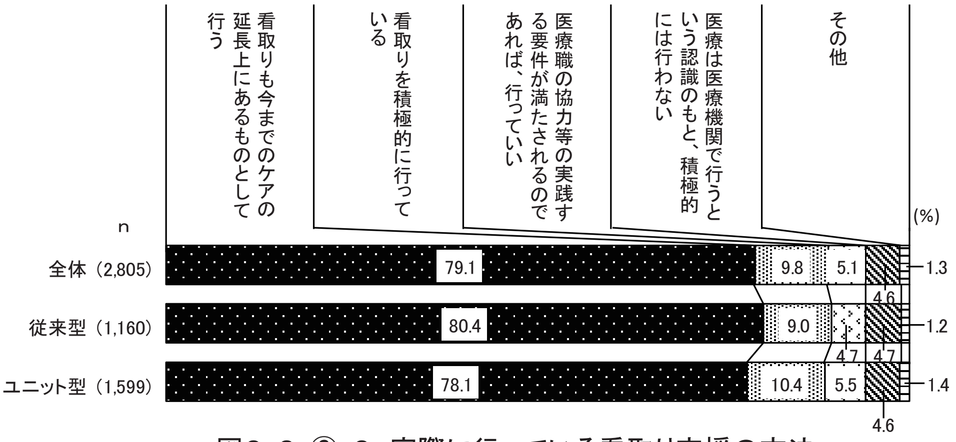


図2-2-⑥-2 実際に行っている看取り支援の方法

実際に行っている看取り支援の方法は、全体では、「看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う」とした施設が約８割（79.1％(2,220 施設)）と最も多く、施設種別でみても、従来型とユニット型でほぼ同じ傾向がみられるが、施設が「望ましい」とする考え方よりも実際の支援方法で「看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う」とした施設割合が 20 ポイントほど高くなっていることに特徴がみられる。

看取り関する取決め（複数回答）
＜選択肢＞
・　看取り期は、体調変化が激しいので、利用者や家族の希望があっても入浴支援は行わない
・　看取り期の利用者については、他の利用者には秘密にして、不安を与えないようにしている
・　看取り期の利用者については、他の利用者にも状態を伝え、利用者を含めて施設全体で看取りについて考えるようにしている
・　看取り期は、家族がそばに寄り添う（宿泊も含む）ことは自由である
・　看取り期は、施設のメニューよりも本人や家族の望む食事を提供する
・　看取りをした後は、必ず振り返り（カンファレンス）を行う
・　その他

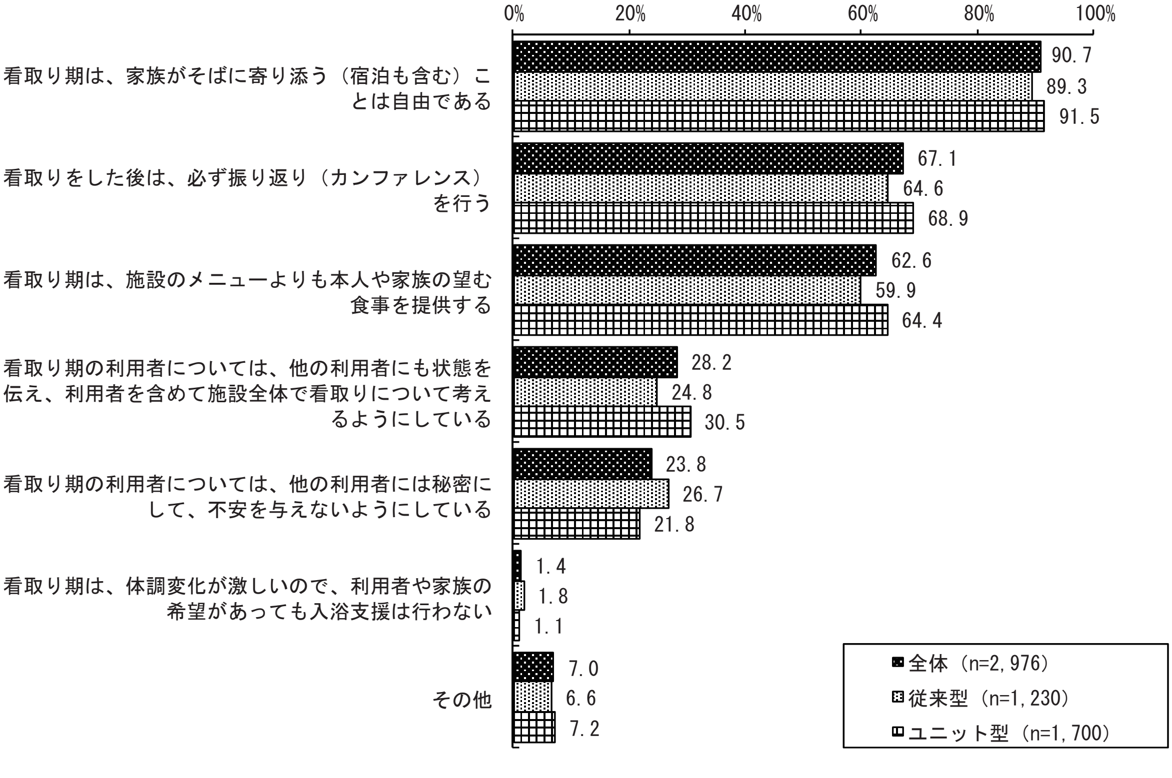


図2-2-⑥-3　看取りに関する取決め

看取りに関する取決めは、全体では、「看取り期は、家族がそばに寄り添う（宿泊も含む）ことは自由である」が約９割と最も多く挙げられており、次いで「看取りをした後は、必ず振り返り（カンファレンス）を行う」（67.1％（1,997 施設））、「看取り期は、施設のメニューよりも本人や家族の望む食事を提供する」（62.6％（1,863 施設））となっている。

看取り支援について抱えている課題（複数回答）
＜選択肢＞

・　職員が不足しているので、看取り支援ができない
・　利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない
・　看取り支援の考え方や方法を職員に周知できていない
・　看取り支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
・　医療関係者や医療機関の協力が得られない
・　看取りに対する考え方が医療関係者と合わない
・　その他

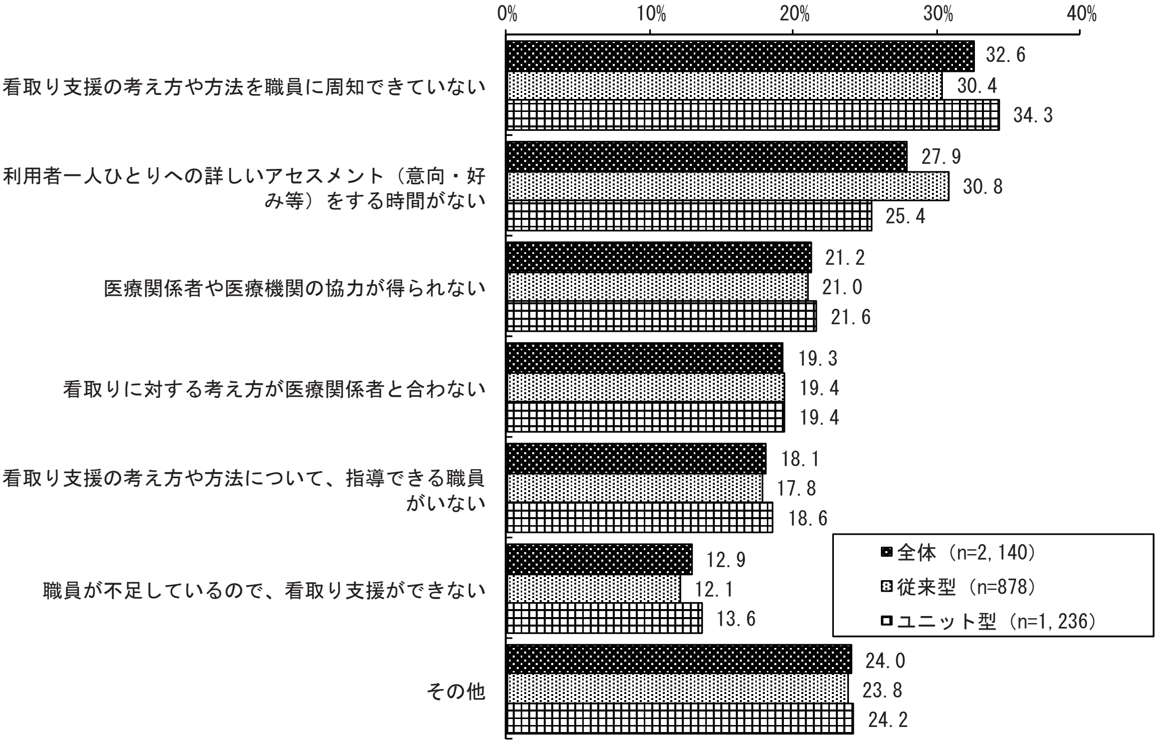


図2-2-⑥-4　看取り支援について抱えている課題

看取り支援について抱えている課題は、全体では、「看取り支援の考え方や方法を職員に周知できていない」が32.6%(698施設)と最も多く挙げられており、次いで「利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない」(27.9%(598施設))、「医療関係者や医療機関の協力が得られない」(21.2%(454施設)) となっている。

施設種別でみると、従来型では、「利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない」(30.8% (270施設)) と「看取り支援の考え方や方法を職員に周知できていない」(30.4% (267施設)) を挙げている施設割合がほぼ同じであるが、ユニット型では、「看取り支援の考え方や方法を職員に周知できていない」が34.3%(424施設)と最も多く挙げられており、次いで「利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント(意向・好み等) をする時間がない」が25.4%(314施設)と、１位と２位で約９ポイントの差が生じている。また、施設種別に関わらず「医療関係者や医療機関の協力が得られない」を挙げている施設割合が約２割であった。

⑦　利用者の身の回りの環境

※　この項目では、施設の構造上、施設種別ごとに異なる傾向がみられる結果を多く掲載しているが、一概にケアに影響するか否かではなく、構造上の違いがあっても、共通して取り組めることや課題を抽出する目的で調査を行ったものである。

ベッド周り（ユニット型においては居室内全般）の身の回り品（複数回答） ＜選択肢＞ ・　施設が設置した床頭台やタンス等の家具 ・　利用者個人が持ち込んだタンスやソファー ・　利用者個人の関係の写真や絵、趣味の道具 ・　生花や観賞用植物 ・　その他

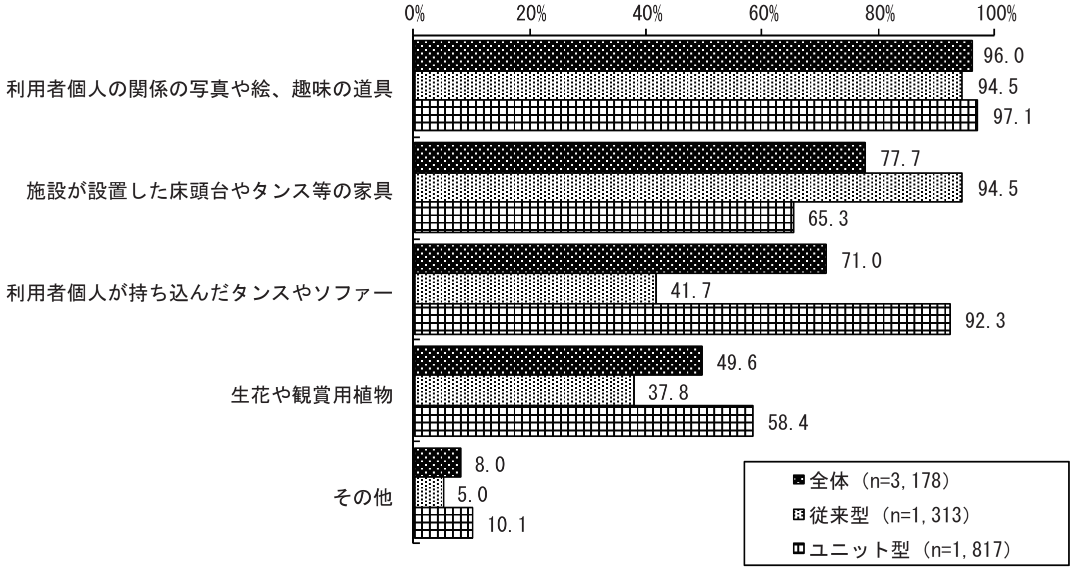


図2-2-⑦-1　ベッド周りの身の回り品

ベッド周りの身の回り品は、９割以上の施設で「利用者個人の関係の写真や絵、趣味の道具」が挙げられており、次いで「施設が設置した床頭台やタンス等の家具」(77.7%(2,469 施設))、「利用者個人が持ち込んだタンスやソファー」(71.0%(2,255 施設)）となっている。

施設種別でみると、従来型では、「施設が設置した床頭台やタンス等の家具」を挙げた施設割合が 94.5%(1,241 施設)と高く、「利用者個人が持ち込んだタンスやソファー」を挙げた施設割合は 41.7%(547 施設)となっている。

ユニット型では、「利用者個人が持ち込んだタンスやソファー」を挙げた施設割合が 92.3%(1,677 施設)と高く、「施設が設置した床頭台やタンス等の家具」を挙げた施設割合は 65.3%(1,187 施設)となっている。

他の利用者との仕切り（複数回答）
＜選択肢＞
・　個室による壁
・　パーテーションやふすま
・　タンス等の家具
・　カーテン
・　その他

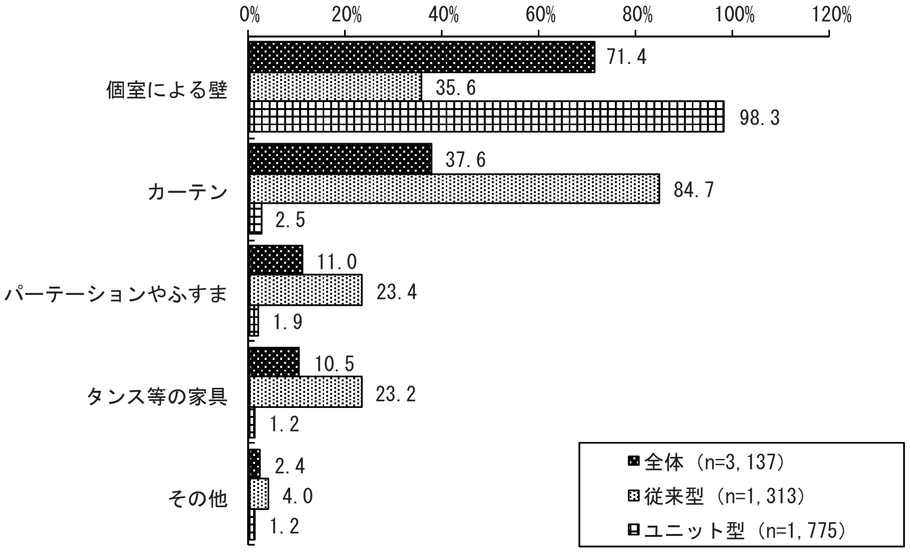


図2-2-⑦-2　他の利用者との仕切り

他の利用者との仕切りは、全体では、「個室による壁」が 71.4％(2,241 施設)と最も多く挙げられており、次いで「カーテン」が 37.6％(1,179 施設)となっている。

従来型では、「カーテン」が 84.7％(1,112 施設)と最も多く挙げられており、次いで「個室による壁」(35.6％(467 施設))、「パーテーションやふすま」(23.4％(307 施設)) となっている。

利用者家族の宿泊場所 ＜選択肢＞ ・　利用者の居室内 ・　施設内の家族室等、利用者の居室とは別の部屋 ・　その他 ・　利用者の家族が宿泊できる場所はない

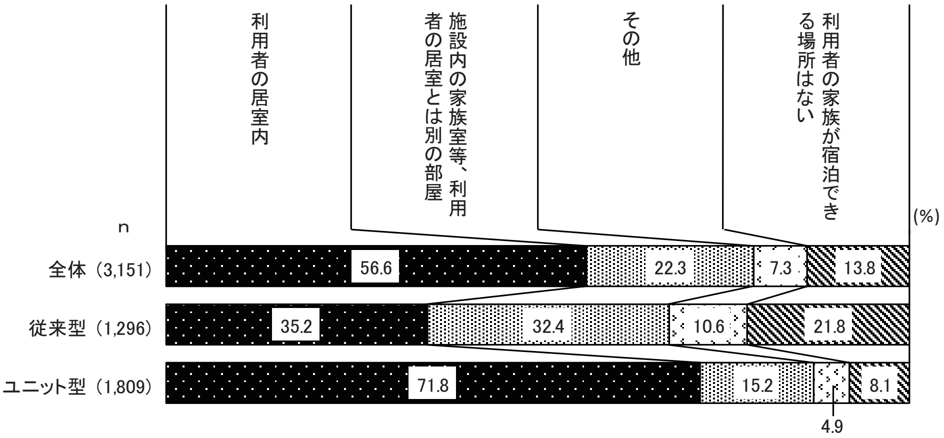


図2-2-⑦-3　利用者家族の宿泊場所

利用者家族の宿泊場所は、全体では、「利用者の居室内」とした施設が 56.6％(1,783 施設)と最も多く、次いで「施設内の家族室等、利用者の居室とは別の部屋」が 22.3％(703 施設)となっているが、「利用者の家族が宿泊できる場所はない」としている施設も 13.8％(435 施設)であった。

施設種別で回答の順位に違いはないが、従来型で「利用者の居室内」とした施設が 35.2％(456 施設）であるのに対し、ユニット型では同回答をした施設は 71.8％(1,299 施設）であった。ただし、従来型で「利用者の居室内」とした施設と「施設内の家族室等、利用者の居室とは別の部屋」とした施設（32.4％(420 施設)）を合わせると 67.6％(876 施設）となり、ユニット型で「利用者の居室内」とした施設の割合と近い数値になることがわかる。

利用者が日中主に過ごしている場所
＜選択肢＞
・　居室
・　共同生活室（リビング・ダイニング等）
・　食堂
・　その他

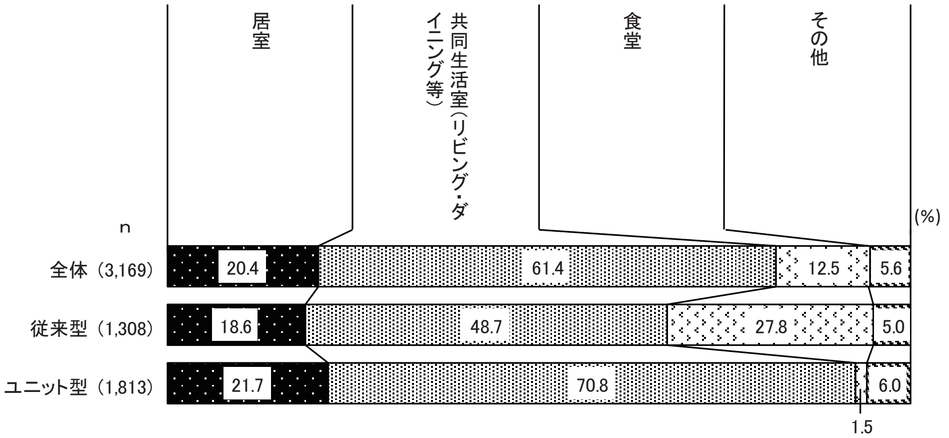


図2-2-⑦-4　利用者が日中主に過ごしている場所

利用者が日中主に過ごしている場所は、全体では、「共同生活室（リビング・ダイニング等）」とした施設が 61.4%(1,947 施設)と最も多く、次いで「居室」(20.4%(648 施設))、「食堂」(12.5%(395 施設)）となっている。

ユニット型では、「共同生活室（リビング・ダイニング等)」とした施設が 70.8%(1,283 施設)であったが、従来型では、「共同生活室（リビング・ダイニング等)」とした施設が 48.7%(637 施設)、「食堂」とした施設が 27.8%(363 施設）と、回答が分かれたことが伺える。「居室」とした施設の割合は、施設種別でみても大きな差はみられなかった。

⑧　施設の理念

施設の理念考え方（複数回答） ＜選択肢＞ ・　全職員に浸透、共有し、施設全体で常に意識すべきものである ・　施設としての目指すべき方向性が示されており、必要と感じている ・　事業計画等の具体的方針があれば、理念はあまり重要でないと考える ・　取り立てて理念について考えることはない ・　その他

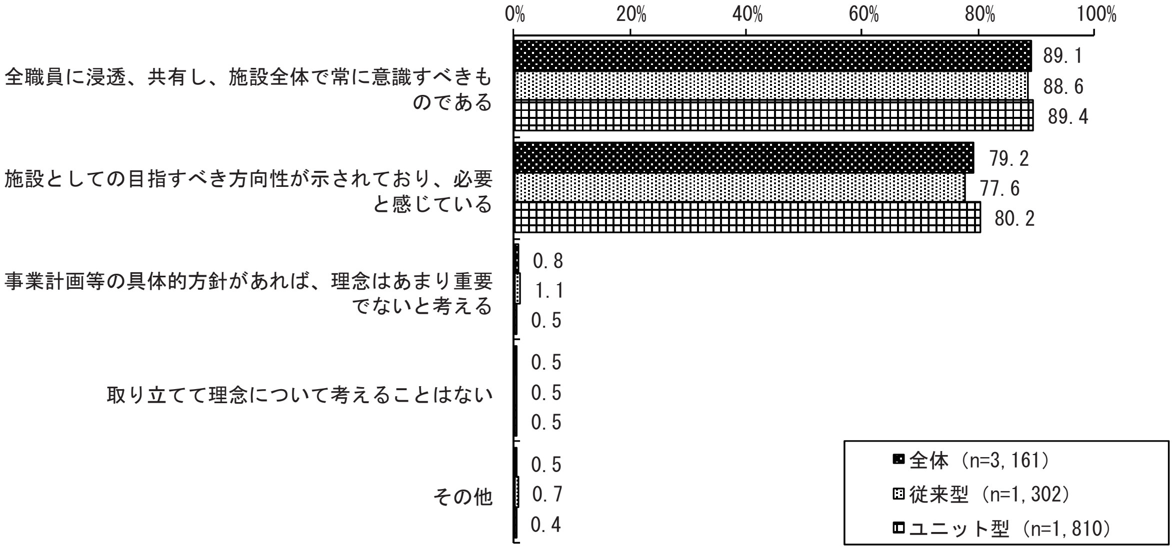


図2-2-⑧-1　施設の理念の考え方

施設の理念の考え方について、全体では、「全職員に浸透、共有し、施設全体で常に意識すべきものである」が 89.1％(2,815 施設)と最も多く挙げられており、次いで「施設としての目指すべき方向性が示されており、必要と感じている」(79.2％(2,502 施設))となっており、ほとんどの施設がこの２つの回答のどちらか又は両方を選択している。

施設の理念の考え方で「全職員に浸透、共有し、施設全体で常に意識すべきものである」「施設としての目指すべき方向性が示されており、必要と感じている」のどちらか又は両方を回答した施設に質問

施設の理念の活用や浸透方法（複数回答）

＜選択肢＞

- 理念は、ケアマニュアルに支援する内容ごとに具体的に落とし込んでいる
- 事業計画の作成や振り返るときに活用している
- 困難事例等の検討時に活用している
- 紙面で職員に配布している
- 施設長室等の役員部屋に掲示している
- 施設内の、利用者や訪問者も見ることができる場所に掲示している
- 家族の会や個別の家族の面談等で説明している
- 地域に説明している
- 特に何もしていない

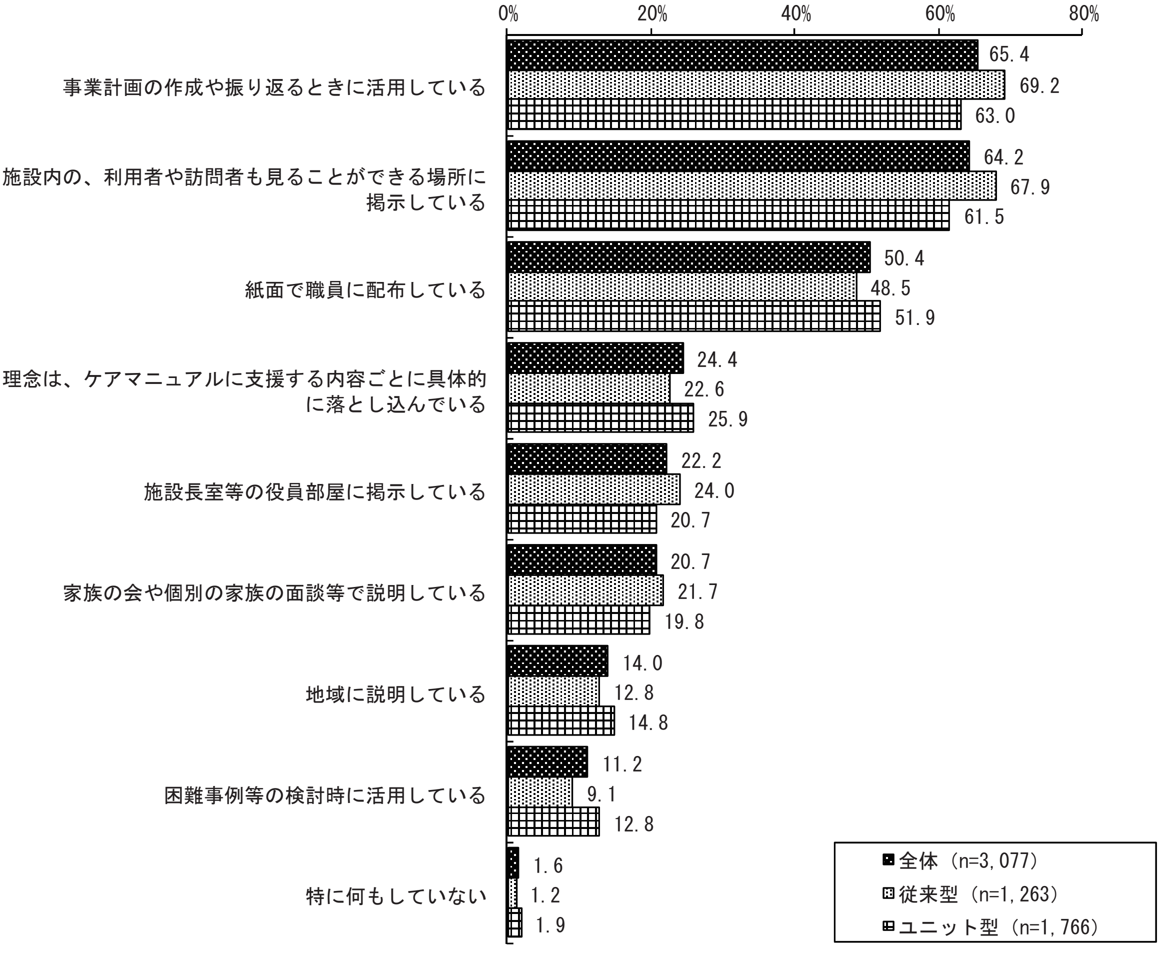


図2-2-⑧-2　施設の理念の活用や浸透方法

施設の理念の活用や浸透方法について、全体では、「事業計画の作成や振り返るときに活用している」（65.4％(2,013 施設)）と「施設内の、利用者や訪問者も見ることができる場所に掲示してい

る」（64.2%（1,974 施設））を挙げた施設割合がともに多く、次いで「紙面で職員に配布している」（50.4%（1,552 施設））となっている。

施設の理念の職員への周知状況
＜選択肢＞
・　よくできている
・　まあまあできている
・　あまりできていない
・　できていない

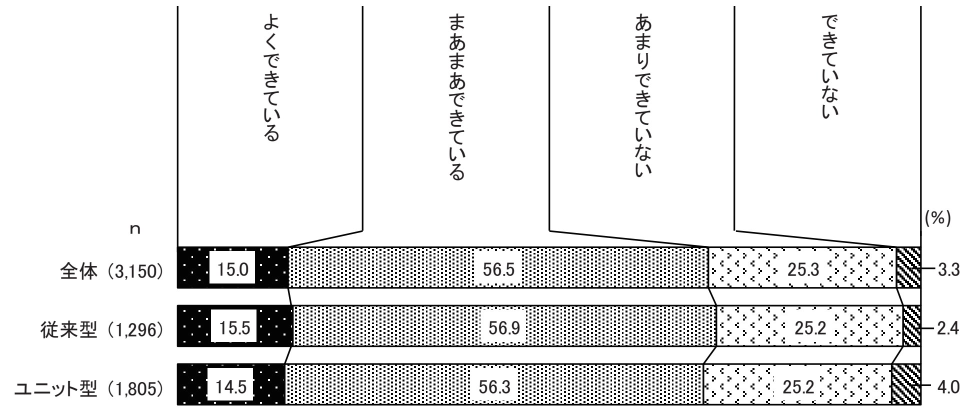


図2-2-⑧-3　施設の理念の職員への周知状況

施設の理念の職員への周知状況は、全体では、「まあまあできている」とした施設が 56.5%（1,780 施設）と最も多かったが、「あまりできていない」とした施設は 25.3%（796 施設）となっており、「よくできている」とした施設は 15.0%（471 施設）に留まっている。

⑨　職員配置

職員が担当する利用者人数
＜選択肢＞
・　10 人以内
・　15 人以内
・　20 人以内
・　25 人以内
・　30 人以内
・　31 人以上

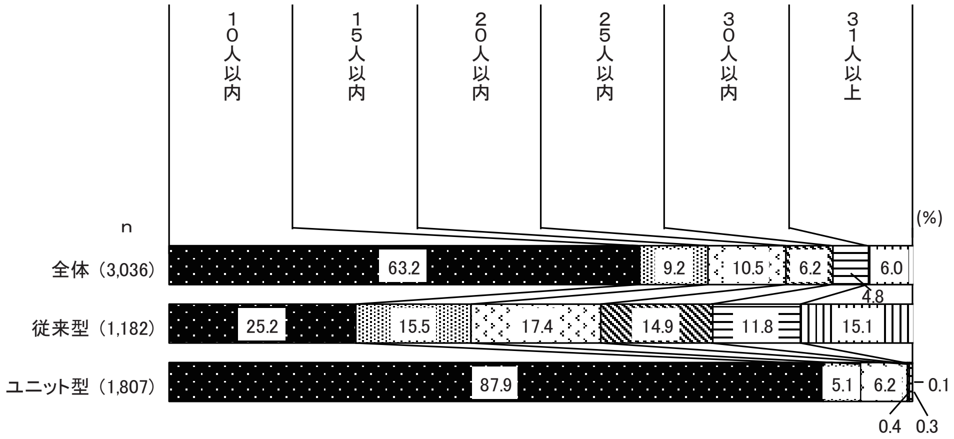


図2-2-⑨-1　職員が担当する利用者人数

職員が担当する利用者（グループ）の平均人数は、全体では、「10 人以内」とした施設が 63.2%(1,920 施設)で最も多く、次いで「20 人以内」が 10.5%(320 施設)、「15 人以内」が 9.2%(279 施設)となっている。

施設種別でみると、従来型では、グループの平均人数「10 人以内」とした施設が 25.2%(298 施設)で最も多く、次いで「20 人以内」が 17.4%(206 施設)となっているが、「31 人以上」も 15.1%(179 施設)となっている。

ユニット型では、グループの平均人数「10 人以内」が 9 割近くを占めている。

職員が担当する利用者の単位の決定要因（複数回答）
＜選択肢＞
- ユニット・グループ単位
- 建物の構造上、ケアしやすい単位
- 少人数ケア体制のほうが個別ケアをしやすいから
- 人手がないから
- 特別考えていない
- その他

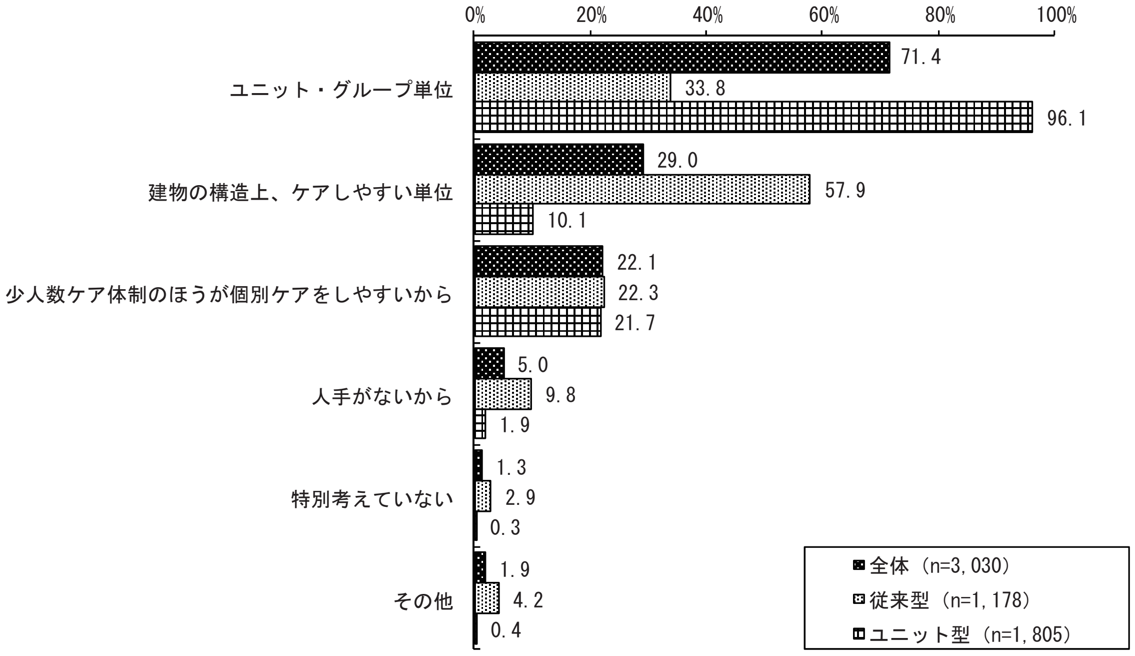


図2-2-⑨-2 職員が担当する利用者の単位の決定要因

職員が担当する利用者（グループ）の単位の決定要因は、全体では、「ユニット・グループ単位」とした施設が 71.4%（2,162 施設）で最も多く、次いで「建物の構造上、ケアしやすい単位」が 29.0%（878 施設）、「少人数ケア体制のほうが個別ケアをしやすいから」が 22.1%（671 施設）となっている。

施設種別でみると、「ユニット・グループ単位」とした施設が、ユニット型では９割を超えるが、従来型では 33.8%（398 施設）にとどまっている。一方、「建物の構造上、ケアしやすい単位」は、従来型では 57.9%（682 施設）が挙げており最も多いが、ユニット型では 10.1%（183 施設）にとどまる。

⑩　勤務表の作成方法

勤務表の主な作成者
＜選択肢＞
・　施設長
・　介護長・課長・主任等の中間管理職
・　ユニットリーダー（グループリーダー）
・　１～３以外の介護職員
・　その他

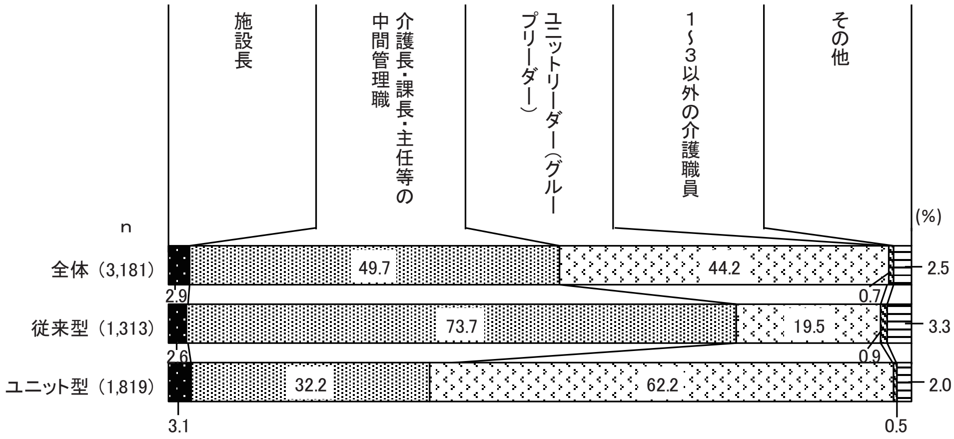


図2-2-⑩-1　勤務表の主な作成者

勤務表の作成者は、全体では、「介護長・課長・主任等の中間管理職」とした施設が 49.7%(1,580 施設)と最も多く、次いで「ユニットリーダー（グループリーダー)」が 44.2%(1,407 施設)となっている。

施設種別にみると、従来型では、「介護長・課長・主任等の中間管理職」が 73.7%(968 施設)と最も多いが、ユニット型では、「ユニットリーダー（グループリーダー)」が 62.2%(1,132 施設)で最も多くなっている。

勤務時間帯の種類
＜選択肢＞
- ４種類（早・遅・日・夜）
- 10 種類以内
- 20 種類以内
- 21 種類以上

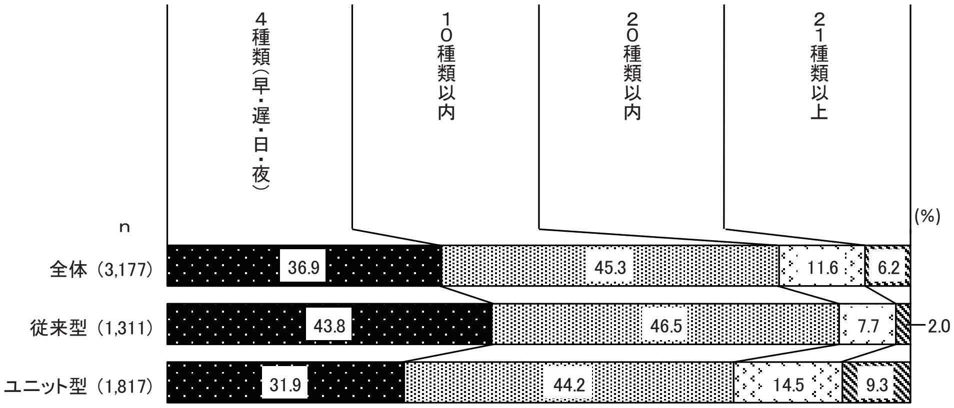


図2-2-⑩-2 勤務時間帯の種類

勤務時間帯の種類は、全体では、勤務時間帯「10 種類以内」とした施設が 45.3%(1,438 施設)で最も多く、次いで「４種類（早・遅・日・夜)」が 36.9%(1,173 施設)、「20 種類以内」が 11.6%(368 施設)となっている。

施設種別でみると、「４種類（早・遅・日・夜)」は、従来型では 43.8%(574 施設)であり、ユニット型では 31.9%(580 施設)にとどまっている。一方で、「21 種類以上」とした施設は、ユニット型で 9.3%(169 施設)であり、従来型（2.0%(26 施設)）の 4.5 倍の割合となっている。

勤務の組み方（複数回答） ＜選択肢＞ ・　早番・日勤・遅番・夜勤の４種類を当てはめて作成している ・　24 時間単位の暮らしのアセスメントを根拠（24H シートの一覧表等）にしたものを使用し、ユニット（グループ）ごとに作成している ・　ユニット（グループ）ごとに、勤務の時間を自由に調整して作成している ・　その他

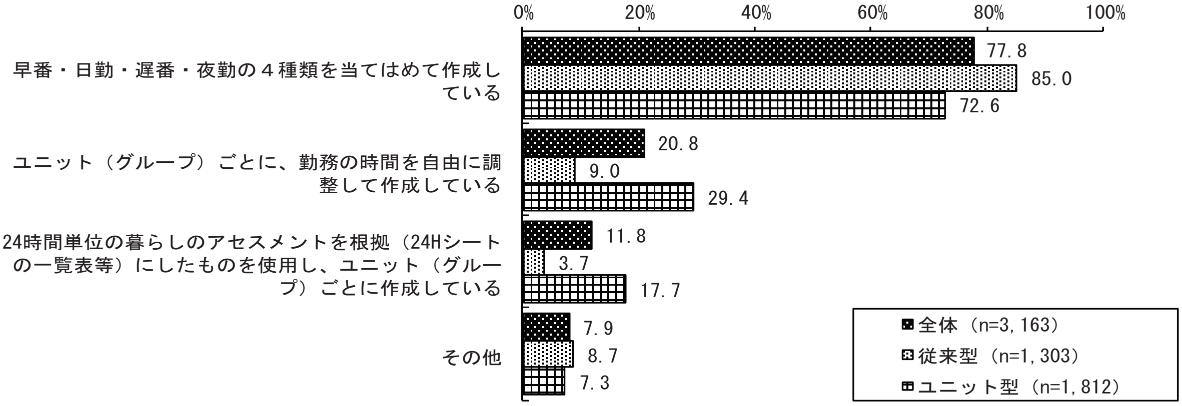


図2-2-⑩-3　勤務の組み方

勤務の組み方は、全体では、「早番・日勤・遅番・夜勤の４種類を当てはめて作成している」を挙げた施設が 77.8％(2,461 施設)と最も多く、次いで「ユニット（グループ）ごとに、勤務の時間を自由に調整して作成している」が 20.8％(658 施設)、「24 時間単位の暮らしのアセスメントを根拠（24H シートの一覧表等）にしたものを使用し、ユニット（グループ）ごとに作成している」が 11.8％(372 施設)となっている。

施設種別でみると、従来型、ユニット型共に７割以上の施設が「早番・日勤・遅番・夜勤の４種類を当てはめて作成している」を挙げている。

⑪　アセスメント

アセスメント最も重視している視点 ＜選択肢＞ ・　日常生活動作（ADL） ・　利用者の１日の暮らし（起床・食事・排泄・入浴等） ・　利用者の抱えている課題 ・　その他

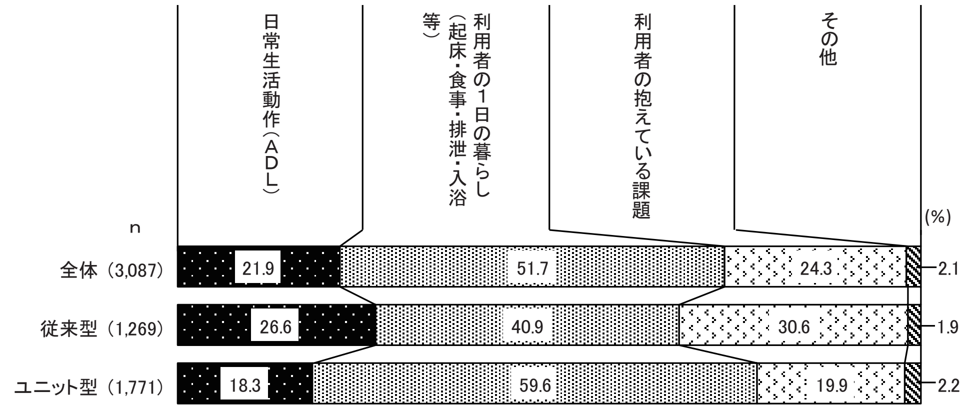


図2-2-⑪-1　アセスメントについて最も重視している視点

アセスメントについて最も重視している視点は、全体では、「利用者の１日の暮らし（起床・食事・排泄・入浴等）」を挙げた施設が 51.7%(1,597 施設)と最も多く、次いで「利用者の抱えている課題」が 24.3%(749 施設)、「日常生活動作（ADL)」が 21.9%(675 施設)となっている。

施設種別で見ると、従来型とユニット型で同じような傾向を示しているが、ユニット型では、「利用者の１日の暮らし（起床・食事・排泄・入浴等)」が約６割と、高い割合を示している。

アセスメントとして活用している様式（複数回答） ＜選択肢＞ ・　包括自立支援プログラム ・　フェイスシート ・　24H シート ・　その他

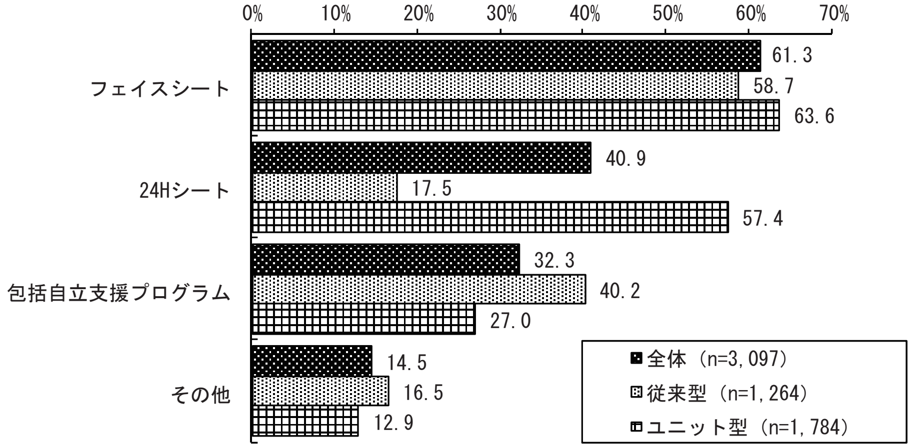


図2-2-⑪-2　アセスメントとして活用している様式

アセスメントの活用様式は、全体では、「フェイスシート」を挙げた施設が 61.3％(1,897 施設)と最も多く、次いで「24H シート」が 40.9％(1,266 施設)、「包括自立支援プログラム」が 32.3％(1,000 施設)となっている。

施設種別でみると、「フェイスシート」は従来型でもユニット型でも１番目に多く挙げられているが、２番目に多く挙げられている回答をみると、従来型では「包括自立支援プログラム」(40.2％)ユニット型では「24H シート」(57.4％）となっている。

アセスメントに関わる職種（複数回答）
＜選択肢＞
・　相談員
・　介護支援専門員
・　看護職員
・　栄養士
・　介護職
・　その他

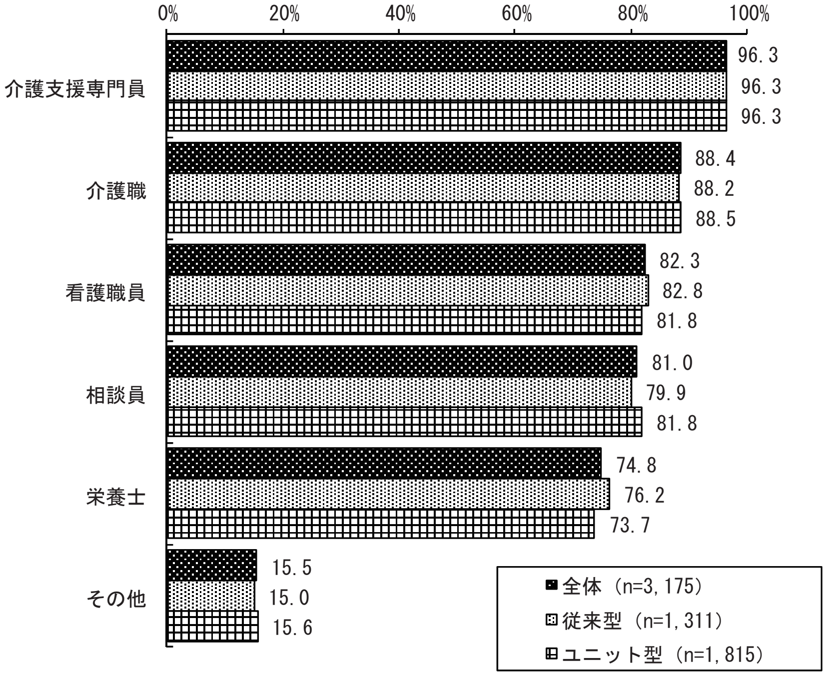


図2-2-⑪-3　アセスメントに関わる職種

アセスメントに関わる職位（複数回答）
＜選択肢＞
・　管理職でない一般の職員
・　介護長・主任等の中間管理職
・　施設長
・　その他

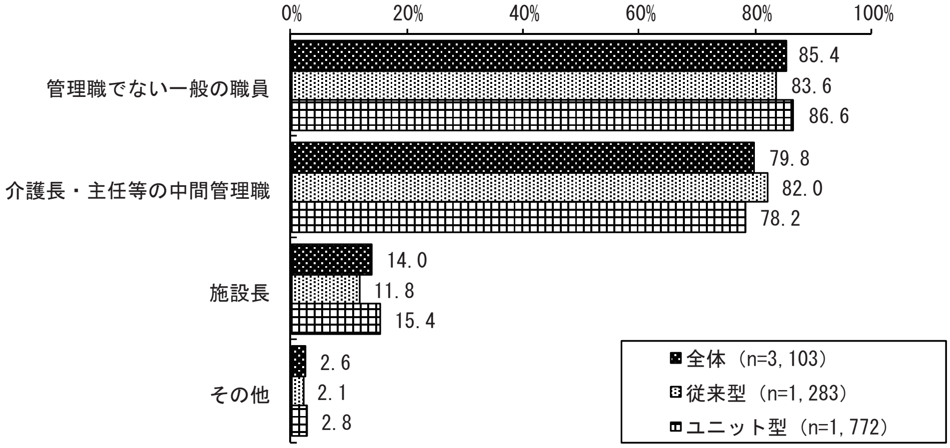


図2-2-⑪-4　アセスメントに関わる職位

アセスメントに関わる職種として、全体では、「介護支援専門員」を挙げた施設が 96.3％(3,059 施設)で最も多く、次いで「介護職」が 88.4％(2,808 施設)、「看護職員」が 82.3％(2,612 施設)となっている。

アセスメントに関わる職位として、全体では、「管理職でない一般の職員」を挙げた施設が 85.4％(2,650 施設)と最も多く、次いで「介護長・主任等の中間管理職」が 79.8％(2,476 施設)、「施設長」が 14.0％(433 施設)となっている。

アセスメントのケアへの活用状況
＜選択肢＞
- 活用されている
- 大体活用されている
- あまり活用されていない
- 活用されていない

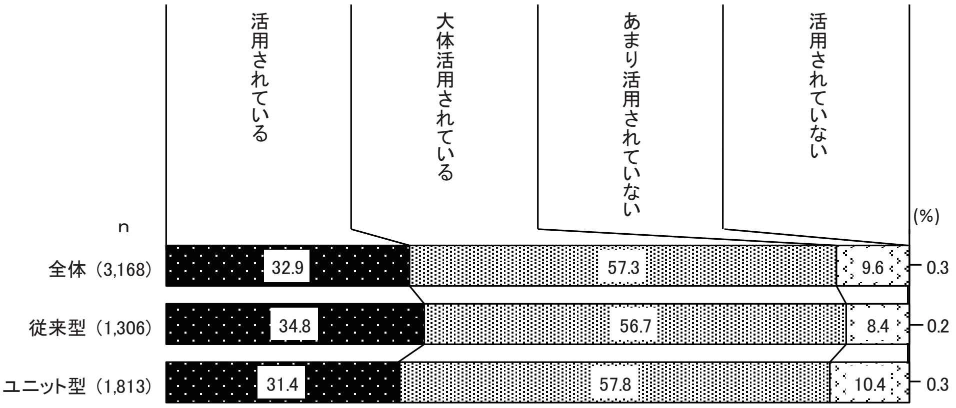


図2-2-⑪-5 アセスメントのケアへの活用状況

アセスメントのケアへの活用状況については、全体では、「大体活用されている」57.3％(1,815 施設）と回答した施設割合と「活用されている」32.9％(1,042 施設）と回答した施設割合を合計すると９割以上であった。

アセスメントの運営への活用（複数回答）
＜選択肢＞
・　勤務表作成
・　人員配置
・　備品の購入
・　施設の安全管理
・　その他

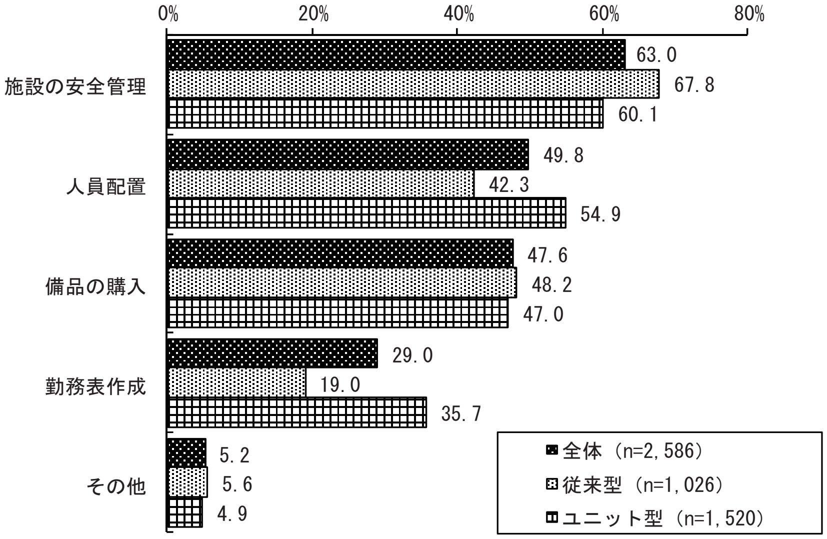


図2-2-⑪-6　アセスメントの運営への活用

アセスメントの運営への活用について、全体では、「施設の安全管理」を挙げた施設が 63.0%(1,630 施設)と最も多く、次いで「人員配置」が 49.8%(1,287 施設)、「備品の購入」が 47.6%(1,231 施設)となっている。

⑫ チームケア（多職種協働）

日常の支援以外でのチームケアの実施状況（複数回答） ＜選択肢＞ ・　利用者のアセスメント作成に関わる ・　利用者のケース検討に関わる ・　記録を一元化（１つの様式に利用者１人に対し多職種で作成）している ・　その他 ・　特に行っていない

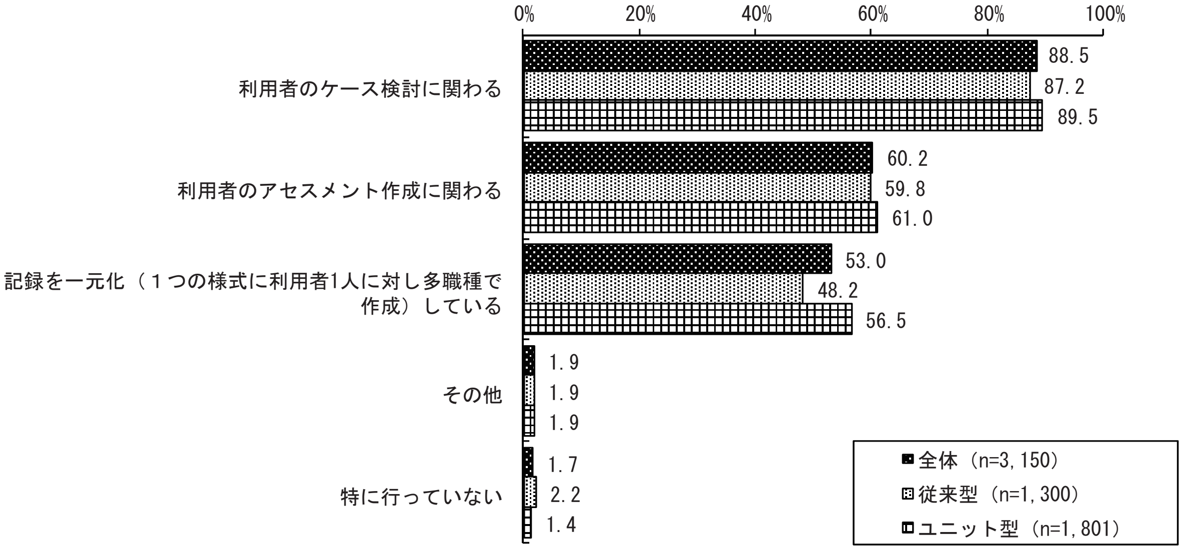


図2-2-⑫-1　日常の支援以外でのチームケアの実践状況

日常の支援以外でのチームケア（多職種協働）の実践状況については、全体では、「利用者のケース検討に関わる」を挙げた施設割合が 88.5％(2,789 施設)で最も多く、次いで「利用者のアセスメント作成に関わる」が 60.2％(1,897 施設)、「記録を一元化（１つの様式に利用者 1 人に対し多職種で作成）している」が 53.0％(1,671 施設)となっている。

チームケアの運営状況 ＜選択肢＞ ・　順調である ・　どちらともいえない ・　順調ではない

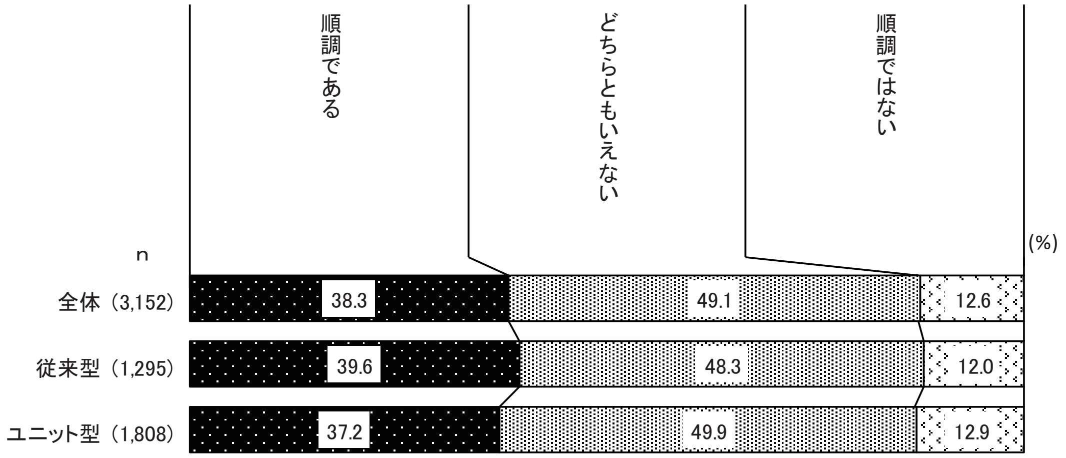


図2-2-⑫-2　チームケアの運営状況

チームケアの運営状況について、全体では、「(順調である、順調ではないの) どちらともいえない」とした施設割合が 49.1％(1,547 施設)で最も多い。

「順調である」と回答した施設割合は 38.3％(1,208 施設)であったが、一方、「順調ではない」と回答した施設割合は 12.6％(397 施設)であった。

チームケアの運営状況で「順調ではない」と回答した施設に質問

チームケアの課題（複数回答）

＜選択肢＞

- 各職種の考え方が統一できていない
- 具体的なチームケアの指標がないので、どうしていいかわからない
- 各職種が具体的に、どのようなことに関わりを持ったらいいかわからない
- 各職種の連携を進める職員がいない
- その他

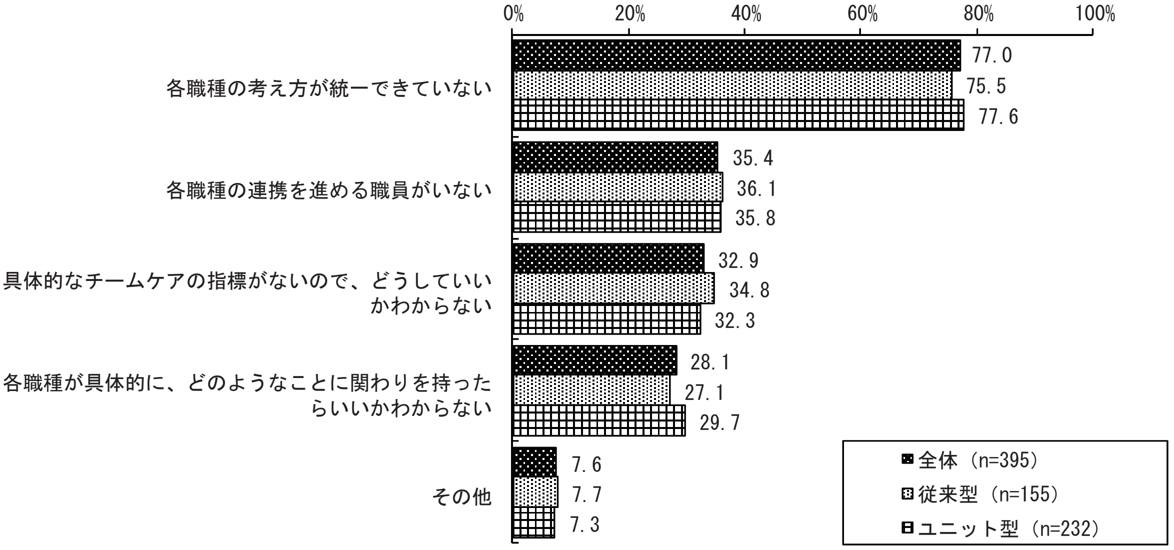


図2-2-⑫-3　チームケアの課題

チームケアの課題について、全体では、「各職種の考え方が統一できていない」を挙げた施設割合が 77.0％(304 施設)で最も多く、次いで「各職種の連携を進める職員がいない」が 35.4％(140 施設)、「具体的なチームケアの指標がないので、どうしていいかわからない」が 32.9％(130 施設)となっている。

⑬　記録

利用者に関する記録の種類（複数回答）
＜選択肢＞
- ケース記録
- 日報
- 利用者の排泄や食事等のチェック表
- 申し送りノート
- その他

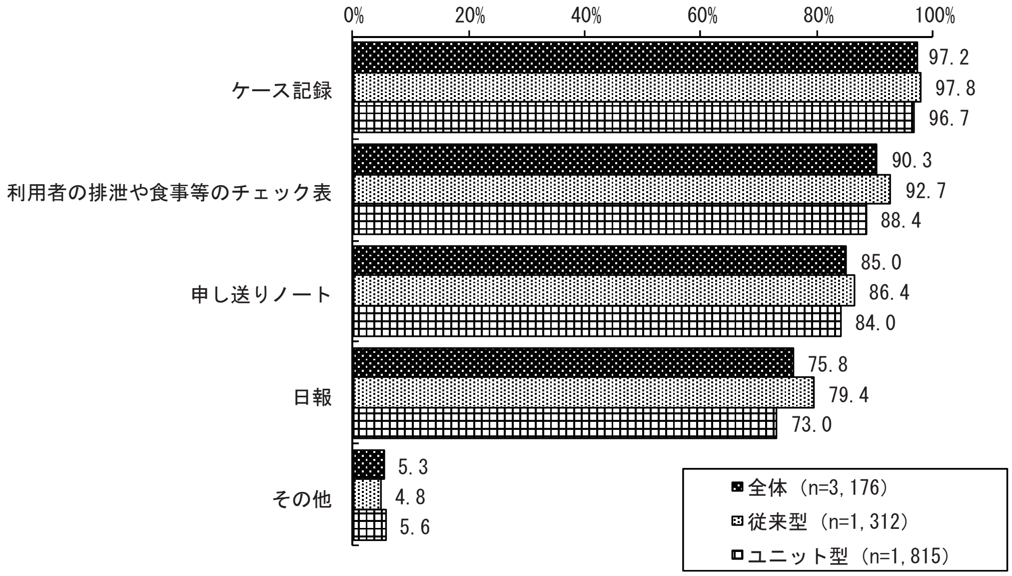


図2-2-⑬-1　利用者に関する記録の種類

利用者に関する記録の種類について、全体では、「ケース記録」を挙げた施設割合が 97.2%(3,086 施設)と最も多く、次いで「利用者の排泄や食事等のチェック表」が 90.3%(2,867 施設)、「申し送りノート」が 85.0%(2,700 施設)となっている。

利用者に関する記録について抱えている課題（複数回答）
＜選択肢＞
- 記録の役割や意義が浸透していない
- 記録に何を書いていいかわからない
- 職種それぞれで行っており、一元化できていない（１人の利用者に対し職種で記録が分かれている）
- 記録に手間や時間がかかりすぎる
- 必要な記録の内容を適切に書けない職員がいる
- （電子的記録を行っている場合）パソコン等の機器が使えず、記録を書けない職員がいる
- その他

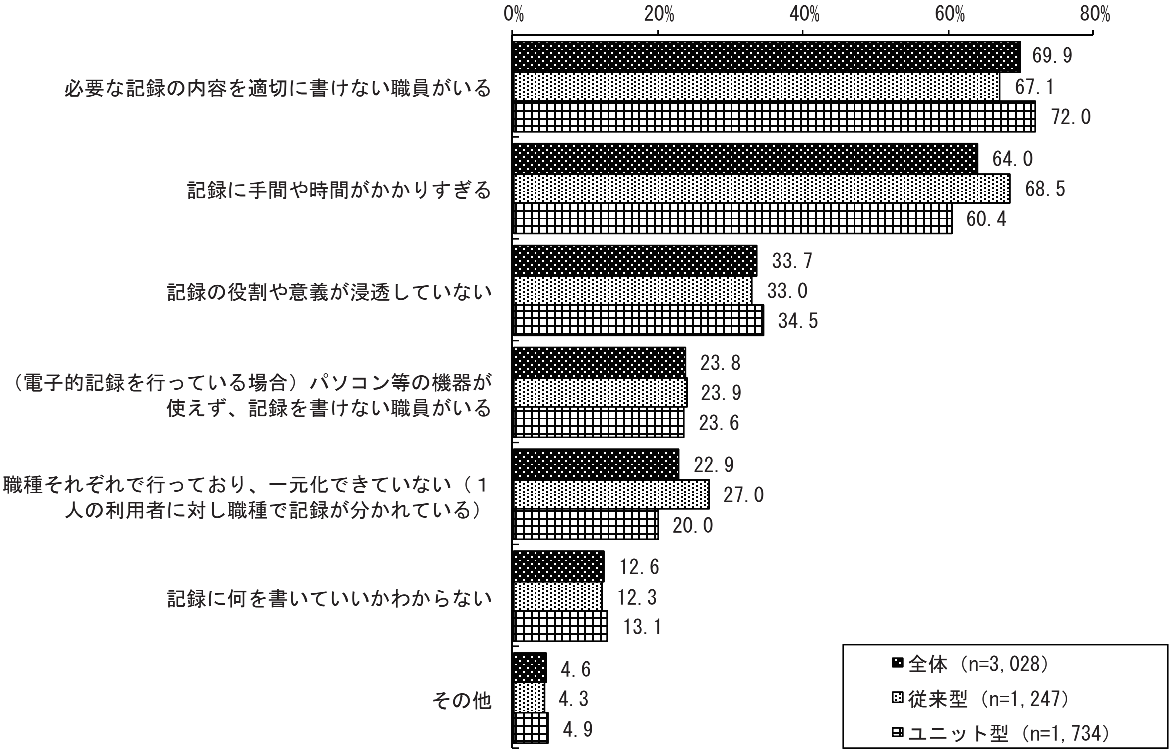


図2-2-⑬-2　利用者に関する記録について抱えている課題

利用者に関する記録について抱えている課題について、全体では、「必要な記録の内容を適切に書けない職員がいる」を挙げた施設割合が 69.9％(2,117 施設)で最も多く、次いで「記録に手間や時間がかかりすぎる」が64.0％(1,938施設)、「記録の役割や意義が浸透していない」が33.7％(1,020施設)となっている。

⑭ 個別ケアの実践

職員への権限移譲（複数回答） ＜選択肢＞ ・ ケアを実践するために必要な経費をユニットやグループ単位で自由に使える仕組み ・ 利用者の暮らしぶりに合わせ、自由に勤務を組むことができる権限 ・ 短時間の外出等を職員の判断で柔軟に行える権限 ・ 職員の異動等の配置換え ・ その他 ・ 特別に権限移譲していることはない

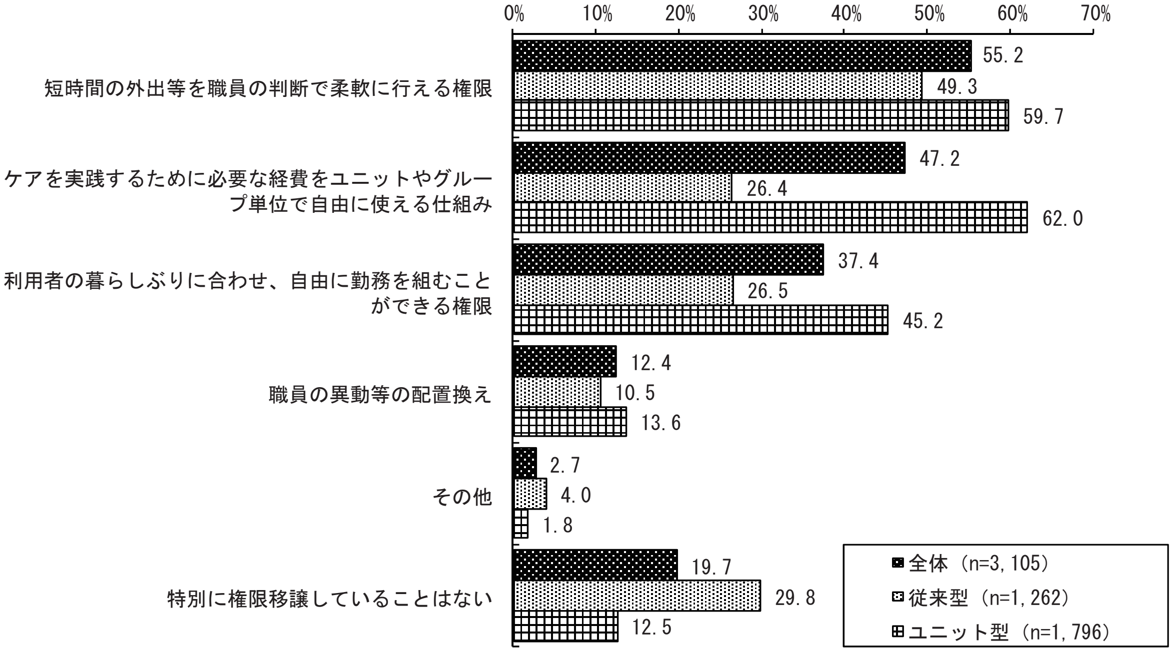


図2-2-⑭-1 職員への権限委譲

職員への権限移譲について、全体では、「短時間の外出等を職員の判断で柔軟に行える権限」を挙げた施設割合が 55.2%(1,715 施設)で最も多く、次いで「ケアを実践するために必要な経費をユニットやグループ単位で自由に使える仕組み」が 47.2%(1,467 施設)、「利用者の暮らしぶりに合わせ、自由に勤務を組むことができる権限」が 37.4%(1,160 施設)となっている。

「特に権限移譲していることはない」と回答した施設は、施設種別でみると、従来型で 29.8%(376 施設）と約３割程度であり、ユニット型では 12.5%（225 施設）となっている。

個別ケアについての考え方（複数回答）
<選択肢>

- 利用者の日常の暮らし（起床、食事、排泄、入浴）の生活パターンを、個人の状態に合わせて支援すること
- 利用者のこれまでの（自宅等での）暮らしやこれからの（施設での）暮らしを考慮しながら、利用者個々の生活リズム（時間）を尊重して支援すること
- 施設で決めた暮らしの時間（起床、食事、排泄、入浴）等において、利用者個々に対応すること
- 利用者が施設で暮らしやすい環境（ハード）を考慮して支援すること
- 利用者の意向や価値観を尊重して支援すること
- 多職種が利用者一人ひとりの暮らしに関わり、コミュニケーションをとって支援していくこと
- その他

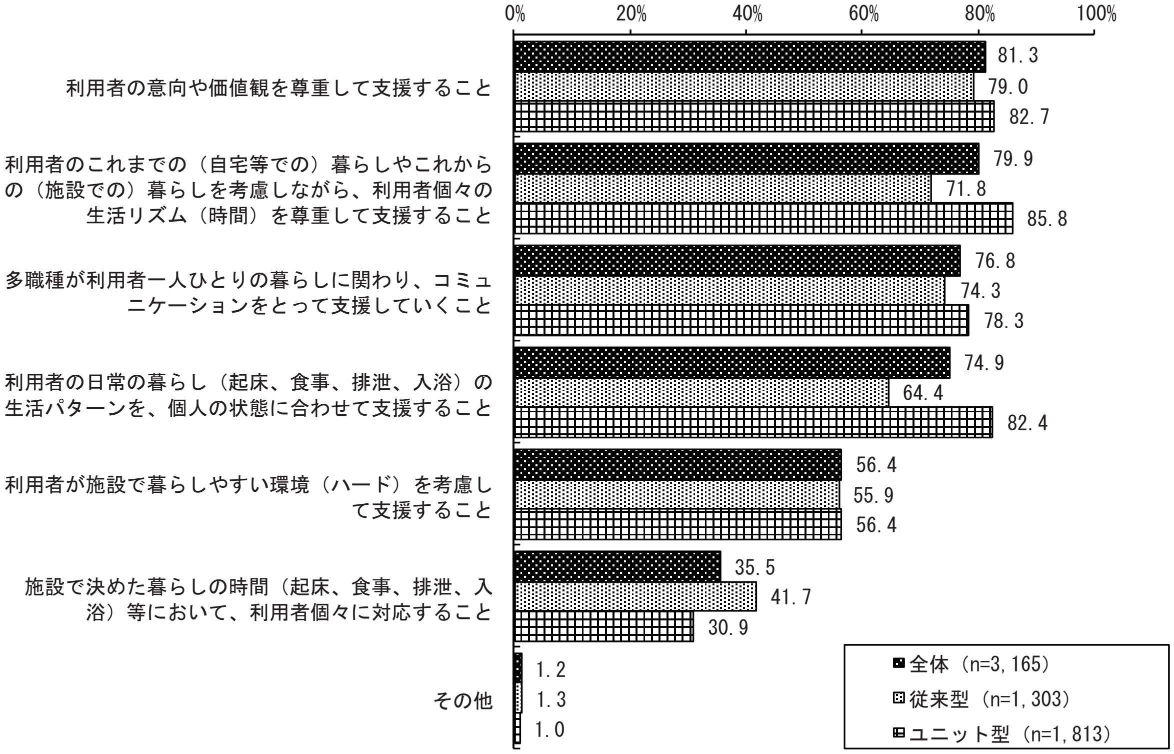


図2-2-⑭-2 個別ケアについての考え方

個別ケアについての考え方について、全体では、「利用者の意向や価値観を尊重して支援すること」を挙げた施設割合が81.3%(2,573施設)で最も高く、次いで「利用者のこれまでの（自宅等での）暮らしやこれからの（施設での）暮らしを考慮しながら、利用者個々の生活リズム（時間）を尊重して支援すること」が 79.9%(2,530 施設)、「多職種が利用者一人ひとりの暮らしに関わり、コミュニケーションをとって支援していくこと」が76.8%(2,430施設)となっている。

施設種別でみると、従来型では「利用者の意向や価値観を尊重して支援すること」を挙げた施設割合が 79%（1,030 施設）と最も多く、ユニット型では、「利用者のこれまでの（自宅等での）暮

らしやこれからの（施設での）暮らしを考慮しながら、利用者個々の生活リズム（時間）を尊重して支援すること」を挙げた施設割合が 85.8%(1,556 施設)と最も多かった。

個別ケアの実践に重要な要素（複数回答）
＜選択肢＞
・　支援の指針や手法を示したガイドライン等の資料
・　利用者の状態や意向に合わせて対応できるような、職員への権限委譲
・　利用者のこれまでの暮らし（生活リズム）を考慮しながら支援すること
・　施設の理念を職員に浸透させること
・　職員一人ひとりの役割を明確にすること
・　その他

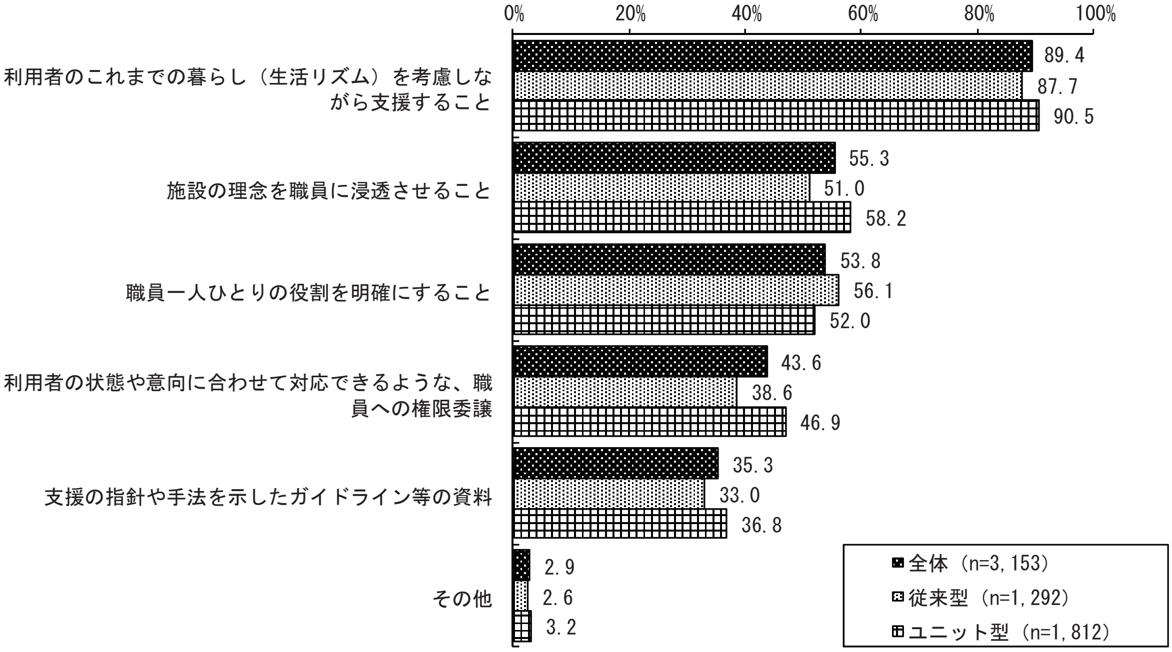


図2-2-⑭-3　個別ケアの実践に重要な要素

個別ケアの実践に重要な要素について、全体では、「利用者のこれまでの暮らし（生活リズム）を考慮しながら支援すること」を挙げた施設割合が 89.4%(2,818 施設)で最も多く、次いで「施設の理念を職員に浸透させること」が 55.3%(1,744 施設)、「職員一人ひとりの役割を明確にすること」が 53.8%(1,697 施設)となっている。

個別ケアの実践の程度
＜選択肢＞
- できている
- 概ねできている
- あまりできていない
- 全くできていない
- わからない

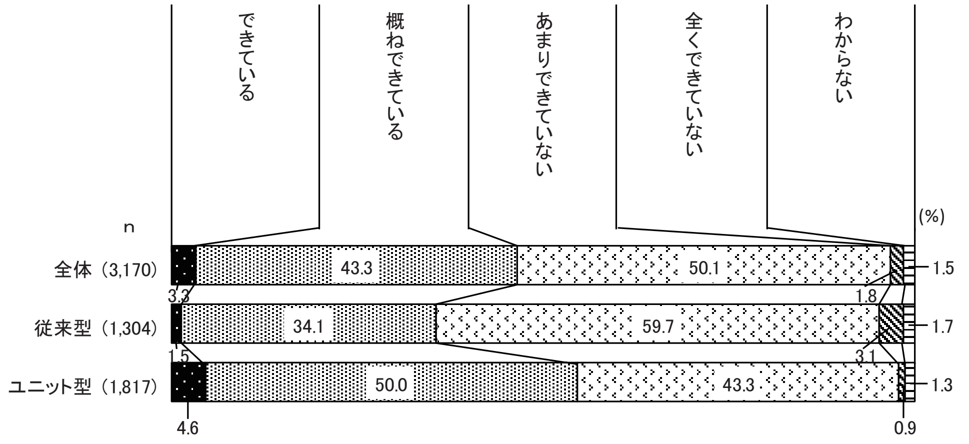


図2-2-⑭-４　個別ケアの実践の程度

個別ケアの実践の程度について、全体では、「できている」と回答した施設割合と、「概ねできている」）と回答した施設割合の合計は、46.6％(1,478 施設)であった。

「できている」と回答した施設割合と、「概ねできている」と回答した施設割合の合計は、ユニット型では過半数の 54.6％(991 施設)となっているが、従来型では 35.6％(464 施設)にとどまる。

個別ケアの実践が「できている」と回答した施設に質問
個別ケアの指導者
＜選択肢＞
・　施設長
・　中間管理職
・　ユニットリーダー（グループリーダー）
・　特別いない

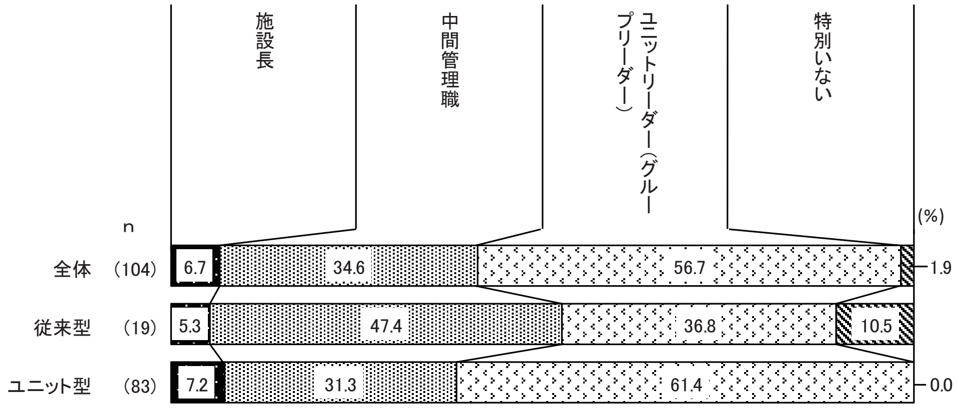


図2-2-⑭-5　個別ケアの指導者

個別ケアの指導者については、全体では、「ユニットリーダー（グループリーダー）」と回答した施設が 56.7％(59 施設)で最も多く、次いで「中間管理職」が 34.6％(36 施設)、「施設長」が 6.7％(７施設)となっている。

個別ケアについて抱えている課題（複数回答）
＜選択肢＞
- 施設や法人に個別ケアの方針がない
- 個別ケアを実施できる人員体制が整わない
- 個別ケアを指導できる職員がいない
- 何から始めていいかわからない
- 職員が個別ケアについて十分理解できていない
- 職員の経験不足
- その他

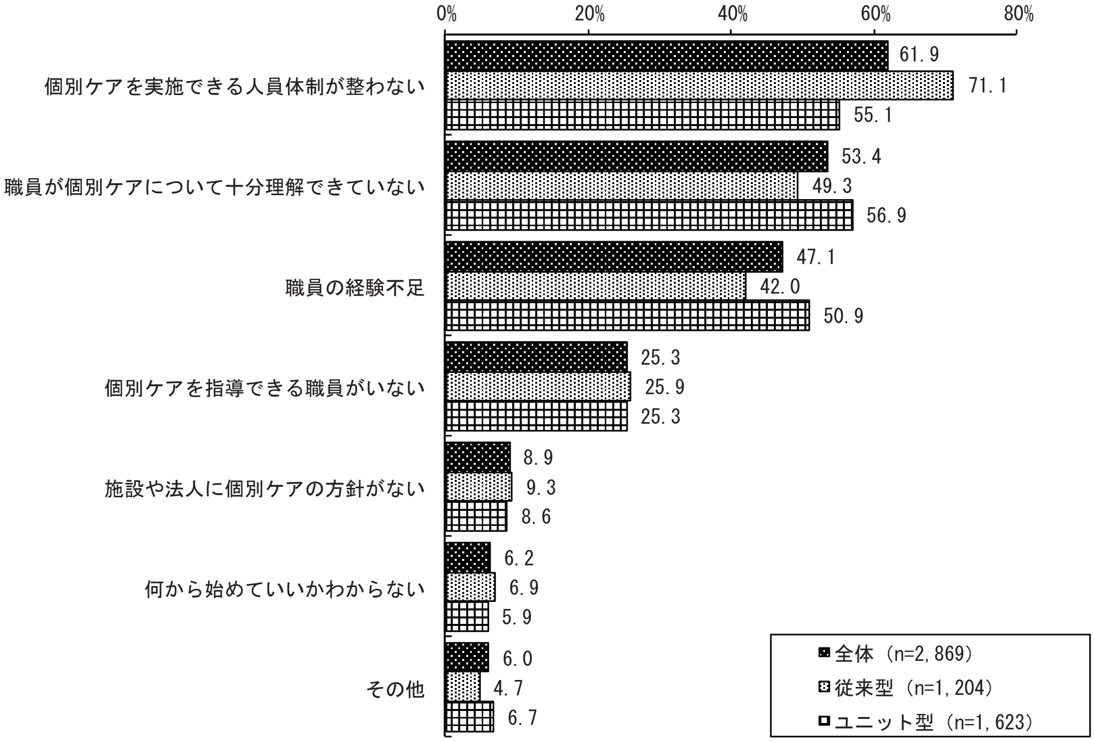


図2-2-⑭-6　個別ケアについて抱えている課題

個別ケアについて抱えている課題について、全体では、「個別ケアを実施できる人員体制が整わない」を挙げた施設割合が 61.9％(1,777 施設)と最も多い。次いで「職員が個別ケアについて十分理解できていない」が 53.4％(1,533 施設)、「職員の経験不足」が 47.1％(1,350 施設)となっている。

施設種別でみると、従来型では、「個別ケアを実施できる人員体制が整わない」を挙げた施設割合が 71.1％(856 施設)で最も多く、

一方、ユニット型では、「職員が個別ケアについて十分理解できていない」（56.9％(923 施設)）、「職員の経験不足」（50.9％(826 施設)）を挙げた施設割合が半数以上であった。

⑮　回答者の属性

ｉ．性別

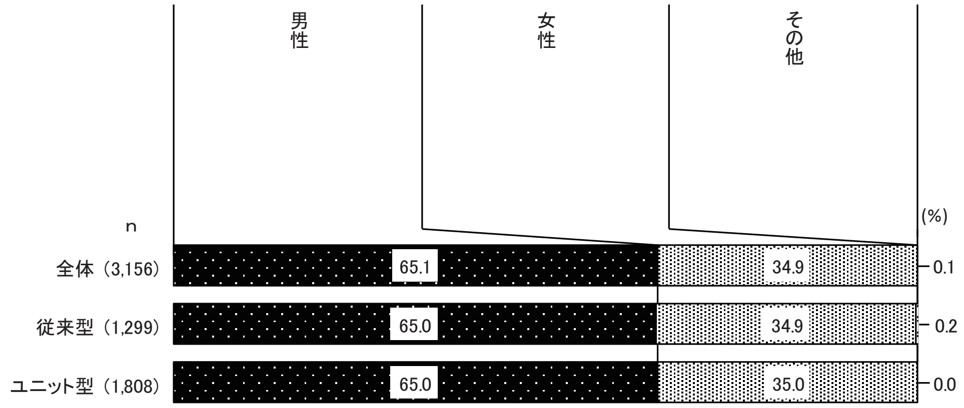


図2-2-⑮-1　性別

ⅱ．性別

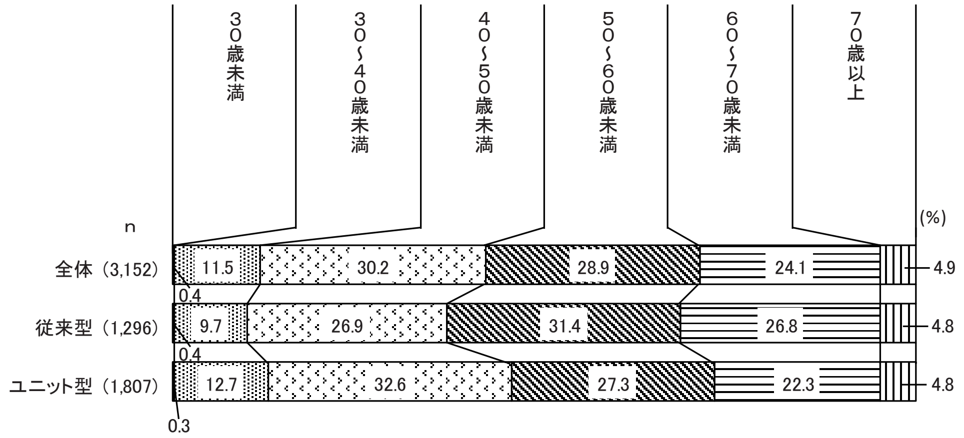


図2-2-⑮-2　年齢

ⅲ．介護業務の経験年数

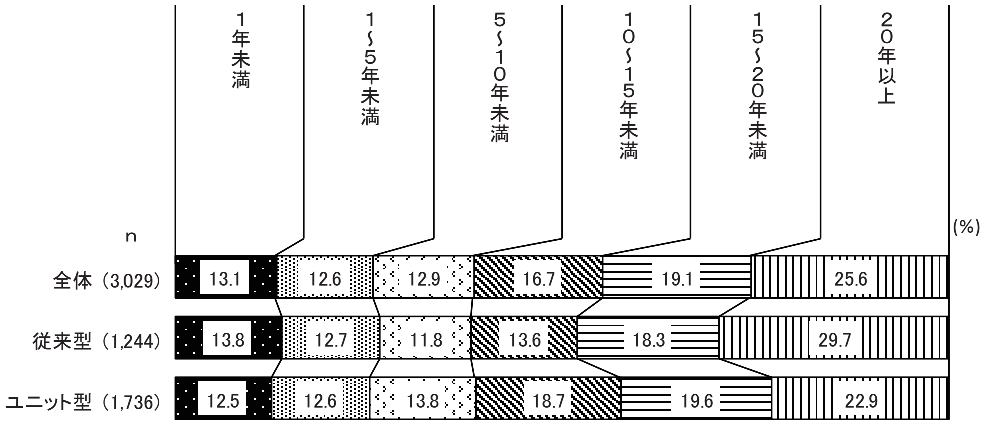


図2-2-⑮-3　介護業務の経験年数

ⅳ．施設長としての経験年数

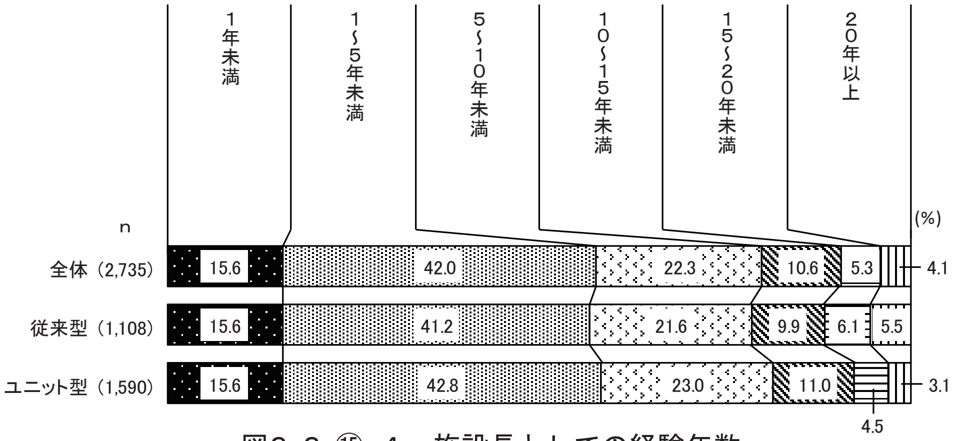


図2-2-⑮-４　施設長としての経験年数

3章

施設の状況と
個別ケアの実践に関する考察

３章　施設の状況と個別ケアの実践に関する考察

本章では、２章の結果をもとに、施設での個別ケアの考え方や課題との関係性をみていく。
施設での個別ケアの実践の程度に関する回答に他の項目とのクロス集計を行い分析した。

１．職員配置と個別ケアの関係

①　人員配置×個別ケアの実践程度

（%）

	n	1.6未満：1	1.6～1.8未満：1	1.8～2.0未満：1	2.0～2.2未満：1	2.2～2.4未満：1	2.4～2.6未満：1	2.6～2.8未満：1	2.8以上：1	平均人員配置
従来型	1,061	1.5	4.1	9.4	17.3	20.5	20.9	10.0	16.2	2.36
できている	17	－	11.8	5.9	23.5	11.8	23.5	5.9	17.6	2.40
概ねできている	359	2.8	5.0	12.3	21.4	19.2	19.2	8.1	12.0	2.28
あまりできていない	623	1.0	3.7	8.5	15.2	21.0	21.3	11.4	17.8	2.39
全くできていない	30	－	－	－	6.7	20.0	36.7	13.3	23.3	2.54
ユニット型	1,517	14.7	25.7	25.9	17.1	5.3	4.0	1.6	5.7	1.90
できている	75	20.0	32.0	25.3	10.7	4.0	1.3	1.3	5.3	1.80
概ねできている	759	15.0	29.0	27.5	14.6	4.6	3.4	1.4	4.3	1.86
あまりできていない	649	13.6	21.1	24.2	20.8	6.2	4.9	1.8	7.4	1.95
全くできていない	10	10.0	－	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	2.15

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－１－①－１　人員配置×個別ケアの実践程度

従来型とユニット型の平均人員配置（１人の職員が担当する利用者の平均人数）と個別ケアの実践の程度を比較すると、個別ケアが「できている」と回答した施設の平均人員配置は、従来型で 2.36：1、ユニット型で 1.90：1 と、0.46：1 の差が生じた。また、従来型とユニット型で、それぞれ個別ケアの実践が「できている」から「全くできていない」までの平均値を比較すると、従来型（0.26）、ユニット型（0.35）とそれぞれその差は小さい。

② 人員配置×個別ケアについて抱えている課題

（%）

		n	1.6未満：1	1.6～1.8未満：1	1.8～2.0未満：1	2.0～2.2未満：1	2.2～2.4未満：1	2.4～2.6未満：1	2.6～2.8未満：1	2.8以上：1	平均人員配置
従来型		1,061	1.5	4.1	9.4	17.3	20.5	20.9	10.0	16.2	2.36
	施設や法人に個別ケアの方針がない	87	1.1	4.6	5.7	14.9	20.7	20.7	13.8	18.4	2.43
	個別ケアを実施できる人員体制が整わない	679	0.6	3.2	9.6	15.2	21.1	21.5	12.7	16.2	2.39
	個別ケアを指導できる職員がいない	250	1.2	3.2	11.6	14.0	20.8	21.2	10.4	17.6	2.39
	何から始めていいかわからない	64	－	1.6	7.8	17.2	26.6	23.4	9.4	14.1	2.39
	職員が個別ケアについて十分理解できていない	484	1.4	5.8	10.1	17.6	19.2	20.0	9.7	16.1	2.34
	職員の経験不足	407	2.5	3.9	7.4	20.4	18.7	19.2	9.6	18.4	2.37
	その他	49	2.0	4.1	16.3	14.3	22.4	16.3	8.2	16.3	2.33
ユニット型		1,517	14.7	25.7	25.9	17.1	5.3	4.0	1.6	5.7	1.90
	施設や法人に個別ケアの方針がない	109	11.0	22.0	24.8	19.3	8.3	4.6	1.8	8.3	1.98
	個別ケアを実施できる人員体制が整わない	744	12.8	22.8	23.8	18.5	7.0	4.8	2.6	7.7	1.96
	個別ケアを指導できる職員がいない	336	11.3	24.7	24.1	20.5	6.8	5.7	1.5	5.4	1.93
	何から始めていいかわからない	69	17.4	18.8	21.7	15.9	7.2	5.8	2.9	10.1	1.97
	職員が個別ケアについて十分理解できていない	772	15.5	25.0	24.5	18.4	5.2	3.8	2.1	5.6	1.89
	職員の経験不足	681	16.2	23.3	25.7	16.4	5.0	5.0	2.3	6.0	1.91
	その他	93	9.7	40.9	33.3	8.6	1.1	1.1	－	5.4	1.80

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－１－②－１　人員配置×個別ケアについて抱えている課題

従来型とユニット型で、個別ケアについて抱えている課題に対する平均人員配置の分布に大きな差は認められない。「個別ケアを実施できる人員体制が整わない」を挙げた施設をみると、従来型では、平均人員配置「2.4～2.6 未満」（21.5%）と「2.2～2.4 未満」（21.1%）が高く、ユニット型では、「1.8～2.0 未満」（23.3%）が高かった。

③　個別ケアの実践程度×職員が担当する利用者人数

（%）

	n	できている	概ねできている	あまりできていない	全くできていない	わからない
従来型	1,304	1.5	34.1	59.7	3.1	1.7
10人以内	296	2.7	38.9	55.1	1.7	1.7
15人以内	181	1.7	39.8	53.6	1.7	3.3
20人以内	205	1.0	43.9	51.7	2.0	1.5
25人以内	174	0.6	30.5	64.9	3.4	0.6
30人以内	139	2.2	26.6	63.3	5.8	2.2
31人以上	178	0.6	23.0	72.5	3.4	0.6
ユニット型	1,817	4.6	50.0	43.3	0.9	1.3
10人以内	1,585	4.5	51.2	42.3	1.0	0.9
15人以内	92	8.7	40.2	46.7	−	4.3
20人以内	111	2.7	41.4	51.4	0.9	3.6
25人以内	8	−	50.0	50.0	−	−
30人以内	5	−	40.0	60.0	−	−
31人以上	2	−	−	100.0	−	−

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－１－③－１　個別ケアの実践程度×職員が担当する利用者人数

従来型では、職員が担当する利用者人数に関わらず個別ケアが「あまりできていない」と回答した施設が多く、グルーピングによる差は認められない。

ユニット型では、個別ケアが「概ねできている」と回答した施設の 51.2%は、職員が担当する利用者人数を「10 人以内」と回答している。

④　勤務時間帯の種類×個別ケアの実践程度

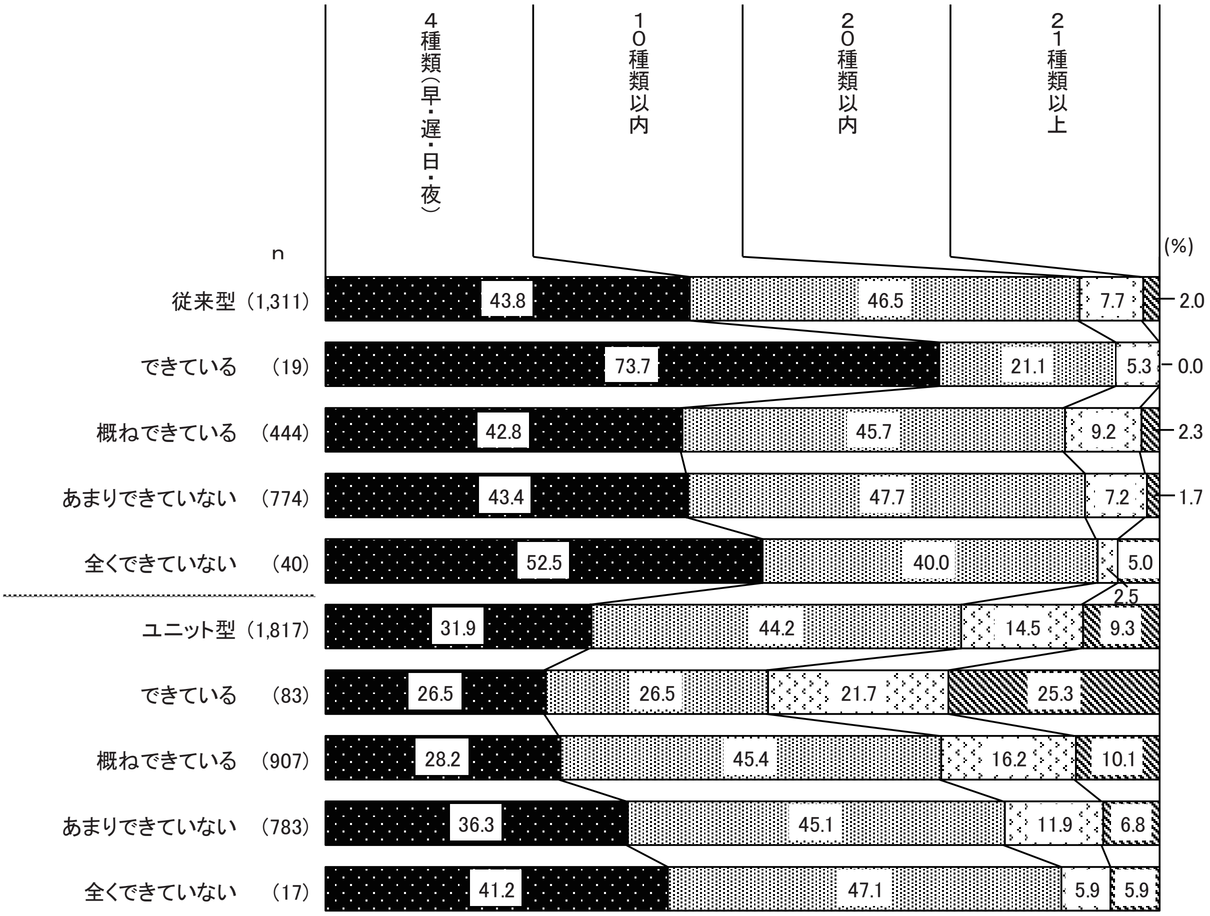


図３－１－④－１　勤務時間帯の種類×個別ケアの実践程度

従来型では、個別ケアが「できている」と回答した施設では、勤務時間帯の種類「4 種類」が 73.7%、「10 種類以内」が 21.1%となっており、「概ねできている」と回答した施設では、「4 種類」が 42.8%、「10 種類以内」が 45.7%となっており、ユニット型では、個別ケアが「できている」と回答した施設では、勤務時間帯の種類「4 種類」が 26.5%、「10 種類以内」が 26.5%、「21 種類以上」が 25.3%、「20 種類以内」が 21.7%と回答が分かれている。

2．利用者の状態像との関係

①　平均要介護度×個別ケアの実践程度

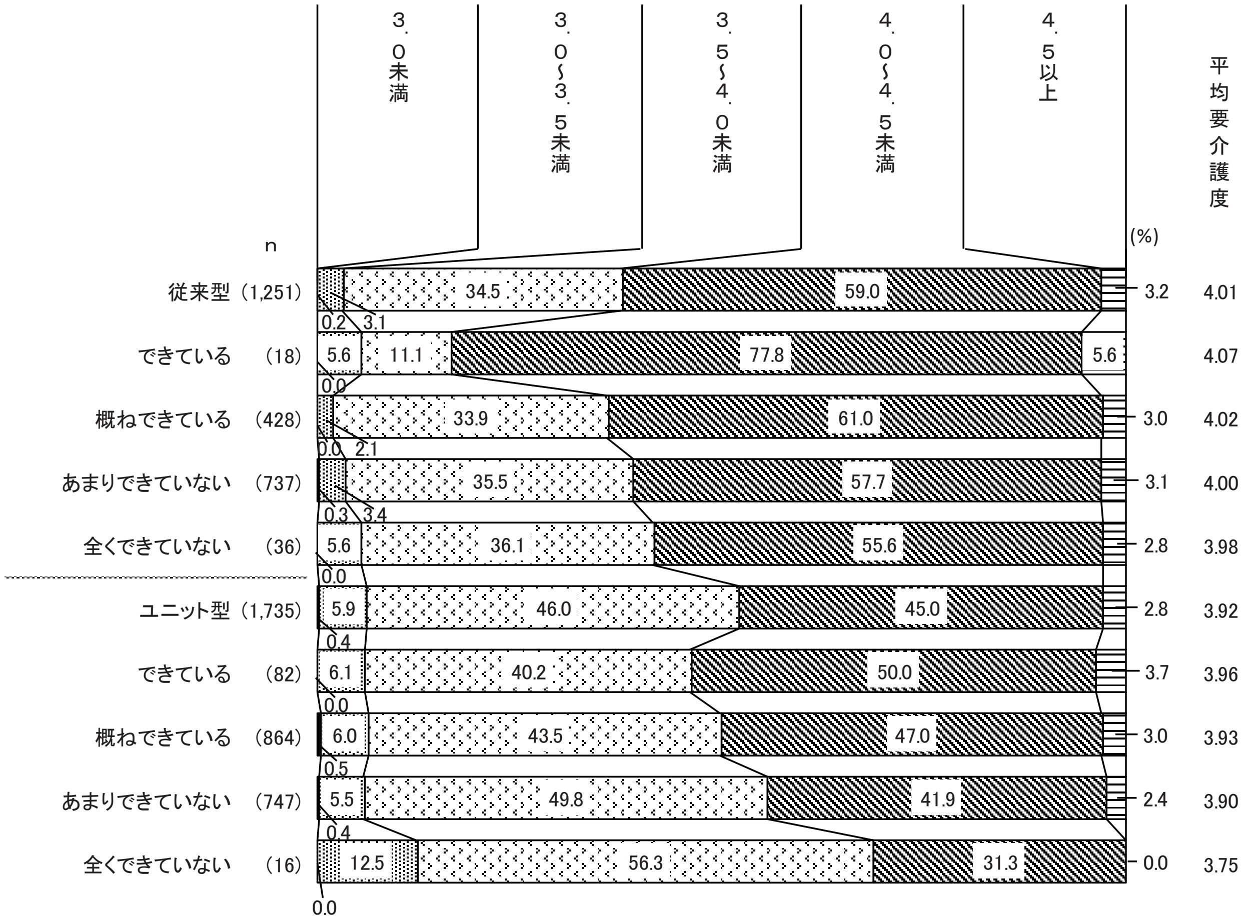


図３－２－①－１　平均要介護度×個別ケアの実践程度

従来型とユニット型共に、個別ケアが「あまりできていない」「全くできていない」と回答した施設のほうが、「できている」「概ねできている」と回答した施設よりも平均要介護度が低い施設が多いことが伺える。また、個別ケアの実践程度で平均要介護度の区分を比較すると、「あまりできていない」「全くできていない」と回答した施設ほど平均要介護度「3.5～4.0 未満」の比率が高くなっている。

②　平均要介護度×個別ケアについて抱えている課題

（%）

	n	3.0未満	3.0～3.5未満	3.5～4.0未満	4.0～4.5未満	4.5以上	平均要介護度
従来型	1,251	0.2	3.1	34.5	59.0	3.2	4.01
施設や法人に個別ケアの方針がない	107	−	2.8	32.7	62.6	1.9	4.03
個別ケアを実施できる人員体制が整わない	816	0.1	3.6	34.2	59.6	2.6	4.00
個別ケアを指導できる職員がいない	293	0.3	4.1	38.2	55.3	2.0	3.97
何から始めていいかわからない	80	−	5.0	36.3	56.3	2.5	3.99
職員が個別ケアについて十分理解できていない	566	−	3.2	38.2	55.8	2.8	4.00
職員の経験不足	483	0.2	4.6	34.0	58.4	2.9	3.99
その他	53	−	1.9	30.2	64.2	3.8	4.07
ユニット型	1,735	0.4	5.9	46.0	45.0	2.8	3.92
施設や法人に個別ケアの方針がない	130	1.5	5.4	56.9	35.4	0.8	3.84
個別ケアを実施できる人員体制が整わない	864	0.7	5.8	46.3	44.6	2.7	3.91
個別ケアを指導できる職員がいない	389	1.0	6.9	51.7	39.1	1.3	3.86
何から始めていいかわからない	90	−	6.7	42.2	47.8	3.3	3.91
職員が個別ケアについて十分理解できていない	883	0.5	6.3	47.1	43.8	2.3	3.90
職員の経験不足	788	0.4	6.0	47.2	43.5	2.9	3.91
その他	104	−	1.0	41.3	52.9	4.8	3.98

■は各項目で最も高い数値

図３－２－②－１　平均要介護度×個別ケアについて抱えている課題

従来型では、個別ケアについて抱えている課題のどの選択肢に対しても、平均要介護度「4.0～4.5未満」が半数以上を占めた。ユニット型では、個別ケアについて抱えている課題のどの選択肢に対しても、平均要介護度「3.5～4.0未満」の施設が多く、次に「4.0～4.5未満」となっている。
従来型とユニット型共に個別ケアについて抱えている課題に対しての平均要介護度は、分布に差は認められなかった。

３．実際の支援方法と個別ケアの関係

①　起床支援の方法についての考え方（方針）（施設が「望ましい」とするもの）×個別ケアの実践程度

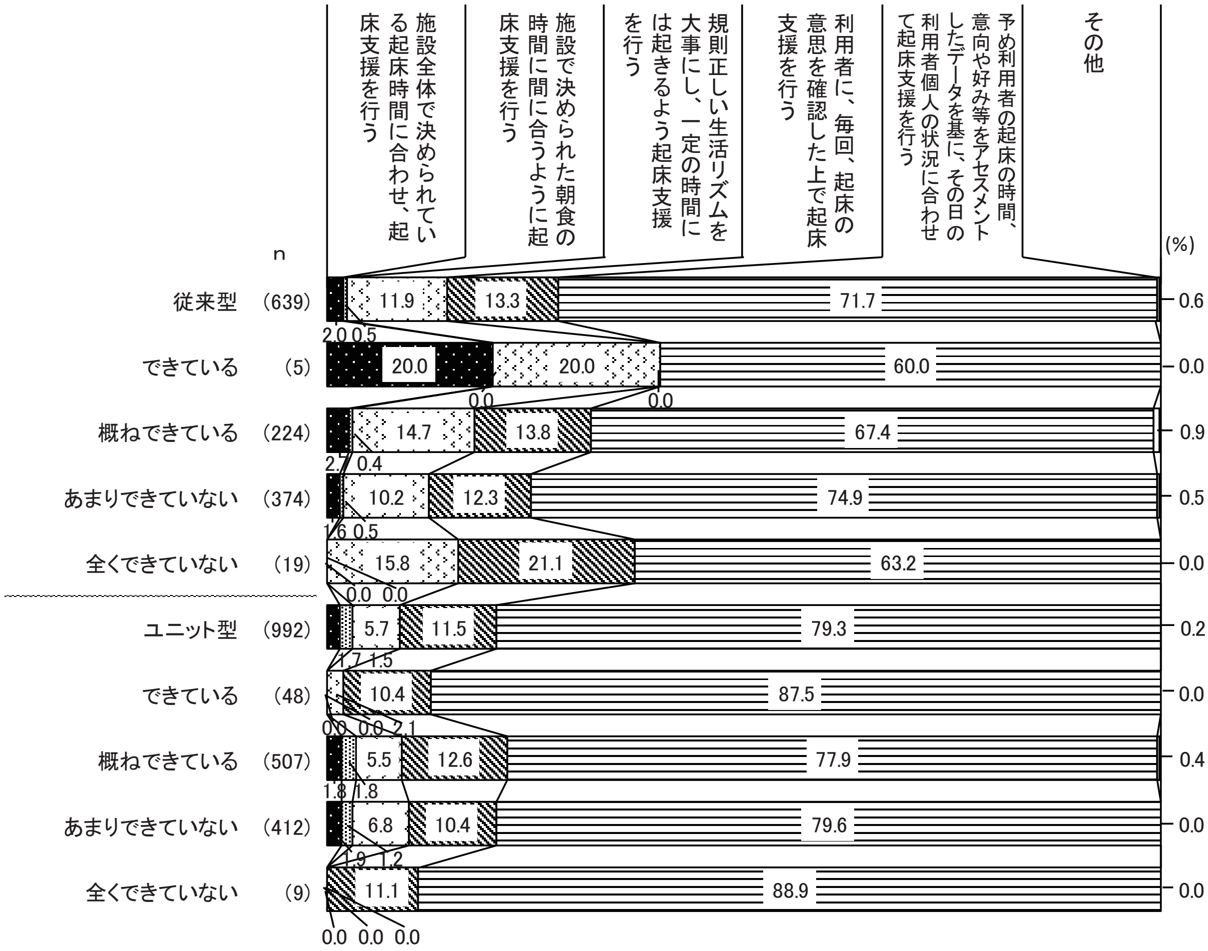


図３−３−①−１　起床支援の方法（望ましい）×個別ケアの実践程度

② 実際に行っている起床支援の方法×個別ケアの実践程度

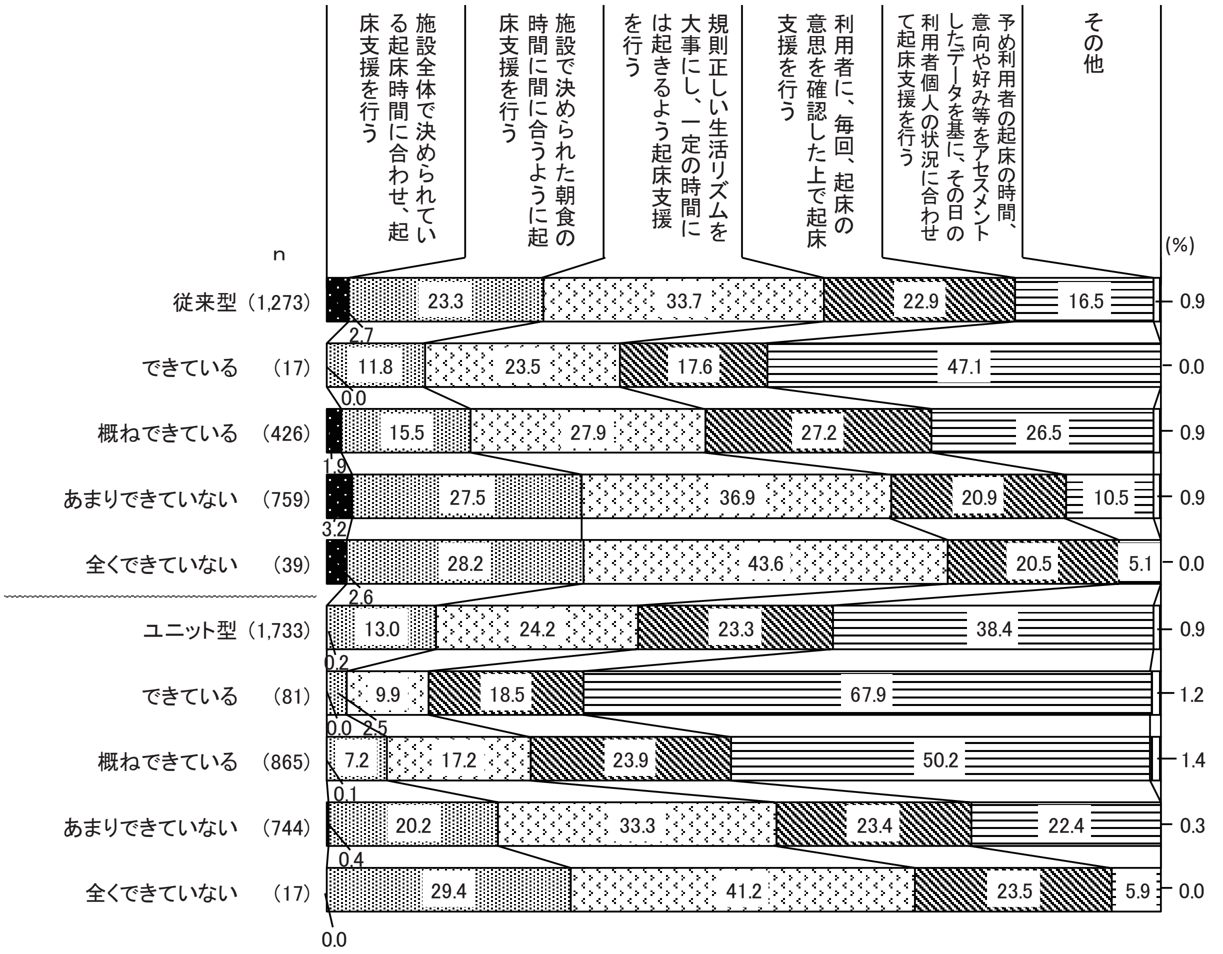


図３－３－②－１　実際に行っている起床支援の方法×個別ケアの実践程度

図３－３－①－１で示す通り、起床支援に対して施設が「望ましい」とする考え方について、「予め利用者の起床の時間、意向や好みの時間等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う」と回答した施設割合は、施設種別と個別ケアの実践程度に関係なく高くなっている。

図３－３－②－１で示す通り、実際に行っている起床支援で、「予め利用者の起床の時間、意向や好みの時間等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う」と回答した施設は、従来型で個別ケアが「できている」と回答した施設のうち 47.1％と、ユニット型で「できている」と回答した施設のうち 67.9％と、高い数値を示しており、「望ましい」と考える方法を実践している施設が多いことが伺える。

③　排泄支援の方法についての考え方（方針）（施設が「望ましい」とするもの）×個別ケアの実践程度

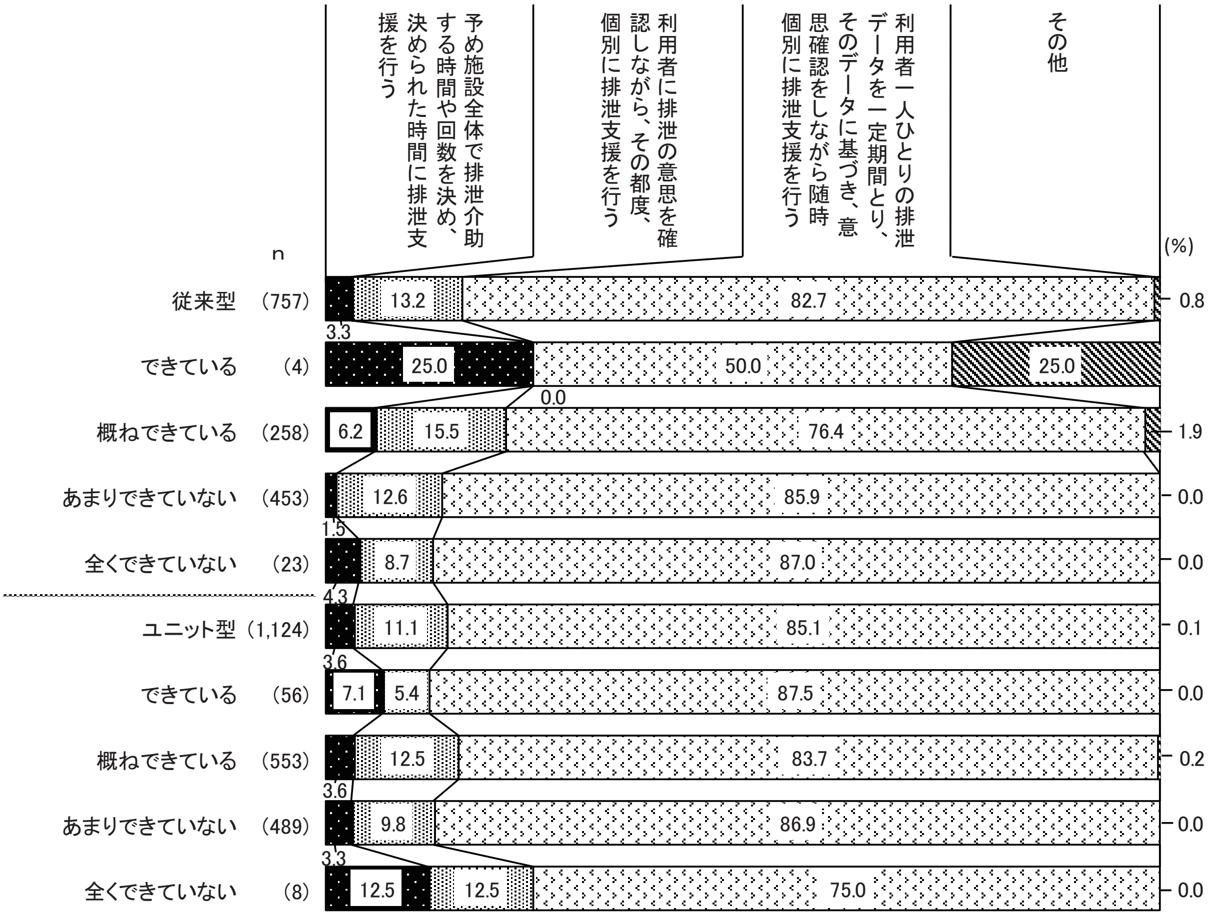


図３−３−③−１　排泄支援の方法（望ましい）×個別ケアの実践程度

④　実際に行っている排泄支援の方法×個別ケアの実践程度

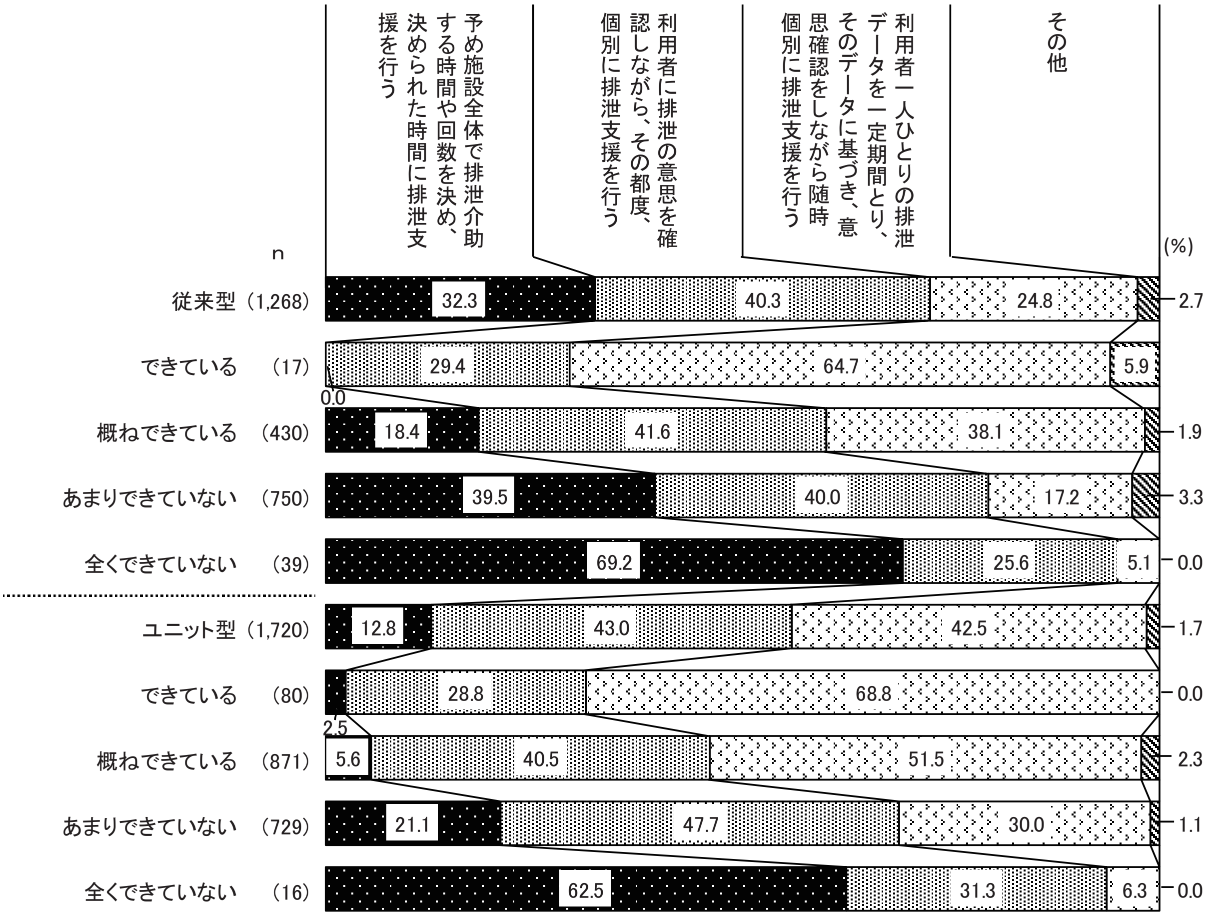


図３－３－④－１　実際に行っている排泄支援の方法×個別ケアの実践程度

図３－３－③－１で示す通り、排泄支援に対して施設が「望ましい」とする考え方については、「利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う」が最も高い割合となり、施設種別と個別ケアの実践程度に関して大きな差はみられない。

図３－３－④－１で示す通り、実際に行っている排泄支援の方法で「利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う」と回答した施設は、従来型で個別ケアが「できている」と回答した施設のうち 64.7％と、ユニット型で「できている」と回答した施設の 68.8％と高い数値を示しており、施設で「望ましい」と考える方法を実践している施設が多いことが伺える。

従来型とユニット型共に個別ケアが「全くできていない」と回答した施設では、実際に行っている排泄支援の方法は「予め施設全体で排泄介助する時間や回数を決め、決められた時間に排泄支援を行う」とした施設が従来型で 69.2％、ユニット型で 62.5％と高い数値を示している。

⑤　排泄用品の種類×個別ケアの実践程度

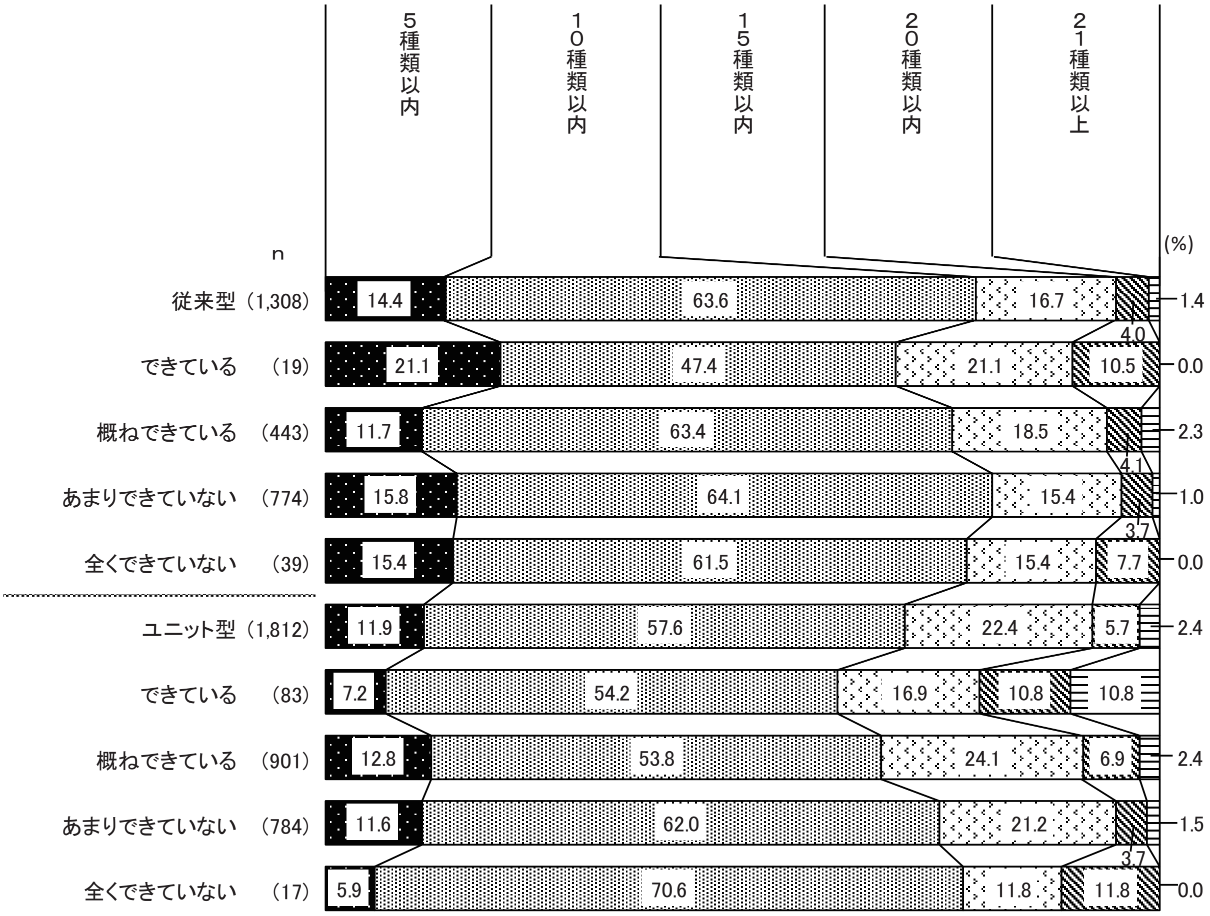


図３－３－⑤－１　排泄用品の種類×個別ケアの実践程度

従来型とユニット型共に、個別ケアの実践程度と排泄用品の種類の関係に大きな差はない。

⑥　使用済み排泄用品の回収方法×個別ケアの実践程度

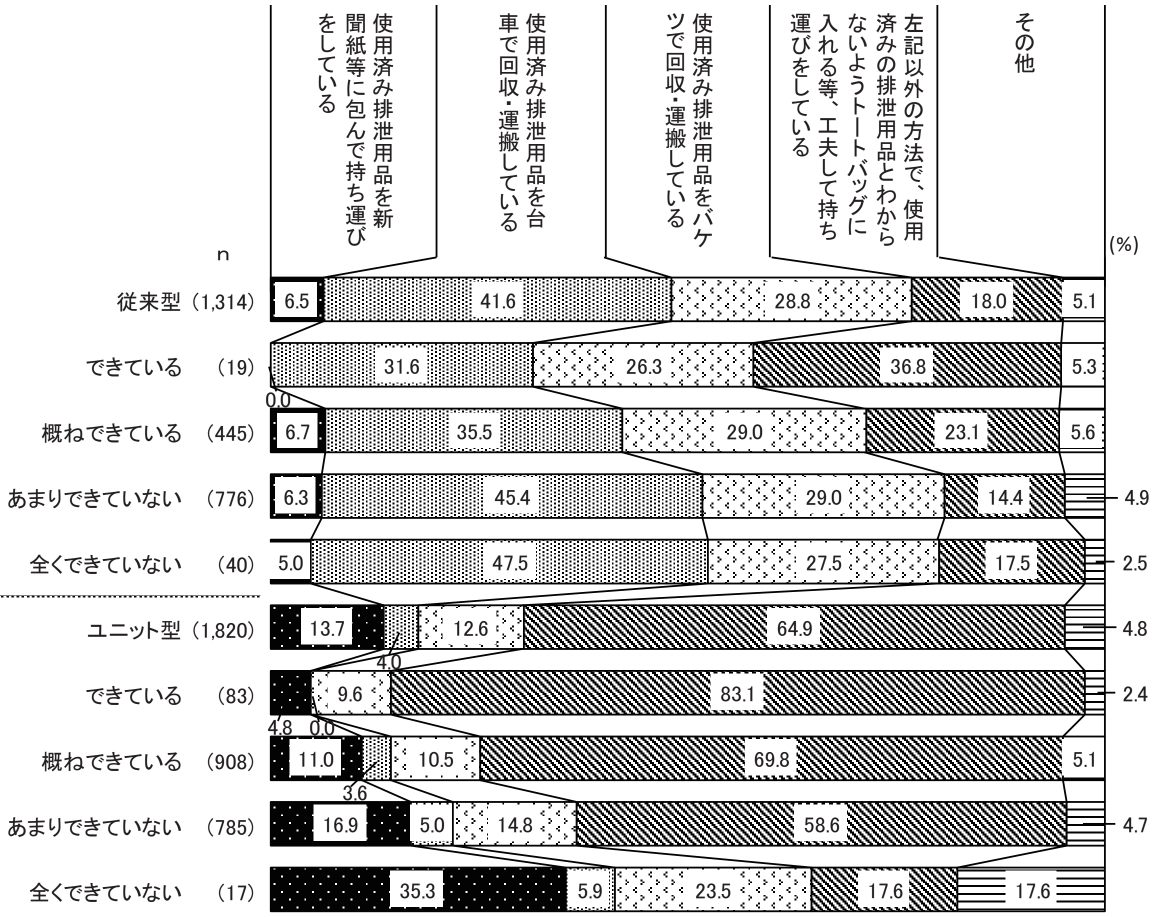


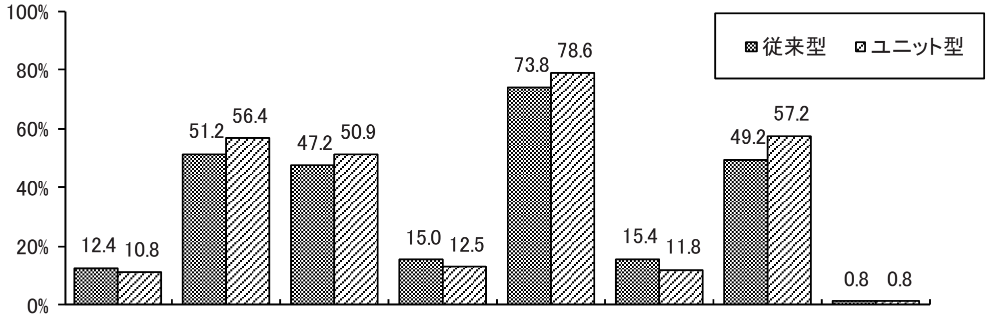
図３－３－⑥－１　使用済み排泄用品の回収方法×個別ケアの実践程度

従来型とユニット型共に、個別ケアが「できている」と回答した施設では、使用済み排泄用品は「使用済みの排泄用品とわからないようトートバックに入れる等、工夫して持ち運びをしている」と回答した施設が高い割合になっている。

従来型では、個別ケアが「あまりできていない」「全くできていない」と回答施設では、「使用済みの排泄用品を台車で回収・運搬している」と回答した施設の割合が高くなっている。

ユニット型では、個別ケアが「あまりできていない」と回答した施設でも、使用済み排泄用品を「使用済みの排泄用品とわからないようトートバックに入れる等、工夫して持ち運びをしている」と回答した施設が 58.6％と高い割合を占めている。また、個別ケアが「全くできていない」と回答した施設のうち「使用済みの排泄用品を台車で回収・運搬している」と回答した施設割合は 35.3％となっている。

⑦　食事支援の方法についての考え方（方針）（施設が「望ましい」とするもの）（複数回答）×個別ケアの実践程度

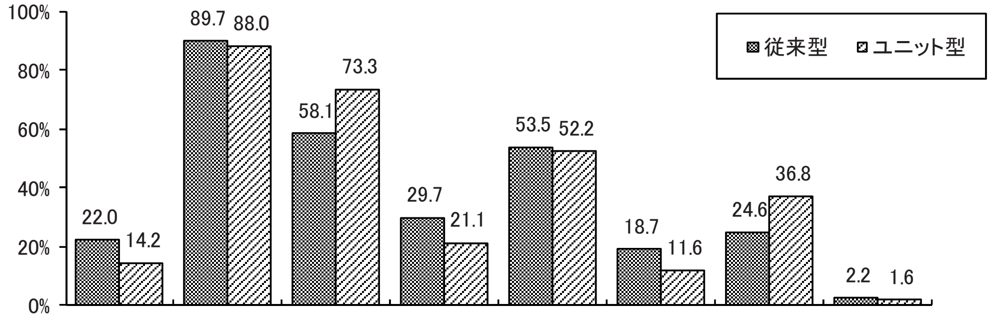


	n	利用者全員同一量・同メニューになるよう食事支援を行う	利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う	利用者個人の持ち込みの食事等も可とし、柔軟に対応する	何よりも栄養価やカロリーを重視した量や内容にする	利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う	（規則正しい生活の維持、健康管理の面から）食事時間以外の食事等の提供はしない	夜間でも利用者の要望に応じて軽食等を提供する	その他
従来型	1,153	12.4	51.2	47.2	15.0	73.8	15.4	49.2	0.8
できている	15	20.0	40.0	20.0	26.7	60.0	46.7	40.0	−
概ねできている	367	16.1	52.6	49.9	15.8	68.9	17.2	51.0	1.1
あまりできていない	705	10.8	51.2	46.5	14.6	75.5	13.3	48.4	0.7
全くできていない	38	5.3	36.8	47.4	13.2	86.8	23.7	52.6	−
ユニット型	1,568	10.8	56.4	50.9	12.5	78.6	11.8	57.2	0.8
できている	68	7.4	55.9	50.0	13.2	76.5	8.8	63.2	1.5
概ねできている	756	10.2	59.5	53.6	12.2	77.8	10.3	55.0	1.3
あまりできていない	702	11.8	53.1	47.6	12.8	79.3	13.8	59.3	0.1
全くできていない	16	12.5	43.8	62.5	18.8	87.5	12.5	50.0	−

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３−３−⑦−１　食事支援の方法（望ましい）×個別ケアの実践程度

⑧　実際に行っている食事支援の方法（複数回答）×個別ケアの実践程度



	n	利用者全員同一量・同メニューになるよう食事支援を行う	利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う	利用者個人の持ち込みの食事等も可とし、柔軟に対応する	何よりも栄養価やカロリーを重視した量や内容にする	利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う	（規則正しい生活の維持、健康管理の面から）食事時間以外の食事等の提供はしない	夜間でも利用者の要望に応じて軽食等を提供する	その他
従来型	1,297	22.0	89.7	58.1	29.7	53.5	18.7	24.6	2.2
できている	18	33.3	100.0	72.2	66.7	83.3	11.1	38.9	22.2
概ねできている	438	18.9	93.2	61.9	26.5	64.2	18.7	30.1	1.8
あまりできていない	767	22.9	87.7	56.1	31.2	47.6	19.4	21.0	2.1
全くできていない	40	37.5	85.0	47.5	32.5	25.0	12.5	25.0	2.5
ユニット型	1,786	14.2	88.0	73.3	21.1	52.2	11.6	36.8	1.6
できている	82	11.0	92.7	80.5	19.5	73.2	6.1	58.5	4.9
概ねできている	892	10.4	90.8	75.0	16.8	62.9	8.9	42.5	1.9
あまりできていない	768	18.4	84.4	71.5	25.5	38.0	14.5	28.8	1.0
全くできていない	17	29.4	76.5	29.4	58.8	23.5	41.2	5.9	−

（網掛け）は各項目で最も高い数値

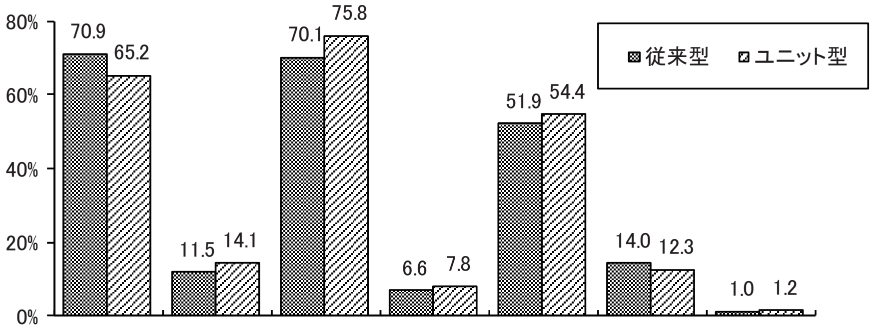
図３−３−⑧−１　実際に行っている食事支援の方法×個別ケアの実践程度

図３−３−⑦−１の通り、食事支援について施設が「望ましい」とする考え方は、全ての施設種別、個別ケアの実践程度において、「利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う」を挙げた施設が高い割合になっている。

図３−３−⑧−１で示す通り、実際に行っている食事支援の方法では、「利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容、（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う」を挙げた施設割合が施設種別と個別ケアの実践程度に関係なく一番高くなっている。

従来型とユニット型共に個別ケアが「できている」「概ねできている」と回答した施設では、実際に行っている食事支援の方法で「利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う」と「利用者個人の持ち込みの食事等も可とし、柔軟に対応する」「夜間でも利用者の要望に応じて軽食等を提供する」を挙げている施設割合が高いことが伺える。

⑨　入浴支援の方法（方針）（施設が「望ましい」とするもの）（複数回答）×個別ケアの実践程度

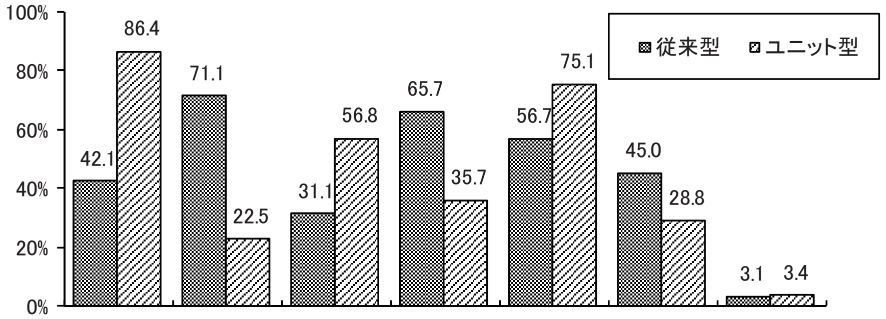


	n	マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う	誘導・着替え・洗身等に職員の役割を決め、複数の職員で対応する	タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう	タオルやシャンプー等は施設で統一する	利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う	入浴介助の安全性や効率を考え、主に機械（臥位式）浴槽を使用する	その他
従来型	1,130	**70.9**	11.5	70.1	6.6	51.9	14.0	1.0
できている	14	42.9	42.9	**71.4**	35.7	42.9	50.0	–
概ねできている	354	68.9	14.1	**70.1**	11.0	48.9	16.9	1.4
あまりできていない	696	**72.1**	10.2	70.1	4.0	53.4	12.1	0.7
全くできていない	39	**76.9**	–	66.7	5.1	59.0	10.3	2.6
ユニット型	1,394	65.2	14.1	**75.8**	7.8	54.4	12.3	1.2
できている	59	**76.3**	13.6	71.2	10.2	71.2	11.9	1.7
概ねできている	667	67.0	12.9	**77.2**	7.9	58.5	11.8	1.8
あまりできていない	629	62.3	14.9	**74.2**	7.6	49.0	12.4	0.6
全くできていない	14	42.9	35.7	**85.7**	7.1	42.9	14.3	–

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３−３−⑨−１　入浴支援の方法（望ましい）×個別ケアの実践程度

⑩　実際に行っている入浴支援の方法（複数回答）×個別ケアの実践程度



	n	マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う	誘導・着替え・洗身等に職員の役割を決め、複数の職員で対応する	タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう	タオルやシャンプー等は施設で統一する	利用者の身体的状況に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う	入浴介助の安全性や効率を考え、主に機械（臥位式）浴槽を使用する	その他
従来型	1,307	42.1	71.1	31.1	65.7	56.7	45.0	3.1
できている	19	63.2	73.7	42.1	73.7	68.4	52.6	–
概ねできている	439	53.5	63.1	38.0	55.6	62.0	41.7	3.6
あまりできていない	775	35.4	75.7	27.9	70.8	53.9	47.1	2.7
全くできていない	40	27.5	82.5	12.5	80.0	35.0	45.0	2.5
ユニット型	1,811	86.4	22.5	56.8	35.7	75.1	28.8	3.4
できている	82	97.6	14.6	68.3	24.4	86.6	26.8	2.4
概ねできている	905	90.4	20.0	61.9	28.6	78.9	24.6	3.9
あまりできていない	781	81.2	26.1	51.1	43.7	69.5	32.9	3.2
全くできていない	16	68.8	25.0	18.8	81.3	56.3	50.0	–

（網掛け）は各項目で最も高い数値

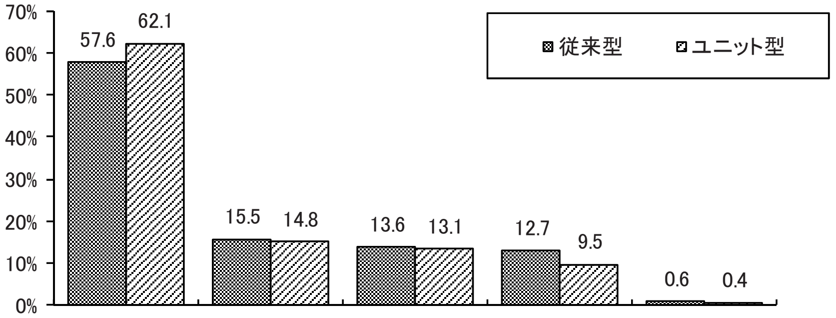
図３－３－⑩－１　実際に行っている入浴支援の方法×個別ケアの実践程度

図３－３－⑨－１で示す通り、入浴支援について施設が「望ましい」とする考え方は、従来型で個別ケアが「できている」「概ねできている」と回答した施設では、「タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう」方法が望ましいと挙げた施設割合が高くなっており、個別ケアが「あまりできていない」「全くできていない」と回答した施設では「マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う」方法が望ましいと挙げた施設割合が高くなっている。ユニット型で個別ケアが「できている」と回答した施設では、「マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う」方法が望ましいと挙げた施設割合が一番高くなっており、個別ケアが「概ねできている」「あまりできていない」「全くできていない」と回答した施設では、「タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう」方法が望ましいと挙げた施設割合が高くなっている。

図３－３－⑩－１で示す通り、実際に行っている入浴支援の方法では、従来型では個別ケアの実践程度に関わらず「誘導・着替え・洗身等に職員の役割を決め、複数の職員で対応する」を挙げた施設割合が

高く、ユニット型では個別ケアが「できている」「概ねできている」「あまりできていない」と回答した施設で、実際に行っている入浴の支援方法について「マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う」を挙げた施設割合が高かった。

⑪　看取り支援の方法（方針）（施設が「望ましい」とするもの）×個別ケアの実践程度

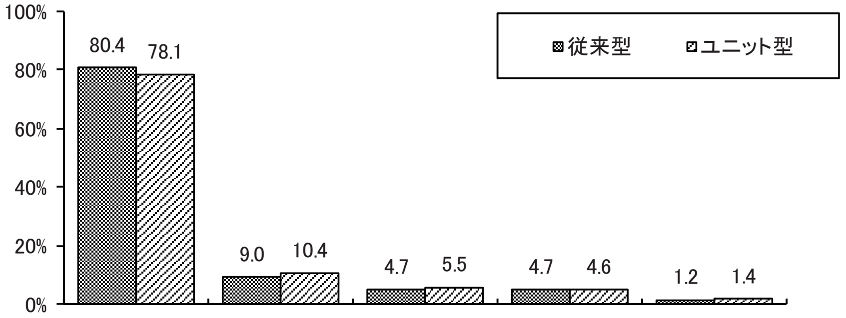


	n	看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う	看取りを積極的に行っている	医療職の協力等の実践する要件が満たされるのであれば、行っていい	医療は医療機関で行うという認識のもと、積極的には行わない	その他
従来型	535	57.6	15.5	13.6	12.7	0.6
できている	2	100.0	−	−	−	−
概ねできている	176	50.0	17.0	13.1	18.8	1.1
あまりできていない	327	60.2	15.3	14.1	10.1	0.3
全くできていない	16	75.0	12.5	12.5	−	−
ユニット型	829	62.1	14.8	13.1	9.5	0.4
できている	41	73.2	12.2	7.3	7.3	−
概ねできている	400	64.0	15.5	11.8	8.3	0.5
あまりできていない	361	58.4	15.2	15.2	10.8	0.3
全くできていない	9	66.7	−	22.2	11.1	−

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－３－⑪－１　看取り支援の方法（望ましい）×個別ケアの実践程度

⑫　実際に行っている看取り支援の方法×個別ケアの実践程度



	n	看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う	看取りを積極的に行っている	医療職の協力等の実践する要件が満たされるのであれば、行っていい	医療は医療機関で行うという認識のもと、積極的には行わない	その他
従来型	1,160	80.4	9.0	4.7	4.7	1.2
できている	17	88.2	–	–	5.9	5.9
概ねできている	390	85.4	7.9	3.1	3.1	0.5
あまりできていない	688	78.2	9.7	5.4	5.1	1.6
全くできていない	33	66.7	9.1	15.2	9.1	–
ユニット型	1,599	78.1	10.4	5.5	4.6	1.4
できている	71	81.7	14.1	2.8	1.4	–
概ねできている	832	81.0	10.9	4.1	3.0	1.0
あまりできていない	657	74.1	9.7	7.5	6.7	2.0
全くできていない	14	64.3	7.1	14.3	14.3	–

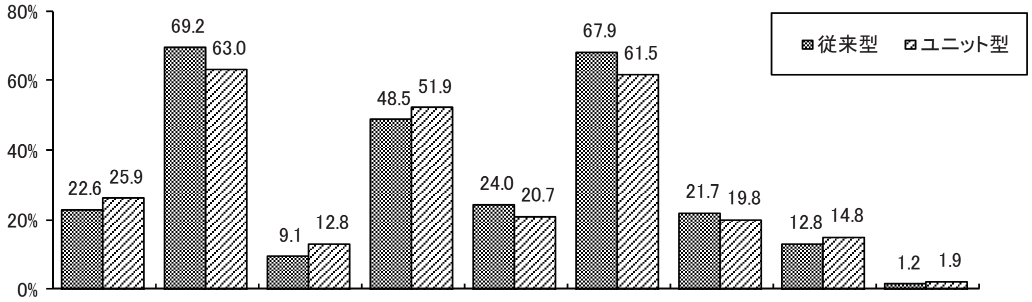
（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－３－⑫－１　実際に行っている看取り支援の方法×個別ケアの実践程度

図３－３－⑪－１と図３－３－⑫－１で示す通り、看取り支援について施設が「望ましい」とする考え方、実際行っている看取り支援の方法は、従来型とユニット型共に、個別ケアの実践程度に関わらず、「看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う」と回答した施設割合が一番高くなっている。

4．施設の理念や全体方針と個別ケアの関係

①　施設の理念の活用や浸透方法（複数回答）×個別ケアの実践程度



	n	理念は、ケアマニュアルに支援する内容ごとに具体的に落とし込んでいる	事業計画の作成や振り返るときに活用している	困難事例等の検討時に活用している	紙面で職員に配布している	施設長室等の役員部屋に掲示している	施設内の、利用者や訪問者も見ることができる場所に掲示している	家族の会や個別の家族の面談等で説明している	地域に説明している	特に何もしていない
従来型	1,263	22.6	69.2	9.1	48.5	24.0	67.9	21.7	12.8	1.2
できている	19	47.4	84.2	15.8	68.4	21.1	63.2	15.8	21.1	－
概ねできている	433	29.6	70.7	12.5	51.3	22.4	71.8	26.6	16.6	0.9
あまりできていない	745	18.1	69.8	7.2	46.7	25.4	66.2	19.9	10.9	1.3
全くできていない	38	7.9	44.7	5.3	42.1	18.4	68.4	5.3	5.3	2.6
ユニット型	1,766	25.9	63.0	12.8	51.9	20.7	61.5	19.8	14.8	1.9
できている	81	56.8	77.8	30.9	58.0	27.2	61.7	43.2	28.4	－
概ねできている	889	29.6	68.3	13.8	53.7	20.1	62.8	22.6	18.0	0.9
あまりできていない	758	18.6	56.5	10.2	49.6	20.2	59.6	14.0	10.0	3.2
全くできていない	13	－	23.1	－	46.2	38.5	53.8	7.7	－	7.7

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－４－①－１　施設の理念の活用や浸透方法×個別ケアの実践程度

② 理念の職員への周知状況×個別ケアの実践程度

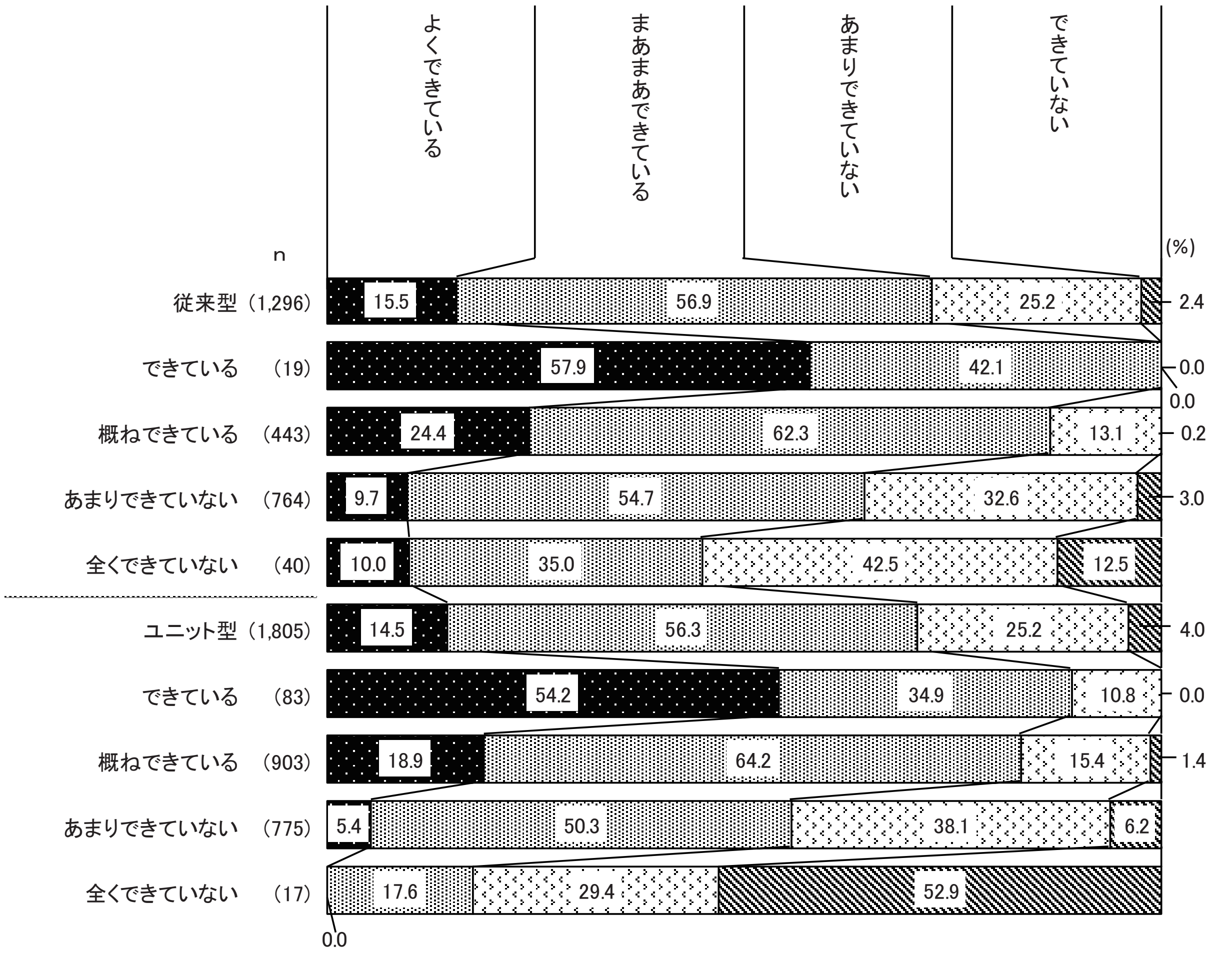


図３－４－②－１ 理念の職員への周知状況×個別ケアの実践程度

図３－４－①－１の示す通り、施設の理念の活用や浸透方法については、施設種別、個別ケアの実践程度に関係なく、「事業計画の作成や振り返るときに活用している」を挙げた施設と「施設内の、利用者や訪問者も見ることができる場所に掲示している」を挙げた施設の割合が高くなっている。「理念は、ケアマニュアルに支援する内容ごとに具体的に落とし込んでいる」を挙げた施設をみてみると、従来型では個別ケアが「できている」と回答した施設のうち 47.4%、ユニット型では「できている」と回答した施設のうち 56.8%と、従来型とユニット型共に個別ケアが「全くできていない」と回答した施設における割合と比べ、高い値が示された。

図３－４－②－１の示す通り、理念の職員への周知状況は、従来型で個別ケアが「できている」と回答した施設のうち 57.9%、ユニット型で「できている」と回答した施設のうち 54.2%となっている。

③　アセスメントのケアへの活用状況×個別ケアの実践程度

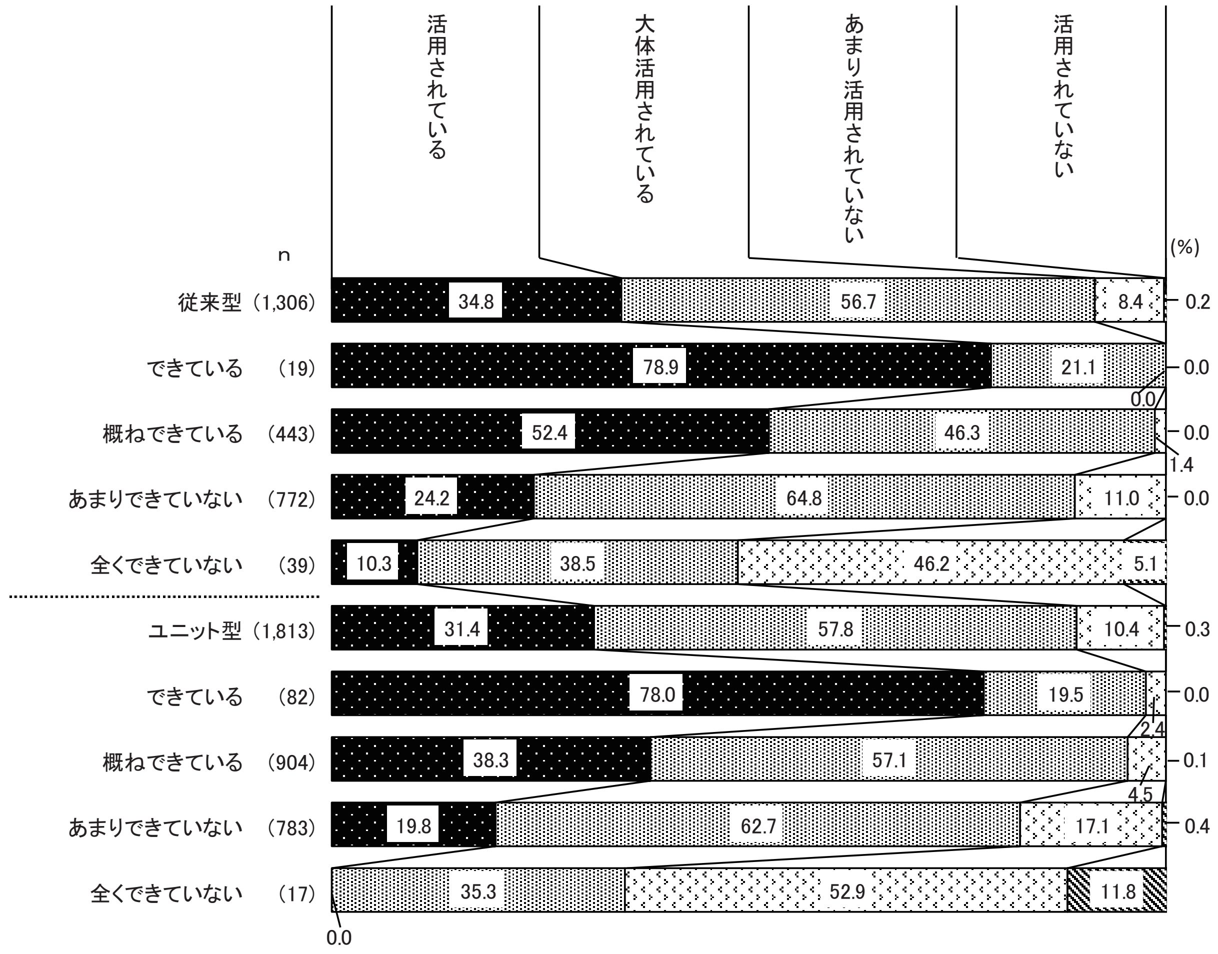
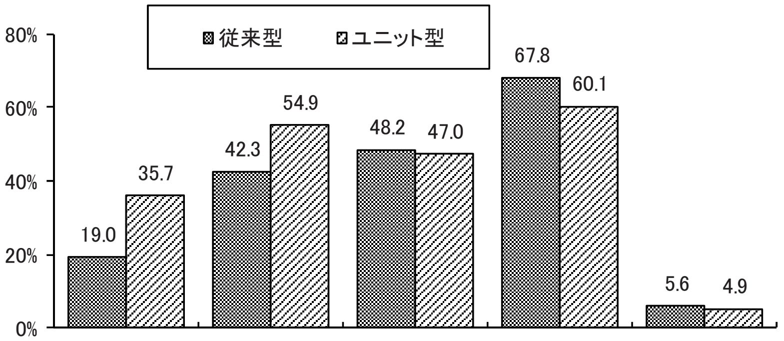


図３－４－③－１アセスメントのケアへの活用状況×個別ケアの実践程度

④　アセスメントの運用への活用（複数回答）×個別ケアの実践程度



	n	勤務表作成	人員配置	備品の購入	施設の安全管理	その他
従来型	1,026	19.0	42.3	48.2	67.8	5.6
できている	15	20.0	26.7	46.7	60.0	13.3
概ねできている	364	23.9	49.2	47.5	70.6	3.8
あまりできていない	601	16.6	39.1	49.8	67.2	5.7
全くできていない	25	12.0	32.0	36.0	48.0	16.0
ユニット型	1,520	35.7	54.9	47.0	60.1	4.9
できている	76	57.9	69.7	46.1	64.5	3.9
概ねできている	786	41.0	60.7	48.7	59.4	4.7
あまりできていない	627	27.3	46.9	45.3	60.0	4.9
全くできていない	8	−	25.0	25.0	62.5	25.0

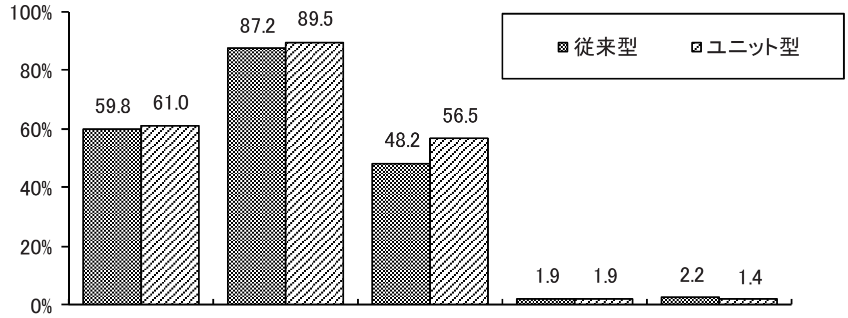
（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３−４−④−１　アセスメントの運用への活用×個別ケアの実践程度

図３−４−③−１で示す通り、従来型で個別ケアが「できている」と回答した施設と、ユニット型で個別ケアが「できている」と回答した施設で、アセスメントがケアへ「活用されている」と回答した施設割合がいずれも高くなっている。施設種別に関係なく、個別ケアの実践程度の回答において「概ねできている」「あまりできていない」「全くできていない」と実践程度が低くなるにつれ、アセスメントがケアへ「あまり活用されていない」と回答する施設の割合が高くなっていっていることが伺える。

図３−４−④−１で示す通り、アセスメントの運用への活用は、従来型では、個別ケアの実践度に関係なく「施設の安全管理」を挙げた施設が最も高い割合になった。ユニット型でも、アセスメントの運用への活用についての回答の平均値では「施設の安全管理」を挙げたが最も高い割合になっているが、個別ケアが「できている」「概ねできている」と回答した施設では、「人員配置」を挙げた施設割合が高くなっている。

⑤　日常の支援以外でのチームケアの実践状況（複数回答）×個別ケアの実践程度



		n	利用者のアセスメント作成に関わる	利用者のケース検討に関わる	記録を一元化（1つの様式に利用者1人に対し多職種で作成）している	その他	特に行っていない
従来型		1,300	59.8	87.2	48.2	1.9	2.2
	できている	19	63.2	89.5	57.9	5.3	5.3
	概ねできている	441	68.7	87.3	52.6	1.8	0.9
	あまりできていない	769	56.3	87.6	45.9	1.7	2.5
	全くできていない	40	40.0	77.5	37.5	2.5	10.0
ユニット型		1,801	61.0	89.5	56.5	1.9	1.4
	できている	82	75.6	96.3	67.1	2.4	−
	概ねできている	901	66.3	91.0	61.6	2.3	0.8
	あまりできていない	774	54.3	87.6	50.8	1.3	1.9
	全くできていない	17	35.3	52.9	23.5	−	23.5

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－４－⑤－１　日常の支援以外でのチームケアの実践状況×個別ケアの実践程度

⑥　チームケアの運営状況×個別ケアの実践程度

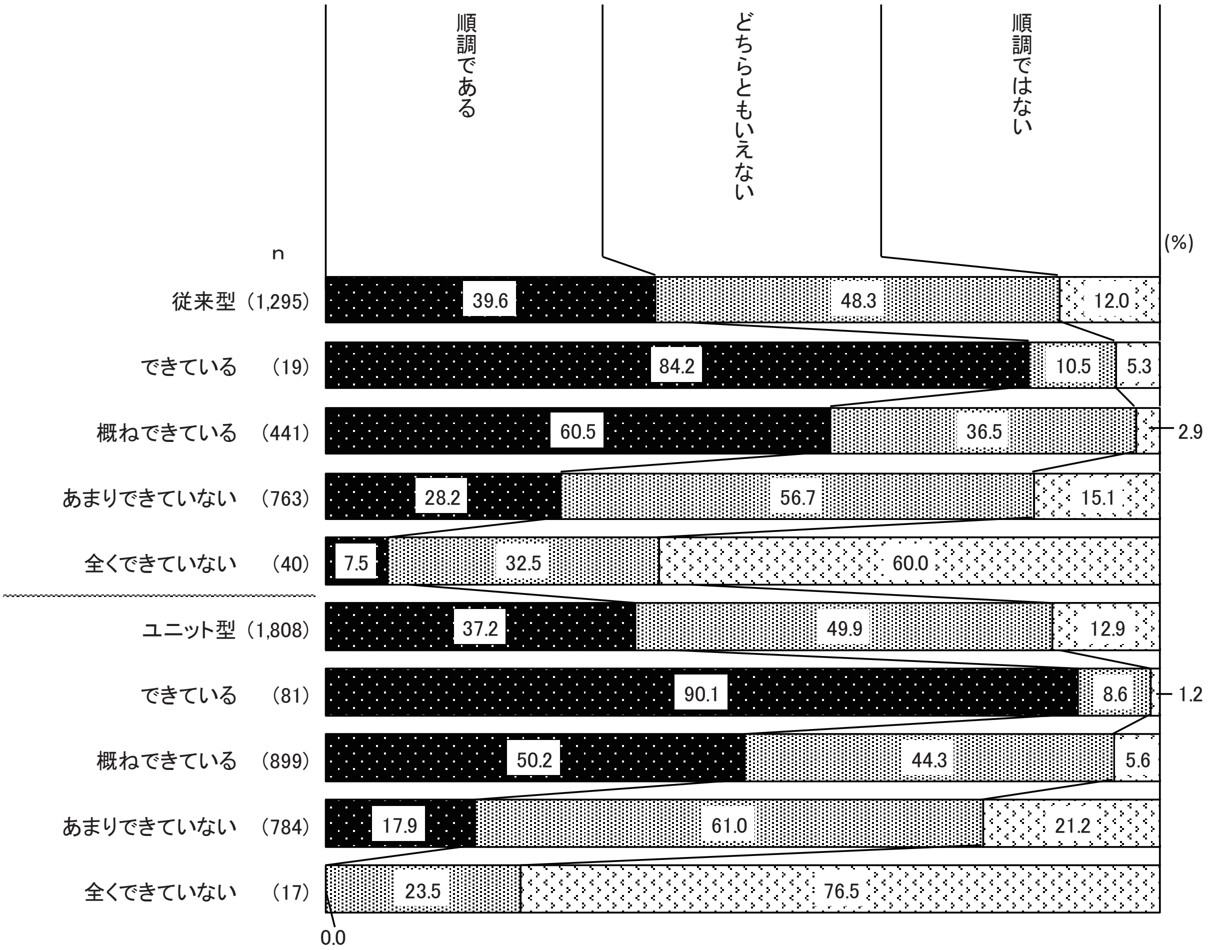
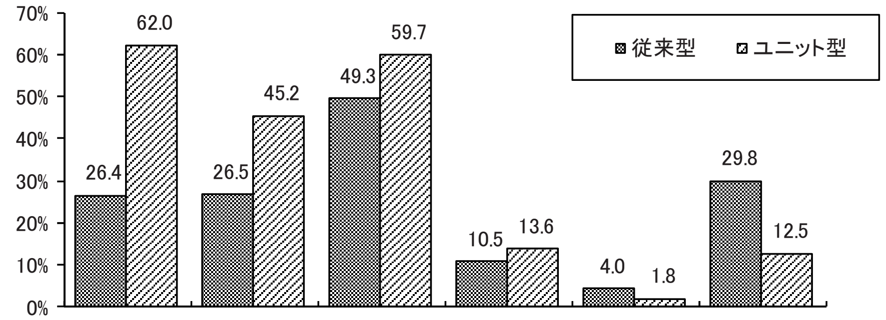


図３－４－⑥－１　チームケアの運営状況×個別ケアの実践程度

図３－４－⑤－１で示す通り、日常の支援以外のチームケアの実践状況については、施設種別での大きな差はなく、「利用者のケース検討に関わる」を挙げた施設割合が一番高くなっている。個別ケアが「できている」から「全くできていない」へと、個別ケアの実践程度が低くなるに従い、「利用者のケース検討に関わる」を挙げた施設割合は低くなっている。なお、従来型とユニット型共に個別ケアが「できている」と回答した施設では、日常の支援以外のチームケアの実践状況として「利用者のアセスメント作成に関わる」「記録を一元化（1 つの様式に利用者１人に対し多職種で作成）している」を挙げた施設割合が高くなっている。

図３－４－⑥－１で示す通り、チームケアの運営状況については、施設種別に関係なく個別ケアが「できている」と回答した施設の多くが「順調である」と回答した。施設の回答した個別ケアの実践程度が低くなるに従い、チームケアの運営状況も「どちらともいえない」「順調ではない」の占める割合が高くなっていっている。

⑦　職員への権限移譲（複数回答）×個別ケアの実践程度



	n	ケアを実践するために必要な経費をユニットやグループ単位で自由に使える仕組み	利用者の暮らしぶりに合わせ、自由に勤務を組むことができる権限	短時間の外出等を職員の判断で柔軟に行える権限	職員の異動等の配置換え	その他	特別に権限移譲していることはない
従来型	1,262	26.4	26.5	49.3	10.5	4.0	29.8
できている	15	33.3	13.3	53.3	26.7	6.7	33.3
概ねできている	427	35.8	30.9	53.6	10.8	4.2	22.5
あまりできていない	753	21.8	23.8	47.3	10.5	3.7	33.6
全くできていない	39	15.4	38.5	41.0	5.1	2.6	25.6
ユニット型	1,796	62.0	45.2	59.7	13.6	1.8	12.5
できている	83	81.9	56.6	69.9	20.5	1.2	4.8
概ねできている	896	67.3	48.5	63.1	14.1	2.5	8.9
あまりできていない	777	54.4	40.4	55.5	12.7	1.2	16.6
全くできていない	17	35.3	23.5	29.4	5.9	−	41.2

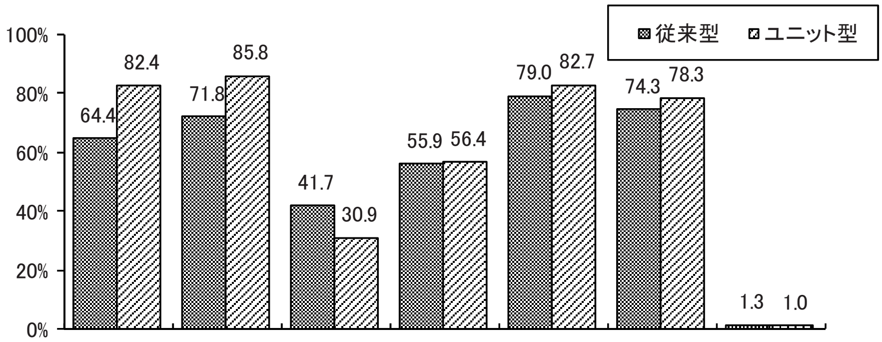
は各項目で最も高い数値

図３－４－⑦－１　職員への権限移譲×個別ケアの実践程度

職員への権限移譲について、従来型では、個別ケアの実践程度に関わらず、「短時間の外出等を職員の判断で柔軟に行える権限」を挙げた施設割合が多かった。

ユニット型では、個別ケアが「できている」「概ねできている」と回答した施設では「ケアを実践するために必要な経費をユニットやグループ単位で自由に使える仕組み」を挙げた施設割合が最も多かった。「できている」「概ねできている」と回答した施設では、「短時間の外出等を職員の判断で柔軟に行える権限」、「利用者の暮らしぶりに合わせ、自由に勤務を組むことができる権限」を挙げた施設割合も２番目、３番目に高くなっている。

⑧　個別ケアについての考え方（複数回答）×個別ケアの実践程度

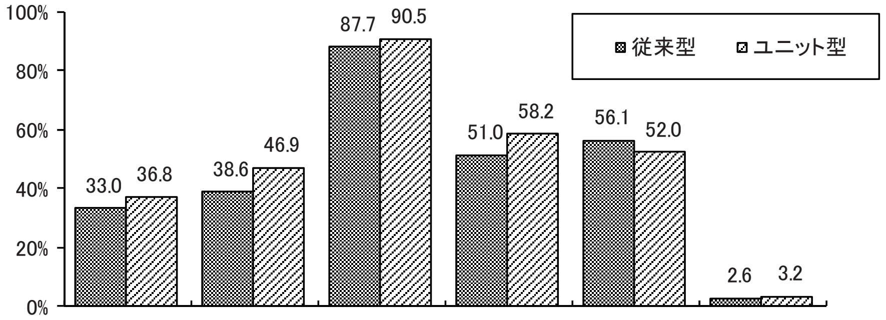


	n	利用者の日常の暮らし（起床、食事、排泄、入浴）の生活パターンを、個人の状態に合わせて支援すること	利用者のこれまでの（自宅等での）暮らしやこれからの（施設での）暮らしを考慮しながら、利用者個々の生活リズム（時間）を尊重して支援すること	施設で決めた暮らしの時間（起床、食事、排泄、入浴）等において、利用者個々に対応すること	利用者が施設で暮らしやすい環境（ハード）を考慮して支援すること	利用者の意向や価値観を尊重して支援すること	多職種が利用者一人ひとりの暮らしに関わり、コミュニケーションをとって支援していくこと	その他
従来型	1,303	64.4	71.8	41.7	55.9	**79.0**	74.3	1.3
できている	18	88.9	**100.0**	38.9	77.8	77.8	88.9	5.6
概ねできている	444	73.4	77.3	45.7	64.9	**80.4**	79.3	1.1
あまりできていない	775	59.0	68.0	41.2	50.7	**78.6**	70.8	1.2
全くできていない	39	64.1	**71.8**	23.1	56.4	**71.8**	**71.8**	−
ユニット型	1,813	82.4	**85.8**	30.9	56.4	82.7	78.3	1.0
できている	83	89.2	**92.8**	30.1	71.1	89.2	91.6	1.2
概ねできている	905	87.7	**89.4**	31.0	62.2	86.0	80.3	1.2
あまりできていない	785	75.9	**81.7**	30.6	48.5	78.9	74.9	0.6
全くできていない	17	**88.2**	**88.2**	41.2	41.2	64.7	64.7	5.9

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３−４−⑧−１　個別ケアについての考え方×個別ケアの実践程度

⑨　個別ケアの実践に重要な要素（複数回答）×個別ケアの実践程度



	n	支援の指針や手法を示したガイドライン等の資料	利用者の状態や意向に合わせて対応できるような、職員への権限委譲	利用者のこれまでの暮らし（生活リズム）を考慮しながら支援すること	施設の理念を職員に浸透させること	職員一人ひとりの役割を明確にすること	その他
従来型	1,292	33.0	38.6	87.7	51.0	56.1	2.6
できている	16	43.8	25.0	87.5	81.3	81.3	–
概ねできている	439	29.6	40.1	87.5	52.6	60.6	2.3
あまりできていない	773	34.9	37.8	88.2	50.6	52.9	2.6
全くできていない	38	39.5	52.6	84.2	36.8	68.4	5.3
ユニット型	1,812	36.8	46.9	90.5	58.2	52.0	3.2
できている	82	48.8	54.9	93.9	74.4	54.9	1.2
概ねできている	905	38.0	48.2	92.6	62.1	52.6	3.2
あまりできていない	784	33.9	45.2	88.5	53.3	50.8	3.4
全くできていない	17	41.2	47.1	76.5	35.3	70.6	5.9

（網掛け）は各項目で最も高い数値

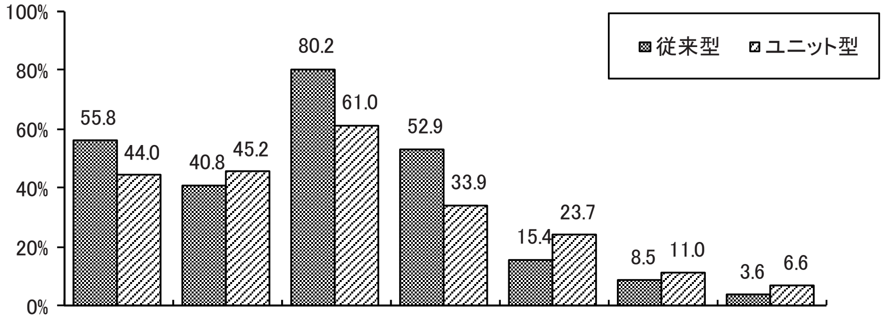
図３－４－⑨－１　個別ケアの実践に重要な要素×個別ケアの実践程度

図３－４－⑧－１で示す通り、従来型とユニット型共に個別ケアが「できている」と回答した施設において、個別ケアについての考え方で「利用者のこれまでの（自宅等での）暮らしやこれからの（施設での）暮らしを考慮しながら、利用者個々の生活リズム（時間）を尊重して支援すること」を挙げた施設割合が最も高い。次いで「できている」と回答した施設では他にも、「多職種が利用者一人ひとりの暮らしにかかわり、コミュニケーションをとって支援していくこと」と「利用者の日常の暮らし（起床、食事、排泄、入浴）の生活パターンを、個人の状態に合わせて支援すること」を挙げた施設も同様に高い数値となった。

図３－４－⑨－１の示す通り、個別ケアの実践に重要な要素は、施設種別や個別ケアの実践程度に関わらず、「利用者のこれまでとこれからの暮らし（生活リズム）を考慮しながら支援すること」を挙げている施設割合が最も高い。

５．施設の課題と個別ケアの関係

①　起床支援で抱えている課題（複数回答）×個別ケアの実践程度



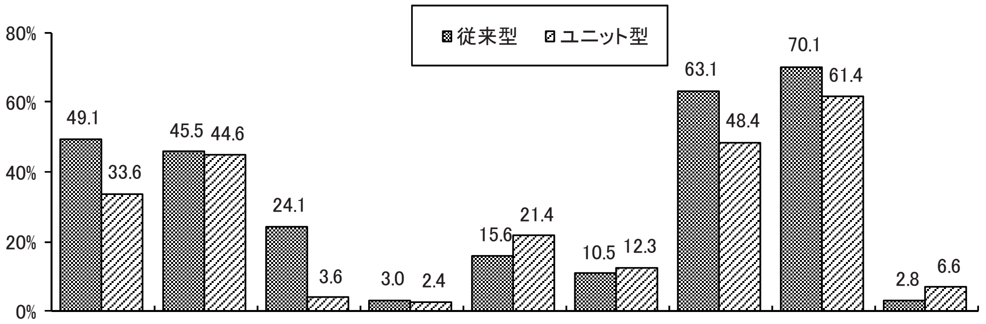
	n	職員が不足しているので、一人ひとりの生活リズムに合わせた起床支援ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない	限られた朝食の時間に合わせて、（ある程度）決まった時間に起こさなければならない	起床支援が夜勤職員の業務となっている等、勤務時間の都合や他の業務の都合に合わせた支援になっている	起床支援の考え方や方法を職員に周知できていない	起床支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	その他
従来型	1,286	55.8	40.8	80.2	52.9	15.4	8.5	3.6
できている	17	29.4	23.5	82.4	35.3	11.8	–	5.9
概ねできている	423	44.7	29.8	74.7	42.6	6.9	2.1	5.2
あまりできていない	772	61.5	46.8	82.8	58.0	19.8	11.5	2.6
全くできていない	40	85.0	57.5	90.0	75.0	30.0	25.0	2.5
ユニット型	1,689	44.0	45.2	61.0	33.9	23.7	11.0	6.6
できている	55	27.3	32.7	43.6	12.7	7.3	1.8	29.1
概ねできている	822	37.3	37.0	56.7	24.8	17.6	5.5	8.4
あまりできていない	771	52.1	54.6	65.6	44.5	30.7	17.0	3.1
全くできていない	17	70.6	70.6	82.4	70.6	64.7	41.2	5.9

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－５－①－１　起床支援で抱えている課題×個別ケアの実践程度

図３－５－①－１で示す通り、施設種別と個別ケアの実践程度に関係なく、起床支援で抱えている課題は、「限られた朝食の時間に合わせて、（ある程度）決まった時間に起こさなければならない」を挙げた施設割合が多い。

②　排泄支援で抱えている課題×個別ケアの実践程度



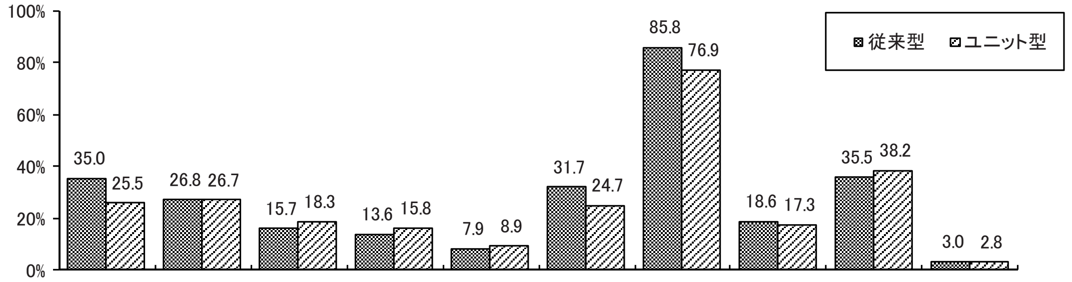
	n	職員が不足しているので、一人ひとりの排泄リズムに合わせた排泄支援ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない	便所の位置が居室や共同生活室から遠いため、排泄支援に時間がかかる	従来の定時交換（1日に決められた回数、決められた時間に交換）から、随時交換に変える方法がわからない	排泄支援の考え方や方法を職員に周知できていない	排泄支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	利用者の要介護度の重度化により、排泄支援に時間がかかる	利用者の要介護度の重度化により、排泄支援について職員の負担が大きくなっている	その他
従来型	1,276	49.1	45.5	24.1	3.0	15.6	10.5	63.1	70.1	2.8
できている	18	22.2	27.8	11.1	–	–	5.6	61.1	77.8	5.6
概ねできている	417	33.6	31.2	18.7	1.0	6.5	2.2	64.0	71.5	2.6
あまりできていない	768	57.2	53.4	27.5	3.8	20.2	14.7	63.3	70.2	2.7
全くできていない	40	85.0	52.5	27.5	10.0	35.0	27.5	65.0	62.5	2.5
ユニット型	1,718	33.6	44.6	3.6	2.4	21.4	12.3	48.4	61.4	6.6
できている	69	11.6	18.8	–	1.4	7.2	1.4	47.8	66.7	23.2
概ねできている	843	26.5	36.7	3.1	1.1	13.0	6.4	46.3	61.7	7.7
あまりできていない	762	42.8	55.2	4.1	3.7	31.1	19.2	49.9	60.1	3.9
全くできていない	17	82.4	70.6	11.8	23.5	70.6	52.9	64.7	70.6	5.9

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－５－②－１　排泄支援で抱えている課題×個別ケアの実践程度

図３－５－②－１で示す通り、従来型とユニット型共に、個別ケアが「できている」「概ねできている」「あまりできていない」と回答した施設では、排泄支援で抱えている課題に、「利用者の要介護度の重度化により、排泄支援について職員の負担が大きくなっている」を挙げた施設割合が高かった。しかし、従来型とユニット型共に個別ケアが「全くできていない」と回答した施設では、排泄支援で抱えている課題は「職員が不足しているので、一人ひとりの排泄リズムに合わせた排泄支援ができない」を挙げた施設割合が高かった。

③　食事支援で抱えている課題（複数回答）×個別ケアの実践程度



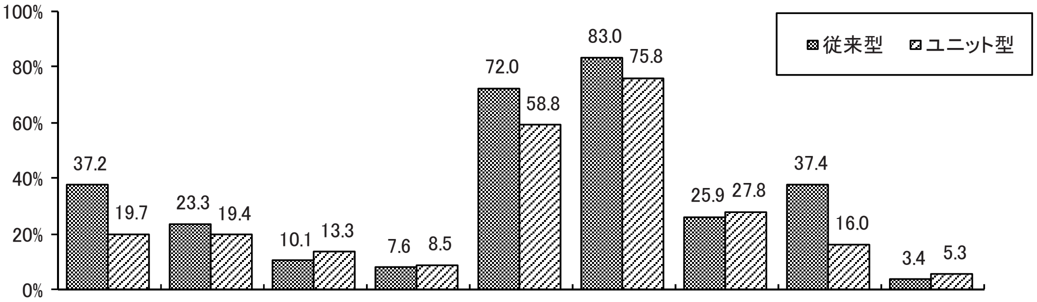
	n	職員が不足しているので個別の対応ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない	利用者が希望する食事と栄養アセスメントがうまく調整できない	食事支援の考え方や方法を職員に周知できていない	食事支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	利用者の要介護度の重度化により、食形態が多様になり思うような食事支援ができない	利用者の要介護度の重度化により、食事介助が多く、食事支援に時間がかかる	調理員の人材不足、厨房業者の撤退等の食事提供体制の理由により、思うような食事支援ができない	衛生管理面への配慮から食事提供の内容やタイミングに制限をかけてしまう	その他
従来型	1,285	35.0	26.8	15.7	13.6	7.9	31.7	85.8	18.6	35.5	3.0
できている	17	11.8	11.8	11.8	5.9	−	11.8	88.2	17.6	23.5	5.9
概ねできている	427	24.6	17.1	11.0	6.6	1.6	27.2	85.7	16.9	30.9	3.3
あまりできていない	769	41.5	32.0	17.9	16.9	10.4	35.0	85.6	19.9	39.3	2.6
全くできていない	40	55.0	37.5	22.5	35.0	30.0	30.0	90.0	22.5	32.5	2.5
ユニット型	1,746	25.5	26.7	18.3	15.8	8.9	24.7	76.9	17.3	38.2	2.8
できている	70	8.6	8.6	4.3	2.9	2.9	21.4	81.4	12.9	15.7	7.1
概ねできている	860	19.0	19.2	14.7	9.3	4.7	21.3	78.4	12.1	33.1	4.0
あまりできていない	773	33.6	36.4	23.4	23.3	13.8	28.1	74.6	22.5	45.0	1.2
全くできていない	17	52.9	35.3	41.2	58.8	29.4	47.1	64.7	47.1	76.5	5.9

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３−５−③−１　食事支援で抱えている課題×個別ケアの実践程度

図３−５−③−１で示す通り、食事支援で抱えている課題は、ユニット型で個別ケアが「全くできていない」と回答した施設を除いた他の施設種別と個別ケアの実践程度では、「利用者の要介護度の重度化により、食事介助が多く、食事支援に時間がかかる」を挙げた施設割合が高くなっている。ユニット型で個別ケアが「全くできていない」と回答した施設では、「衛生管理面への配慮から食事提供の内容やタイミングに制限をかけてしまう」を挙げた施設割合が高かった。

④　入浴支援で抱えている課題（複数回答）×個別ケアの実践程度



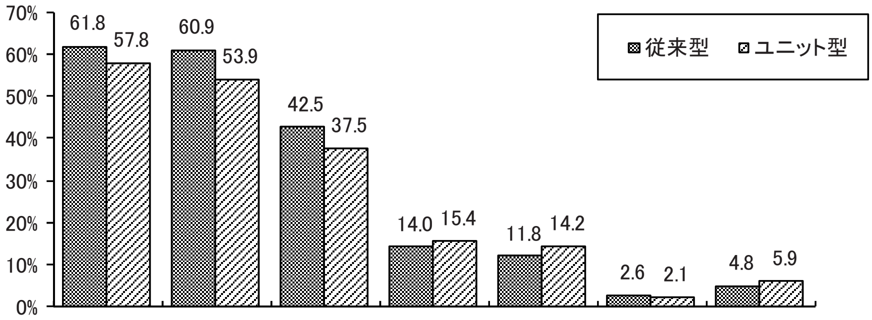
	n	職員が不足しているので、個別の入浴支援ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない	入浴支援の考え方や方法を職員に周知できていない	入浴支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	利用者の要介護度の重度化により、入浴支援に時間がかかる	利用者の要介護度の重度化により、入浴支援について職員の負担が大きくなっている	リフト等の福祉用具の設備が十分でなく、職員の負担が大きい	居室や共同生活室等から浴室までの場所が遠い	その他
従来型	1,288	37.2	23.3	10.1	7.6	72.0	83.0	25.9	37.4	3.4
できている	18	27.8	11.1	－	－	66.7	83.3	5.6	33.3	11.1
概ねできている	428	23.6	15.7	4.4	2.6	68.5	83.9	22.2	30.1	3.0
あまりできていない	769	44.0	27.3	12.5	10.0	74.1	83.0	28.9	42.1	3.4
全くできていない	40	72.5	40.0	35.0	25.0	77.5	72.5	30.0	32.5	2.5
ユニット型	1,724	19.7	19.4	13.3	8.5	58.8	75.8	27.8	16.0	5.3
できている	69	8.7	8.7	2.9	1.4	60.9	78.3	13.0	7.2	7.2
概ねできている	843	14.5	14.4	7.1	3.9	56.1	76.7	25.9	14.1	5.5
あまりできていない	769	25.6	24.8	20.2	13.4	61.4	74.4	30.7	18.5	4.8
全くできていない	16	62.5	75.0	62.5	43.8	75.0	87.5	43.8	31.3	6.3

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３−５−④−１　入浴支援で抱えている課題×個別ケアの実践程度

図３−５−④−１で示す通り、入浴支援で抱えている課題について、従来型のうち個別ケアが「全くできていない」と回答した施設を除く他の施設では、個別ケアの実践程度に関して、「利用者の要介護度の重度化により、入浴支援について職員の負担が大きくなっている」を挙げた施設割合が高くなっている。従来型で個別ケアが「全くできていない」と回答した施設では、「利用者の要介護度の重度化により、入浴支援に時間がかかる」を挙げた施設割合が多かった。

⑤　レクリエーション活動や行事について抱えている課題（複数回答）×個別ケアの実践程度



	n	職員が不足している	利用者一人ひとりの詳しい意向や希望を十分聞いて対応できていない	利用者の要介護度が重度化しているので、どのようなレクリエーションや行事をしたらいいかわからない	レクリエーションや行事の企画・実施ができる職員がいない	レクリエーションや行事を実施するボランティアや外部講師として協力してくれる人がいない	レクリエーションや行事を実施するための費用を捻出できない	その他
従来型	1,258	61.8	60.9	42.5	14.0	11.8	2.6	4.8
できている	18	44.4	27.8	50.0	–	5.6	5.6	16.7
概ねできている	408	56.6	51.2	37.5	8.8	11.5	1.5	6.9
あまりできていない	761	64.8	67.0	44.9	17.0	12.9	3.3	3.7
全くできていない	39	71.8	66.7	51.3	20.5	5.1	2.6	–
ユニット型	1,686	57.8	53.9	37.5	15.4	14.2	2.1	5.9
できている	59	40.7	40.7	37.3	8.5	8.5	1.7	10.2
概ねできている	824	53.8	48.5	33.0	10.6	11.7	1.2	8.1
あまりできていない	759	63.1	59.9	42.0	20.0	17.1	3.0	2.9
全くできていない	17	94.1	70.6	58.8	41.2	17.6	5.9	11.8

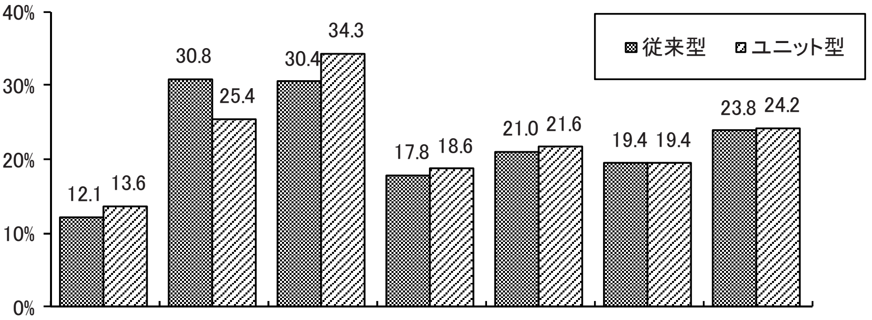
（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－５－⑤－１　レクリエーション活動や行事について抱えている課題×個別ケアの実践程度

図３－５－⑤－１で示す通り、従来型では、平均するとレクレーション活動や行事について抱えている課題について「職員が不足している」「利用者一人ひとりの詳しい意向や希望を十分聞いて対応できていない」を挙げている施設割合が高い。しかし、個別ケアが「できている」と回答した施設では、「利用者の要介護度が重度化しているので、どのようなレクレーションや行事をしたらいいかわからない」を挙げている施設割合が高くなっている。

ユニット型においてもレクレーション活動や行事について抱えている課題について「職員が不足している」「利用者一人ひとりの詳しい意向や希望を十分聞いて対応できていない」を挙げている施設割合が高く、個別ケアの実践程度に関わらず同じ傾向である。

⑥　看取り支援について抱えている課題（複数回答）×個別ケアの実践程度



	n	職員が不足しているので、看取り支援ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない	看取り支援の考え方や方法を職員に周知できていない	看取り支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	医療関係者や医療機関の協力が得られない	看取りに対する考え方が医療関係者と合わない	その他
従来型	878	12.1	30.8	30.4	17.8	21.0	19.4	23.8
できている	4	25.0	25.0	−	−	−	−	50.0
概ねできている	260	6.9	21.9	24.6	10.8	20.4	22.3	30.0
あまりできていない	562	14.1	34.5	32.7	19.8	20.5	17.6	21.4
全くできていない	35	20.0	37.1	51.4	45.7	31.4	28.6	5.7
ユニット型	1,236	13.6	25.4	34.3	18.6	21.6	19.4	24.2
できている	39	10.3	12.8	20.5	7.7	25.6	10.3	51.3
概ねできている	544	12.1	21.1	29.0	13.6	19.7	16.2	30.3
あまりできていない	617	14.3	29.0	38.9	22.7	23.0	23.2	17.3
全くできていない	14	28.6	57.1	71.4	35.7	28.6	14.3	7.1

（網掛け）は各項目で最も高い数値

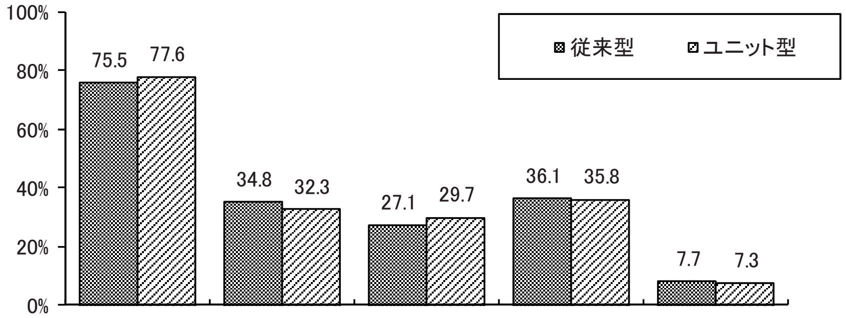
図３－５－⑥－１　看取り支援について抱えている課題×個別ケアの実践程度

図３－５－⑥－１で示す通り、看取り支援について抱えている課題は、施設種別、個別ケアの実践程度でさまざまである。

従来型では、看取り支援について抱えている課題について全体でみると「利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない」と「看取り支援の考え方や方法を職員に周知できていない」を挙げている施設割合が高いが、個別ケアが「できている」と回答した施設では、「職員が不足しているので、看取り支援ができない」「利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない」を挙げた施設割合がそれぞれ同数値で高くなっている。

ユニット型では、看取り支援について抱えている課題について全体でみると「看取り支援の考え方や方法を職員に周知できていない」を挙げた施設割合が高いが、個別ケアが「できている」と回答した施設では、「医療関係者や医療機関の協力が得られない」を挙げた施設割合が一番高くなっている。

⑦　チームケアの課題×個別ケアの実践程度



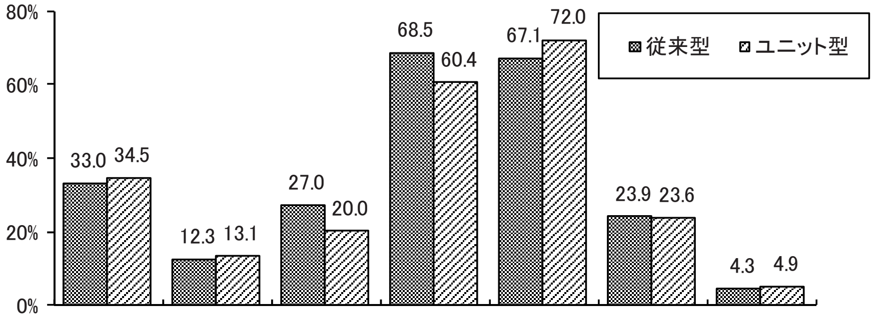
		n	各職種の考え方が統一できていない	具体的なチームケアの指標がないので、どうしていいかわからない	各職種が具体的に、どのようなことに関わりを持ったらいいかわからない	各職種の連携を進める職員がいない	その他
従来型		155	75.5	34.8	27.1	36.1	7.7
	できている	1	–	–	–	–	100.0
	概ねできている	13	69.2	7.7	23.1	15.4	7.7
	あまりできていない	114	78.1	38.6	28.1	38.6	7.9
	全くできていない	24	70.8	37.5	25.0	41.7	4.2
ユニット型		232	77.6	32.3	29.7	35.8	7.3
	できている	1	100.0	–	–	–	–
	概ねできている	50	70.0	18.0	22.0	24.0	10.0
	あまりできていない	165	78.2	34.5	31.5	36.4	6.1
	全くできていない	13	92.3	53.8	38.5	76.9	15.4

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－５－⑦－１　チームケアの課題×個別ケアの実践程度

図３－５－⑦－１で示す通り、施設種別、個別ケアの実践程度に関わらず、「各職種の考え方が統一できていない」を挙げた施設割合が最も高かった。

⑧　利用者に関する記録について抱えている課題（複数回答）×個別ケアの実践程度



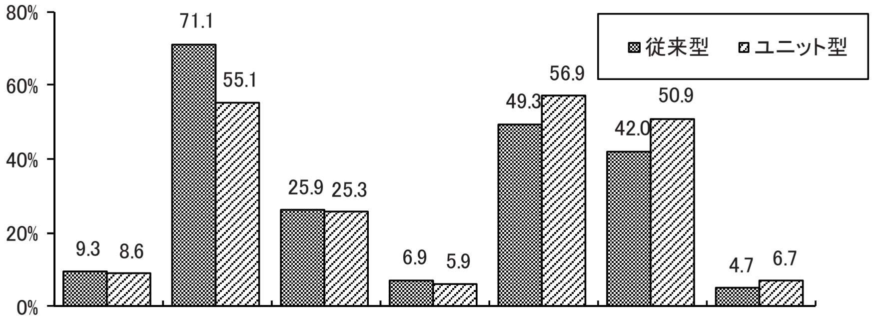
	n	記録の役割や意義が浸透していない	記録に何を書いていいかわからない	職種それぞれで行っており、一元化できていない（1人の利用者に対し職種で記録が分かれている）	記録に手間や時間がかかりすぎる	必要な記録の内容を適切に書けない職員がいる	（電子的記録を行っている場合）パソコン等の機器が使えず、記録を書けない職員がいる	その他
従来型	1,247	33.0	12.3	27.0	68.5	67.1	23.9	4.3
できている	15	6.7	6.7	20.0	73.3	60.0	6.7	13.3
概ねできている	410	22.0	9.5	20.0	69.0	56.8	20.2	3.9
あまりできていない	755	38.7	12.7	30.9	67.8	73.2	25.8	4.0
全くできていない	40	50.0	27.5	42.5	75.0	67.5	30.0	2.5
ユニット型	1,734	34.5	13.1	20.0	60.4	72.0	23.6	4.9
できている	71	8.5	7.0	9.9	63.4	52.1	15.5	14.1
概ねできている	847	28.0	9.3	16.6	61.3	69.3	21.4	5.9
あまりできていない	773	42.6	16.4	24.1	58.9	76.2	26.6	3.1
全くできていない	17	88.2	58.8	47.1	88.2	94.1	41.2	5.9

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３−５−⑧−１　利用者に関する記録について抱えている課題×個別ケアの実践程度

図３−５−⑧−１で示す通り、従来型で個別ケアが「できている」「概ねできている」「全くできていない」と回答した施設と、ユニット型で個別ケアが「できている」と回答した施設では、利用者に関する記録について抱えている課題について「記録に手間や時間がかかりすぎる」を挙げた施設割合が最も高く、従来型で個別ケアが「あまりできていない」と回答した施設とユニット型で個別ケアが「概ねできている」「あまりできていない」「全くできていない」と回答した施設では、「必要な記録の内容を適切に書けない職員がいる」を挙げた施設割合が最も高かった。

⑨　個別ケアについて抱えている課題（複数回答）×個別ケアの実践程度



	n	施設や法人に個別ケアの方針がない	個別ケアを実施できる人員体制が整わない	個別ケアを指導できる職員がいない	何から始めていいかわからない	職員が個別ケアについて十分理解できていない	職員の経験不足	その他
従来型	1,204	9.3	71.1	25.9	6.9	49.3	42.0	4.7
できている	9	–	55.6	–	–	33.3	11.1	33.3
概ねできている	361	3.9	62.3	11.4	3.9	34.1	41.6	6.1
あまりできていない	770	11.3	74.9	32.5	7.9	56.2	42.9	3.6
全くできていない	39	25.6	79.5	48.7	15.4	69.2	51.3	–
ユニット型	1,623	8.6	55.1	25.3	5.9	56.9	50.9	6.7
できている	44	6.8	31.8	11.4	–	22.7	45.5	25.0
概ねできている	763	3.1	47.6	14.4	2.6	44.2	49.9	9.6
あまりできていない	774	13.3	63.4	36.4	8.4	70.3	51.4	3.1
全くできていない	17	41.2	52.9	47.1	52.9	88.2	76.5	–

（網掛け）は各項目で最も高い数値

図３－５－⑨－１　個別ケアについて抱えている課題×個別ケアの実践程度

図３－５－⑨－１で示す通り、個別ケアについて抱えている課題は、従来型では個別ケアの実践程度に関わらず「個別ケアを実施できる人員体制が整わない」を挙げた施設割合が最も高かった。

ユニット型では、個別ケアが「できている」「概ねできている」と回答した施設では、個別ケアについて抱えている課題は「職員の経験不足」を挙げた施設割合が最も高く、「あまりできていない」「全くできていない」と回答した施設では、「職員が個別ケアについて十分理解ができていない」を挙げた施設割合が最も高かった。

4章

2次調査結果

４章　２次調査結果

１．２次調査について

各施設において、具体的にどのように個別ケアを実践しているか、また、どのような課題があってどのような取組み、工夫がなされているかということを具体的に調査するため、２次調査として訪問調査（ヒアリング）を実施した。

対象施設は、１次調査のアンケートにおいて協力可能と回答のあった施設から、立地、施設種別のバランスを考慮して抽出した。

本章では、調査シート（別添）を用いて行ったヒアリング内容を、各施設の工夫している点や個性がみられる点に観点をおいてまとめたものである。

２．調査結果

①　藤代なごみの郷

【施設種別】　従来型個室

・理念

「いつでも、自分らしく、住み慣れたまちで暮らしたい」という理念から、入所者の身体の状態等を最大限に考慮した上での「自立」した毎日を支えるための適切な生活支援を実践している。研修等で職員に意識共有を図っている。

・勤務体制

開設当初、１階は２つ、２階は３つのグループに分けてグループ単位でケアを行っていたが、現在は人材確保が難しいことから、フロアごとの体制で早番・日勤・遅番・夜勤の４種類のシフトで勤務体制を組んでいる。

・日常の支援

【排泄】　起床時・食事の前後には決まった時間に排泄支援を行っており、それ以外の時間帯は入所者一人ひとりに合わせて排泄支援を行っている。

【食事】　食事は、副食のメイン料理を選択できるようにしている。

【看取り】　看取りは、協力医療機関の医師の協力が得られており、対応できている。看取り期には入所者本人や家族の要望を確認し、入所者が好む食事の提供を行い、家族が居室に泊まることができるようにする等、配慮をしている。

・建物・設備

居室には施設が用意したタンスを置いている。

２つの居室の間にトイレがあり、両方の居室から入れるようになっている。以前はそのトイレの仕切りはカーテンだったが、現在はドアに改修し、環境改善している。

・チームケア

アセスメント作成やケース検討について多職種で取り組んでおり、記録も一元化している。

・その他

離職率は低いとの認識。変則勤務のできる職員が少ないため、今後は外国人技能実習生の雇用等も考えている。

・考察

建物構造上の制限や人員確保が難しいなか、職員が効率的に動けるようケアの方法も工夫されており、多職種連携にも積極的にしている。設備についても、トイレのドア取り付け等、できることから改善に取り組んでいる。

② きりしまの園

【施設種別】 従来型多床室

・理念

「ご入居者のお一人お一人がその人らしく暮らしていただくために、これまで歩んでこられた『道』を知り、今何を考え、これからどのように生きていきたいか、何を望んでおられるかを大切にしたケアの実践に努めること」を示した法人理念は、理事長が開催する「理念塾」や職場内研修を通して職員に浸透している。理念には、従来型・ユニット型の違いに関わりなく、地域の方が安心して居場所を移せるよう、施設でも暮らしが継続できるようにという想いが込められている。

・勤務体制

30 人の入居者を 10 人と 20 人のグループに分け、そのグループを「ユニット」と呼び、職員をグループごとに配置している。リーダーサブリーダーも併せて配置し、ユニットケアの考え方を取り入れて個別ケアを行っている。

また、10 年以上の経験をもつ職員と看護職員については、必ず１ユニットに１人、日中・夜間に配置している。夜勤のシフトは、８時間勤務と 12 時間勤務の２通りあり、入居者の状況と職員の働き方に合わせて組めるよう工夫している。

・日常の支援

【入浴】 １週間に２回以上入浴が可能。入所者と職員が１対１で入浴の準備から入浴後の対応まで通して支援している。経験値が高い職員は、入所者の「立位、可動域、麻痺、皮膚が弱い、シャンプーリンスの種類」が分かれば、担当外のユニットの入居者の入浴支援もできる。

【看取り】 看取り期には専用の個室に移動できる。

【レクリエーション活動・行事】 法人全体として花まつり、納涼祭、敬老会等、家族との絆を深めるための行事を実施している。

・建物・設備

平屋建てで、内装に木材を多く使用し、あたたかい雰囲気で家庭に近い環境にある。10 人グループのユ

ニットは、外玄関が直結しており、外部からの訪問者も気軽に足を運べる造りになっている。
多床室ではあるが、居室内の個人の空間が区切られるよう家具を配置しており、他人の視線を気にすることなく、個人の部屋と変わらない雰囲気で入居者が過ごすことができるよう工夫している。

・チームケア

多職種カンファレンスを頻繁に行っており、機能訓練指導員や栄養士も入所者のアセスメントを行って、連携して支援している。栄養士、看護職員、介護職員で記録の様式を統一しており、情報共有の円滑化に努めている。

・その他

個別ケアをより推進していくには、20 人のグループも 10 人ごとのグループに分けてケアをするのがベストだが、建物の構造上、現在のところ難しい。
この施設の強みは、経験年数の長い職員が、以前の集団的な介護から個別ケアに変わってきた時代を経験してきており、個別ケアの大切さを他の職員に伝えられることである。また、リーダー研修を受講した職員がユニットケアの手法をグループに還元できていることである。10 年、20 年の経験があるリーダーの存在が大きいが、リーダーを支えるサブリーダーの養成にも力を入れており、個別ケアの取組みに重要な存在となっている。
グループによって職員の意識やケアの手法に違いが出ているので、今後は、グループ間のミーティングを積極的に行い、職員全体で意識を高くもつように教育していく予定。

・考察

多床室ではあるが、ユニットケアを取り入れた個別ケアを実践するために職員の配置や育成を中心に努力しているところが見受けられる。建物の雰囲気にも、家庭からの暮らしの継続を年頭においた工夫がみられ、施設の個性を生かした個別ケアが実践されている。

③　国津園

【施設種別】　従来型多床室

・理念

「私たちが暮らしたい施設を作るとともに、私たちが使いたいサービスを提供する」に基づいた取り組みに努めている。
ユニット型施設が増加していく中、従来型施設においても、入所者の満足度の向上を図っていくためにも、個別ケアを推進に力を入れている。

・勤務体制

夜勤時間帯を 21 時～8 時とし、日中の時間帯に人手を厚くするよう工夫しているが、併設の短期入所生活介護の人員確保も必要であり、日中の時間帯に職員を多く配置することが困難な日もある。
１フロアの入所者を２グループに分けて、職員をグループごとに固定配置している。フロア単位でシフトを組んでおり、グループ間の応援ができる体制になっている。入所者によっては、職員２人での介助が必要なこともあり、柔軟な配置で臨機応変に対応することができている。

・日常の支援

【入浴】グループに分けて、マンツーマン入浴を行っている。

【食事支援】ご飯、みそ汁といった食事の一部はフロアにある IH 調理器で温めることが可能となっている。入所者の希望により、おかわりをすることも可としている。バイキング形式の食事があったり、喫茶、嗜好品（ノンアルコールビール等）の用意もあったりと、入所者の好みや要望に対応できるようにしている。

【看取り】看取り期の入所者と家族が一緒に過ごせる別室も用意している。

・建物・設備

トイレ個室はカーテンで仕切られている。居室は入所者個人ごとにカーテンで仕切られている。

・チームケア

介護職員も看護職員も同じ生活支援課の配属として、円滑に連携をとれるような組織編制としている。月に１回、介護職員と看護職員以外の職種も含めた多職種の会議を実施している。入所者の個別ケアについては、フロアごとのケアプランカンファレンスにおいて多職種で話し合うようにしている。

・その他

今後は、入所者のプライバシーに配慮し、家庭的な環境づくりのため、居室を家具等で間仕切りや、トイレの戸の設置等を検討している。

入所者の要介護度の中重度化や、同法人のユニット型施設開設を受けて、本施設でも個別ケアを意識するようになった。ケア単位をグループ分けし、職員１人あたりの入所者数が少なくなることで職員同士情報共有を図る余裕が生まれ、施設内のケアの標準化ができている。現在はタブレットで記録を取っており、アナログで記録していたときよりも入所者の情報を深く把握することができるようになった。

・考察

開設から 30 年近く経っているが、入所者の状態像の変化等に合わせ、施設が試行錯誤してきた経緯がみられる。建物構造上の制限もあるなか、入所者一人ひとりに合わせた個別ケアを目指して、グループごとの職員配置で、入所者と職員の馴染みの関係の構築を重視し、取組みがしやすい食事支援等から工夫をしていることが伺える。

④　伸幸苑

【施設種別】　従来型個室+多床室

・理念

職員が楽しく働けることを大事にし、職員が自ら考えて仕事できることを理念に置いている。準ユニット型で、職員がユニットという単位で自由度を持って働けるよう権限移譲している。

ユニットごとに作成・更新しているケアマニュアル（行動指針及び介護の仕方）について、年２回ユニットごとに実施するマニュアル会議において幹部が確認し、施設の方針に沿った運営が各ユニットでできているか確認する仕組みをとっている。

・勤務体制

入所者 12〜13 人のユニットに 4 人の常勤職員（直接ケアにあたる介護職員）と 2 人の介護補助員（リビング内にて入所者の見守り、掃除、片づけ、食事の盛付など間接業務を行う）を固定配置している。また、各ユニット内には固定せず、レクリエーション活動や行事でユニットの職員が手薄になる時間帯や人手の必要なタイミングで補助的な役割を担う部署があり、ユニット職員にかかる負担を分散している。夜勤時間帯は１ユニットに１人の夜勤職員を配置（17 時間勤務)、ユニット間で協力し、それぞれの夜勤職員が仮眠３時間と休憩１時間が取れている。

・日常の支援

【起床】　入所者一人ひとりの生活リズムに合わせ個別に起床支援をしている。

【排泄】　入所者のプライバシーに配慮して、使用済み排泄用品は見た目でわからないようバックを使用して持ち運んでいる。夜間は、入所者の睡眠を妨げることのないよう、アセスメント上必要な人のみ排泄支援を行っている。

【食事】　ユニット内で炊飯や盛付けを行っており、副食のメイン料理は選択ができる。おかわりは自由、持ち込みの食べ物も生物以外は可としている。

・建物・設備

４人部屋と３人部屋は仕切りやふすまで個々の空間に分けられており、それぞれに照明を設置している。個人の空間には、施設が用意したタンスを置いており、その上にクラブ活動の作品等、入所者個人の物を飾っていることが多い。テレビやテーブルを持ち込んでいる人もいる。また、多床室内にも洗面台とトイレが設置している。個室にもドア付のトイレを設置している。共同生活室には、複数の高さのテーブルを配置している。１階には入所者以外の家族や外部の方も利用できる喫茶店があり、地域の人や職員が食事や喫茶で利用している。

・チームケア

施設長から看護課長にチームケアの方針を説明し、他の看護職員を含めチームケアに協力してもらうよう理解を得ている。夜勤時間帯における、入所者の健康状態を把握し、どういう異常値があった場合に看護職員に連絡するかといった介護職員の判断基準や看護職員との連携方法を明確にすることで、チームケアを推進し、特定の職種への過度な負担がないようにした。

・その他

アセスメントを取る様式は、入所者の１日の生活を把握する施設の独自様式を使用している。

必要時に各ユニットの補助に入ることができる職員の確保と間接業務を行う介護補助員を配置していることで各ユニットの職員が集中してユニットの運営を行えており、個別ケアが実践できている。人員配置を厚くすることは経営面で厳しい点もあるが、入所者が安心できる環境づくり、職員が笑顔で対応できる環境や体制づくりを一番に考えて、個別ケアの実践のため、職員にも経営状況も含めて適宜報告し、施設内での理解・共有を図っている。

・考察

入所者一人ひとりへの個別ケアと、職員の働きやすさの双方の視点から、それぞれの職員の役割と連携

方法を明確にし、チームでの個別ケアが実践されている。大規模な施設ゆえ、要所において幹部が各ユニットの状況を確認する等の工夫がなされている。

⑤　晃の園

【施設種別】　従来型個室+多床室

・理念

「尊厳を守り、ゆとりある生活をともにおくる」という施設理念から、身体拘束のゼロの達成等、理念の実現に施設全体で取り組んでいる。理念を浸透させるために、晃の園の歴史を「晃の園のあゆみ」として管理者が毎年職員に語り継いでいる。

・勤務体制

多床室のうち、16 人のフロアはグループと称し、12 人のフロアは準ユニットケア加算の届け出をしているのでユニットと称している。グループおよび各ユニットに職員を固定配置をしており、20 種類のシフトで各グループ・ユニット入所者の生活に合わせた勤務表を作成している。夜勤時間帯は２ユニットに１人の配置となっているが、日中に担当している自分のグループ・ユニット以外のサポートを行う時などには 24H シートを活用している。

・日常の支援

ユニットケアの手法を取り入れて個別ケアを実践している。

【起床】　起床時間、意向等の情報を目安に、入所者の状況に合わせて個別に支援している。

【排泄】　布パンツの使用と健康的な排泄を目指し、多職種で排泄支援に取り組んでいる。

【食事】　ユニット内で炊飯し温かい食事を提供している。食器は入所者が用意したものを使用している。おかずや常備食も持ち込み可とし、自由に食べることができる。

【入浴】　マンツーマン入浴を実施している。３種類の浴室とリフトを使用して入所者の状態に応じた入浴支援を行っている。

【看取り】　看取り期には専用の個室で家族が入所者と過ごすことができ、家族が宿泊することも可能である。

・建物・設備

居室、食堂、居間、トイレ、お風呂を改修し、個室と多床室の両方がある構造でもプライバシーの配慮と少人数ケアが実践できる設えになっている。４人部屋、２人部屋の多床室は、可動式でない建具で仕切りを設けている。

・チームケア

24H シートを活用し多職種で入所者のアセスメント・評価を行っている。また、３か月ごとのモニタリングを行っており、入所者の暮らしに変化がないかを確認、見直しをしている。

それぞれの職種の専門性を活かしたケアを実践するため、食事・排泄・入浴などそれぞれの支援の内容に関する話し合いの場を設けて、各職種の知恵を持ち寄り、どのように工夫していくか皆で考えながら実践に生かしている。

・その他
ケア単位をグループ分けすることにより、職員や入所者のグループへの帰属意識が醸成され、入所者の僅かな変化にも職員が気付くことができている。職員が元気で、安心して仕事ができ、家庭生活が安定し、健康な心身を保っていくことが、施設の理念を実現するための基盤であると考えている。人を育てること、介護技術の向上を目指した指導者の育成が、今後の施設の目標である。

・考察
開設年から 30 年を経過している大規模施設であり、これまでのケアの歴史的経緯や、法人・施設で蓄積してきたノウハウを生かして、少人数のケア単位での個別ケアを実践している。現在も、多職種で話し合いながら、入所者一人ひとりの生活の質の向上のために、できることから取り組んでいくという意識の高さが伺える。

⑥　かざこしの里
【施設種別】　ユニット型個室
・理念
法人設立時に既存施設のユニットケアの考え方やハード、ケアの方法を学び、参考にし、有識者を含めた設立準備委員会で検討を行い理念の策定をした。本施設の設計には、この施設の理念に基づいた考え方が生かされている。会議・研修等を通じて施設の理念や方針を職員に繰り返し伝え、共有を図っている。

・勤務体制
入居者の状態・状況に合わせ、24H シートに記載を活用してユニットごとの勤務体制を整備している。協力ユニットという、近くのユニットの職員同士が相互にサポートし合えるしくみを取り入れており、急な職員の休暇、欠員があった場合は、ユニット内の職員で勤務体制を変更するか、または協力ユニット間でサポートに入るなどの柔軟な対応ができるようにしている。夜勤時間帯は、２ユニットで１人の職員配置となることもあるが、協力ユニット間で 24H シートの情報を共有し入居者に応じた適切なケアを行っている。
また、短時間勤務のシフトや子育て中の職員の短時間労働（６～７時間）を導入している。
こうした取組みと、職員配置 1.5：1 の方針を維持するため、効率的な職員配置をするようにしている。

・日常の支援
【起床】　入居者一人ひとりの起床時間、意向等を 24H シートで把握し、個別に起床支援を行っている。
【排泄】　一定期間を定めて入居者の排泄データ情報を取得し、情報を目安に都度、意思確認しながら随時個別に排泄支援をしている。入居者のプライバシー・尊厳に配慮し、使用済み排泄用品は排泄用品と周囲にそれとわからないようバックに入れて持ち運びしている。
【食事】　ユニット内で炊飯・盛付けを行い温かい食事を提供している。また、決まった時間内に食事をとれなくても代わりのものが提供できるよう、常備食を用意している。
【入浴】　マンツーマン入浴を実施している。個浴・特殊浴槽はリフト付きである。

【看取り】　看取り期の早めの段階で、入居者本人や家族に看取り支援についての説明を行い、本人や家族の意向を尊重して進めるようにしている。また、家族会でも看取りをテーマとした勉強会を開催するなど、家族の看取りへの理解を深める取組みをしている。

・建物・設備

施設ではなく「住まいをつくる」をコンセプトに、設計・資材にこだわっており、統一感をもった温かみのある設えとなっている。１階と２階の居住部分には、中庭を囲むように２ユニットの共同生活室を配置しており、入居者が自然を感じられるように配慮をしている。共同生活室には、入居者の高さに合わせたテーブルを数種類配置している。

・チームケア

ケアマネジャー有資格者がフロアー長となり、ユニット職員の相談役やユニット全体のフォローを行っている。看護師や栄養士は、昼食の時間を利用してユニットの職員と情報共有を図っている。

・その他

施設の理念を基に職員たちが自ら作成した実践十箇条（行動指針）で、あるべき職員行動をより明確にし、共有している。

住まいに近い環境、入居者本人、家族の意向を大事にしたケアの方針について入居者家族の理解も得ている。入居者・家族だけでなく、職員からも選ばれるという職場づくりを目指して、出産・育児等の人生のイベントに配慮した働き続けやすい労働環境の整備や、入居者と職員の負担軽減のためにスライディングボード・スライディングシート・リフトなどの福祉用具を活用する等、長期的に働き続けられるための取組みに力を入れている。

・考察

ユニットケアの利点を生かし、入居者の居心地の良い環境と職員の働きやすさの双方の視点から、個別ケアの質の向上に努力していることが伺える。入居者家族とのコミュニケーションを重視し、積極的に行っていることも個別ケアに繋がっているとみられる。

⑦　ゆーとりあ

【施設種別】　ユニット型個室

・理念

同法人が本施設開設前から運営してきた軽費老人ホームでの支援をもとに、当たり前にその人らしく過ごす、という理念でのケアの実行を進めている。理念は、常に会議の場、研修の場で唱和し、ケアが理念に基づき実行されているのか、見直しを行っている。

・勤務体制

職員はユニットに固定配置しており、１ユニットに常勤４人、非常勤１、２名を配置している。主に定年後の方をサポート職員として 10 名程採用しており、１ユニットに１名、朝・夕の食事の時間等の手厚い職員配置が必要な時間帯を中心に配置している。シフトは 25 種類あり、30 分単位で柔軟にシフト

が組めるようになっており、各ユニットで入居者の暮らしに合わせて調整している。

・日常の支援

【排泄】　トイレに座ることを基本にし、尿測を行い、入居者一人ひとりのタイミングを把握するようにしている。布パンツ、パット、紙オムツを入居者に合わせて使用している。おむつゼロを目標にしている。

【食事】　正しい姿勢で食事ができるよう入居者の下腿長を測り、テーブルといすの高さを入居者ごとに合わせている。食事の際は、必ず車いすからいすに座りなおしてもらっている。食事に時間がかかる場合は温めなおし、美味しく食べてもらえるようにしている。入居者の嗜好品を把握し、食べたいものを食べたいときに、食べることができるよう準備している。入居者の希望があればアルコール飲料も可としている。

【入浴】　マンツーマン入浴を行っている。入居者によって入浴したい時間帯や入浴支援にかかる時間は異なっており、状態や希望に応じて対応できるようにしている。施設としては、毎日、入浴支援が可能な状態である（施設として曜日に制限をかけていない）。

【看取り】看取り期となったら、家族へ看護職員、医師、施設長から説明をしている。また、看取り後には施設長も含めて職員で振り返りを行っている。

【レクリエーション】　編み物、お花、カラオケ等、ユニットとは異なる場所に移動して行っている。レクリエーションは家族と一緒に行う、家族が見守ることも可能。実施しているレクリエーションの内容や、入居者が希望するレクリエーションはケアプランに落としている。

・建物・設備

２・３階に４ユニットずつあり、２ユニットずつ協力体制がとれるよう扉で繋がっている。共同生活室も食卓には植物等が置いており、家庭に近い雰囲気を演出している。居室は、入居者が自由に個人のものを持ち込めるようになっている。

・チームケア

ユニットに１名ずつ看護職員を配置し、ユニット内での連携を図っているほか、各ユニットの介護支援会議には、看護職員全員が参加している。介護職員をいかにバックアップするか、看護職員間の意思統一を図るようにしている。栄養士は、「おうちごはん」と題し、昼食時に各ユニットで調理し、ユニットの職員との連携に努めている。機能訓練指導員（PT）もポジショニングや適切な介護支援用具を活用した介護技術面のサポートを行っており、どの職種の職員も同じ方向を向いて個別ケアを実践できるようミーティングを頻繁に開催するようにしている。職種に関係なく、記録は一元化している。

・その他

入居者一人ひとりの意思を大事にした個別ケアに取り組みたいという施設の考えから、施設長は管理者研修、職員はリーダー研修を通して、個別ケアの理解を深めている。施設の課題は、なかなか人事異動ができず、ユニットによって取り組みのレベルに差が生じていることである。今後は、お互いケアの見直しを行い、職員としてさらにステップアップさせるためユニット間の人事異動を検討している。また、夜間の職員の負担軽減のために、予測型見守りシステム等の介護ロボット利用していくことも検討している。

・考察

サポート職員の導入等、人員確保を工夫しながらユニット単位での個別ケアの質の向上に努めていることが伺える。それぞれの支援は入居者一人ひとりの意向を汲み取って行われている。

チームケアでは看護職員に求められていることが大きいようだが、ユニット内の意識共有はできているという。現在検討されている、ユニット間のケアの格差を解消する取組みが実現されれば、さらに個別ケアの質の向上を図ることができると考えられる。

附録

1 次調査・調査票

厚生労働省 平成 30 年度老人保健健康増進等事業

特別養護老人ホームにおける個別ケアの手法開発に関する調査

＜回答に当たっての注意事項については次ページを参照いただきアンケートにお答え下さい。＞

一般社団法人　日本ユニットケア推進センター

特別養護老人ホームにおける個別ケアの手法開発に関する調査

■回答に当たっての注意事項

◇　本調査票は、平成 30 年８月 31 日時点で、「介護サービス情報公表システム」に登録されている特別養護老人ホーム（地域密着型を含む。）の施設長宛てにお送りしています。原則、施設長の方がご回答下さい。ユニット型と従来型の混合施設の場合は、介護事業所番号が異なることから、お手数ですが、本調査票をコピーしてご回答下さい。

◇　回答頂いた内容は、全て統計的に処理いたします。また、本調査で得た情報は調査以外の目的では使用しません。

◇　回答は、各設問の指示に従い、該当する選択肢番号を「○」で囲んで下さい。回答は、当てはまるもの全てを選択していただく（複数回答可）ものといずれか１つを選択していただくものとがあり、設問ごとに明示しています。

◇　調査票を返信しないことにより個人及び貴施設（貴法人）が不利益を被ることはありません。

◇　当センターは、個人情報の取扱いを適切に行っている事業者に与えられる「プライバシーマーク」を取得しており、個別の施設名を公表することはありません。

◇　この調査の集計等については、一般社団法人シルバーサービス振興会に委託しています。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **平成 31 年1月 15 日（火）** までに投かんして下さい（切手は不要です）。

調査の趣旨や調査内容等についてのお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

【お問い合わせ先】
一般社団法人　日本ユニットケア推進センター　担当：秋葉・古屋・佐橋
TEL:03-5577-6186　　fax:03-5577-6187
〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台一丁目８番 11 号
東京 YWCA 会館 308 号室

問1．貴施設の基本情報について教えて下さい。（平成 30 年 10 月1日時点）

① 開設年月　西暦〔　　　　　　　　〕年〔　　　　　〕月

② 施設種別【1つだけに○。「3」、「7」、「11」については介護事業所番号が同一のもの。】

1．従来型個室	2．従来型多床室	3．従来型個室＋多床室
4．ユニット型個室	5．ユニット型個室的多床室	6．ユニット型多床室
7．ユニット型個室＋多床室	8．地域密着型従来型個室	9．地域密着型多床室
10．地域密着型ユニット型個室	11．地域密着型ユニット型個室的多床室	
12．地域密着型ユニット型多床室	13．地域密着型個室＋多床室	

③ ②の種別形態の運営開始年月　西暦〔　　　　　　〕年〔　　　　〕月

④ 入所（入居）定員（ショートステイを含む。）〔　　　　　　〕人

⑤ 平均人員配置（常勤換算、看護職員を含む。小数点以下第１位まで記入（第２位を四捨五入））

〔　　　．　　　〕：1

⑥ 平均要介護度（小数点以下第１位まで記入（第２位を四捨五入））〔　　　　　．　　〕

ⅰ．利用者の起床支援についてお尋ねします。

問2．起床の支援方法についての考え方（方針）と実際の支援方法についてお尋ねします。
　主な考え方は「望ましい」に○を、主な実施の支援方法は「実際行っている」に○をそれぞれ1つだけにつけて下さい。

	回答欄	
1．施設全体で決められている起床時間に合わせ、起床支援を行う	望ましい	実際行っている
2．施設で決められた朝食の時間に間に合うように起床支援を行う	望ましい	実際行っている
3．規則正しい生活リズムを大事にし、一定の時間には起きるよう起床支援を行う	望ましい	実際行っている
4．利用者に、毎回、起床の意思を確認した上で起床支援を行う	望ましい	実際行っている
5．予め利用者の起床の時間、意向や好み等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う	望ましい	実際行っている
6．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）	望ましい	実際行っている

問3．起床支援について抱えている課題は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1．職員が不足しているので、一人ひとりの生活リズムに合わせた起床支援ができない
2．利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない
3．限られた朝食の時間に合わせて、（ある程度）決まった時間に起こさなければならない
4．起床支援が夜勤職員の業務となっている等、勤務時間の都合や他の業務の都合に合わせた支援になっている
5．起床支援の考え方や方法を職員に周知できていない
6．起床支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
7．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ⅱ．利用者の排泄支援についてお尋ねします。

問4．排泄支援についての考え方（方針）と実際の支援方法についてお尋ねします。
主な考え方は「望ましい」に○を、主な実施の支援方法は「実際行っている」に○をそれぞれ１つだけにつけて下さい。

	回答欄	
１．予め施設全体で排泄介助する時間や回数を決め、決められた時間に排泄支援を行う	望ましい	実際行っている
２．利用者に排泄の意思を確認しながら、その都度、個別に排泄支援を行う	望ましい	実際行っている
3.利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う	望ましい	実際行っている
４．その他（　　　　　　　　　　　　　）	望ましい	実際行っている

問４－１．排泄データのとり方を教えて下さい。【１つだけに○】

１．毎日の排泄チェック表等に記載した数値等を基にデータ化している
２．１週間等期間を決め、１時間ないし２時間等時間間隔を決め、排泄の有無と量を測定し、データ化している
３．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）

問5．未使用の排泄用品はどこに置いていますか。【当てはまるもの全てに○】

１．備品等を入れる倉庫　　２．便所　　３．利用者の部屋等本人の近辺
４．その他（　　　　　　　　　　）

問6．排泄用品は、施設で何種類用意していますか。【１つだけに○】

１．５種類以内　　２．10 種類以内　　３．15 種類以内
４．20 種類以内　　５．21 種類以上

問7．排泄交換後の対応は、主にどのようにしていますか。【１つだけに○】

１．使用済み排泄用品を新聞紙等に包んで持ち運びをしている
２．使用済み排泄用品を台車で回収・運搬している
３．使用済み排泄用品をバケツで回収・運搬している
４．１～３以外の方法で、使用済みの排泄用品とわからないようトートバッグに入れる等、工夫して持ち運びをしている
５．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問８．排泄支援について抱えている課題は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

１．職員が不足しているので、一人ひとりの排泄リズムに合わせた排泄支援ができない
２．利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない
３．便所の位置が居室や共同生活室から遠いため、排泄支援に時間がかかる
４．従来の定時交換（１日に決められた回数、決められた時間に行う）から、随時交換に変える方法がわからない
５．排泄支援の考え方や方法を職員に周知できていない
６．排泄支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
７．利用者の要介護度の重度化により、排泄支援に時間がかかる
８．利用者の要介護度の重度化により、排泄支援について職員の負担が大きくなっている
９．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ⅲ．利用者の食事の支援についてお尋ねします。

問９．食事支援についての考え方（方針）と実際の支援方法についてお尋ねします。
考え方は「望ましい」に○を、実施の支援方法は「実際行っている」に○をつけて下さい。
【当てはまるもの全てに○】

	回答欄	
１．利用者全員同一量・同メニューになるよう食事支援を行う	望ましい	実際行っている
２．利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う	望ましい	実際行っている
３．利用者個人の持ち込みの食事等も可とし、柔軟に対応する	望ましい	実際行っている
４．何よりも栄養価やカロリーを重視した量や内容にする	望ましい	実際行っている
５．利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う	望ましい	実際行っている
６．（規則正しい生活の維持、健康管理の面から）食事時間以外の食事等の提供はしない	望ましい	実際行っている
７．夜間でも利用者の要望に応じて軽食等を提供する	望ましい	実際行っている
８．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）	望ましい	実際行っている

問10．食器について工夫をしていますか。【１つだけに○】

１．利用者個人の食器（ご飯茶碗、湯飲み、マグカップ等）を使用している
２．施設で用意した統一のものを使用している
３．１、２の両方を使用している

問11．食事の際のテーブルやいすの高さは、どのように対応していますか。【１つだけに○】

１．すべて同一のものを使用している
２．高さ調整のため２種類を用意している
３．高さ調整のため３種類以上を用意している

問 12. 食事支援について抱えている課題は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1. 職員が不足しているので個別の対応ができない
2. 利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない
3. 利用者が希望する食事と栄養アセスメントがうまく調整できない
4. 食事支援の考え方や方法を職員に周知できていない
5. 食事支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
6. 利用者の要介護度の重度化により、食形態が多様になり思うような食事支援ができない
7. 利用者の要介護度の重度化により、食事介助が多く、食事支援に時間がかかる
8. 調理員の人材不足、厨房業者の撤退等の食事提供体制の理由により、思うような食事支援ができない
9. 衛生管理面への配慮から食事提供の内容やタイミングに制限をかけてしまう
10. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ⅳ. 利用者の入浴の支援についてお尋ねします。

問 13. 入浴支援についての考え方（方針）と実際の支援方法についてお尋ねします。
考え方は「望ましい」に○を、実施の支援方法は「実際行っている」に○をつけて下さい。
【当てはまるもの全てに○】

	回答欄	
1. マンツーマン入浴*の体制で入浴支援を行う	望ましい	実際行っている
2. 誘導・着替え・洗身等に職員の役割を決め、複数の職員で対応する	望ましい	実際行っている
3. タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう	望ましい	実際行っている
4. タオルやシャンプー等は施設で統一する	望ましい	実際行っている
5. 利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う	望ましい	実際行っている
6. 入浴介助の安全性や効率を考え、主に機械（臥位式）浴槽を使用する	望ましい	実際行っている
7. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）	望ましい	実際行っている

＊ マンツーマン入浴：１人の職員が１人の利用者に対して一連の入浴支援を行う。必要に応じて、職員がもう１人加わり２人で支援する場合も含む。

問 14. 施設全体で入浴支援を実施している日数は、一週間当たり平均何日ですか。【１つだけに○】

1. 2日　　2. 3日　　3. 4日　　4. 5日以上

問 15. 入浴支援について抱えている課題は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1. 職員が不足しているので、個別の入浴支援ができない
2. 利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない
3. 入浴支援の考え方や方法を職員に周知できていない
4. 入浴支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
5. 利用者の要介護度の重度化により、入浴支援に時間がかかる
6. 利用者の要介護度の重度化により、入浴支援について職員の負担が大きくなっている
7. リフト等の福祉用具の設備が十分でなく、職員の負担が大きい
8. 居室や共同生活室等から浴室までの場所が遠い
7. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

v. 利用者の日常の支援（食事・排泄・入浴等の３大介護）以外のレクリエーション活動や行事の支援についてお尋ねします。

問 16. レクリエーション活動や行事は、主にどのように行っていますか。【１つだけに○】

1. レクリエーション活動や行事は施設全体で行っている
2. レクリエーション活動や行事は施設全体とユニット（グループ）ごとに行っている
3. レクリエーション活動や行事はユニット（グループ）ごとに行っている
4. レクリエーション活動や行事は、特別行わない

問 17. レクリエーション活動や行事の企画はどのように行っていますか。【１つだけに○】

1. 職員のみで企画している
2. 利用者の趣味・意向を聞いた上で、企画している
3. 利用者の趣味・意向に加えて、家族や地域の方等、第三者の意見を取り入れて企画している

問 18. レクリエーション活動や行事の参加についての考え方（方針）についてお尋ねします。【当てはまるもの全てに○】

1. 可能な限り利用者全員に参加してもらう
2. 利用者に毎回参加の意思・意向を尋ねる
3. 希望者だけ（少人数）の参加でも実施する
4. 利用者が直接参加できなくとも、見ているだけでもコミュニケーションがとれればいい
5. 利用者が積極的に参加できるよう工夫する

問 19. レクリエーション活動や行事の内容についてお尋ねします。【当てはまるもの全てに○】

1. 施設外で行う（外出する）レクリエーションや行事がある
2. 家族も共に参加できるレクリエーションや行事がある
3. 地域の方が参加できるレクリエーションや行事がある

問 20．レクリエーションや行事にかかる経費はどうしていますか。【当てはまるもの全てに○】

1．ユニットやグループ単位で一定の金額を割り当て、自由に使えるようにしている
2．必要な都度、購入伺い等の書類手続により支出する
3．職員に立て替え払いをしてもらい、領収書等により事後的に支払う
4．基本的にレクリエーションや行事にあてる費用はない
5．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 21．レクリエーション活動や行事で抱えている課題は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1．職員が不足している
2．利用者一人ひとりの詳しい意向や希望を十分聞いて対応できていない
3．利用者の要介護度が重度化しているので、どのようなレクリエーションや行事をしたらいいかわからない
4．レクリエーションや行事の企画・実施ができる職員がいない
5．レクリエーションや行事を実施するボランティアや外部講師として協力してくれる人がいない
6．レクリエーションや行事を実施するための費用を捻出できない
7．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

vi．利用者の看取りについてお尋ねします。

問 22．看取り支援についての考え方（方針）と実際の支援方法についてお尋ねします。
主な考え方は「望ましい」に○を、主な実施の支援方法は「実際行っている」に○をそれぞれ１つだけにつけて下さい。

	回答欄	
1．看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う	望ましい	実際行っている
2．看取りを積極的に行っている	望ましい	実際行っている
3．医療職の協力等の実践する要件が満たされるのであれば、行っていい	望ましい	実際行っている
4．医療は医療機関で行うという認識のもと、積極的には行わない	望ましい	実際行っている
5．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）	望ましい	実際行っている

問 23．貴施設での看取りについてお尋ねします。【当てはまるもの全てに○】

1．看取り時は、体調変化が激しいので、利用者や家族の希望があっても入浴支援は行わない
2．看取り期の利用者については、他の利用者には秘密にして、不安を与えないようにしている
3．看取り期の利用者については、他の利用者にも状態を伝え、利用者を含めて施設全体で看取りについて考えるようにしている
4．看取り時は、家族がそばに寄り添う（宿泊も含む）ことは自由である
5．看取り時は、施設のメニューよりも本人や家族の望む食事を提供する
6．看取りをした後は、必ず振り返り（カンファレンス）を行う
7．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 24．看取り支援について抱えている課題は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1．職員が不足しているので、看取り支援ができない
2．利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない
3．看取り支援の考え方や方法を職員に周知できていない
4．看取り支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない
5．医療関係者や医療機関の協力が得られない
6．看取りに対する考え方が医療関係者と合わない
7．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ⅶ．利用者の身の回りについてお尋ねします。

問 25．ベッド周り（ユニット型においては居室内全般）には、何がありますか。
【当てはまるもの全てに○】

1．施設が設置した床頭台やタンス等の家具　　2．利用者個人が持ち込んだタンスやソファー
3．利用者個人の関係の写真や絵、趣味の道具　4．生花や観賞用植物
5．その他（　　　　　　　　　　　　　　）

問 26．他の利用者との仕切りはどのようにしていますか。【当てはまるもの全てに○】

1．個室による壁　　2．パーテーションやふすま　　3．タンス等の家具
4．カーテン　　5．その他（　　　　　　　　　　）

問 27．利用者の家族が宿泊する場合、家族の宿泊場所はどこですか。【1つだけに○】

1．利用者の居室内　　2．施設内の家族室等、利用者の居室とは別の部屋
3．その他（　　　　　　　　　　）　4．利用者の家族が宿泊できる場所はない

問 28．利用者が日中主に過ごしている場所はどこですか。【1つだけに○】

1．居室　　2．共同生活室（リビング・ダイニング等）
3．食堂　　4．その他（　　　　　　　　　　　　）

ⅷ．貴施設の理念についてお尋ねします。

問 29．貴施設の理念についてどのように考えられていますか。【当てはまるもの全てに○】

1．全職員に浸透、共有し、施設全体で常に意識すべきものである
2．施設としての目指すべき方向性が示されており、必要と感じている
3．事業計画等の具体的方針があれば、理念はあまり重要でないと考える
4．取り立てて理念について考えることはない
5．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（1・2 →）次ページへ

前ページから

問29－1．理念の活用や浸透に具体的にどんな方法をとっていますか。
【当てはまるもの全てに○】

1．理念は、ケアマニュアルに支援する内容ごとに具体的に落とし込んでいる
2．事業計画の作成や振り返るときに活用している
3．困難事例等の検討時に活用している
4．紙面で職員に配布している
5．施設長室等の役員部屋に掲示している
6．施設内の、利用者や訪問者も見ることができる場所に掲示している
7．家族の会や個別の家族の面談等で説明している
8．地域に説明している
9．特に何もしていない

問30．職員に理念の周知はできていると思いますか。【1つだけに○】

1．よくできている	2．まあまあできている
3．あまりできていない	4．できていない

ix．職員配置についてお尋ねします。

問31．利用者の一定の人数をグループとし特定の職員を担当として割り当てている場合、その利用者のグループは何人グループになりますか（グループで人数にばらつきのある場合は平均人数）。【1つだけに○】

1．10人以内	2．15人以内	3．20人以内
4．25人以内	5．30人以内	6．31人以上

問32．問31について、その単位にしている理由は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1．ユニット・グループ単位	2．建物の構造上、ケアしやすい単位
3．少人数ケア体制のほうが個別ケアをしやすいから	4．人手がないから
5．特別考えていない	6．その他（　　　　　　　　）

x．勤務表の作成方法についてお尋ねします。

問33．勤務表の主な作成者はどなたですか。【1つだけに○】

1．施設長	2．介護長・課長・主任等の中間管理職
3．ユニットリーダー（グループリーダー）	4．1～3以外の介護職員
5．その他（　　　　　　　　　　）	

問34．勤務時間帯の種類は何種類ありますか（就業規則に掲載済みのもの）。【1つだけに○】

1．4種類（早・遅・日・夜）　2．10種類以内　3．20種類以内　4．21種類以上

問 35. 勤務の組み方はどのようにしていますか。【当てはまるもの全てに○】

1．早番・日勤・遅番・夜勤の４種類を当てはめて作成している
2．24 時間単位の暮らしのアセスメントを根拠（24H シートの一覧表等）にしたものを使用し、ユニット（グループ）ごとに作成している
3．ユニット（グループ）ごとに、勤務の時間を自由に調整して作成している
4．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

xi．利用者について知ること（アセスメント）についてお尋ねします。

問 36. アセスメントについて、貴施設において最も重視している視点はどれですか。【１つだけに○】

1．日常生活動作（ADL）　　　　2．利用者の１日の暮らし（起床・食事・排泄・入浴等）
3．利用者の抱えている課題　　　4．その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

問 37. 貴施設において、アセスメントとして活用している様式があれば教えてください。
【当てはまるもの全てに○】

1．包括自立支援プログラム　　　　2．フェイスシート
3．24H シート　　　　　　　　　　4．その他（　　　　　　　　　　　　）

問 38. アセスメントに関わる職種と職位を教えてください。

① 職種【当てはまるもの全てに○】

1．相談員　2．介護支援専門員　3．看護職員　4．栄養士
5．介護職　6．その他（　　　　　　　　　）

② 職位【当てはまるもの全てに○】

1．管理職でない一般の職員　　　2．介護長・主任等の中間管理職
3．施設長　　　　　　　　　　　4．その他（　　　　　　　　　）

問 39. そのアセスメントは実際にケアに活用されていますか。【１つだけに○】

1．活用されている　　　　　　　2．大体活用されている
3．あまり活用されていない　　　4．活用されていない

問 40. そのアセスメントは、他の運営に利活用していますか。【当てはまるもの全てに○】

1．勤務表作成　　　　2．人員配置　　　　3．備品の購入
4．施設の安全管理　　5．その他（　　　　　　　　　　　）

xii. チームケア（多職種協働）についてお尋ねします。

問 41. 日常の支援以外でチームケアをしている具体的な方法を教えてください。
【当てはまるもの全てに○】

1. 利用者のアセスメント作成に関わる
2. 利用者のケース検討に関わる
3. 記録を一元化（1つの様式に利用者1人に対し多職種で作成）している
5. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
6. 特に行っていない

問 42. チームケアは順調に行えていますか。【1つだけに○】

1. 順調である　　2. どちらともいえない　　3. 順調ではない

問 42－1. 順調ではない理由は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1. 各職種の考え方が統一できていない
2. 具体的なチームケアの指標がないので、どうしていいかわからない
3. 各職種が具体的に、どのようなことに関わりを持ったらいいかわからない
4. 各職種の連携を進める職員がいない
5. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

xiii. 記録についてお尋ねします。

問 43. 貴施設で使用している利用者に関する記録の種類はどれですか（事故報告書やヒヤリハットなどの報告書は除く）。【当てはまるもの全てに○】

1. ケース記録　　2. 日報　　3. 利用者の排泄や食事等のチェック表
4. 申し送りノート　　5. その他（　　　　　　　　　　　　）

問 44. 記録で抱える課題は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1. 記録の役割や意義が浸透していない
2. 記録に何を書いていいかわからない
3. 職種それぞれで行っており、一元化できていない（1人の利用者に対し職種で記録が分かれている）
4. 記録に手間や時間がかかりすぎる
5. 必要な記録の内容を適切に書けない職員がいる
6.（電子的記録を行っている場合）パソコン等の機器が使えず、記録を書けない職員がいる
7. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

xiv. 個別ケアの実践についてお尋ねします。

問 45. 職員へ権限委譲していることは何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1. ケアを実践するために必要な経費をユニットやグループ単位で自由に使える仕組み
2. 利用者の暮らしぶりに合わせ、自由に勤務を組むことができる権限
3. 短時間の外出等を職員の判断で柔軟に行える権限
4. 職員の異動等の配置換え
5. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
6. 特別に権限移譲していることはない

問 46. 貴施設で考える個別ケアに当てはまるものを教えてください。【当てはまるもの全てに○】

1. 利用者の日常の暮らし（起床、食事、排泄、入浴）の生活パターンを、個人の状態に合わせて支援すること
2. 利用者のこれまでの（自宅等での）暮らしやこれからの（施設での）暮らしを考慮しながら、利用者個々の生活リズム（時間）を尊重して支援すること
3. 施設で決めた暮らしの時間（起床、食事、排泄、入浴）等において、利用者個々に対応すること
4. 利用者が施設で暮らしやすい環境（ハード）を考慮して支援すること
5. 利用者の意向や価値観を尊重して支援すること
6. 多職種が利用者一人ひとりの暮らしに関わり、コミュニケーションをとって支援していくこと
7. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 47. 職員が個別ケアを実践するにあたり、重要と思うのはどれですか。【当てはまるもの全てに○】

1. 支援の指針や手法を示したガイドライン等の資料
2. 利用者の状態や意向に合わせて対応できるような、職員への権限委譲
3. 利用者のこれまでの暮らし（生活リズム）を考慮しながら支援すること
4. 施設の理念を職員に浸透させること
5. 職員一人ひとりの役割を明確にすること
6. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 48. あなたの施設では、個別ケアが実践できていると思いますか。【1 つだけに○】

1. できている　　2. 概ねできている　　3. あまりできていない
4. 全くできていない　　5. わからない

→問 48－1. 主に個別ケアの実践にあたり指導するのはどなたですか。【1 つだけに○】

1. 施設長　　2. 中間管理職
3. ユニットリーダー（グループリーダー）　　4. 特別いない

問 49. 個別ケアを実践するにあたり、抱えている課題は何ですか。【当てはまるもの全てに○】

1．施設や法人に個別ケアの方針がない
2．個別ケアを実施できる人員体制が整わない
3．個別ケアを指導できる職員がいない
4．何から始めていいかわからない
5．職員が個別ケアについて十分理解できていない
6．職員の経験不足
7．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 50. あなたについて教えてください。

① 性別【1つだけに○】

1．男性　　2．女性　　3．その他

② 年齢【1つだけに○】

1．30 歳未満　　2．30～40 歳未満　　3．40～50 歳未満
4．50～60 歳未満　　5．60～70 歳未満　　6．70 歳以上

③ 介護業務に携わった経験年数【1つだけに○】

1．1年未満　　2．1～5年未満　　3．5～10 年未満
4．10～15 年未満　　5．15～20 年未満　　6．20 年以上

④ 施設長としての経験年数【1つだけに○】

1．1年未満　　2．1～5年未満　　3．5～10 年未満
4．10～15 年未満　　5．15～20 年未満　　6．20 年以上

⑤ 保有資格【当てはまるもの全てに○】

1．介護支援専門員　　2．社会福祉主事（施設長認定資格）　　3．介護福祉士
4．社会福祉士　　5．ホームヘルパー　　6．看護師
7．准看護師　　8．医師　　9．歯科医師
10．その他（　　　　　　　）11．保有資格はない

【二次調査（訪問）へのご協力について】

当センターでは、ご協力をいただける特別養護老人ホームを対象に二次調査（訪問）の実施を計画しています。貴施設での個別ケアの様々な取組についてヒアリングさせていただき、本調査の報告及びガイドライン等の作成の参考にさせていただくという点で、大変重要な調査と位置付けています。

つきましては、現段階での貴施設のご協力の可否についてご回答下さい。なお、「1．協力できる」と回答いただいた中から対象施設を抽出し、1月末までにご連絡致します。

二次調査（訪問）への協力の可否	1．協力できる		2．協力できない
施設名		ご担当者名	
電話番号		メールアドレス	

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ **平成 31 年1月 15 日（火） まで** に投函してください（切手は不要です）。

１次調査データ一覧

問１．施設開設年
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	1979年以前	1980～1989年	1990～1999年	2000～2009年	2010～2014年	2015年以降
全　体	3,089	240	325	574	857	799	294
	100.0	7.8	10.5	18.6	27.7	25.9	9.5
従来型個室	56	8	7	23	11	4	3
	100.0	14.3	12.5	41.1	19.6	7.1	5.4
従来型多床室	443	69	169	135	29	28	13
	100.0	15.6	38.1	30.5	6.5	6.3	2.9
従来型個室＋多床室	691	73	89	334	173	19	3
	100.0	10.6	12.9	48.3	25.0	2.7	0.4
ユニット型個室	1,202	77	39	48	495	370	173
	100.0	6.4	3.2	4.0	41.2	30.8	14.4
ユニット型個室的多床室	3	－	－	－	2	1	－
	100.0	－	－	－	66.7	33.3	－
ユニット型多床室	1	－	－	－	－	1	－
	100.0	－	－	－	－	100.0	－
ユニット型個室＋多床室	33	4	8	5	5	9	2
	100.0	12.1	24.2	15.2	15.2	27.3	6.1
地域密着型従来型個室	6	－	1	－	1	2	2
	100.0	－	16.7	－	16.7	33.3	33.3
地域密着型多床室	19	1	1	1	3	12	1
	100.0	5.3	5.3	5.3	15.8	63.2	5.3
地域密着型ユニット型個室	572	6	3	16	125	329	93
	100.0	1.0	0.5	2.8	21.9	57.5	16.3
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	－	－	1	－	1	－
	100.0	－	－	50.0	－	50.0	－
地域密着型ユニット型多床室	4	－	－	－	－	4	－
	100.0	－	－	－	－	100.0	－
地域密着型個室＋多床室	30	－	3	5	4	16	2
	100.0	－	10.0	16.7	13.3	53.3	6.7

問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	従来型個室	従来型多床室	従来型個室＋多床室	ユニット型個室	ユニット型個室的多床室	ユニット型多床室	ユニット型個室＋多床室	地域密着型従来型個室	地域密着型多床室	地域密着型ユニット型個室	地域密着型ユニット型個室的多床室	地域密着型ユニット型多床室	地域密着型個室＋多床室
全　体	3,137	57	455	705	1,234	3	1	33	6	19	587	2	4	31
	100.0	1.8	14.5	22.5	39.3	0.1	0.0	1.1	0.2	0.6	18.7	0.1	0.1	1.0
従来型個室	57	57	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
従来型多床室	455	－	455	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
従来型個室＋多床室	705	－	－	705	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ユニット型個室	1,234	－	－	－	1,234	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ユニット型個室的多床室	3	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
ユニット型多床室	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
	100.0	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－
ユニット型個室＋多床室	33	－	－	－	－	－	－	33	－	－	－	－	－	－
	100.0	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－
地域密着型従来型個室	6	－	－	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	－
	100.0	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
地域密着型多床室	19	－	－	－	－	－	－	－	－	19	－	－	－	－
	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－
地域密着型ユニット型個室	587	－	－	－	－	－	－	－	－	－	587	－	－	－
	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－
	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－
地域密着型ユニット型多床室	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－
	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
地域密着型個室＋多床室	31	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	31
	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0

問１．運営開始年
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	1979年以前	1980～1989年	1990～1999年	2000～2009年	2010～2014年	2015年以降
全　体	2,955	117	233	483	899	892	331
	100.0	4.0	7.9	16.3	30.4	30.2	11.2
従来型個室	51	4	6	16	14	6	5
	100.0	7.8	11.8	31.4	27.5	11.8	9.8
従来型多床室	426	62	162	126	34	27	15
	100.0	14.6	38.0	29.6	8.0	6.3	3.5
従来型個室＋多床室	660	40	59	322	201	34	4
	100.0	6.1	8.9	48.8	30.5	5.2	0.6
ユニット型個室	1,142	5	2	9	522	411	193
	100.0	0.4	0.2	0.8	45.7	36.0	16.9
ユニット型個室的多床室	3	－	－	－	1	2	－
	100.0	－	－	－	33.3	66.7	－
ユニット型多床室	1	－	－	－	－	1	－
	100.0	－	－	－	－	100.0	－
ユニット型個室＋多床室	31	2	－	3	8	13	5
	100.0	6.5	－	9.7	25.8	41.9	16.1
地域密着型従来型個室	6	－	－	－	1	3	2
	100.0	－	－	－	16.7	50.0	33.3
地域密着型多床室	19	－	－	－	2	16	1
	100.0	－	－	－	10.5	84.2	5.3
地域密着型ユニット型個室	555	2	1	－	107	346	99
	100.0	0.4	0.2	－	19.3	62.3	17.8
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	－	－	－	－	2	－
	100.0	－	－	－	－	100.0	－
地域密着型ユニット型多床室	4	－	－	－	－	4	－
	100.0	－	－	－	－	100.0	－
地域密着型個室＋多床室	30	－	－	1	3	21	5
	100.0	－	－	3.3	10.0	70.0	16.7

問１④　入所（入居）定員
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	20名未満	20～40名未満	40～70名未満	70～100名未満	100名以上	平均
全　体	3,137	75	757	792	777	736	68.45
	100.0	2.4	24.1	25.2	24.8	23.5	
従来型個室	56	−	4	12	24	16	78.98
	100.0	−	7.1	21.4	42.9	28.6	
従来型多床室	453	6	19	190	152	86	74.18
	100.0	1.3	4.2	41.9	33.6	19.0	
従来型個室＋多床室	703	14	19	200	269	201	81.19
	100.0	2.0	2.7	28.4	38.3	28.6	
ユニット型個室	1,225	12	178	317	308	410	77.04
	100.0	1.0	14.5	25.9	25.1	33.5	
ユニット型個室的多床室	3	−	−	−	1	2	125.00
	100.0	−	−	−	33.3	66.7	
ユニット型多床室	1	−	−	1	−	−	50.00
	100.0	−	−	100.0	−	−	
ユニット型個室＋多床室	33	−	2	5	11	15	95.55
	100.0	−	6.1	15.2	33.3	45.5	
地域密着型従来型個室	6	−	6	−	−	−	26.83
	100.0	−	100.0	−	−	−	
地域密着型多床室	19	3	12	4	−	−	26.21
	100.0	15.8	63.2	21.1	−	−	
地域密着型ユニット型個室	575	36	489	46	4	−	31.19
	100.0	6.3	85.0	8.0	0.7	−	
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	1	−	−	−	19.50
	100.0	50.0	50.0	−	−	−	
地域密着型ユニット型多床室	4	1	3	−	−	−	24.25
	100.0	25.0	75.0	−	−	−	
地域密着型個室＋多床室	30	2	20	6	2	−	35.47
	100.0	6.7	66.7	20.0	6.7	−	

問１⑤　平均人員配置

問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	1.6未満:1	1.6～1.8未満:1	1.8～2.0未満:1	2.0～2.2未満:1	2.2～2.4未満:1	2.4～2.6未満:1	2.6～2.8未満:1	2.8以上:1	平均
全　体	2,604	241	440	499	446	299	282	134	263	2.09
	100.0	9.3	16.9	19.2	17.1	11.5	10.8	5.1	10.1	
従来型個室	45	1	4	6	9	6	8	2	9	2.29
	100.0	2.2	8.9	13.3	20.0	13.3	17.8	4.4	20.0	
従来型多床室	359	5	8	24	48	73	82	41	78	2.45
	100.0	1.4	2.2	6.7	13.4	20.3	22.8	11.4	21.7	
従来型個室＋多床室	576	4	17	53	108	128	125	60	81	2.36
	100.0	0.7	3.0	9.2	18.8	22.2	21.7	10.4	14.1	
ユニット型個室	1,042	116	257	297	202	63	43	13	51	1.91
	100.0	11.1	24.7	28.5	19.4	6.0	4.1	1.2	4.9	
ユニット型個室的多床室	3	1	−	1	1	−	−	−	−	1.80
	100.0	33.3	−	33.3	33.3	−	−	−	−	
ユニット型多床室	−	−	−	−	−	−	−	−	−	-
	−	−	−	−	−	−	−	−	−	
ユニット型個室＋多床室	27	−	3	5	6	6	5	1	1	2.16
	100.0	−	11.1	18.5	22.2	22.2	18.5	3.7	3.7	
地域密着型従来型個室	5	1	1	1	2	−	−	−	−	1.80
	100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	−	−	−	−	
地域密着型多床室	16	−	6	1	4	1	1	1	2	2.09
	100.0	−	37.5	6.3	25.0	6.3	6.3	6.3	12.5	
地域密着型ユニット型個室	475	107	133	96	57	17	17	12	36	1.87
	100.0	22.5	28.0	20.2	12.0	3.6	3.6	2.5	7.6	
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	−	−	−	−	−	−	−	1.40
	100.0	100.0	−	−	−	−	−	−	−	
地域密着型ユニット型多床室	4	−	1	2	−	1	−	−	−	1.88
	100.0	−	25.0	50.0	−	25.0	−	−	−	
地域密着型個室＋多床室	24	2	4	7	6	2	1	1	1	1.97
	100.0	8.3	16.7	29.2	25.0	8.3	4.2	4.2	4.2	

問１⑥　平均要介護
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	3未満	3～3.5未満	3.5～4未満	4～4.5未満	4.5以上	平均
全　体	3,015	9	141	1,244	1,532	89	3.96
	100.0	0.3	4.7	41.3	50.8	3.0	
従来型個室	48	-	5	21	22	-	3.88
	100.0	-	10.4	43.8	45.8	-	
従来型多床室	430	-	13	147	257	13	4.01
	100.0	-	3.0	34.2	59.8	3.0	
従来型個室＋多床室	680	2	17	235	406	20	4.01
	100.0	0.3	2.5	34.6	59.7	2.9	
ユニット型個室	1,170	4	73	576	494	23	3.90
	100.0	0.3	6.2	49.2	42.2	2.0	
ユニット型個室的多床室	3	-	-	2	1	-	3.77
	100.0	-	-	66.7	33.3	-	
ユニット型多床室	1	-	-	1	-	-	3.70
	100.0	-	-	100.0	-	-	
ユニット型個室＋多床室	31	-	4	9	16	2	3.96
	100.0	-	12.9	29.0	51.6	6.5	
地域密着型従来型個室	6	-	-	3	2	1	4.12
	100.0	-	-	50.0	33.3	16.7	
地域密着型多床室	19	-	-	5	13	1	4.08
	100.0	-	-	26.3	68.4	5.3	
地域密着型ユニット型個室	565	3	29	222	286	25	3.96
	100.0	0.5	5.1	39.3	50.6	4.4	
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	-	-	1	1	4.45
	100.0	-	-	-	50.0	50.0	
地域密着型ユニット型多床室	4	-	-	3	1	-	3.93
	100.0	-	-	75.0	25.0	-	
地域密着型個室＋多床室	27	-	-	6	19	2	4.13
	100.0	-	-	22.2	70.4	7.4	

問２．起床の支援方法【望ましい考え方】
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	施設全体で決められている起床時間に合わせ、起床支援を行う	施設で決められた朝食の時間に間に合うように起床支援を行う	規則正しい生活リズムを大事にし、一定の時間には起きるよう起床支援を行う	利用者に、毎回、起床の意思を確認した上で起床支援を行う	予め利用者の起床の時間、意向や好み等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う	その他
全　体	1,659	30	18	135	204	1,266	6
	100.0	1.8	1.1	8.1	12.3	76.3	0.4
従来型個室	24	1	-	-	4	19	-
	100.0	4.2	-	-	16.7	79.2	-
従来型多床室	222	7	2	31	26	154	2
	100.0	3.2	0.9	14.0	11.7	69.4	0.9
従来型個室＋多床室	341	5	1	41	46	247	1
	100.0	1.5	0.3	12.0	13.5	72.4	0.3
ユニット型個室	670	12	10	37	75	534	2
	100.0	1.8	1.5	5.5	11.2	79.7	0.3
ユニット型個室的多床室	1	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-
ユニット型多床室	1	-	-	-	-	1	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	-
ユニット型個室＋多床室	14	-	-	-	3	11	-
	100.0	-	-	-	21.4	78.6	-
地域密着型従来型個室	2	-	-	-	-	1	1
	100.0	-	-	-	-	50.0	50.0
地域密着型多床室	12	-	-	-	1	11	-
	100.0	-	-	-	8.3	91.7	-
地域密着型ユニット型個室	322	5	5	20	39	253	-
	100.0	1.6	1.6	6.2	12.1	78.6	-
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	-	-	1	1	-
	100.0	-	-	-	50.0	50.0	-
地域密着型ユニット型多床室	3	-	-	-	-	3	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	-
地域密着型個室＋多床室	17	-	-	3	4	10	-
	100.0	-	-	17.6	23.5	58.8	-

問２．起床の支援方法【実際行っている方法】
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	施設全体で決められている起床時間に合わせ、起床支援を行う	施設で決められた朝食の時間に間に合うように起床支援を行う	規則正しい生活リズムを大事にし、一定の時間には起きるよう起床支援を行う	利用者に、毎回、起床の意思を確認した上で起床支援を行う	予め利用者の起床の時間、意向や好み等をアセスメントしたデータを基に、その日の利用者個人の状況に合わせて起床支援を行う	その他
全　体	3,053	40	529	862	706	889	27
	100.0	1.3	17.3	28.2	23.1	29.1	0.9
従来型個室	56	1	13	13	15	14	-
	100.0	1.8	23.2	23.2	26.8	25.0	-
従来型多床室	434	13	97	157	105	61	1
	100.0	3.0	22.4	36.2	24.2	14.1	0.2
従来型個室＋多床室	687	20	171	229	149	110	8
	100.0	2.9	24.9	33.3	21.7	16.0	1.2
ユニット型個室	1,172	2	155	284	249	470	12
	100.0	0.2	13.2	24.2	21.2	40.1	1.0
ユニット型個室的多床室	3	-	-	-	1	2	-
	100.0	-	-	-	33.3	66.7	-
ユニット型多床室	1	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	31	-	5	7	9	10	-
	100.0	-	16.1	22.6	29.0	32.3	-
地域密着型従来型個室	6	-	-	2	-	3	1
	100.0	-	-	33.3	-	50.0	16.7
地域密着型多床室	19	-	4	9	3	2	1
	100.0	-	21.1	47.4	15.8	10.5	5.3
地域密着型ユニット型個室	561	2	71	135	155	195	3
	100.0	0.4	12.7	24.1	27.6	34.8	0.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	1	-	1	-	-
	100.0	-	50.0	-	50.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	3	-	-	2	1	-	-
	100.0	-	-	66.7	33.3	-	-
地域密着型個室＋多床室	31	1	6	9	7	8	-
	100.0	3.2	19.4	29.0	22.6	25.8	-

問３．起床支援について抱えている課題は何ですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	職員が不足しているので、一人ひとりの生活リズムに合わせた起床支援ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない	限られた朝食の時間に合わせて、（ある程度）決まった時間に起こさなければならない	起床支援が夜勤職員の業務となっている等、勤務時間の都合や他の業務の都合に合わせた支援になっている	起床支援の考え方や方法を職員に周知できていない	起床支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	その他
全　体	3,021	1,486	1,306	2,094	1,276	607	295	159
	100.0	49.2	43.2	69.3	42.2	20.1	9.8	5.3
従来型個室	53	27	20	45	29	13	8	1
	100.0	50.9	37.7	84.9	54.7	24.5	15.1	1.9
従来型多床室	444	252	169	354	246	75	45	16
	100.0	56.8	38.1	79.7	55.4	16.9	10.1	3.6
従来型個室＋多床室	695	385	294	562	360	93	50	25
	100.0	55.4	42.3	80.9	51.8	13.4	7.2	3.6
ユニット型個室	1,152	511	545	695	382	263	129	76
	100.0	44.4	47.3	60.3	33.2	22.8	11.2	6.6
ユニット型個室的多床室	3	1	1	1	1	－	－	－
	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	－	－	－
ユニット型多床室	1	1	－	1	1	－	－	－
	100.0	100.0	－	100.0	100.0	－	－	－
ユニット型個室＋多床室	32	18	15	21	15	9	3	1
	100.0	56.3	46.9	65.6	46.9	28.1	9.4	3.1
地域密着型従来型個室	5	4	3	5	1	－	－	1
	100.0	80.0	60.0	100.0	20.0	－	－	20.0
地域密着型多床室	18	11	7	14	11	3	2	－
	100.0	61.1	38.9	77.8	61.1	16.7	11.1	－
地域密着型ユニット型個室	537	233	218	336	191	137	56	36
	100.0	43.4	40.6	62.6	35.6	25.5	10.4	6.7
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	－	－	2	1	－	1	1
	100.0	－	－	100.0	50.0	－	50.0	50.0
地域密着型ユニット型多床室	4	3	2	3	1	1	－	－
	100.0	75.0	50.0	75.0	25.0	25.0	－	－
地域密着型個室＋多床室	29	15	14	23	14	4	－	1
	100.0	51.7	48.3	79.3	48.3	13.8	－	3.4

問４．排泄支援【望ましい考え方】
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	予め施設全体で排泄介助する時間や回数を決め、決められた時間に排泄支援を行う	利用者に排泄の意思を確認しながら、その都度、個別に排泄支援を行う	利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う	その他
全　体	1,910	67	228	1,608	7
	100.0	3.5	11.9	84.2	0.4
従来型個室	28	-	4	24	-
	100.0	-	14.3	85.7	-
従来型多床室	248	8	30	208	2
	100.0	3.2	12.1	83.9	0.8
従来型個室＋多床室	425	15	59	348	3
	100.0	3.5	13.9	81.9	0.7
ユニット型個室	771	29	96	646	-
	100.0	3.8	12.5	83.8	-
ユニット型個室的多床室	1	-	-	1	-
	100.0	-	-	100.0	-
ユニット型多床室	1	-	-	1	-
	100.0	-	-	100.0	-
ユニット型個室＋多床室	16	1	1	14	-
	100.0	6.3	6.3	87.5	-
地域密着型従来型個室	2	-	-	2	-
	100.0	-	-	100.0	-
地域密着型多床室	12	-	2	9	1
	100.0	-	16.7	75.0	8.3
地域密着型ユニット型個室	353	12	29	311	1
	100.0	3.4	8.2	88.1	0.3
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	1	1	-
	100.0	-	50.0	50.0	-
地域密着型ユニット型多床室	3	-	-	3	-
	100.0	-	-	100.0	-
地域密着型個室＋多床室	19	1	3	15	-
	100.0	5.3	15.8	78.9	-

問４．排泄支援【実際行っている方法】
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	予め施設全体で排泄介助する時間や回数を決め、決められた時間に排泄支援を行う	利用者に排泄の意思を確認しながら、その都度、個別に排泄支援を行う	利用者一人ひとりの排泄データを一定期間とり、そのデータに基づき、意思確認をしながら随時個別に排泄支援を行う	その他
全　体	3,034	639	1,269	1,062	64
	100.0	21.1	41.8	35.0	2.1
従来型個室	53	14	25	13	1
	100.0	26.4	47.2	24.5	1.9
従来型多床室	436	162	168	95	11
	100.0	37.2	38.5	21.8	2.5
従来型個室＋多床室	686	218	286	164	18
	100.0	31.8	41.7	23.9	2.6
ユニット型個室	1,159	138	492	517	12
	100.0	11.9	42.5	44.6	1.0
ユニット型個室的多床室	2	-	-	2	-
	100.0	-	-	100.0	-
ユニット型多床室	1	-	1	-	-
	100.0	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	30	4	11	15	-
	100.0	13.3	36.7	50.0	-
地域密着型従来型個室	6	1	1	4	-
	100.0	16.7	16.7	66.7	-
地域密着型多床室	18	4	5	6	3
	100.0	22.2	27.8	33.3	16.7
地域密着型ユニット型個室	561	82	248	214	17
	100.0	14.6	44.2	38.1	3.0
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	2	-	-
	100.0	-	100.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	3	1	1	1	-
	100.0	33.3	33.3	33.3	-
地域密着型個室＋多床室	31	5	11	14	1
	100.0	16.1	35.5	45.2	3.2

問４－１．排泄データのとり方を教えて下さい。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	毎日の排泄チェック表等に記載した数値等を基にデータ化している	1週間等期間を決め、1時間ないし2時間等時間間隔を決め、排泄の有無と量を測定し、データ化している	その他
全　体	1,052	622	350	80
	100.0	59.1	33.3	7.6
従来型個室	13	12	1	-
	100.0	92.3	7.7	-
従来型多床室	95	61	27	7
	100.0	64.2	28.4	7.4
従来型個室＋多床室	162	103	51	8
	100.0	63.6	31.5	4.9
ユニット型個室	514	271	202	41
	100.0	52.7	39.3	8.0
ユニット型個室的多床室	2	1	-	1
	100.0	50.0	-	50.0
ユニット型多床室	-	-	-	-
	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	14	8	5	1
	100.0	57.1	35.7	7.1
地域密着型従来型個室	4	3	-	1
	100.0	75.0	-	25.0
地域密着型多床室	6	4	1	1
	100.0	66.7	16.7	16.7
地域密着型ユニット型個室	210	138	54	18
	100.0	65.7	25.7	8.6
地域密着型ユニット型個室的多床室	-	-	-	-
	-	-	-	-
地域密着型ユニット型多床室	1	1	-	-
	100.0	100.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	14	11	2	1
	100.0	78.6	14.3	7.1

問５．未使用の排泄用品はどこに置いていますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	備品等を入れる倉庫	便所	利用者の部屋等本人の近辺	その他
全　体	3,183	2,876	1,587	1,239	181
	100.0	90.4	49.9	38.9	5.7
従来型個室	57	52	25	18	1
	100.0	91.2	43.9	31.6	1.8
従来型多床室	454	425	227	133	31
	100.0	93.6	50.0	29.3	6.8
従来型個室＋多床室	705	666	333	227	32
	100.0	94.5	47.2	32.2	4.5
ユニット型個室	1,234	1,079	603	545	78
	100.0	87.4	48.9	44.2	6.3
ユニット型個室的多床室	3	3	−	3	−
	100.0	100.0	−	100.0	−
ユニット型多床室	1	1	−	−	−
	100.0	100.0	−	−	−
ユニット型個室＋多床室	33	32	18	10	3
	100.0	97.0	54.5	30.3	9.1
地域密着型従来型個室	6	6	3	2	−
	100.0	100.0	50.0	33.3	−
地域密着型多床室	19	18	11	9	−
	100.0	94.7	57.9	47.4	−
地域密着型ユニット型個室	585	518	319	257	28
	100.0	88.5	54.5	43.9	4.8
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	2	1	−
	100.0	100.0	100.0	50.0	−
地域密着型ユニット型多床室	4	3	1	1	1
	100.0	75.0	25.0	25.0	25.0
地域密着型個室＋多床室	31	25	18	12	5
	100.0	80.6	58.1	38.7	16.1

問６．排泄用品は、施設で何種類用意していますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	5種類以内	10種類以内	15種類以内	20種類以内	21種類以上
全　体	3,169	406	1,908	634	157	64
	100.0	12.8	60.2	20.0	5.0	2.0
従来型個室	57	11	34	10	2	-
	100.0	19.3	59.6	17.5	3.5	-
従来型多床室	453	77	283	69	20	4
	100.0	17.0	62.5	15.2	4.4	0.9
従来型個室＋多床室	700	89	457	116	27	11
	100.0	12.7	65.3	16.6	3.9	1.6
ユニット型個室	1,225	139	692	272	83	39
	100.0	11.3	56.5	22.2	6.8	3.2
ユニット型個室的多床室	3	-	1	2	-	-
	100.0	-	33.3	66.7	-	-
ユニット型多床室	1	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	5	19	7	-	2
	100.0	15.2	57.6	21.2	-	6.1
地域密着型従来型個室	6	1	4	1	-	-
	100.0	16.7	66.7	16.7	-	-
地域密着型多床室	18	4	8	5	1	-
	100.0	22.2	44.4	27.8	5.6	-
地域密着型ユニット型個室	587	76	352	134	21	4
	100.0	12.9	60.0	22.8	3.6	0.7
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	1	1	-	-
	100.0	-	50.0	50.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	4	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-
地域密着型個室＋多床室	31	-	21	7	2	1
	100.0	-	67.7	22.6	6.5	3.2

問７．排泄交換後の対応は、主にどのようにしていますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	使用済み排泄用品を新聞紙等に包んで持ち運びをしている	使用済み排泄用品を台車で回収・運搬している	使用済み排泄用品をバケツで回収・運搬している	1～3以外の方法で、使用済みの排泄用品とわからないようトートバッグに入れる等、工夫して持ち運びをしている	その他
全　体	3,183	338	628	620	1,440	157
	100.0	10.6	19.7	19.5	45.2	4.9
従来型個室	57	3	14	21	15	4
	100.0	5.3	24.6	36.8	26.3	7.0
従来型多床室	454	28	217	128	64	17
	100.0	6.2	47.8	28.2	14.1	3.7
従来型個室＋多床室	704	34	296	206	126	42
	100.0	4.8	42.0	29.3	17.9	6.0
ユニット型個室	1,234	148	51	153	817	65
	100.0	12.0	4.1	12.4	66.2	5.3
ユニット型個室的多床室	3	-	1	-	2	-
	100.0	-	33.3	-	66.7	-
ユニット型多床室	1	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	7	4	9	11	2
	100.0	21.2	12.1	27.3	33.3	6.1
地域密着型従来型個室	6	2	1	2	1	-
	100.0	33.3	16.7	33.3	16.7	-
地域密着型多床室	19	4	2	4	9	-
	100.0	21.1	10.5	21.1	47.4	-
地域密着型ユニット型個室	586	101	22	76	364	23
	100.0	17.2	3.8	13.0	62.1	3.9
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	-	-	2	-
	100.0	-	-	-	100.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	1	1	1	1	-
	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	31	5	10	8	6	2
	100.0	16.1	32.3	25.8	19.4	6.5

問８．排泄支援について抱えている課題は何ですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	職員が不足しているので、一人ひとりの排泄リズムに合わせた排泄支援ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない	便所の位置が居室や共同生活室から遠いため、排泄支援に時間がかかる	従来の定時交換（1日に決められた回数、決められた時間に行う）から、随時交換に変える方法がわからない	排泄支援の考え方や方法を職員に周知できていない	排泄支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	利用者の要介護度の重度化により、排泄支援に時間がかかる	利用者の要介護度の重度化により、排泄支援について職員の負担が大きくなっている	その他
全　体	3,041	1,225	1,366	375	80	577	349	1,663	1,979	154
	100.0	40.3	44.9	12.3	2.6	19.0	11.5	54.7	65.1	5.1
従来型個室	55	23	20	14	−	8	6	33	35	−
	100.0	41.8	36.4	25.5	−	14.5	10.9	60.0	63.6	−
従来型多床室	442	217	202	126	19	73	56	278	315	12
	100.0	49.1	45.7	28.5	4.3	16.5	12.7	62.9	71.3	2.7
従来型個室＋多床室	687	349	322	158	17	106	68	438	480	20
	100.0	50.8	46.9	23.0	2.5	15.4	9.9	63.8	69.9	2.9
ユニット型個室	1,163	390	530	41	35	252	145	566	714	69
	100.0	33.5	45.6	3.5	3.0	21.7	12.5	48.7	61.4	5.9
ユニット型個室的多床室	3	−	1	−	−	−	−	2	1	−
	100.0	−	33.3	−	−	−	−	66.7	33.3	−
ユニット型多床室	1	−	1	−	−	−	−	−	1	−
	100.0	−	100.0	−	−	−	−	−	100.0	−
ユニット型個室＋多床室	31	10	12	5	1	7	1	21	20	−
	100.0	32.3	38.7	16.1	3.2	22.6	3.2	67.7	64.5	−
地域密着型従来型個室	6	2	3	−	−	1	−	3	5	1
	100.0	33.3	50.0	−	−	16.7	−	50.0	83.3	16.7
地域密着型多床室	17	9	8	−	−	3	1	8	11	1
	100.0	52.9	47.1	−	−	17.6	5.9	47.1	64.7	5.9
地域密着型ユニット型個室	555	188	236	20	7	116	66	266	340	44
	100.0	33.9	42.5	3.6	1.3	20.9	11.9	47.9	61.3	7.9
地域密着型ユニット型個室的多床室	1	1	−	−	−	−	−	1	1	−
	100.0	100.0	−	−	−	−	−	100.0	100.0	−
地域密着型ユニット型多床室	4	2	3	1	−	−	1	2	2	−
	100.0	50.0	75.0	25.0	−	−	25.0	50.0	50.0	−
地域密着型個室＋多床室	29	13	9	4	1	1	1	19	23	2
	100.0	44.8	31.0	13.8	3.4	3.4	3.4	65.5	79.3	6.9

問9．食事支援【望ましい考え方】
問1．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	利用者全員同一量・同メニューになるよう食事支援を行う	利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う	利用者個人の持ち込みの食事等も可とし、柔軟に対応する	何よりも栄養価やカロリーを重視した量や内容にする	利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う	（規則正しい生活の維持、健康管理の面から）食事時間以外の食事等の提供はしない	夜間でも利用者の要望に応じて軽食等を提供する	その他
全　体	2,763	316	1,490	1,360	375	2,116	367	1,482	22
	100.0	11.4	53.9	49.2	13.6	76.6	13.3	53.6	0.8
従来型個室	49	7	27	28	11	35	10	30	−
	100.0	14.3	55.1	57.1	22.4	71.4	20.4	61.2	−
従来型多床室	400	52	194	193	61	289	64	203	2
	100.0	13.0	48.5	48.3	15.3	72.3	16.0	50.8	0.5
従来型個室＋多床室	613	72	320	280	88	459	94	288	7
	100.0	11.7	52.2	45.7	14.4	74.9	15.3	47.0	1.1
ユニット型個室	1,060	106	601	539	133	830	126	605	6
	100.0	10.0	56.7	50.8	12.5	78.3	11.9	57.1	0.6
ユニット型個室的多床室	3	1	3	3	−	3	−	2	−
	100.0	33.3	100.0	100.0	−	100.0	−	66.7	−
ユニット型多床室	1	−	−	−	−	1	−	−	−
	100.0	−	−	−	−	100.0	−	−	−
ユニット型個室＋多床室	31	3	19	18	4	22	3	14	−
	100.0	9.7	61.3	58.1	12.9	71.0	9.7	45.2	−
地域密着型従来型個室	5	1	1	1	2	3	−	2	−
	100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	60.0	−	40.0	−
地域密着型多床室	18	3	10	7	2	15	1	11	−
	100.0	16.7	55.6	38.9	11.1	83.3	5.6	61.1	−
地域密着型ユニット型個室	508	63	283	259	63	402	59	292	6
	100.0	12.4	55.7	51.0	12.4	79.1	11.6	57.5	1.2
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	−	2	2	−	2	−	2	−
	100.0	−	100.0	100.0	−	100.0	−	100.0	−
地域密着型ユニット型多床室	4	−	4	4	−	4	−	4	−
	100.0	−	100.0	100.0	−	100.0	−	100.0	−
地域密着型個室＋多床室	27	4	10	8	5	18	5	11	−
	100.0	14.8	37.0	29.6	18.5	66.7	18.5	40.7	−

問9．食事支援【実際行っている方法】
問1．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	利用者全員同一量・同メニューになるよう食事支援を行う	利用者の個々人の好みや意向、身体的状況に合わせた量や内容（嚥下や治療食等も含む。）にするよう食事支援を行う	利用者個人の持ち込みの食事等も可とし、柔軟に対応する	何よりも栄養価やカロリーを重視した量や内容にする	利用者に「美味しく」「楽しく」食べてもらうことを重視した食事支援を行う	（規則正しい生活の維持、健康管理の面から）食事時間以外の食事等の提供はしない	夜間でも利用者の要望に応じて軽食等を提供する	その他
全　体	3,132	548	2,779	2,095	777	1,651	456	995	58
	100.0	17.5	88.7	66.9	24.8	52.7	14.6	31.8	1.9
従来型個室	55	14	48	28	18	35	8	17	1
	100.0	25.5	87.3	50.9	32.7	63.6	14.5	30.9	1.8
従来型多床室	445	98	405	250	141	234	97	101	13
	100.0	22.0	91.0	56.2	31.7	52.6	21.8	22.7	2.9
従来型個室＋多床室	699	158	621	409	204	372	121	171	13
	100.0	22.6	88.8	58.5	29.2	53.2	17.3	24.5	1.9
ユニット型個室	1,209	173	1,060	896	258	641	135	434	17
	100.0	14.3	87.7	74.1	21.3	53.0	11.2	35.9	1.4
ユニット型個室的多床室	3	1	3	3	－	3	－	3	－
	100.0	33.3	100.0	100.0	－	100.0	－	100.0	－
ユニット型多床室	1	－	1	－	－	－	－	－	－
	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－
ユニット型個室＋多床室	32	6	27	22	9	21	7	3	1
	100.0	18.8	84.4	68.8	28.1	65.6	21.9	9.4	3.1
地域密着型従来型個室	6	1	6	4	1	4	2	3	－
	100.0	16.7	100.0	66.7	16.7	66.7	33.3	50.0	－
地域密着型多床室	19	1	17	13	3	10	2	6	－
	100.0	5.3	89.5	68.4	15.8	52.6	10.5	31.6	－
地域密着型ユニット型個室	577	81	512	414	119	291	72	223	12
	100.0	14.0	88.7	71.8	20.6	50.4	12.5	38.6	2.1
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	－	2	1	－	1	2	2	－
	100.0	－	100.0	50.0	－	50.0	100.0	100.0	－
地域密着型ユニット型多床室	4	－	4	3	－	2	－	2	－
	100.0	－	100.0	75.0	－	50.0	－	50.0	－
地域密着型個室＋多床室	31	6	29	21	9	12	3	11	1
	100.0	19.4	93.5	67.7	29.0	38.7	9.7	35.5	3.2

問10. 食器について工夫をしていますか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	利用者個人の食器（ご飯茶碗、湯飲み、マグカップ等）を使用している	施設で用意した統一のものを使用している	1、2の両方を使用している
全　体	3,176	580	995	1,601
	100.0	18.3	31.3	50.4
従来型個室	57	4	28	25
	100.0	7.0	49.1	43.9
従来型多床室	455	29	261	165
	100.0	6.4	57.4	36.3
従来型個室＋多床室	702	25	405	272
	100.0	3.6	57.7	38.7
ユニット型個室	1,229	349	171	709
	100.0	28.4	13.9	57.7
ユニット型個室的多床室	3	-	-	3
	100.0	-	-	100.0
ユニット型多床室	1	-	-	1
	100.0	-	-	100.0
ユニット型個室＋多床室	33	4	7	22
	100.0	12.1	21.2	66.7
地域密着型従来型個室	6	1	2	3
	100.0	16.7	33.3	50.0
地域密着型多床室	19	1	7	11
	100.0	5.3	36.8	57.9
地域密着型ユニット型個室	585	157	86	342
	100.0	26.8	14.7	58.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	-	-
	100.0	100.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	2	2
	100.0	-	50.0	50.0
地域密着型個室＋多床室	31	4	12	15
	100.0	12.9	38.7	48.4

問11．食事の際のテーブルやいすの高さは、どのように対応していますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	すべて同一のものを使用している	高さ調整のため２種を用意している	高さ調整のため３種類以上を用意している
全　体	3,173	715	1,353	1,105
	100.0	22.5	42.6	34.8
従来型個室	57	14	24	19
	100.0	24.6	42.1	33.3
従来型多床室	454	110	163	181
	100.0	24.2	35.9	39.9
従来型個室＋多床室	700	124	305	271
	100.0	17.7	43.6	38.7
ユニット型個室	1,230	282	537	411
	100.0	22.9	43.7	33.4
ユニット型個室的多床室	3	1	-	2
	100.0	33.3	-	66.7
ユニット型多床室	1	-	1	-
	100.0	-	100.0	-
ユニット型個室＋多床室	33	4	14	15
	100.0	12.1	42.4	45.5
地域密着型従来型個室	6	2	3	1
	100.0	33.3	50.0	16.7
地域密着型多床室	19	6	6	7
	100.0	31.6	31.6	36.8
地域密着型ユニット型個室	584	153	263	168
	100.0	26.2	45.0	28.8
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	2	-
	100.0	-	100.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	1	3
	100.0	-	25.0	75.0
地域密着型個室＋多床室	31	7	13	11
	100.0	22.6	41.9	35.5

問12. 食事支援について抱えている課題は何ですか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	職員が不足しているので個別の対応ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）が追い付いていない	利用者が希望する食事と栄養アセスメントがうまく調整できない	食事支援の考え方や方法を職員に周知できていない	食事支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	利用者の要介護度の重度化により、食形態が多様になり思うような食事支援ができない	利用者の要介護度の重度化により、食事介助が多く、食事支援に時間がかかる	調理員の人材不足、厨房業者の撤退等の食事提供体制の理由により、思うような食事支援ができない	衛生管理面への配慮から食事提供の内容やタイミングに制限をかけてしまう	その他
全　体	3,078	911	823	531	456	259	847	2,482	550	1,145	90
	100.0	29.6	26.7	17.3	14.8	8.4	27.5	80.6	17.9	37.2	2.9
従来型個室	55	16	14	6	9	4	15	46	12	17	2
	100.0	29.1	25.5	10.9	16.4	7.3	27.3	83.6	21.8	30.9	3.6
従来型多床室	438	156	122	74	66	34	130	383	83	160	12
	100.0	35.6	27.9	16.9	15.1	7.8	29.7	87.4	18.9	36.5	2.7
従来型個室＋多床室	697	249	183	111	90	55	227	599	120	248	22
	100.0	35.7	26.3	15.9	12.9	7.9	32.6	85.9	17.2	35.6	3.2
ユニット型個室	1,183	298	317	222	189	104	296	918	192	449	31
	100.0	25.2	26.8	18.8	16.0	8.8	25.0	77.6	16.2	38.0	2.6
ユニット型個室的多床室	3	-	1	-	-	-	1	3	-	1	-
	100.0	-	33.3	-	-	-	33.3	100.0	-	33.3	-
ユニット型多床室	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	31	10	7	7	5	4	16	24	12	8	-
	100.0	32.3	22.6	22.6	16.1	12.9	51.6	77.4	38.7	25.8	-
地域密着型従来型個室	6	1	2	-	2	-	2	4	-	2	-
	100.0	16.7	33.3	-	33.3	-	33.3	66.7	-	33.3	-
地域密着型多床室	19	6	5	1	1	2	4	15	5	7	1
	100.0	31.6	26.3	5.3	5.3	10.5	21.1	78.9	26.3	36.8	5.3
地域密着型ユニット型個室	563	147	149	98	86	52	136	425	110	218	18
	100.0	26.1	26.5	17.4	15.3	9.2	24.2	75.5	19.5	38.7	3.2
地域密着型ユニット型個室的多床室	1	1	1	-	-	-	1	1	-	1	1
	100.0	100.0	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0
地域密着型ユニット型多床室	4	1	1	-	-	-	2	4	2	1	-
	100.0	25.0	25.0	-	-	-	50.0	100.0	50.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	30	10	8	3	2	2	9	23	5	11	1
	100.0	33.3	26.7	10.0	6.7	6.7	30.0	76.7	16.7	36.7	3.3

問13. 入浴支援【望ましい考え方】
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う	誘導・着替え・洗身等に職員の役割を決め、複数の職員で対応する	タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう	タオルやシャンプー等は施設で統一する	利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う	入浴介助の安全性や効率を考え、主に機械（臥位式）浴槽を使用する	その他
全　体	2,557	1,734	331	1,874	188	1,364	333	28
	100.0	67.8	12.9	73.3	7.4	53.3	13.0	1.1
従来型個室	46	33	5	36	4	23	13	1
	100.0	71.7	10.9	78.3	8.7	50.0	28.3	2.2
従来型多床室	397	284	52	272	26	211	50	1
	100.0	71.5	13.1	68.5	6.5	53.1	12.6	0.3
従来型個室＋多床室	605	431	62	424	39	314	84	7
	100.0	71.2	10.2	70.1	6.4	51.9	13.9	1.2
ユニット型個室	939	612	118	702	72	509	110	11
	100.0	65.2	12.6	74.8	7.7	54.2	11.7	1.2
ユニット型個室的多床室	3	3	-	2	1	3	-	-
	100.0	100.0	-	66.7	33.3	100.0	-	-
ユニット型多床室	1	1	-	1	-	1	-	-
	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	28	18	1	25	4	10	2	-
	100.0	64.3	3.6	89.3	14.3	35.7	7.1	-
地域密着型従来型個室	4	3	-	3	-	-	-	1
	100.0	75.0	-	75.0	-	-	-	25.0
地域密着型多床室	15	10	4	10	-	10	3	-
	100.0	66.7	26.7	66.7	-	66.7	20.0	-
地域密着型ユニット型個室	455	297	79	354	37	250	61	6
	100.0	65.3	17.4	77.8	8.1	54.9	13.4	1.3
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	-	1	-	2	-	1
	100.0	100.0	-	50.0	-	100.0	-	50.0
地域密着型ユニット型多床室	4	4	1	3	-	3	-	-
	100.0	100.0	25.0	75.0	-	75.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	25	12	5	15	1	9	6	-
	100.0	48.0	20.0	60.0	4.0	36.0	24.0	-

問13. 入浴支援【実際行っている方法】
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	マンツーマン入浴の体制で入浴支援を行う	誘導・着替え・洗身等に職員の役割を決め、複数の職員で対応する	タオルやシャンプー等は利用者個人の好みを大事にし、好みに沿った備品は個人で用意してもらう	タオルやシャンプー等は施設で統一する	利用者の身体的状況等に合わせて、主に個浴（リフト等含む）による入浴支援を行う	入浴介助の安全性や効率を考え、主に機械（臥位式）浴槽を使用する	その他
全　体	3,167	2,146	1,364	1,458	1,534	2,132	1,124	103
	100.0	67.8	43.1	46.0	48.4	67.3	35.5	3.3
従来型個室	56	31	35	12	34	43	25	3
	100.0	55.4	62.5	21.4	60.7	76.8	44.6	5.4
従来型多床室	452	168	349	131	311	239	226	12
	100.0	37.2	77.2	29.0	68.8	52.9	50.0	2.7
従来型個室＋多床室	700	280	502	225	467	394	304	21
	100.0	40.0	71.7	32.1	66.7	56.3	43.4	3.0
ユニット型個室	1,229	1,067	269	723	436	914	357	37
	100.0	86.8	21.9	58.8	35.5	74.4	29.0	3.0
ユニット型個室的多床室	3	2	1	3	−	2	2	−
	100.0	66.7	33.3	100.0	−	66.7	66.7	−
ユニット型多床室	1	1	−	−	1	−	−	−
	100.0	100.0	−	−	100.0	−	−	−
ユニット型個室＋多床室	33	28	16	10	13	26	9	1
	100.0	84.8	48.5	30.3	39.4	78.8	27.3	3.0
地域密着型従来型個室	6	4	2	4	3	4	3	1
	100.0	66.7	33.3	66.7	50.0	66.7	50.0	16.7
地域密着型多床室	19	12	7	6	13	12	8	1
	100.0	63.2	36.8	31.6	68.4	63.2	42.1	5.3
地域密着型ユニット型個室	582	498	138	306	210	446	164	25
	100.0	85.6	23.7	52.6	36.1	76.6	28.2	4.3
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	−	1	1	1	−	1
	100.0	100.0	−	50.0	50.0	50.0	−	50.0
地域密着型ユニット型多床室	4	3	−	2	2	2	2	−
	100.0	75.0	−	50.0	50.0	50.0	50.0	−
地域密着型個室＋多床室	31	19	17	12	14	18	9	−
	100.0	61.3	54.8	38.7	45.2	58.1	29.0	−

問14. 施設全体で入浴支援を実施している日数は、一週間当たり平均何日ですか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	2日	3日	4日	5日以上
全　体	3,173	1,790	104	115	1,164
	100.0	56.4	3.3	3.6	36.7
従来型個室	57	35	2	1	19
	100.0	61.4	3.5	1.8	33.3
従来型多床室	454	242	10	26	176
	100.0	53.3	2.2	5.7	38.8
従来型個室＋多床室	703	365	17	39	282
	100.0	51.9	2.4	5.5	40.1
ユニット型個室	1,228	747	39	25	417
	100.0	60.8	3.2	2.0	34.0
ユニット型個室的多床室	3	−	−	−	3
	100.0	−	−	−	100.0
ユニット型多床室	1	−	−	−	1
	100.0	−	−	−	100.0
ユニット型個室＋多床室	33	22	1	1	9
	100.0	66.7	3.0	3.0	27.3
地域密着型従来型個室	6	6	−	−	−
	100.0	100.0	−	−	−
地域密着型多床室	18	9	2	1	6
	100.0	50.0	11.1	5.6	33.3
地域密着型ユニット型個室	584	319	27	19	219
	100.0	54.6	4.6	3.3	37.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	−	−	−
	100.0	100.0	−	−	−
地域密着型ユニット型多床室	4	2	1	−	1
	100.0	50.0	25.0	−	25.0
地域密着型個室＋多床室	31	18	2	2	9
	100.0	58.1	6.5	6.5	29.0

問15. 入浴支援について抱えている課題は何ですか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	職員が不足しているので、個別の入浴支援ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない	入浴支援の考え方や方法を職員に周知できていない	入浴支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	利用者の要介護度の重度化により、入浴支援に時間がかかる	利用者の要介護度の重度化により、入浴支援について職員の負担が大きくなっている	リフト等の福祉用具の設備が十分でなく、職員の負担が大きい	居室や共同生活室等から浴室までの場所が遠い	その他
全　体	3,058	832	647	364	246	1,973	2,410	828	771	140
	100.0	27.2	21.2	11.9	8.0	64.5	78.8	27.1	25.2	4.6
従来型個室	53	21	8	9	4	39	42	12	19	1
	100.0	39.6	15.1	17.0	7.5	73.6	79.2	22.6	35.8	1.9
従来型多床室	446	171	108	49	38	330	379	136	178	14
	100.0	38.3	24.2	11.0	8.5	74.0	85.0	30.5	39.9	3.1
従来型個室＋多床室	694	257	167	69	52	496	573	163	260	28
	100.0	37.0	24.1	9.9	7.5	71.5	82.6	23.5	37.5	4.0
ユニット型個室	1,177	238	232	160	91	693	902	333	208	57
	100.0	20.2	19.7	13.6	7.7	58.9	76.6	28.3	17.7	4.8
ユニット型個室的多床室	3	−	−	−	−	1	2	−	1	−
	100.0	−	−	−	−	33.3	66.7	−	33.3	−
ユニット型多床室	1	−	−	−	−	1	1	−	−	−
	100.0	−	−	−	−	100.0	100.0	−	−	−
ユニット型個室＋多床室	31	12	3	−	1	20	27	10	10	−
	100.0	38.7	9.7	−	3.2	64.5	87.1	32.3	32.3	−
地域密着型従来型個室	6	1	1	1	1	4	3	2	3	1
	100.0	16.7	16.7	16.7	16.7	66.7	50.0	33.3	50.0	16.7
地域密着型多床室	19	7	6	1	1	12	13	4	4	−
	100.0	36.8	31.6	5.3	5.3	63.2	68.4	21.1	21.1	−
地域密着型ユニット型個室	547	101	103	69	55	321	405	146	68	35
	100.0	18.5	18.8	12.6	10.1	58.7	74.0	26.7	12.4	6.4
地域密着型ユニット型個室的多床室	1	−	−	−	−	1	1	1	−	−
	100.0	−	−	−	−	100.0	100.0	100.0	−	−
地域密着型ユニット型多床室	4	2	1	−	−	3	3	1	1	−
	100.0	50.0	25.0	−	−	75.0	75.0	25.0	25.0	−
地域密着型個室＋多床室	30	8	6	1	1	21	25	5	6	−
	100.0	26.7	20.0	3.3	3.3	70.0	83.3	16.7	20.0	−

問16. レクリエーション活動や行事は、主にどのように行っていますか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	レクリエーション活動や行事は施設全体で行っている	レクリエーション活動や行事は施設全体とユニット（グループ）ごとに行っている	レクリエーション活動や行事はユニット（グループ）ごとに行っている	レクリエーション活動や行事は、特別行わない
全　体	3,179	596	2,409	161	13
	100.0	18.7	75.8	5.1	0.4
従来型個室	57	22	33	2	-
	100.0	38.6	57.9	3.5	-
従来型多床室	454	195	244	15	-
	100.0	43.0	53.7	3.3	-
従来型個室＋多床室	705	224	454	25	2
	100.0	31.8	64.4	3.5	0.3
ユニット型個室	1,231	65	1,083	77	6
	100.0	5.3	88.0	6.3	0.5
ユニット型個室的多床室	3	-	3	-	-
	100.0	-	100.0	-	-
ユニット型多床室	1	-	1	-	-
	100.0	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	2	28	3	-
	100.0	6.1	84.8	9.1	-
地域密着型従来型個室	6	1	5	-	-
	100.0	16.7	83.3	-	-
地域密着型多床室	19	4	14	1	-
	100.0	21.1	73.7	5.3	-
地域密着型ユニット型個室	584	62	485	33	4
	100.0	10.6	83.0	5.7	0.7
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	1	1	-
	100.0	-	50.0	50.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	1	3	-	-
	100.0	25.0	75.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	31	10	18	2	1
	100.0	32.3	58.1	6.5	3.2

問17. レクリエーション活動や行事の企画はどのように行っていますか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	職員のみで企画している	利用者の趣味・意向を聞いた上で、企画している	利用者の趣味・意向に加えて、家族や地域の方等、第三者の意見を取り入れて企画している
全　体	3,166	1,297	1,309	560
	100.0	41.0	41.3	17.7
従来型個室	56	26	22	8
	100.0	46.4	39.3	14.3
従来型多床室	452	224	170	58
	100.0	49.6	37.6	12.8
従来型個室＋多床室	703	342	262	99
	100.0	48.6	37.3	14.1
ユニット型個室	1,224	421	561	242
	100.0	34.4	45.8	19.8
ユニット型個室的多床室	3	-	2	1
	100.0	-	66.7	33.3
ユニット型多床室	1	-	1	-
	100.0	-	100.0	-
ユニット型個室＋多床室	33	12	18	3
	100.0	36.4	54.5	9.1
地域密着型従来型個室	6	3	1	2
	100.0	50.0	16.7	33.3
地域密着型多床室	19	13	3	3
	100.0	68.4	15.8	15.8
地域密着型ユニット型個室	583	222	236	125
	100.0	38.1	40.5	21.4
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	1	-
	100.0	50.0	50.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	1	3	-
	100.0	25.0	75.0	-
地域密着型個室＋多床室	31	13	11	7
	100.0	41.9	35.5	22.6

問18．レクリエーション活動や行事の参加についての考え方（方針）についてお尋ねします。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	可能な限り利用者全員に参加してもらう	利用者に毎回参加の意思・意向を尋ねる	希望者だけ（少人数）の参加でも実施する	利用者が直接参加できなくとも、見ているだけでもコミュニケーションがとれればいい	利用者が積極的に参加できるよう工夫する
全　体	3,174	1,504	2,274	2,295	1,966	1,878
	100.0	47.4	71.6	72.3	61.9	59.2
従来型個室	57	29	36	38	33	33
	100.0	50.9	63.2	66.7	57.9	57.9
従来型多床室	454	262	290	319	278	266
	100.0	57.7	63.9	70.3	61.2	58.6
従来型個室＋多床室	703	394	464	506	453	420
	100.0	56.0	66.0	72.0	64.4	59.7
ユニット型個室	1,227	494	941	896	744	734
	100.0	40.3	76.7	73.0	60.6	59.8
ユニット型個室的多床室	3	1	3	3	2	3
	100.0	33.3	100.0	100.0	66.7	100.0
ユニット型多床室	1	-	1	1	-	-
	100.0	-	100.0	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	12	25	21	19	13
	100.0	36.4	75.8	63.6	57.6	39.4
地域密着型従来型個室	6	3	5	6	5	3
	100.0	50.0	83.3	100.0	83.3	50.0
地域密着型多床室	19	9	13	9	12	9
	100.0	47.4	68.4	47.4	63.2	47.4
地域密着型ユニット型個室	585	251	434	439	361	333
	100.0	42.9	74.2	75.0	61.7	56.9
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	1	2	2	2
	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0
地域密着型ユニット型多床室	4	1	4	4	4	4
	100.0	25.0	100.0	100.0	100.0	100.0
地域密着型個室＋多床室	31	18	17	18	21	20
	100.0	58.1	54.8	58.1	67.7	64.5

問19．レクリエーション活動や行事の内容についてお尋ねします。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	施設外で行う（外出する）レクリエーションや行事がある	家族も共に参加できるレクリエーションや行事がある	地域の方が参加できるレクリエーションや行事がある
全　体	3,143	2,880	2,686	2,176
	100.0	91.6	85.5	69.2
従来型個室	57	53	51	40
	100.0	93.0	89.5	70.2
従来型多床室	450	400	368	297
	100.0	88.9	81.8	66.0
従来型個室＋多床室	692	637	600	524
	100.0	92.1	86.7	75.7
ユニット型個室	1,216	1,124	1,056	811
	100.0	92.4	86.8	66.7
ユニット型個室的多床室	3	3	3	3
	100.0	100.0	100.0	100.0
ユニット型多床室	1	1	1	-
	100.0	100.0	100.0	-
ユニット型個室＋多床室	33	26	24	19
	100.0	78.8	72.7	57.6
地域密着型従来型個室	6	4	5	4
	100.0	66.7	83.3	66.7
地域密着型多床室	19	16	17	15
	100.0	84.2	89.5	78.9
地域密着型ユニット型個室	580	536	486	404
	100.0	92.4	83.8	69.7
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	2	1
	100.0	100.0	100.0	50.0
地域密着型ユニット型多床室	4	4	4	3
	100.0	100.0	100.0	75.0
地域密着型個室＋多床室	31	29	25	24
	100.0	93.5	80.6	77.4

問20．レクリエーションや行事にかかる経費はどうしていますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	ユニットやグループ単位で一定の金額を割り当て、自由に使えるようにしている	必要な都度、購入伺等の書類手続により支出する	職員に立て替え払いをしてもらい、領収書等により事後的に支払う	基本的にレクリエーションや行事にあてる費用はない	その他
全　体	3,176	1,461	2,599	897	20	109
	100.0	46.0	81.8	28.2	0.6	3.4
従来型個室	57	17	46	17	-	3
	100.0	29.8	80.7	29.8	-	5.3
従来型多床室	450	87	401	116	5	17
	100.0	19.3	89.1	25.8	1.1	3.8
従来型個室＋多床室	703	178	631	195	5	28
	100.0	25.3	89.8	27.7	0.7	4.0
ユニット型個室	1,232	799	937	343	8	32
	100.0	64.9	76.1	27.8	0.6	2.6
ユニット型個室的多床室	3	2	2	-	-	-
	100.0	66.7	66.7	-	-	-
ユニット型多床室	1	-	1	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	21	23	8	-	-
	100.0	63.6	69.7	24.2	-	-
地域密着型従来型個室	6	2	5	2	-	-
	100.0	33.3	83.3	33.3	-	-
地域密着型多床室	19	7	16	7	-	-
	100.0	36.8	84.2	36.8	-	-
地域密着型ユニット型個室	586	314	464	184	2	24
	100.0	53.6	79.2	31.4	0.3	4.1
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	2	1	-	-
	100.0	50.0	100.0	50.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	3	4	2	-	-
	100.0	75.0	100.0	50.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	31	7	26	7	-	2
	100.0	22.6	83.9	22.6	-	6.5

問21．レクリエーション活動や行事で抱えている課題は何ですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	職員が不足している	利用者一人ひとりの詳しい意向や希望を十分聞いて対応できていない	利用者の要介護度が重度化しているので、どのようなレクリエーションや行事をしたらいいかわからない	レクリエーションや行事の企画・実施ができる職員がいない	レクリエーションや行事を実施するボランティアや外部講師として協力してくれる人がいない	レクリエーションや行事を実施するための費用を捻出できない	その他
全　体	2,988	1,781	1,698	1,186	440	394	69	165
	100.0	59.6	56.8	39.7	14.7	13.2	2.3	5.5
従来型個室	51	33	24	24	9	10	1	2
	100.0	64.7	47.1	47.1	17.6	19.6	2.0	3.9
従来型多床室	428	258	271	184	69	52	12	14
	100.0	60.3	63.3	43.0	16.1	12.1	2.8	3.3
従来型個室＋多床室	684	425	413	281	86	74	16	39
	100.0	62.1	60.4	41.1	12.6	10.8	2.3	5.7
ユニット型個室	1,139	667	612	410	182	157	23	70
	100.0	58.6	53.7	36.0	16.0	13.8	2.0	6.1
ユニット型個室的多床室	3	1	2	2	－	－	－	－
	100.0	33.3	66.7	66.7	－	－	－	－
ユニット型多床室	1	1	1	－	－	－	－	－
	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	－
ユニット型個室＋多床室	33	22	19	18	3	9	－	－
	100.0	66.7	57.6	54.5	9.1	27.3	－	－
地域密着型従来型個室	6	4	5	2	1	1	1	2
	100.0	66.7	83.3	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3
地域密着型多床室	19	12	11	10	3	－	－	－
	100.0	63.2	57.9	52.6	15.8	－	－	－
地域密着型ユニット型個室	547	308	296	223	78	82	13	30
	100.0	56.3	54.1	40.8	14.3	15.0	2.4	5.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	1	1	1	1	－	－	－	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－	－	100.0
地域密着型ユニット型多床室	4	4	2	1	－	2	1	－
	100.0	100.0	50.0	25.0	－	50.0	25.0	－
地域密着型個室＋多床室	28	16	17	12	5	1	2	3
	100.0	57.1	60.7	42.9	17.9	3.6	7.1	10.7

問22. 看取り支援【望ましい考え方】
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う	看取りを積極的に行っている	医療職の協力等の実践する要件が満たされるのであれば、行っていい	医療は医療機関で行うという認識のもと、積極的には行わない	その他
全　体	1,382	833	209	185	149	6
	100.0	60.3	15.1	13.4	10.8	0.4
従来型個室	22	8	7	5	2	-
	100.0	36.4	31.8	22.7	9.1	-
従来型多床室	183	103	27	27	26	-
	100.0	56.3	14.8	14.8	14.2	-
従来型個室＋多床室	286	173	46	31	33	3
	100.0	60.5	16.1	10.8	11.5	1.0
ユニット型個室	540	352	74	61	51	2
	100.0	65.2	13.7	11.3	9.4	0.4
ユニット型個室的多床室	2	2	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
ユニット型多床室	1	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	12	7	1	2	2	-
	100.0	58.3	8.3	16.7	16.7	-
地域密着型従来型個室	4	1	-	3	-	-
	100.0	25.0	-	75.0	-	-
地域密着型多床室	7	4	1	2	-	-
	100.0	57.1	14.3	28.6	-	-
地域密着型ユニット型個室	289	163	49	48	28	1
	100.0	56.4	17.0	16.6	9.7	0.3
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
地域密着型ユニット型多床室	2	2	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
地域密着型個室＋多床室	14	5	1	3	5	-
	100.0	35.7	7.1	21.4	35.7	-

問22. 看取り支援【実際行っている方法】
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	看取りも今までのケアの延長上にあるものとして行う	看取りを積極的に行っている	医療職の協力等の実践する要件が満たされるのであれば、行っていい	医療は医療機関で行うという認識のもと、積極的には行わない	その他
全　体	2,805	2,220	275	143	130	37
	100.0	79.1	9.8	5.1	4.6	1.3
従来型個室	48	41	3	2	2	-
	100.0	85.4	6.3	4.2	4.2	-
従来型多床室	395	311	34	15	29	6
	100.0	78.7	8.6	3.8	7.3	1.5
従来型個室＋多床室	628	506	64	31	19	8
	100.0	80.6	10.2	4.9	3.0	1.3
ユニット型個室	1,075	846	119	53	43	14
	100.0	78.7	11.1	4.9	4.0	1.3
ユニット型個室的多床室	3	3	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
ユニット型多床室	1	-	-	-	1	-
	100.0	-	-	-	100.0	-
ユニット型個室＋多床室	28	26	1	1	-	-
	100.0	92.9	3.6	3.6	-	-
地域密着型従来型個室	6	4	-	2	-	-
	100.0	66.7	-	33.3	-	-
地域密着型多床室	17	13	1	1	2	-
	100.0	76.5	5.9	5.9	11.8	-
地域密着型ユニット型個室	524	403	47	35	31	8
	100.0	76.9	9.0	6.7	5.9	1.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	2	1	1	-	-
	100.0	50.0	25.0	25.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	28	25	-	1	2	-
	100.0	89.3	-	3.6	7.1	-

問23．貴施設での看取りについてお尋ねします。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	看取り期は、体調変化が激しいので、利用者や家族の希望があっても入浴支援は行わない	看取り期の利用者については、他の利用者には秘密にして、不安を与えないようにしている	看取り期の利用者については、他の利用者にも状態を伝え、利用者を含めて施設全体で看取りについて考えるようにしている	看取り期は、家族がそばに寄り添う（宿泊も含む）ことは自由である	看取り期は、施設のメニューよりも本人や家族の望む食事を提供する	看取りをした後は、必ず振り返り（カンファレンス）を行う	その他
全　体	2,976	41	707	840	2,698	1,863	1,997	208
	100.0	1.4	23.8	28.2	90.7	62.6	67.1	7.0
従来型個室	55	1	18	13	50	33	37	3
	100.0	1.8	32.7	23.6	90.9	60.0	67.3	5.5
従来型多床室	414	11	112	108	350	230	243	32
	100.0	2.7	27.1	26.1	84.5	55.6	58.7	7.7
従来型個室＋多床室	665	10	169	164	613	421	454	42
	100.0	1.5	25.4	24.7	92.2	63.3	68.3	6.3
ユニット型個室	1,156	11	237	357	1,066	746	817	81
	100.0	1.0	20.5	30.9	92.2	64.5	70.7	7.0
ユニット型個室的多床室	3	－	－	－	3	2	3	－
	100.0	－	－	－	100.0	66.7	100.0	－
ユニット型多床室	1	－	－	－	－	－	－	1
	100.0	－	－	－	－	－	－	100.0
ユニット型個室＋多床室	33	－	11	10	32	22	24	－
	100.0	－	33.3	30.3	97.0	66.7	72.7	－
地域密着型従来型個室	6	－	1	1	6	3	3	－
	100.0	－	16.7	16.7	100.0	50.0	50.0	－
地域密着型多床室	18	－	4	3	15	9	11	2
	100.0	－	22.2	16.7	83.3	50.0	61.1	11.1
地域密着型ユニット型個室	544	7	134	161	489	349	355	41
	100.0	1.3	24.6	29.6	89.9	64.2	65.3	7.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	－	－	－	2	2	2	－
	100.0	－	－	－	100.0	100.0	100.0	－
地域密着型ユニット型多床室	4	－	－	1	4	3	3	－
	100.0	－	－	25.0	100.0	75.0	75.0	－
地域密着型個室＋多床室	29	－	14	5	24	12	14	1
	100.0	－	48.3	17.2	82.8	41.4	48.3	3.4

問24. 看取り支援について抱えている課題は何ですか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	職員が不足しているので、看取り支援ができない	利用者一人ひとりへの詳しいアセスメント（意向・好み等）をする時間がない	看取り支援の考え方や方法を職員に周知できていない	看取り支援の考え方や方法について、指導できる職員がいない	医療関係者や医療機関の協力が得られない	看取りに対する考え方が医療関係者と合わない	その他
全　体	2,140	276	598	698	388	454	414	513
	100.0	12.9	27.9	32.6	18.1	21.2	19.3	24.0
従来型個室	41	9	9	16	9	11	9	9
	100.0	22.0	22.0	39.0	22.0	26.8	22.0	22.0
従来型多床室	307	37	89	92	59	72	61	82
	100.0	12.1	29.0	30.0	19.2	23.5	19.9	26.7
従来型個室＋多床室	461	53	152	137	78	86	86	105
	100.0	11.5	33.0	29.7	16.9	18.7	18.7	22.8
ユニット型個室	829	104	211	270	148	187	182	195
	100.0	12.5	25.5	32.6	17.9	22.6	22.0	23.5
ユニット型個室的多床室	1	−	−	−	−	−	−	1
	100.0	−	−	−	−	−	−	100.0
ユニット型多床室	1	1	−	−	−	1	−	−
	100.0	100.0	−	−	−	100.0	−	−
ユニット型個室＋多床室	20	3	5	12	5	5	3	2
	100.0	15.0	25.0	60.0	25.0	25.0	15.0	10.0
地域密着型従来型個室	5	−	3	2	−	−	1	−
	100.0	−	60.0	40.0	−	−	20.0	−
地域密着型多床室	15	1	4	4	3	2	4	4
	100.0	6.7	26.7	26.7	20.0	13.3	26.7	26.7
地域密着型ユニット型個室	407	64	103	154	82	80	58	104
	100.0	15.7	25.3	37.8	20.1	19.7	14.3	25.6
地域密着型ユニット型個室的多床室	1	−	−	−	−	1	−	1
	100.0	−	−	−	−	100.0	−	100.0
地域密着型ユニット型多床室	3	−	−	−	−	2	1	1
	100.0	−	−	−	−	66.7	33.3	33.3
地域密着型個室＋多床室	23	2	8	4	2	4	5	4
	100.0	8.7	34.8	17.4	8.7	17.4	21.7	17.4

問25．ベッド周り（ユニット型においては居室内全般）には、何がありますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	施設が設置した床頭台やタンス等の家具	利用者個人が持ち込んだタンスやソファー	利用者個人の関係の写真や絵、趣味の道具	生花や観賞用植物	その他
全　体	3,178	2,469	2,255	3,052	1,575	255
	100.0	77.7	71.0	96.0	49.6	8.0
従来型個室	57	51	35	56	27	2
	100.0	89.5	61.4	98.2	47.4	3.5
従来型多床室	454	418	129	413	150	28
	100.0	92.1	28.4	91.0	33.0	6.2
従来型個室＋多床室	703	687	311	676	271	30
	100.0	97.7	44.2	96.2	38.5	4.3
ユニット型個室	1,233	800	1,159	1,199	740	132
	100.0	64.9	94.0	97.2	60.0	10.7
ユニット型個室的多床室	3	2	3	3	2	1
	100.0	66.7	100.0	100.0	66.7	33.3
ユニット型多床室	1	-	1	1	-	-
	100.0	-	100.0	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	27	28	32	17	-
	100.0	81.8	84.8	97.0	51.5	-
地域密着型従来型個室	6	4	6	5	4	1
	100.0	66.7	100.0	83.3	66.7	16.7
地域密着型多床室	19	19	13	19	11	1
	100.0	100.0	68.4	100.0	57.9	5.3
地域密着型ユニット型個室	584	387	518	565	321	51
	100.0	66.3	88.7	96.7	55.0	8.7
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	2	2	2	-
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	4	2	4	3	1
	100.0	100.0	50.0	100.0	75.0	25.0
地域密着型個室＋多床室	31	27	17	30	9	2
	100.0	87.1	54.8	96.8	29.0	6.5

問26. 他の利用者との仕切りはどのようにしていますか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	個室による壁	パーテーションやふすま	タンス等の家具	カーテン	その他
全　体	3,137	2,241	346	329	1,179	75
	100.0	71.4	11.0	10.5	37.6	2.4
従来型個室	57	35	13	11	29	2
	100.0	61.4	22.8	19.3	50.9	3.5
従来型多床室	453	55	84	79	407	18
	100.0	12.1	18.5	17.4	89.8	4.0
従来型個室＋多床室	704	312	189	199	627	25
	100.0	44.3	26.8	28.3	89.1	3.6
ユニット型個室	1,207	1,180	26	12	32	18
	100.0	97.8	2.2	1.0	2.7	1.5
ユニット型個室的多床室	3	2	2	−	−	1
	100.0	66.7	66.7	−	−	33.3
ユニット型多床室	1	−	−	1	−	−
	100.0	−	−	100.0	−	−
ユニット型個室＋多床室	33	31	4	3	10	3
	100.0	93.9	12.1	9.1	30.3	9.1
地域密着型従来型個室	6	6	−	−	1	−
	100.0	100.0	−	−	16.7	−
地域密着型多床室	19	4	5	5	15	−
	100.0	21.1	26.3	26.3	78.9	−
地域密着型ユニット型個室	568	565	7	10	12	3
	100.0	99.5	1.2	1.8	2.1	0.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	−	−	−	1
	100.0	100.0	−	−	−	50.0
地域密着型ユニット型多床室	4	−	1	1	2	1
	100.0	−	25.0	25.0	50.0	25.0
地域密着型個室＋多床室	31	20	9	5	21	1
	100.0	64.5	29.0	16.1	67.7	3.2

問27. 利用者の家族が宿泊する場合、家族の宿泊場所はどこですか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	利用者の居室内	施設内の家族室等、利用者の居室とは別の部屋	その他	利用者の家族が宿泊できる場所はない
全　体	3,151	1,783	703	230	435
	100.0	56.6	22.3	7.3	13.8
従来型個室	57	27	19	5	6
	100.0	47.4	33.3	8.8	10.5
従来型多床室	448	90	147	57	154
	100.0	20.1	32.8	12.7	34.4
従来型個室＋多床室	692	285	227	71	109
	100.0	41.2	32.8	10.3	15.8
ユニット型個室	1,227	874	218	57	78
	100.0	71.2	17.8	4.6	6.4
ユニット型個室的多床室	3	3	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-
ユニット型多床室	1	1	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	21	9	-	3
	100.0	63.6	27.3	-	9.1
地域密着型従来型個室	6	4	1	1	-
	100.0	66.7	16.7	16.7	-
地域密着型多床室	19	9	4	1	5
	100.0	47.4	21.1	5.3	26.3
地域密着型ユニット型個室	582	425	57	32	68
	100.0	73.0	9.8	5.5	11.7
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	1	2	1	-
	100.0	25.0	50.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	31	13	11	2	5
	100.0	41.9	35.5	6.5	16.1

問28. 利用者が日中主に過ごしている場所はどこですか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	居室	共同生活室（リビング・ダイニング等）	食堂	その他
全　体	3,169	648	1,947	395	179
	100.0	20.4	61.4	12.5	5.6
従来型個室	57	14	27	12	4
	100.0	24.6	47.4	21.1	7.0
従来型多床室	453	78	223	121	31
	100.0	17.2	49.2	26.7	6.8
従来型個室＋多床室	699	134	327	212	26
	100.0	19.2	46.8	30.3	3.7
ユニット型個室	1,229	275	858	14	82
	100.0	22.4	69.8	1.1	6.7
ユニット型個室的多床室	3	-	2	-	1
	100.0	-	66.7	-	33.3
ユニット型多床室	1	-	1	-	-
	100.0	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	8	23	1	1
	100.0	24.2	69.7	3.0	3.0
地域密着型従来型個室	6	-	5	-	1
	100.0	-	83.3	-	16.7
地域密着型多床室	19	3	11	5	-
	100.0	15.8	57.9	26.3	-
地域密着型ユニット型個室	584	118	425	14	27
	100.0	20.2	72.8	2.4	4.6
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	2	-	-
	100.0	-	100.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	2	1	1
	100.0	-	50.0	25.0	25.0
地域密着型個室＋多床室	31	6	14	11	-
	100.0	19.4	45.2	35.5	-

問29．貴施設の理念についてどのように考えられていますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	全職員に浸透、共有し、施設全体で常に意識すべきものである	施設としての目指すべき方向性が示されており、必要と感じている	事業計画等の具体的方針があれば、理念はあまり重要でないと考える	取り立てて理念について考えることはない	その他
全　体	3,161	2,815	2,502	24	15	17
	100.0	89.1	79.2	0.8	0.5	0.5
従来型個室	56	50	42	−	−	3
	100.0	89.3	75.0	−	−	5.4
従来型多床室	450	388	343	8	1	2
	100.0	86.2	76.2	1.8	0.2	0.4
従来型個室＋多床室	698	625	548	6	4	3
	100.0	89.5	78.5	0.9	0.6	0.4
ユニット型個室	1,228	1,102	989	7	5	5
	100.0	89.7	80.5	0.6	0.4	0.4
ユニット型個室的多床室	3	3	3	−	−	−
	100.0	100.0	100.0	−	−	−
ユニット型多床室	1	1	1	−	−	−
	100.0	100.0	100.0	−	−	−
ユニット型個室＋多床室	32	28	26	−	−	−
	100.0	87.5	81.3	−	−	−
地域密着型従来型個室	6	6	5	−	−	−
	100.0	100.0	83.3	−	−	−
地域密着型多床室	19	17	14	−	1	−
	100.0	89.5	73.7	−	5.3	−
地域密着型ユニット型個室	582	516	462	2	4	3
	100.0	88.7	79.4	0.3	0.7	0.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	2	−	−	−
	100.0	100.0	100.0	−	−	−
地域密着型ユニット型多床室	4	4	3	−	−	−
	100.0	100.0	75.0	−	−	−
地域密着型個室＋多床室	31	29	23	−	−	1
	100.0	93.5	74.2	−	−	3.2

問29－１．理念の活用や浸透に具体的にどんな方法をとっていますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	理念は、ケアマニュアルに支援する内容ごとに具体的に落とし込んでいる	事業計画の作成や振り返るときに活用している	困難事例等の検討時に活用している	紙面で職員に配布している	施設長室等の役員部屋に掲示している	施設内の、利用者や訪問者も見ることができる場所に掲示している	家族の会や個別の家族の面談等で説明している	地域に説明している	特に何もしていない
全　体	3,077	751	2,013	346	1,552	682	1,974	638	430	50
	100.0	24.4	65.4	11.2	50.4	22.2	64.2	20.7	14.0	1.6
従来型個室	53	13	34	5	26	13	36	8	6	−
	100.0	24.5	64.2	9.4	49.1	24.5	67.9	15.1	11.3	−
従来型多床室	434	88	302	39	210	98	287	96	51	8
	100.0	20.3	69.6	9.0	48.4	22.6	66.1	22.1	11.8	1.8
従来型個室＋多床室	681	162	474	59	334	174	467	148	84	6
	100.0	23.8	69.6	8.7	49.0	25.6	68.6	21.7	12.3	0.9
ユニット型個室	1,201	331	752	164	648	255	746	258	161	25
	100.0	27.6	62.6	13.7	54.0	21.2	62.1	21.5	13.4	2.1
ユニット型個室的多床室	3	2	3	2	2	−	1	2	2	−
	100.0	66.7	100.0	66.7	66.7	−	33.3	66.7	66.7	−
ユニット型多床室	1	−	−	−	−	−	1	−	−	−
	100.0	−	−	−	−	−	100.0	−	−	−
ユニット型個室＋多床室	32	7	20	3	18	7	21	5	8	−
	100.0	21.9	62.5	9.4	56.3	21.9	65.6	15.6	25.0	−
地域密着型従来型個室	6	1	2	−	1	2	5	2	2	1
	100.0	16.7	33.3	−	16.7	33.3	83.3	33.3	33.3	16.7
地域密着型多床室	18	3	11	1	6	1	15	5	1	−
	100.0	16.7	61.1	5.6	33.3	5.6	83.3	27.8	5.6	−
地域密着型ユニット型個室	565	127	360	62	268	110	340	91	100	8
	100.0	22.5	63.7	11.0	47.4	19.5	60.2	16.1	17.7	1.4
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	−	−	1	2	1	2	1	−	−
	100.0	−	−	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	−	−
地域密着型ユニット型多床室	4	1	4	1	1	1	2	1	−	−
	100.0	25.0	100.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	−	−
地域密着型個室＋多床室	29	9	24	4	12	6	20	6	8	−
	100.0	31.0	82.8	13.8	41.4	20.7	69.0	20.7	27.6	−

問30．職員に理念の周知はできていると思いますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	よくできている	まあまあできている	あまりできていない	できていない
全　体	3,150	471	1,780	796	103
	100.0	15.0	56.5	25.3	3.3
従来型個室	55	4	38	11	2
	100.0	7.3	69.1	20.0	3.6
従来型多床室	447	70	254	107	16
	100.0	15.7	56.8	23.9	3.6
従来型個室＋多床室	695	107	404	175	9
	100.0	15.4	58.1	25.2	1.3
ユニット型個室	1,225	180	693	307	45
	100.0	14.7	56.6	25.1	3.7
ユニット型個室的多床室	3	1	2	－	－
	100.0	33.3	66.7	－	－
ユニット型多床室	1	－	1	－	－
	100.0	－	100.0	－	－
ユニット型個室＋多床室	33	9	9	12	3
	100.0	27.3	27.3	36.4	9.1
地域密着型従来型個室	6	1	3	2	－
	100.0	16.7	50.0	33.3	－
地域密着型多床室	19	3	9	7	－
	100.0	15.8	47.4	36.8	－
地域密着型ユニット型個室	580	82	324	147	27
	100.0	14.1	55.9	25.3	4.7
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	－	2	－	－
	100.0	－	100.0	－	－
地域密着型ユニット型多床室	4	－	1	2	1
	100.0	－	25.0	50.0	25.0
地域密着型個室＋多床室	31	6	14	11	－
	100.0	19.4	45.2	35.5	－

問31. 利用者の一定の人数をグループとし特定の職員を担当として割り当てている場合、
その利用者のグループは何人グループになりますか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	10人以内	15人以内	20人以内	25人以内	30人以内	31人以上
全　体	3,036	1,920	279	320	189	147	181
	100.0	63.2	9.2	10.5	6.2	4.8	6.0
従来型個室	48	17	9	8	6	3	5
	100.0	35.4	18.8	16.7	12.5	6.3	10.4
従来型多床室	400	88	42	74	66	61	69
	100.0	22.0	10.5	18.5	16.5	15.3	17.3
従来型個室＋多床室	643	145	117	104	99	73	105
	100.0	22.6	18.2	16.2	15.4	11.4	16.3
ユニット型個室	1,226	1,036	80	99	7	3	1
	100.0	84.5	6.5	8.1	0.6	0.2	0.1
ユニット型個室的多床室	3	1	1	-	1	-	-
	100.0	33.3	33.3	-	33.3	-	-
ユニット型多床室	1	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	19	3	8	1	2	-
	100.0	57.6	9.1	24.2	3.0	6.1	-
地域密着型従来型個室	4	3	-	1	-	-	-
	100.0	75.0	-	25.0	-	-	-
地域密着型多床室	17	5	5	6	1	-	-
	100.0	29.4	29.4	35.3	5.9	-	-
地域密着型ユニット型個室	581	552	12	13	1	2	1
	100.0	95.0	2.1	2.2	0.2	0.3	0.2
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	2	2	-	-	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-
地域密着型個室＋多床室	27	15	4	5	2	1	-
	100.0	55.6	14.8	18.5	7.4	3.7	-

問32. 問31について、その単位にしている理由は何ですか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	ユニット・グループ単位	建物の構造上、ケアしやすい単位	少人数ケア体制のほうが個別ケアをしやすいから	人手がないから	特別考えていない	その他
全　体	3,030	2,162	878	671	152	39	58
	100.0	71.4	29.0	22.1	5.0	1.3	1.9
従来型個室	48	24	25	7	5	-	1
	100.0	50.0	52.1	14.6	10.4	-	2.1
従来型多床室	398	110	242	76	42	14	23
	100.0	27.6	60.8	19.1	10.6	3.5	5.8
従来型個室＋多床室	640	200	391	167	66	15	24
	100.0	31.3	61.1	26.1	10.3	2.3	3.8
ユニット型個室	1,226	1,181	133	279	23	1	5
	100.0	96.3	10.8	22.8	1.9	0.1	0.4
ユニット型個室的多床室	3	3	-	1	-	-	-
	100.0	100.0	-	33.3	-	-	-
ユニット型多床室	1	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	31	5	4	1	-	-
	100.0	93.9	15.2	12.1	3.0	-	-
地域密着型従来型個室	4	3	1	-	-	-	-
	100.0	75.0	25.0	-	-	-	-
地域密着型多床室	17	10	4	1	-	3	1
	100.0	58.8	23.5	5.9	-	17.6	5.9
地域密着型ユニット型個室	579	553	50	113	12	4	3
	100.0	95.5	8.6	19.5	2.1	0.7	0.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	1	1	-	-	-
	100.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	3	1	1	-	-	-
	100.0	75.0	25.0	25.0	-	-	-
地域密着型個室＋多床室	28	11	12	5	2	2	-
	100.0	39.3	42.9	17.9	7.1	7.1	-

問33．勤務表の主な作成者はどなたですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	施設長	介護長・課長・主任等の中間管理職	ユニットリーダー（グループリーダー）	１～３以外の介護職員	その他
全　体	3,181	92	1,580	1,407	21	81
	100.0	2.9	49.7	44.2	0.7	2.5
従来型個室	57	3	41	9	1	3
	100.0	5.3	71.9	15.8	1.8	5.3
従来型多床室	453	11	345	74	4	19
	100.0	2.4	76.2	16.3	0.9	4.2
従来型個室＋多床室	705	15	531	131	7	21
	100.0	2.1	75.3	18.6	1.0	3.0
ユニット型個室	1,234	21	351	837	4	21
	100.0	1.7	28.4	67.8	0.3	1.7
ユニット型個室的多床室	3	-	-	3	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-
ユニット型多床室	1	-	1	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	32	2	13	17	-	-
	100.0	6.3	40.6	53.1	-	-
地域密着型従来型個室	6	-	5	1	-	-
	100.0	-	83.3	16.7	-	-
地域密着型多床室	19	-	8	11	-	-
	100.0	-	42.1	57.9	-	-
地域密着型ユニット型個室	585	36	234	295	5	15
	100.0	6.2	40.0	50.4	0.9	2.6
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	1	1	-	-
	100.0	-	50.0	50.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	1	3	-	-
	100.0	-	25.0	75.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	31	3	22	6	-	-
	100.0	9.7	71.0	19.4	-	-

問34．勤務時間帯の種類は何種類ありますか（就業規則に掲載済みのもの）。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	4種類（早・遅・日・夜）	10種類以内	20種類以内	21種類以上
全　体	3,177	1,173	1,438	368	198
	100.0	36.9	45.3	11.6	6.2
従来型個室	57	28	22	4	3
	100.0	49.1	38.6	7.0	5.3
従来型多床室	453	223	187	33	10
	100.0	49.2	41.3	7.3	2.2
従来型個室＋多床室	702	286	354	51	11
	100.0	40.7	50.4	7.3	1.6
ユニット型個室	1,231	365	536	196	134
	100.0	29.7	43.5	15.9	10.9
ユニット型個室的多床室	3	-	1	1	1
	100.0	-	33.3	33.3	33.3
ユニット型多床室	1	-	1	-	-
	100.0	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	10	17	6	-
	100.0	30.3	51.5	18.2	-
地域密着型従来型個室	6	4	1	1	-
	100.0	66.7	16.7	16.7	-
地域密着型多床室	19	7	10	1	1
	100.0	36.8	52.6	5.3	5.3
地域密着型ユニット型個室	586	215	268	68	35
	100.0	36.7	45.7	11.6	6.0
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	-	1	-
	100.0	50.0	-	50.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	1	3	-	-
	100.0	25.0	75.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	31	14	14	3	-
	100.0	45.2	45.2	9.7	-

問35. 勤務の組み方はどのようにしていますか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	早番・日勤・遅番・夜勤の4種類を当てはめて作成している	24時間単位の暮らしのアセスメントを根拠(24Hシートの一覧表等)にしたものを使用し、ユニット(グループ)ごとに作成している	ユニット(グループ)ごとに、勤務の時間を自由に調整して作成している	その他
全　体	3,163	2,461	372	658	251
	100.0	77.8	11.8	20.8	7.9
従来型個室	57	49	－	10	2
	100.0	86.0	－	17.5	3.5
従来型多床室	449	378	18	32	44
	100.0	84.2	4.0	7.1	9.8
従来型個室＋多床室	698	600	21	61	62
	100.0	86.0	3.0	8.7	8.9
ユニット型個室	1,227	877	245	402	80
	100.0	71.5	20.0	32.8	6.5
ユニット型個室的多床室	3	2	2	2	－
	100.0	66.7	66.7	66.7	－
ユニット型多床室	1	1	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－
ユニット型個室＋多床室	33	27	5	4	－
	100.0	81.8	15.2	12.1	－
地域密着型従来型個室	6	5	－	1	－
	100.0	83.3	－	16.7	－
地域密着型多床室	19	15	1	4	－
	100.0	78.9	5.3	21.1	－
地域密着型ユニット型個室	585	439	76	130	52
	100.0	75.0	13.0	22.2	8.9
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	－	1	－
	100.0	100.0	－	50.0	－
地域密着型ユニット型多床室	4	3	－	1	－
	100.0	75.0	－	25.0	－
地域密着型個室＋多床室	31	25	1	1	5
	100.0	80.6	3.2	3.2	16.1

問36．アセスメントについて、貴施設において最も重視している視点はどれですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	日常生活動作（ADL）	利用者の1日の暮らし（起床・食事・排泄・入浴等）	利用者の抱えている課題	その他
全　体	3,087	675	1,597	749	66
	100.0	21.9	51.7	24.3	2.1
従来型個室	56	21	19	16	-
	100.0	37.5	33.9	28.6	-
従来型多床室	442	113	188	132	9
	100.0	25.6	42.5	29.9	2.0
従来型個室＋多床室	674	184	264	215	11
	100.0	27.3	39.2	31.9	1.6
ユニット型個室	1,197	218	737	215	27
	100.0	18.2	61.6	18.0	2.3
ユニット型個室的多床室	3	-	2	1	-
	100.0	-	66.7	33.3	-
ユニット型多床室	1	-	-	1	-
	100.0	-	-	100.0	-
ユニット型個室＋多床室	33	7	17	7	2
	100.0	21.2	51.5	21.2	6.1
地域密着型従来型個室	5	1	-	3	1
	100.0	20.0	-	60.0	20.0
地域密着型多床室	19	4	12	3	-
	100.0	21.1	63.2	15.8	-
地域密着型ユニット型個室	574	106	318	138	12
	100.0	18.5	55.4	24.0	2.1
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	2	-	-
	100.0	-	100.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	3	1	-
	100.0	-	75.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	30	8	12	9	1
	100.0	26.7	40.0	30.0	3.3

問37. 貴施設において、アセスメントとして活用している様式があれば教えてください。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	包括自立支援プログラム	フェイスシート	24Hシート	その他
全　体	3,097	1,000	1,897	1,266	450
	100.0	32.3	61.3	40.9	14.5
従来型個室	55	22	33	14	9
	100.0	40.0	60.0	25.5	16.4
従来型多床室	431	173	243	59	64
	100.0	40.1	56.4	13.7	14.8
従来型個室＋多床室	683	273	410	107	127
	100.0	40.0	60.0	15.7	18.6
ユニット型個室	1,208	337	774	694	160
	100.0	27.9	64.1	57.5	13.2
ユニット型個室的多床室	3	1	1	2	2
	100.0	33.3	33.3	66.7	66.7
ユニット型多床室	1	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	100.0
ユニット型個室＋多床室	32	12	18	17	2
	100.0	37.5	56.3	53.1	6.3
地域密着型従来型個室	5	2	3	1	1
	100.0	40.0	60.0	20.0	20.0
地域密着型多床室	19	5	13	10	-
	100.0	26.3	68.4	52.6	-
地域密着型ユニット型個室	576	144	360	330	70
	100.0	25.0	62.5	57.3	12.2
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	1	1	-
	100.0	50.0	50.0	50.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	3	2	3	1
	100.0	75.0	50.0	75.0	25.0
地域密着型個室＋多床室	29	16	18	7	1
	100.0	55.2	62.1	24.1	3.4

問38. アセスメントに関わる職種を教えてください。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	相談員	介護支援専門員	看護職員	栄養士	介護職	その他
全　体	3,175	2,571	3,059	2,612	2,374	2,808	493
	100.0	81.0	96.3	82.3	74.8	88.4	15.5
従来型個室	57	44	57	46	43	52	7
	100.0	77.2	100.0	80.7	75.4	91.2	12.3
従来型多床室	454	360	432	377	351	401	66
	100.0	79.3	95.2	83.0	77.3	88.3	14.5
従来型個室＋多床室	701	564	681	580	531	615	110
	100.0	80.5	97.1	82.7	75.7	87.7	15.7
ユニット型個室	1,230	1,016	1,187	1,019	958	1,110	228
	100.0	82.6	96.5	82.8	77.9	90.2	18.5
ユニット型個室的多床室	3	3	3	2	2	2	-
	100.0	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	-
ユニット型多床室	1	1	1	1	1	1	-
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
ユニット型個室＋多床室	33	25	30	28	26	31	7
	100.0	75.8	90.9	84.8	78.8	93.9	21.2
地域密着型従来型個室	6	5	6	6	5	5	1
	100.0	83.3	100.0	100.0	83.3	83.3	16.7
地域密着型多床室	19	15	18	17	15	18	2
	100.0	78.9	94.7	89.5	78.9	94.7	10.5
地域密着型ユニット型個室	585	469	561	466	380	496	56
	100.0	80.2	95.9	79.7	65.0	84.8	9.6
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	2	2	2	2	-
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	2	4	1	1	1	-
	100.0	50.0	100.0	25.0	25.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	31	27	29	26	22	28	4
	100.0	87.1	93.5	83.9	71.0	90.3	12.9

問38. アセスメントに関わる職位を教えてください。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	管理職でない一般の職員	介護長・主任等の中間管理職	施設長	その他
全　体	3,103	2,650	2,476	433	80
	100.0	85.4	79.8	14.0	2.6
従来型個室	54	48	44	5	-
	100.0	88.9	81.5	9.3	-
従来型多床室	444	363	358	48	10
	100.0	81.8	80.6	10.8	2.3
従来型個室＋多床室	686	580	571	75	15
	100.0	84.5	83.2	10.9	2.2
ユニット型個室	1,201	1,051	933	170	33
	100.0	87.5	77.7	14.2	2.7
ユニット型個室的多床室	3	2	3	1	-
	100.0	66.7	100.0	33.3	-
ユニット型多床室	1	1	1	-	-
	100.0	100.0	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	29	27	7	1
	100.0	87.9	81.8	21.2	3.0
地域密着型従来型個室	6	6	4	1	-
	100.0	100.0	66.7	16.7	-
地域密着型多床室	19	16	14	3	-
	100.0	84.2	73.7	15.8	-
地域密着型ユニット型個室	571	484	453	103	17
	100.0	84.8	79.3	18.0	3.0
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	2	-	-
	100.0	100.0	100.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	1	3	1	-
	100.0	25.0	75.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	31	24	25	11	1
	100.0	77.4	80.6	35.5	3.2

問39．そのアセスメントは実際にケアに活用されていますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	活用されている	大体活用されている	あまり活用されていない	活用されていない
全　体	3,168	1,042	1,815	303	8
	100.0	32.9	57.3	9.6	0.3
従来型個室	57	18	33	6	-
	100.0	31.6	57.9	10.5	-
従来型多床室	452	164	242	45	1
	100.0	36.3	53.5	10.0	0.2
従来型個室＋多床室	698	233	415	49	1
	100.0	33.4	59.5	7.0	0.1
ユニット型個室	1,230	394	696	135	5
	100.0	32.0	56.6	11.0	0.4
ユニット型個室的多床室	3	1	2	-	-
	100.0	33.3	66.7	-	-
ユニット型多床室	1	-	1	-	-
	100.0	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	14	15	4	-
	100.0	42.4	45.5	12.1	-
地域密着型従来型個室	6	3	3	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-
地域密着型多床室	19	6	11	2	-
	100.0	31.6	57.9	10.5	-
地域密着型ユニット型個室	583	176	352	54	1
	100.0	30.2	60.4	9.3	0.2
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	1	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	3	1	-
	100.0	-	75.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	31	14	14	3	-
	100.0	45.2	45.2	9.7	-

問40．そのアセスメントは、他の運営に利活用していますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	勤務表作成	人員配置	備品の購入	施設の安全管理	その他
全　体	2,586	749	1,287	1,231	1,630	134
	100.0	29.0	49.8	47.6	63.0	5.2
従来型個室	43	6	17	17	31	4
	100.0	14.0	39.5	39.5	72.1	9.3
従来型多床室	341	72	141	166	234	13
	100.0	21.1	41.3	48.7	68.6	3.8
従来型個室＋多床室	564	101	237	273	383	38
	100.0	17.9	42.0	48.4	67.9	6.7
ユニット型個室	1,017	391	575	477	598	47
	100.0	38.4	56.5	46.9	58.8	4.6
ユニット型個室的多床室	3	1	1	2	2	-
	100.0	33.3	33.3	66.7	66.7	-
ユニット型多床室	1	-	-	1	1	-
	100.0	-	-	100.0	100.0	-
ユニット型個室＋多床室	25	8	13	11	12	2
	100.0	32.0	52.0	44.0	48.0	8.0
地域密着型従来型個室	4	-	2	3	4	-
	100.0	-	50.0	75.0	100.0	-
地域密着型多床室	11	4	8	3	4	-
	100.0	36.4	72.7	27.3	36.4	-
地域密着型ユニット型個室	503	152	260	237	315	28
	100.0	30.2	51.7	47.1	62.6	5.6
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	1	1	1	-
	100.0	-	50.0	50.0	50.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	2	2	4	-
	100.0	-	50.0	50.0	100.0	-
地域密着型個室＋多床室	28	3	12	16	20	-
	100.0	10.7	42.9	57.1	71.4	-

問41. 日常の支援以外でチームケアをしている具体的な方法を教えてください。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	利用者のアセスメント作成に関わる	利用者のケース検討に関わる	記録を一元化（1つの様式に利用者1人に対し多職種で作成）している	その他	特に行っていない
全　体	3,150	1,897	2,789	1,671	60	55
	100.0	60.2	88.5	53.0	1.9	1.7
従来型個室	57	39	50	27	2	-
	100.0	68.4	87.7	47.4	3.5	-
従来型多床室	449	262	384	206	8	14
	100.0	58.4	85.5	45.9	1.8	3.1
従来型個室＋多床室	698	424	627	359	14	11
	100.0	60.7	89.8	51.4	2.0	1.6
ユニット型個室	1,221	758	1,103	698	23	15
	100.0	62.1	90.3	57.2	1.9	1.2
ユニット型個室的多床室	3	2	2	3	-	-
	100.0	66.7	66.7	100.0	-	-
ユニット型多床室	1	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	32	19	24	8	-	2
	100.0	59.4	75.0	25.0	-	6.3
地域密着型従来型個室	6	5	6	-	-	-
	100.0	83.3	100.0	-	-	-
地域密着型多床室	17	7	11	6	-	2
	100.0	41.2	64.7	35.3	-	11.8
地域密着型ユニット型個室	580	340	509	320	12	11
	100.0	58.6	87.8	55.2	2.1	1.9
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	2	1	-	-
	100.0	50.0	100.0	50.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	1	4	2	-	-
	100.0	25.0	100.0	50.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	31	16	23	15	1	-
	100.0	51.6	74.2	48.4	3.2	-

問42．チームケアは順調に行えていますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	順調である	どちらともいえない	順調ではない
全　体	3,152 100.0	1,208 38.3	1,547 49.1	397 12.6
従来型個室	57 100.0	24 42.1	28 49.1	5 8.8
従来型多床室	447 100.0	167 37.4	217 48.5	63 14.1
従来型個室＋多床室	693 100.0	283 40.8	335 48.3	75 10.8
ユニット型個室	1,225 100.0	452 36.9	608 49.6	165 13.5
ユニット型個室的多床室	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -
ユニット型多床室	1 100.0	1 100.0	- -	- -
ユニット型個室＋多床室	32 100.0	15 46.9	13 40.6	4 12.5
地域密着型従来型個室	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7
地域密着型多床室	19 100.0	2 10.5	14 73.7	3 15.8
地域密着型ユニット型個室	583 100.0	221 37.9	294 50.4	68 11.7
地域密着型ユニット型個室的多床室	2 100.0	- -	2 100.0	- -
地域密着型ユニット型多床室	4 100.0	- -	3 75.0	1 25.0
地域密着型個室＋多床室	31 100.0	17 54.8	10 32.3	4 12.9

問42－１．順調ではない理由は何ですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	各職種の考え方が統一できていない	具体的なチームケアの指標がないので、どうしていいかわからない	各職種が具体的に、どのようなことに関わりを持ったらいいかわからない	各職種の連携を進める職員がいない	その他
全　体	395	304	130	111	140	30
	100.0	77.0	32.9	28.1	35.4	7.6
従来型個室	5	5	2	1	1	－
	100.0	100.0	40.0	20.0	20.0	－
従来型多床室	62	47	22	14	21	2
	100.0	75.8	35.5	22.6	33.9	3.2
従来型個室＋多床室	75	57	27	23	31	10
	100.0	76.0	36.0	30.7	41.3	13.3
ユニット型個室	164	126	57	50	53	11
	100.0	76.8	34.8	30.5	32.3	6.7
ユニット型個室的多床室	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
ユニット型多床室	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
ユニット型個室＋多床室	4	2	1	1	1	－
	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	－
地域密着型従来型個室	1	－	－	－	1	－
	100.0	－	－	－	100.0	－
地域密着型多床室	3	2	2	－	－	－
	100.0	66.7	66.7	－	－	－
地域密着型ユニット型個室	68	54	18	19	30	6
	100.0	79.4	26.5	27.9	44.1	8.8
地域密着型ユニット型個室的多床室	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－
地域密着型ユニット型多床室	1	1	－	－	－	－
	100.0	100.0	－	－	－	－
地域密着型個室＋多床室	4	3	－	3	1	－
	100.0	75.0	－	75.0	25.0	－

問43．貴施設で使用している利用者に関する記録の種類はどれですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	ケース記録	日報	利用者の排泄や食事等のチェック表	申し送りノート	その他
全　体	3,176	3,086	2,408	2,867	2,700	167
	100.0	97.2	75.8	90.3	85.0	5.3
従来型個室	57	57	50	53	49	4
	100.0	100.0	87.7	93.0	86.0	7.0
従来型多床室	453	439	361	409	383	21
	100.0	96.9	79.7	90.3	84.5	4.6
従来型個室＋多床室	703	691	561	665	622	37
	100.0	98.3	79.8	94.6	88.5	5.3
ユニット型個室	1,230	1,191	898	1,087	1,017	61
	100.0	96.8	73.0	88.4	82.7	5.0
ユニット型個室的多床室	3	3	1	2	3	-
	100.0	100.0	33.3	66.7	100.0	-
ユニット型多床室	1	1	1	1	-	-
	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	33	24	29	24	-
	100.0	100.0	72.7	87.9	72.7	-
地域密着型従来型個室	6	5	3	6	6	1
	100.0	83.3	50.0	100.0	100.0	16.7
地域密着型多床室	19	19	15	17	16	-
	100.0	100.0	78.9	89.5	84.2	-
地域密着型ユニット型個室	585	564	427	517	507	41
	100.0	96.4	73.0	88.4	86.7	7.0
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	1	2	2	-
	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	4	2	3	3	-
	100.0	100.0	50.0	75.0	75.0	-
地域密着型個室＋多床室	31	29	23	29	25	-
	100.0	93.5	74.2	93.5	80.6	-

問44．記録で抱える課題は何ですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	記録の役割や意義が浸透していない	記録に何を書いていいかわからない	職種それぞれで行っており、一元化できていない（1人の利用者に対し職種で記録が分かれている）	記録に手間や時間がかかりすぎる	必要な記録の内容を適切に書けない職員がいる	（電子的記録を行っている場合）パソコン等の機器が使えず、記録を書けない職員がいる	その他
全　体	3,028	1,020	383	693	1,938	2,117	721	139
	100.0	33.7	12.6	22.9	64.0	69.9	23.8	4.6
従来型個室	56	14	9	11	45	35	13	-
	100.0	25.0	16.1	19.6	80.4	62.5	23.2	-
従来型多床室	434	152	50	126	295	281	100	18
	100.0	35.0	11.5	29.0	68.0	64.7	23.0	4.1
従来型個室＋多床室	662	216	86	173	447	459	168	32
	100.0	32.6	13.0	26.1	67.5	69.3	25.4	4.8
ユニット型個室	1,176	411	153	249	720	857	304	65
	100.0	34.9	13.0	21.2	61.2	72.9	25.9	5.5
ユニット型個室的多床室	3	-	-	-	3	1	-	-
	100.0	-	-	-	100.0	33.3	-	-
ユニット型多床室	1	-	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	30	6	2	9	18	22	6	-
	100.0	20.0	6.7	30.0	60.0	73.3	20.0	-
地域密着型従来型個室	6	4	1	2	4	5	1	1
	100.0	66.7	16.7	33.3	66.7	83.3	16.7	16.7
地域密着型多床室	18	8	4	5	13	14	2	-
	100.0	44.4	22.2	27.8	72.2	77.8	11.1	-
地域密着型ユニット型個室	558	188	74	98	327	392	106	20
	100.0	33.7	13.3	17.6	58.6	70.3	19.0	3.6
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	-	1	2	2	-	-
	100.0	-	-	50.0	100.0	100.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	2	-	1	4	3	1	-
	100.0	50.0	-	25.0	100.0	75.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	31	9	1	8	23	15	7	2
	100.0	29.0	3.2	25.8	74.2	48.4	22.6	6.5

問45．職員へ権限委譲していることは何ですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	ケアを実践するために必要な経費をユニットやグループ単位で自由に使える仕組み	利用者の暮らしぶりに合わせ、自由に勤務を組むことができる権限	短時間の外出等を職員の判断で柔軟に行える権限	職員の異動等の配置換え	その他	特別に権限移譲していることはない
全　体	3,105	1,467	1,160	1,715	384	83	612
	100.0	47.2	37.4	55.2	12.4	2.7	19.7
従来型個室	55	15	17	27	5	3	15
	100.0	27.3	30.9	49.1	9.1	5.5	27.3
従来型多床室	436	97	116	203	42	22	142
	100.0	22.2	26.6	46.6	9.6	5.0	32.6
従来型個室＋多床室	674	182	168	340	71	24	200
	100.0	27.0	24.9	50.4	10.5	3.6	29.7
ユニット型個室	1,219	805	591	739	164	20	133
	100.0	66.0	48.5	60.6	13.5	1.6	10.9
ユニット型個室的多床室	3	2	2	2	-	-	1
	100.0	66.7	66.7	66.7	-	-	33.3
ユニット型多床室	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	17	12	16	5	1	2
	100.0	51.5	36.4	48.5	15.2	3.0	6.1
地域密着型従来型個室	6	3	1	1	-	-	2
	100.0	50.0	16.7	16.7	-	-	33.3
地域密着型多床室	18	6	5	11	4	-	4
	100.0	33.3	27.8	61.1	22.2	-	22.2
地域密着型ユニット型個室	577	308	220	333	81	13	92
	100.0	53.4	38.1	57.7	14.0	2.3	15.9
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	1	2	1	-	-
	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	3	2	4	2	-	-
	100.0	75.0	50.0	100.0	50.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	31	7	11	16	2	-	10
	100.0	22.6	35.5	51.6	6.5	-	32.3

問46．貴施設で考える個別ケアに当てはまるものを教えてください。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	利用者の日常の暮らし（起床、食事、排泄、入浴）の生活パターンを、個人の状態に合わせて支援すること	利用者のこれまでの（自宅等での）暮らしやこれからの（施設での）暮らしを考慮しながら、利用者個々の生活リズム（時間）を尊重して支援すること	施設で決めた暮らしの時間（起床、食事、排泄、入浴）等において、利用者個々に対応すること	利用者が施設で暮らしやすい環境（ハード）を考慮して支援すること	利用者の意向や価値観を尊重して支援すること	多職種が利用者一人ひとりの暮らしに関わり、コミュニケーションをとって支援していくこと	その他
全　体	3,165	2,370	2,530	1,124	1,785	2,573	2,430	38
	100.0	74.9	79.9	35.5	56.4	81.3	76.8	1.2
従来型個室	56	44	44	23	30	45	37	-
	100.0	78.6	78.6	41.1	53.6	80.4	66.1	-
従来型多床室	450	270	306	199	235	334	335	6
	100.0	60.0	68.0	44.2	52.2	74.2	74.4	1.3
従来型個室＋多床室	698	453	510	295	411	574	528	8
	100.0	64.9	73.1	42.3	58.9	82.2	75.6	1.1
ユニット型個室	1,230	1,012	1,064	386	712	1,025	978	16
	100.0	82.3	86.5	31.4	57.9	83.3	79.5	1.3
ユニット型個室的多床室	3	2	3	-	2	3	2	-
	100.0	66.7	100.0	-	66.7	100.0	66.7	-
ユニット型多床室	1	1	-	-	-	1	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	25	25	7	14	26	22	-
	100.0	75.8	75.8	21.2	42.4	78.8	66.7	-
地域密着型従来型個室	6	5	4	1	4	6	4	-
	100.0	83.3	66.7	16.7	66.7	100.0	66.7	-
地域密着型多床室	19	15	15	3	7	13	11	-
	100.0	78.9	78.9	15.8	36.8	68.4	57.9	-
地域密着型ユニット型個室	583	482	492	174	310	474	441	3
	100.0	82.7	84.4	29.8	53.2	81.3	75.6	0.5
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	2	2	2	2	2	1
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0
地域密着型ユニット型多床室	4	3	4	2	3	4	3	1
	100.0	75.0	100.0	50.0	75.0	100.0	75.0	25.0
地域密着型個室＋多床室	31	19	22	12	21	22	24	1
	100.0	61.3	71.0	38.7	67.7	71.0	77.4	3.2

問47. 職員が個別ケアを実践するにあたり、重要と思うのはどれですか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	支援の指針や手法を示したガイドライン等の資料	利用者の状態や意向に合わせて対応できるような、職員への権限委譲	利用者のこれまでの暮らし（生活リズム）を考慮しながら支援すること	施設の理念を職員に浸透させること	職員一人ひとりの役割を明確にすること	その他
全　体	3,153	1,112	1,375	2,818	1,744	1,697	93
	100.0	35.3	43.6	89.4	55.3	53.8	2.9
従来型個室	56	16	23	50	28	24	2
	100.0	28.6	41.1	89.3	50.0	42.9	3.6
従来型多床室	447	152	175	386	241	253	10
	100.0	34.0	39.1	86.4	53.9	56.6	2.2
従来型個室＋多床室	692	226	258	615	344	398	18
	100.0	32.7	37.3	88.9	49.7	57.5	2.6
ユニット型個室	1,229	474	574	1,113	744	648	33
	100.0	38.6	46.7	90.6	60.5	52.7	2.7
ユニット型個室的多床室	3	2	2	3	2	2	-
	100.0	66.7	66.7	100.0	66.7	66.7	-
ユニット型多床室	1	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	32	11	14	30	15	17	-
	100.0	34.4	43.8	93.8	46.9	53.1	-
地域密着型従来型個室	6	3	4	5	3	2	-
	100.0	50.0	66.7	83.3	50.0	33.3	-
地域密着型多床室	18	6	7	13	10	10	-
	100.0	33.3	38.9	72.2	55.6	55.6	-
地域密着型ユニット型個室	583	192	276	527	311	295	25
	100.0	32.9	47.3	90.4	53.3	50.6	4.3
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	1	1	2	2	1	1
	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0
地域密着型ユニット型多床室	4	2	2	3	3	1	1
	100.0	50.0	50.0	75.0	75.0	25.0	25.0
地域密着型個室＋多床室	31	8	13	25	11	17	1
	100.0	25.8	41.9	80.6	35.5	54.8	3.2

問48．あなたの施設では、個別ケアが実践できていると思いますか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	できている	概ねできている	あまりできていない	全くできていない	わからない
全　体	3,170	104	1,374	1,589	57	46
	100.0	3.3	43.3	50.1	1.8	1.5
従来型個室	56	-	26	26	2	2
	100.0	-	46.4	46.4	3.6	3.6
従来型多床室	452	6	137	290	15	4
	100.0	1.3	30.3	64.2	3.3	0.9
従来型個室＋多床室	699	12	238	415	22	12
	100.0	1.7	34.0	59.4	3.1	1.7
ユニット型個室	1,231	62	603	538	10	18
	100.0	5.0	49.0	43.7	0.8	1.5
ユニット型個室的多床室	3	-	2	1	-	-
	100.0	-	66.7	33.3	-	-
ユニット型多床室	1	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	-	16	14	-	3
	100.0	-	48.5	42.4	-	9.1
地域密着型従来型個室	6	-	2	4	-	-
	100.0	-	33.3	66.7	-	-
地域密着型多床室	18	-	6	11	-	1
	100.0	-	33.3	61.1	-	5.6
地域密着型ユニット型個室	586	21	305	248	7	5
	100.0	3.6	52.0	42.3	1.2	0.9
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	2	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	1	3	-	-
	100.0	-	25.0	75.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	30	1	15	13	1	-
	100.0	3.3	50.0	43.3	3.3	-

問48－１．主に個別ケアの実践にあたり指導するのはどなたですか。
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	施設長	中間管理職	ユニットリーダー（グループリーダー）	特別いない
全　体	104 100.0	7 6.7	36 34.6	59 56.7	2 1.9
従来型個室	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
従来型多床室	6 100.0	－ －	2 33.3	3 50.0	1 16.7
従来型個室＋多床室	12 100.0	1 8.3	7 58.3	3 25.0	1 8.3
ユニット型個室	62 100.0	3 4.8	20 32.3	39 62.9	－ －
ユニット型個室的多床室	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
ユニット型多床室	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
ユニット型個室＋多床室	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
地域密着型従来型個室	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
地域密着型多床室	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
地域密着型ユニット型個室	21 100.0	3 14.3	6 28.6	12 57.1	－ －
地域密着型ユニット型個室的多床室	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
地域密着型ユニット型多床室	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
地域密着型個室＋多床室	1 100.0	－ －	－ －	1 100.0	－ －

問49. 個別ケアを実践するにあたり、抱えている課題は何ですか。
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	施設や法人に個別ケアの方針がない	個別ケアを実施できる人員体制が整わない	個別ケアを指導できる職員がいない	何から始めていいかわからない	職員が個別ケアについて十分理解できていない	職員の経験不足	その他
全　体	2,869	256	1,777	726	179	1,533	1,350	172
	100.0	8.9	61.9	25.3	6.2	53.4	47.1	6.0
従来型個室	51	4	34	15	2	27	22	2
	100.0	7.8	66.7	29.4	3.9	52.9	43.1	3.9
従来型多床室	418	42	292	99	33	222	171	24
	100.0	10.0	69.9	23.7	7.9	53.1	40.9	5.7
従来型個室＋多床室	647	59	473	174	43	295	267	26
	100.0	9.1	73.1	26.9	6.6	45.6	41.3	4.0
ユニット型個室	1,101	94	602	282	66	634	556	75
	100.0	8.5	54.7	25.6	6.0	57.6	50.5	6.8
ユニット型個室的多床室	3	-	2	2	-	1	1	-
	100.0	-	66.7	66.7	-	33.3	33.3	-
ユニット型多床室	1	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	30	2	18	5	2	15	18	2
	100.0	6.7	60.0	16.7	6.7	50.0	60.0	6.7
地域密着型従来型個室	6	-	3	2	-	5	4	-
	100.0	-	50.0	33.3	-	83.3	66.7	-
地域密着型多床室	17	4	11	5	2	11	9	-
	100.0	23.5	64.7	29.4	11.8	64.7	52.9	-
地域密着型ユニット型個室	522	46	292	128	30	289	270	33
	100.0	8.8	55.9	24.5	5.7	55.4	51.7	6.3
地域密着型ユニット型個室的多床室	1	1	1	-	-	1	1	-
	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	4	3	-	2	1	-
	100.0	-	100.0	75.0	-	50.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	26	-	17	7	1	14	12	2
	100.0	-	65.4	26.9	3.8	53.8	46.2	7.7

問50. 性別
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	男性	女性	その他
全　体	3,156	2,054	1,100	2
	100.0	65.1	34.9	0.1
従来型個室	57	41	16	-
	100.0	71.9	28.1	-
従来型多床室	449	297	152	-
	100.0	66.1	33.9	-
従来型個室＋多床室	695	444	249	2
	100.0	63.9	35.8	0.3
ユニット型個室	1,230	803	427	-
	100.0	65.3	34.7	-
ユニット型個室的多床室	3	2	1	-
	100.0	66.7	33.3	-
ユニット型多床室	1	1	-	-
	100.0	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	21	12	-
	100.0	63.6	36.4	-
地域密着型従来型個室	6	4	2	-
	100.0	66.7	33.3	-
地域密着型多床室	18	13	5	-
	100.0	72.2	27.8	-
地域密着型ユニット型個室	578	372	206	-
	100.0	64.4	35.6	-
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	2	-
	100.0	-	100.0	-
地域密着型ユニット型多床室	4	3	1	-
	100.0	75.0	25.0	-
地域密着型個室＋多床室	31	18	13	-
	100.0	58.1	41.9	-

問50．年齢
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	30歳未満	30～40歳未満	40～50歳未満	50～60歳未満	60～70歳未満	70歳以上
全　体	3,152	12	364	951	911	761	153
	100.0	0.4	11.5	30.2	28.9	24.1	4.9
従来型個室	57	1	6	22	15	11	2
	100.0	1.8	10.5	38.6	26.3	19.3	3.5
従来型多床室	448	3	35	107	137	141	25
	100.0	0.7	7.8	23.9	30.6	31.5	5.6
従来型個室＋多床室	693	1	77	200	209	178	28
	100.0	0.1	11.1	28.9	30.2	25.7	4.0
ユニット型個室	1,230	3	154	388	332	287	66
	100.0	0.2	12.5	31.5	27.0	23.3	5.4
ユニット型個室的多床室	3	-	-	-	2	-	1
	100.0	-	-	-	66.7	-	33.3
ユニット型多床室	1	-	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	33	-	3	8	14	5	3
	100.0	-	9.1	24.2	42.4	15.2	9.1
地域密着型従来型個室	6	-	2	1	2	1	-
	100.0	-	33.3	16.7	33.3	16.7	-
地域密着型多床室	18	-	1	4	10	2	1
	100.0	-	5.6	22.2	55.6	11.1	5.6
地域密着型ユニット型個室	577	3	75	201	161	116	21
	100.0	0.5	13.0	34.8	27.9	20.1	3.6
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	-	-	1	-	1
	100.0	-	-	-	50.0	-	50.0
地域密着型ユニット型多床室	4	-	-	1	3	-	-
	100.0	-	-	25.0	75.0	-	-
地域密着型個室＋多床室	31	-	2	6	13	9	1
	100.0	-	6.5	19.4	41.9	29.0	3.2

問50．介護業務に携わった経験年数
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上
全　体	3,029	397	381	392	505	578	776
	100.0	13.1	12.6	12.9	16.7	19.1	25.6
従来型個室	54	3	5	11	12	8	15
	100.0	5.6	9.3	20.4	22.2	14.8	27.8
従来型多床室	423	54	61	53	52	63	140
	100.0	12.8	14.4	12.5	12.3	14.9	33.1
従来型個室＋多床室	673	100	77	71	94	144	187
	100.0	14.9	11.4	10.5	14.0	21.4	27.8
ユニット型個室	1,176	162	156	158	213	232	255
	100.0	13.8	13.3	13.4	18.1	19.7	21.7
ユニット型個室的多床室	3	1	-	1	-	-	1
	100.0	33.3	-	33.3	-	-	33.3
ユニット型多床室	1	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-
ユニット型個室＋多床室	30	5	2	5	5	4	9
	100.0	16.7	6.7	16.7	16.7	13.3	30.0
地域密着型従来型個室	6	1	1	-	2	2	-
	100.0	16.7	16.7	-	33.3	33.3	-
地域密着型多床室	18	4	1	5	-	1	7
	100.0	22.2	5.6	27.8	-	5.6	38.9
地域密着型ユニット型個室	560	55	62	81	111	109	142
	100.0	9.8	11.1	14.5	19.8	19.5	25.4
地域密着型ユニット型個室的多床室	1	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	-	-	-	-	1	3
	100.0	-	-	-	-	25.0	75.0
地域密着型個室＋多床室	31	3	11	-	4	5	8
	100.0	9.7	35.5	-	12.9	16.1	25.8

問50. 施設長としての経験年数
問１. 貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上
全　体	2,735	428	1,150	611	290	144	112
	100.0	15.6	42.0	22.3	10.6	5.3	4.1
従来型個室	50	9	21	11	5	4	-
	100.0	18.0	42.0	22.0	10.0	8.0	-
従来型多床室	383	59	168	74	34	21	27
	100.0	15.4	43.9	19.3	8.9	5.5	7.0
従来型個室＋多床室	585	94	228	136	56	39	32
	100.0	16.1	39.0	23.2	9.6	6.7	5.5
ユニット型個室	1,072	175	436	245	134	49	33
	100.0	16.3	40.7	22.9	12.5	4.6	3.1
ユニット型個室的多床室	3	1	-	-	2	-	-
	100.0	33.3	-	-	66.7	-	-
ユニット型多床室	1	-	-	-	1	-	-
	100.0	-	-	-	100.0	-	-
ユニット型個室＋多床室	28	4	9	6	7	2	-
	100.0	14.3	32.1	21.4	25.0	7.1	-
地域密着型従来型個室	6	1	4	1	-	-	-
	100.0	16.7	66.7	16.7	-	-	-
地域密着型多床室	16	3	9	3	1	-	-
	100.0	18.8	56.3	18.8	6.3	-	-
地域密着型ユニット型個室	518	73	245	120	41	23	16
	100.0	14.1	47.3	23.2	7.9	4.4	3.1
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	-	2	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-
地域密着型ユニット型多床室	4	1	1	2	-	-	-
	100.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-
地域密着型個室＋多床室	30	1	15	6	4	2	2
	100.0	3.3	50.0	20.0	13.3	6.7	6.7

問50. 保有資格
問１．貴施設の施設種別について教えて下さい。

	全体	介護支援専門員	社会福祉主事（施設長認定資格）	介護福祉士	社会福祉士	ホームヘルパー	看護師	准看護師	医師	歯科医師	その他	保有資格はない
全　体	3,106	1,604	1,851	1,484	630	338	187	58	3	5	262	113
	100.0	51.6	59.6	47.8	20.3	10.9	6.0	1.9	0.1	0.2	8.4	3.6
従来型個室	56	38	29	31	18	4	5	1	−	−	4	4
	100.0	67.9	51.8	55.4	32.1	7.1	8.9	1.8	−	−	7.1	7.1
従来型多床室	441	230	291	201	88	40	13	10	−	2	32	16
	100.0	52.2	66.0	45.6	20.0	9.1	2.9	2.3	−	0.5	7.3	3.6
従来型個室＋多床室	686	369	417	323	148	55	35	11	1	−	65	21
	100.0	53.8	60.8	47.1	21.6	8.0	5.1	1.6	0.1	−	9.5	3.1
ユニット型個室	1,209	597	706	567	238	156	83	19	2	3	100	51
	100.0	49.4	58.4	46.9	19.7	12.9	6.9	1.6	0.2	0.2	8.3	4.2
ユニット型個室的多床室	3	1	2	1	2	−	−	−	−	−	1	−
	100.0	33.3	66.7	33.3	66.7	−	−	−	−	−	33.3	−
ユニット型多床室	1	1	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	100.0	100.0	100.0	−	−	−	−	−	−	−	−	−
ユニット型個室＋多床室	33	11	14	16	4	2	2	−	−	−	3	3
	100.0	33.3	42.4	48.5	12.1	6.1	6.1	−	−	−	9.1	9.1
地域密着型従来型個室	6	3	4	1	−	3	1	−	−	−	1	−
	100.0	50.0	66.7	16.7	−	50.0	16.7	−	−	−	16.7	−
地域密着型多床室	18	7	10	8	1	1	1	−	−	−	1	2
	100.0	38.9	55.6	44.4	5.6	5.6	5.6	−	−	−	5.6	11.1
地域密着型ユニット型個室	570	306	327	295	113	67	39	14	−	−	45	15
	100.0	53.7	57.4	51.8	19.8	11.8	6.8	2.5	−	−	7.9	2.6
地域密着型ユニット型個室的多床室	2	2	1	−	−	1	1	−	−	−	−	−
	100.0	100.0	50.0	−	−	50.0	50.0	−	−	−	−	−
地域密着型ユニット型多床室	4	3	2	3	3	−	−	−	−	−	1	−
	100.0	75.0	50.0	75.0	75.0	−	−	−	−	−	25.0	−
地域密着型個室＋多床室	31	21	19	13	8	6	5	3	−	−	4	1
	100.0	67.7	61.3	41.9	25.8	19.4	16.1	9.7	−	−	12.9	3.2

２次調査シート

【施設基本状況】

施設名	藤代なごみの郷		所在地	茨城県取手市	居室種別	従来型個室
施設開設　年	2001年	定員数	入所（入居）50人 短期入所　20人	平均要介護度		4
職員配置（職員１人あたりの利用者人数）（介護職員・看護職員）	2.4：1	ユニット・グループの定員とユニット・グループ数	１階：14人・20人（短期入所生活介護）、２階： 36人			

介護職員の配置状況	フロア固定	勤務表の作成単位	フロア	勤務表の作成者	介護長	就業規則に規定されている勤務時間帯の種類（シフト数）	４種類

【ヒアリング内容】

法人・施設の理念	「いつもでも、自分らしく、住み慣れたまちで暮らしたい」を理念とし「手取り・足取りのケアではなく、入所者の身体の状態などを最大限に考慮した上での「自立」した毎日を支えるための適切な生活支援」を大切にしている。管理者が意識を持って、施設の理念を研修等で職員に浸透させ、意識共有を図っている。
勤務の体制	開設当初は、１階は２つ、２階は３つのグループに分け、グループ単位でケアを行っていた。現在は、フロアごとの体制で早番・日勤・遅番・夜勤（16時間）で行っている。人員配置も2.4：1と平均的な配置であり、また、離職率は低く、今年は2名である。早番・遅番・夜勤等の変則勤務のできる人が少ないなど、人材確保が難しいため、今はフロア単位での運営としている。外国人労働者や派遣職員の雇用はないが、２０１９年には外国人技能実習生の受け入れを考えている。勤務表は介護長が作成しており、4種類のシフトを使用している。
日常の支援について	管理者が個別ケアの考え方について理解し、職員に意識共有を図っている。 【起床】施設の朝食時間に合わせて起床支援を行っている。 【排泄】起床時・食事の前後には決まった時間に排泄支援を行っており、それ以外の時間帯は入所者一人ひとりに合わせて随時排泄支援を行っている。 【食事】副食のメイン料理は選択できるようにしている。その場その時々で入所者が選択できるようにしている。 【入浴】浴室は１階・２階と２か所ある。浴槽は、階段式の一般浴槽が２か所ともあり、２階に機械浴槽がある。一般浴槽をメインとして使用している。入浴方法はフロア単位とし、職員を誘導係・着脱係・洗身係と振り決め、曜日を決めて支援している。 【看取り】看取り支援について協力医療機関の医師の協力が得られており、対応ができている。看取りをした後は、必ず振り返りを行っており、本人や家族の好む食事の提供を行っている。看取り期には、個室であるため、家族は居室に宿泊できる。
建物・設備の状況	２階と３階に居住部分があり、中庭を含んだ廊下の左右に個室が長方形状に並び、その形態の並びがワンフロアに２列ある。その根元部分にあたるところに共同生活室がある構造となっている。共同生活室には、食事用のテーブルといすが分散配置されており、日中は入所者がテレビを見る等のくつろぐスペースとなっている。共同生活室には１人用の洗面台が９台、2か所に分け配置されており、その中央部分にカウンターを設けた職員コーナーがある。その対面に配膳室があるが、キッチン機能までは備えていない。調理は１階の調理室から運んでいる。２つの居室間にトイレがあり、両方の居室からそれぞれ入れるようになっている。そのトイレの仕切りは以前はカーテンだったが、現在はドアに改修している。各居室には、施設が用意したタンスが置いている。
チームケアの状況	アセスメント作成やケース検討に多職種で取り組んでいる。記録も一元化しており、チームケアは順調である。

【総論】

従来型が個別ケアを目指すには、人員の確保とハードの工夫、職員の意識変える手段が必要。人員対策としては、勤務表作成方法や夜勤時間の見直し・職員の待遇改善等があげられる。同法人のユニット型施設が隣にあるので、職員の交流を活用して、個別ケアを推進するためのノウハウを職員間で共有し合い、知識や経験のある職員を多く育成して、職員が活躍できる施設運営をしていきたいと考えている。

【施設基本状況】

施設名	きりしまの園		所在地	宮崎県小林市	居室種別	従来型多床室
施設開設年	1986年	定員数	入所（入居）30人	平均要介護度	4.52	
職員配置（職員１人あたりの利用者人数）（介護職員・看護職員）	1.6:1	ユニット・グループの定員とユニット・グループ数	10人(個室）×１ 20人(4人部屋×5室）×１			
介護職員の配置状況	ｸﾞﾙｰﾌﾟ固定	勤務表の作成単位	フロア	勤務表の作成者	フロアリーダー	就業規則に規定されている勤務時間帯の種類（シフト数）	33

【ヒアリング内容】

法人・施設の理念	法人の現理事長が法人創設者の想いを引き継ぎ、「ご入所者のお一人お一人がその人らしく暮らしていただくために、これまで歩んでこられた『道』を知り、今何を考え、これからどのように生きていきたいか、何を望んでおられるかを大切にしたケアの実践に努めること」を示した法人理念は、理事長が開催する「理念塾」や職場内研修を通して職員に浸透している。また、職員の啓発のために、施設内の目に届く場に基本理念が掲げてある。中間管理職が理念を理解し、理念に基づいた職員への助言、指導を行っており、理念の考えが現場に生かされている。 理念には、従来型・ユニット型の違いに関わりなく、地域の方が安心して居場所を移せるよう、施設でも暮らしが継続できるようにという想いが込められている。同法人のユニット型施設の開設に伴い、ユニットリーダー研修に参加した職員がユニットケアの考え方を本施設にも応用できるようになり、さらに理念に基づいた取り組みが実行できるようになった。今後は、職員がさらに意識を高く持ち常に理念に基づいたケアが実行できるよう、法人と施設の理念や方針を記載した職員手帳を常に携帯するよう、職員に呼び掛けていく。
勤務の仕組み体制	2014年の改築に伴い、入所者一人ひとりの暮らしを大事にするケアを実行していくため、30人の利用者を10人と20人のグループに分け、グループごとに職員を配置することにした。そのグループを「ユニット」と呼びリーダー、サブリーダーを固定配置し、ユニットケアの考え方を取り入れて個別ケアを行っている。職員の配置人数はユニット型施設に比べると多くなっている。職員配置については、10年以上の経験をもつ職員を日中・夜間に毎日配置するように工夫している。また、看護職員を必ず１ユニットに１人、日中・夜間に配置し、介護職員と共に利用者の暮らしの支援にあたるようにし、特に夜勤帯の介護職員の安心感に繋がっている。シフトの種類は33種類あり、入所者の暮らしぶりや職員の状況を把握しているフロアリーダーが勤務表を作成している。夜勤のシフトは、８時間勤務と12時間勤務の２通りあり、入所者の状況と職員の働き方に合わせて組めるよう工夫している。
日常の支援ケアについて	【起床】職員は入所者ごとの起床に関するアセスメントを把握しており、基本的に一人ひとりの状態に合わせた起床支援を行っている。20人のグループに関しては、起床支援があまり必要でない入所者も含まれており、自分の意思で起きてこられる方もいる。支援が必要な方が多いときは、同じ時間帯になることもある。食事支援が必要な人は、朝食の時間、職員の出勤時間に合わせたタイミングになっていることがある。 【排泄】入所開始からの３日間に尿量データをとっている。データを基にアセスメントし、入所者の状態に合わせて排泄支援をしている。トイレがリビング近くにあるため、誘導の際の導線が良い。 【食事】入所者一人ひとりの嗜好品の把握に努め、食べたいときに食べることができる食事支援を心掛けている。夕食時は、ユニット間で協力して支援に入ることがある。 【入浴】１週間に２回以上入浴が可能。入所者と職員が１対１で入浴の準備から入浴後の対応まで通して支援している。経験値が高い職員は、入所者の「立位、可動域、麻痺、皮膚が弱い、シャンプーリンスの種類」が分かれば、担当外のユニットの利用者の入浴支援もできる。 【看取り】日常のケアの延長線上にあるという考えのもと、入所者本人、家族の希望に応じ最期の時間を過ごせることができるよう嘱託医師の協力も得て支援している。看取り期には専用の個室に移動できる。 グループ別に職員を配置することで、看取り支援の際も職員が入所者の些細な変化に気づくことができ、細やかなケアをするとともに、適切に家族に連絡できている。 【レクリエーション】以前は施設全体で一斉にレクリエーション活動を実施していたが現在は入所者の意思を尊重し、希望により様々な教室（音楽、生け花、カラオケ、映画）に参加できるようにしている。法人全体としては、花まつり、納涼祭、敬老会等、家族との絆を深めるための行事を実施している。
建物・設備の状況	平屋建てで、内装には木材をふんだんに使っており、木のぬくもりが伝わるようなあたたかい雰囲気で家庭に近い環境にある。10人グループのユニットは、外玄関が直結しており、外部からの訪問者も気軽に足を運べる造りになっている。 改築後、多床室ではあるが、居室内の個人の空間が区切られるよう家具を配置した。他人の視線を気にすることなく、個人の部屋と変わらない雰囲気で入所者がくつろぐことができるよう工夫している。職員の所感によると、入所者の居心地の良さに配慮することで、認知症の症状が和らいだり、表情の変化がみられるようになった。

チームケアの状況	「ユニット」としてのグループ単位で勤務を組んでおり、「ユニット主任」と呼ばれているフロアーリーダーがシフトを管理している。多職種でカンファレンスを頻繁に行っており、機能訓練指導員や栄養士も入所者のアセスメントを行っているので、食事支援等に加わることができ、連携して支援ができている。栄養士がおやつを調理して提供する等、入所者との関わりを増やし入所者の嗜好や嚥下状態等の理解に努めている。栄養士、看護職員、介護職員で記録の様式を統一しており、情報共有の円滑化に努めている。夜勤時間帯は１ユニットに１名の看護職員を配置しているので、入所者の睡眠、排泄等の状態について細かく把握しており、何か異常があった際にはいち早く気付くことができる。 グループによって職員の意識やケアの手法に違いが出ているので、今後は、グループ間のミーティングを積極的に行い、職員全体で意識を高くもつように教育していく予定。

【総論】

多床室ではあるが、ユニットケアを取り入れた個別ケアをしたい、という創設者の強い気持ちから従来型での個別ケアの手法を検討し、職員の意識改革も行ってきた。個別ケアをより推進していくには、20人のグループも10人ごとのグループに分けてケアをするのがベストだが、建物の構造上、現在のところ難しい。改築で職員の動線が短くなったことで、より個別ケアが進められるようになったと感じている。
30人の利用者を個別に支援するには、職員の経験値が求められる。この施設の強みは、経験年数の長い職員が、以前の集団的な介護から個別ケアに変わってきた時代を経験してきており、個別ケアの大切さを他の職員に伝えられること、また、リーダー研修を受講した職員がユニットケアの手法をグループに還元できていることである。また、短時間のミーティングを重ねることで情報共有を常に行い、職員の不安を解消するようにしている。10年、20年の経験があるリーダーの存在が大きいが、リーダーを支えるサブリーダーの養成にも力を入れており、個別ケアの取組みに重要な存在となっている。

【施設基本状況】

施設名	国津園			所在地	三重県名張市	居室種別	従来型多床室
施設開設年	1990年	定員数	入所（入居）80人 （併設　短期入所生活介護　4人）	平均要介護度		4.2	
職員配置（職員１人あたりの利用者人数）（介護職員・看護職員）	2.6：1	ユニット・グループの定員とユニット・グループ数		1階　14人×１グループ、16人×１グループ 2階　13人×１グループ、15人×１グループ 新館　11人×１グループ、15人×１グループ			
介護職員の配置状況	ｸﾞﾙｰﾌﾟ固定	勤務表の作成単位	フロア	勤務表の作成者	副主任	就業規則に規定されている勤務時間帯の種類（シフト数）	25

【ヒアリング内容】

法人・施設の理念	1989年の法人設立時の理念「私たちが暮らしたい施設を作るとともに、私たちが使いたいサービスを提供する」に基づいた取り組みに努めている。施設を利用する全ての人が笑顔になれるよう、様々な行事を入所者に楽しんでいただけるよう企画・運営を行っている。同法人で本施設とは別にユニット型施設の運営を行っている。従来型多床室における個別ケアの取り組みについて2年前から工夫して行っている。ユニット型施設が増加していく中、従来型施設においても、入所者の満足度の向上を図っていくためにも、個別ケアを推進している。個別ケアを進める上で、組織体制の見直しを行い、課題解決を行うための検討を現場責任者とともに検討する機会を持ち、意識の統一を図った。
勤務の体制	開設当初は、定員50名全体を、職員が２階と３階を行き来しケアを行っていた。1997年に3階（新館）に30床増床し、定員が80名となった。2012年、入所者一人ひとりの暮らしをより手厚くサポートするため、夜勤時間帯のシフトを17時～9時30分から21時～8時へ変更し、日中の時間帯に人手を厚くすることとした。一方で、現在の入所者84名（併設の短期入所生活介護を含む床数）に対し、夜勤職員数は４名必須であり、（3フロア1名づつ、短期入所生活介護の１名の計４名）日中の時間帯に職員を多く配置することが困難な日もある。2018年8月から、原則、１フロアの入所者を２グループに分けて、職員をグループごとに固定配置した。フロア単位でシフトを組んでおり、グループ間の応援ができる体制になっている。入所者によっては職員２人での介助が必要なこともあり、柔軟な配置で臨機応変に対応することができている。
日常の支援について	【起床】施設全体で同じ時間帯に一斉に行っている。 【入浴】グループに分けて、マンツーマン入浴を行っている。個浴はなく、浴槽は１か所。午前はパート勤務の職員とその日の入浴当番の職員が、午後は早番の職員が入浴支援を行っている。グループに分ける前は、その日の入浴支援の当番が、全３フロアの入浴支援を行っていた。この時のいわゆる流れ作業よりも、グループごとに細やかにケアしたほうが結果的に効率的であることが分かった。 【排泄】職員配置が1フロア１人になる時間帯については、カートを使用して使用済み排泄用品の回収をしている。その他の時間帯は、バケツ等を使用して回収している。職員は、配置されているグループの入所者ごとの排泄用品の使用状況や、トイレに座るとことが可能かどうかといった排泄支援上のアセスメントも理解できている。トイレの数が１フロアに１か所と、グループの数に応じていないため、移動支援を行う際に時間を要することが悩み。夜間はポータブルトイレで対応することもある。 【食事】基本的には決められた時間帯に食事支援を行う。１階の厨房で調理されたものを温冷配膳車で各フロアに運び、ご飯、みそ汁はフロアにあるIH調理器で温めることが可能となっている。入所者の希望により、おかわりをすることも可としている。バイキング形式の食事があったり、喫茶、嗜好品（ノンアルコールビール等）の用意もあったりと、入所者の好みや要望に対応できるようにしている。 【看取り】2015年から看取り支援ができる体制をとっている。生活の延長線上として入所者の最期の時間を、馴染みのある入所者自身の居室で過ごすことができるようにし、職員が常時見守ることができる体制を取っている。入所者の少しの変化にも対応でき、家族にも喜ばれるようになった。看取り期の入所者と家族が一緒に過ごせる別室も用意している。 【レクリエーション活動・行事】以前は、施設全体で誕生会等の行事を行っていたが、現在は、入所者の希望に応じて、バイキング、居酒屋、フラワーアレンジメント、もの作りといったレクリエーション活動・行事に自由に参加できるようになっている。また、参加できる人、参加したい人で施設全体の外出行事も行っている。
建物・設備の状況	１階、２階、２階の増床部分を各フロアという。各フロアごとにトイレが1か所、浴室は１階に1か所ある。トイレ個室はカーテンで仕切られている。居室は入所者個人ごとにカーテンで仕切られているが、今後は、入所者のプライバシーに配慮し、家庭的な環境づくりのため、居室を家具等で間仕切りしたり、トイレの戸の設置等ができればと考えている。また、ホールや廊下については、殺風景であり、個々の空間として利用できていないため、施設の中で入所者が個人のスペースを持ち、くつろぎながら過ごせる場所づくりを行っていくため、ホールの間仕切り等を行える家具等の配置を行っていきたいと考えている。

チームケアの状況	開設当初は、介護職員と看護職員は分業しており、それぞれでケアを行っていた。分業によってなかなか連携がとれないことは組織の課題であるとし、改善のため、2012年に組織改編し、介護職員も看護職員も同じ生活支援課の配属として、円滑に連携をとれるような組織編制にした。月に１回、介護職員と看護職員以外の職種も含めた多職種の会議を実施している。入所者の個別ケアについては、フロアごとのケアプランカンファレンスにおいて多職種で話し合うようにしている。

【総論】

開設当初は、いわゆる措置時代で入所者の状態像も現在とは異なり、自立度が高く、あまりケアに手間がかからず、限られた職員でグループに分けることなく２階と３階の入所者50人を職員全員で一斉一律に介護していた。しかし、入所者の要介護度が高くなってきたため、平成9年の30人の増床とともに、各フロアの単位でケアすることとした。同法人でユニット型施設を運営し始めた2005年頃から、さらに個別ケアを意識するようになった。それまではフロア単位でのケアを実施することで個別ケアができていると認識していたが、職員が精神的にゆとりをもってケアができるよう、フロア内の入所者をさらに小さい人数単位のグループに分けることを検討しはじめた。実際に１フロアを２グループに分けるようになったのは2018年の夏からである。以前は、各々の職員が考える方法でケアにあたっていたが、グループ分けをし職員１人あたりの利用者数が少なくなることで職員同士情報共有が図る余裕が生まれ、施設内のケアの標準化ができるようになった。また、入所者一人ひとりに関わる時間が多くなったことでケアの質も向上した。入所者のことをよく知るためには、職員が受け持つケアの単位は少人数にしたほうが良いことが理解できた。
2018年12月末から、介護職員がタブレットを携帯してケアにあたるようになり、排泄、食事、入浴、生活ぶり、睡眠状態をその都度、タブレットで記録できるようになった。記録をみて、食事の量・好みや、排泄の間隔・量を把握し、アナログで記録していたこれまでより入所者の情報を深く把握することができるようになった。
いずれのフロアもグループに分けたものの、リビングが確保できない、共有スペースの広さが確保できないといったハード上の課題が残っている。家庭的な雰囲気をつくるため、ソファを置く等、設えにこだわる必要がありそうだと考えている。トイレと浴室の数が少なく、入所者の移動支援を行う際の職員の動線が長いことも気になる。
グループに分けたことにより、入所者同士の顔がみえることで刺激されるのか、食事支援が必要だった入所者が自力で食事をするようになったり、職員との馴染みの関係ができ、精神的に落ち着きがみられるようになった利用者もいたり、利用者に変化がみられるようになった。
グループ単位でのケアもまだ始めたばかりだが、引き続き、従来型でできる個別ケアの追及をしている。

【施設の状況】

施設名	伸幸苑	所在地	兵庫県伊丹市	居室種別	従来型個室＋多床室
施設開設年	1997年	定員数	入所（入居）91人 短期入所　10人	平均 要介護度	3.8

職員配置（職員１人あたりの利用者人数）（介護職員・看護職員）	1.7：1	ユニット・グループの定員とユニット・グループ数	3階4グループ、4階4グループの全8グループで構成 3A：12名・従来型個室8室・従来型（4人部屋） 3B：13名・従来型個室3室・多床室（4人部屋2室、3人部屋中の2部屋） 3C：13名・多床室（3人部屋中1人、4人部屋3室） 3D：13名・従来型個室1室・多床室（4人部屋3室） 4A：12名・従来型個室4室、多床室（4人部屋1室、3人部屋1室、2人部屋中の1部屋） 4B：13名・従来型個室3室・多床室（4人部屋2室、4人部屋の2部屋）4C：12名・多床室（4人部屋1室、3人部屋1室、4人部屋の2部屋、4人部屋の3部屋） 4D：13名（4人部屋3室、4人部屋中1人）

介護職員の配置状況	グループ	勤務表の作成単位	グループ	勤務表の作成者	グループリーダー	就業規則に規定されている勤務時間帯の種類（シフト数）	日勤①8：30～17：30 日勤②9：00～18：00 日勤③10：00～18：00 日勤④11：00～15：30 夜勤①17：00～翌10：00

【ヒアリング内容】

法人・施設の理念	職員が楽しく働けることを大事にし、職員が自ら考えて仕事できるような施設というのが理念であり、できる限り職員に権限移譲している。環境づくりの一歩として2009年に準ユニット型への改修を行い、職員がユニットという単位で自由度を持って働けるようにした。 法人経営者・幹部職員と現場の職員との話合いとして、年１回各ユニットとの意見交換会を開催しており、幹部から経営状況の実態を職員に伝えるとともに現場の声を聞き取り、法人運営を行う上での参考としている。ケアマニュアル（行動指針及び介護の仕方）についてはユニットごとに作成・更新し、年に２回ユニットごとに実施するマニュアル会議において幹部が確認するなど、施設の方針に沿った運営が各ユニットでできているか確認する仕組みとなっている。
勤務の体制	開設当初は、施設全体の入所者100人全体を対象とした勤務体制の組み方をしていたが、2009年の準ユニット型への改修に伴い、ユニット単位をベースに職員自らが判断して動くことのできる環境と勤務体制の整備を行った。現在は、入所者12～13人のユニットに４人の常勤職員（直接ケアにあたる介護職員）と２人の介護補助員（リビング内にて利用者の見守り、掃除、片づけ、食事の盛付など間接業務を行う）を固定配置している。また、各ユニット内には固定せず、レクリエーション活動や行事でユニットの職員が手薄になる時間帯や人手の必要なタイミングで補助的な役割を担う部署があり、ユニット職員にかかる負担を分散している。 夜勤時間帯は１ユニットに１人の夜勤職員を配置（17時間勤務）、ユニット間で協力し、それぞれの夜勤職員が仮眠３時間と休憩１時間が取れている。勤務表の作成は各ユニットリーダーが施設のルールと各ユニットのケアマニュアルを念頭に作成、各ユニットの自由度を持たせることで、ユニットリーダーのユニット運営に対する自覚を向上させ、ユニットの独自性を大切にした運営が実現できている。
日常の支援について	アセスメントを取る様式は、入所者の１日の生活を把握する施設の独自様式を使用している。 【起床】入所者一人ひとりの生活リズムに合わせ個別に起床支援をしている。 【排泄】入所者のプライバシーに配慮して、使用済み排泄用品は見た目でわからないようバックを使用して持ち運んでいる。夜間は、入所者の睡眠を妨げることのないよう、アセスメント上必要な人のみ排泄支援を行っている。 【食事】ユニット内で炊飯や盛付けを行っており、副食のメイン料理は選択ができる。おかわりは自由、持ち込みの食べ物も生物以外は可としており、入所者が食べたいものが食べられるよう配慮している。 【入浴】居室から１階の浴室まではユニットの職員が誘導し、入浴班が浴室内で着脱・洗身の対応をしている。 【看取り】併設の診療所の医師の協力を得て看護職員が医師との連携を図り、居室での看取りが実施できている。
建物・設備の状況	３階と４階に居室があり、共同生活室は居室に面しており、日中はリビングで過ごしている入所者が多い。４人部屋と３人部屋は仕切りやふすまで個々の空間に分けられており、それぞれに照明が設置されている。個人の空間には、施設が用意したタンスが置かれており、その上にクラブ活動の作品等、入所者個人の物を飾っていることが多い。テレビやテーブルを持ち込んでいる人もいる。また、多床室内にも洗面台とトイレが設置されいる。個室にもドア付のトイレが設置されている。共同生活室には、複数の高さのテーブルが配置されている。１階には入所者以外の家族や外部の方も利用できる喫茶店があり、地域の人や職員が食事や喫茶で利用している。

チームケアの状況	準ユニットでのケアを実践するにあたり、施設長から看護課長にチームケアの方針を説明し、他の看護職員を含めチームケアに協力してもらうよう理解を得た。特に、それまで夜勤時間帯は些細なことでも夜勤の介護職員からコール対応の看護職員に電話をし指示を仰いでいたが、入所者の健康状態をまずは把握し、どういう異常値があった場合に看護職員に連絡するかといった介護職員の判断基準や看護職員との連携方法を明確にすることで、チームケアを推進し、特定の職種への過度な負担がないようにした。これにより、介護職員も状態に応じた対応ができるようになり、家族への連絡も円滑に行えるようになった。

【総論】

開設当初、職員の意識は、介護をいかに早く終わらすかといった点にあり、個別ケアの実践には至っておらず、特定の職員に負担がかかるような状況であった。経営陣・施設長はこのような介護の在り方を問題とみて、職員が楽しく働ける職場は入所者に笑顔で接することができる職場でもあるという施設の信念に立ち返り、これまでの介護を変えたいとの思いから個別ケアを考えるようになった。まずは改修を行って一部ユニット化での個別ケアを試みたが、これまでの介護の在り方を変えることは簡単にはいかなかった。次に、勤務体制について見直しを行い、日中と夜勤時間帯の職員配置を手厚く行うこととした。更に、必要時に各ユニットの補助に入ることができる職員の確保と間接業務を行う介護補助員を配置したことで各ユニットの職員が集中してユニットの運営を行えるようになり、個別ケアの実践に繋がった。人員配置を厚くすることは経営面で厳しい点もあるが、入所者が安心できる環境づくり、職員が笑顔で対応できる環境や体制づくりを一番に考えて、個別ケアの実践のため、職員にも経営状況も含めて適宜報告し、施設内での理解・共有を図っている。

【施設基本状況】

施設名	晃の園			所在地	静岡県静岡市	居室種別	従来型個室+多床室
施設開設年	1988年	定員数	入所（入居）150人 短期入所20人	平均 要介護度			3.89
職員配置（職員１人あたりの利用者人数）（介護職員・看護職員）	多床室 88：40.1≒2.2：1 ユニット 62：36≒1.7：1	ユニット・グループの定員とユニット・グループ数		多床室：12人×6ユニット、16人×1グループ (併設　短期入所生活介護(20))：20人1グループ 個室型：10人×3ユニット、8人×4ユニット			
介護職員の配置状況	グループ及びユニット	勤務表の作成単位	グループ及びユニット	勤務表の作成者	ユニットリーダー グループリーダー	就業規則に規定されている勤務時間帯の種類（シフト数）	20種類以内

【ヒアリング内容】

法人・施設の理念	社会福祉法人駿河会では「あなたが自分らしくあるために」の理念を掲げ、「自分らしさ」「地域の中で」「家族とともに」「健康」「安心と安全」の５つのキーワードを軸にしている。人を育てることを重視し、教育・人材育成部門を設置して法人の理念に基づいた研修を実施し、学びを深めた職員を適切に施設に配置するようにしている。晃の園の理念は、「尊厳を守り、ゆとりある生活をともにおくる」である。1988年開設当初の晃の園は一律一斉の集団ケアをしていた。その後1999年身体拘束の廃止に取り組みゼロを達成することができた。そして、その先にあるケアをめざすために、現在の理念が確立された。この理念を浸透させるために、晃の園の歴史を「晃の園のあゆみ」として管理者が毎年職員に語り継いでいる。
勤務の体制	多床室のうち、16人のフロアーはグループと称している。12人のフロアーは準ユニットケア加算の届け出をしているのでユニットと称している。グループおよび各ユニットに職員を固定配置している。勤務表は20種類のシフトを準備しており、各グループ・ユニットで入所者の生活に合わせて作成している。また、入所者の１日の暮らしぶりの情報を記載した24Hシートもケアに活用している。夜勤時間帯は２ユニットに１人の夜勤職員を配置している。日中に担当している自分のユニット以外のサポートを行う時等には、24Hシートを見ながらケアの確認を行っている。
日常の支援について	ユニットケアの手法を取り入れて個別ケアを実践している。 【起床】起床時間、意向等の情報を目安に入所者の状況に合わせて個別に支援している。 【排泄】布パンツの使用と健康的な排泄を目指し多職種で排泄支援に取り組んでいる。この取り組みは利用者の心身状態の向上だけでなく、職員の介助技術やアセスメント力、食事に対する考え方や手法の向上に繋がっている。また、排泄用品の費用削減にも効果をあげている。 【食事】ユニット内で炊飯し温かい食事を提供している。食器は入所者が用意したものを使用している。おかずや常備食も持ち込み可とし、自由に食べることができる。食事支援については入所者ごとに多職種で個別評価を行っている。 【入浴】マンツーマン入浴を実施している。３種類の浴室とリフトを使用して入所者の状態に応じた入浴支援ができており、入所者と職員の負担軽減になっている。 【看取り】日常のケアの延長線上にあるものとして実施、看取り期には専用の個室で家族が入所者と過ごし、宿泊することもできる。 【アセスメント】アセスメントについては、ユニットケアの手法を取り入れ、2006年から24Hシートを活用している。24Hシートの情報はリスクアセスメントにも活用している。また、アセスメントの情報は家族にも開示しケアの内容を確認してもらい、家族にも納得していただいた上でケアを進めるよう努めている。
建物・設備の状況	身体拘束廃止に伴い多床室の環境を住まいとしての環境に見直すことが必要となり、それをきっかけに改修を進めた。2002年から順次に居室、食堂、居間、トイレ、お風呂を改修し、プライバシーの配慮と少人数ケアが実践できる設えを整えた。４人部屋、２人部屋の多床室は可動式でない建具で仕切りを設けている。その後、2004年にユニット型個室62床を増床した。

チームケアの状況	24Hシートを活用し多職種で入所者のアセスメント・評価を行っている。また、３か月ごとのモニタリングを行っており、暮らしに変化がないかを確認、見直しをしている。また、多職種の専門性を活かしたケアを実践するため、食事・排泄・入浴などそれぞれの支援の内容に関する話し合いの場を設けて、入所者一人ひとりに合わせたケアを行うための知恵を持ち寄り、どのように工夫していくか皆で考えながら実践に生かしている。

【総論】
身体拘束廃止に向けて、また改修工事に向けて、一律一斉の集団ケアからの脱却が課題であった。まず、グループ単位でのケアを意識して大食堂をパーティションで仕切る等の工夫を行った。さらにグループ単位でのケアの質を向上させるため、グループ単位で固定した職員配置を行ったところ、職員や入所者のグループへの帰属意識が醸成され、入所者の僅かな変化にも職員が気付けるようになった。職員の負担軽減をしながら個別ケアを進めるにあたり、職員間でケアの理念や目的を共有し、例えば、使用済み排泄用品の持ち運びにトートバックを使用する等、取り入れやすいことから積極的に行ってきた。職員が元気で、安心して仕事ができ、家庭生活が安定し、健康な心身を保っていくことが、施設の理念を実現するための基盤であると考えている。人を育てること、介護技術の向上を目指した指導者の育成が、今後の施設の目標である。

【施設基本状況】

施設名	かざこしの里			所在地	長野県飯田市	居室種別	ユニット型個室
施設開設年	2005年	定員数	入所（入居）100人 （併設　短期入所生活介護　20人）		平均要介護度		3.75
職員配置（職員１人あたりの利用者人数）（介護職員・看護職員）	1.5：１	ユニット・グループの定員とユニット・グループ数		1F：（12人×2ユニット（併設の短期入所生活介護））,12人×4ユニット 2F：12人×4ユニット			
介護職員の配置状況	ユニット固定	勤務表の作成単位	ユニット	勤務表の作成者	ユニットリーダー	就業規則に規定されている勤務時間帯の種類（シフト数）	24種類

【ヒアリング内容】

法人・施設の理念	法人設立時、理念の確立にあたっては、評判の良い複数の施設に何回も見学に行き、ユニットケアの考え方やハード、ケアの方法を学び、参考にし、有識者を含めた設立準備委員会で検討を行った。かざこしの里の設計には、こうしてできた施設の理念に基づいた考え方が生かされている。理念を浸透させるには職員に繰り返し伝えることが大事であるとし、会議・研修等を通じて施設の理念や方針の共有を図っている。 施設の理念を職員に周知する取組みについては、理念の掲示や唱和なども実施しているが、施設の理念を基に職員が作成した実践十箇条（行動指針）が特徴的である。職員が自分たちで作成したことで、あるべき職員行動がをより明確にし、共有することができている。
勤務の体制	職員の配置決めや勤務表の作成はユニットごとに行っており、入居者の状態・状況に合わせたユニットごとの勤務体制を整備している。職員の配置決めや勤務表の作成にあたっては、入居者一人ひとりの情報を記載した24Hシートを活用している。協力ユニットという、近くのユニットの職員同士が相互にサポートし合えるしくみを取り入れており、急な職員の休暇、欠員があった場合は、ユニット内の職員で勤務体制を変更するか、または協力ユニット間でサポートに入るなどの柔軟な対応ができるようにしている。夜勤時間帯は、２ユニットで１人の職員配置となることもあるが、協力ユニット間で24Hシートの情報を共有することで入居者に応じた適切なケアが行え、入居者・職員の負担軽減にもなっている。 また、短時間勤務のシフトや子育て中の職員の短時間労働（６～７時間）を導入しており、育休・産休からの復帰がしやすく、長期的に働き続けられる制度となっており、職員のワークライフバランス実現のための取組みに力を入れている。こうした取組みと、職員配置1.5：1の方針を維持するため、効率的な職員配置をするようにしている。
日常の支援について	【起床】入居者一人ひとりの起床時間、意向等を24Hシートで把握し、個別に起床支援を行っている。 【排泄】一定期間を定めて入居者の排泄データ情報を取得し、情報を目安に都度、意思確認しながら随時個別に排泄支援をしている。入居者のプライバシー・尊厳に配慮し、使用済み排泄用品は排泄用品とわからないようバックに入れて持ち運びしている。 【食事】ユニット内で炊飯・盛付けを行い温かい食事を提供している。食器類は入居者が各々用意した個人用のものを使用。また、決まった時間内に食事をとれなくても代わりのものが提供できるよう、常備食を用意している。 【入浴】入居者のペースに合わせたマンツーマン入浴を実施している。個浴・特殊浴槽はリフト付きなので入居者・職員の負担軽減となっている。 【看取り】日常のケアの延長上にあるものとして実施している。看取り期の早めの段階で、入居者本人や家族に看取り支援についての説明を行い、本人や家族の意向を尊重して進めるようにしている。また、家族会でも看取りをテーマとした勉強会を開催するなど、家族の看取りへの理解を深める取組みをしている。
建物・設備の状況	施設ではなく「住まいをつくる」をコンセプトに、設計・資材にこだわっており、統一感をもった温かみのある設えとなっている。１階と２階の居住部分には、中庭を囲むように２ユニットの共同生活室が配置されており、入居者が自然を感じられるように配慮している。浴室は２ユニットに１つあり、特殊浴槽もフロアごとに設置されている。２階の浴槽は天井走行リフトによる入浴が可能であり、入居者・職員の負担軽減になっている。居室には入居者の希望に応じて家具など個人の物を配置できるようになっている。共同生活室には、入居者の高さに合わせたテーブルが数種類配置されている。
チームケアの状況	施設長は積極的に現場に足を運び、ユニットリーダーのリーダー会への参加や職員面談により積極的に職員との接触を持つことで、相談や報告をあげてもらいやすいよう配慮している。ケアマネージャー有資格者がフロア長となり、ユニット職員の相談役やユニット全体のフォローを行っている。看護師や栄養士は、昼食の時間を利用してユニットの職員と情報共有を図っている。また、これらの複数の職種の職員がユニットに関わり、ユニット間の連携を図る取組みを行っている。

【総論】

近隣には福祉系短大があり、学んだことを実践できる職場として、この施設を選んでもらえるよう努力している。
住まいに近い環境でのケア、入居者本人・家族の意向を大事にしたケアで家族の理解も得ており、家族会でも「自分もここでみてもらいたい」との声があがって、職員の励みになっている。入居者・家族だけでなく、職員からも選ばれる職場づくりを目指して、出産・育児等の人生のイベントに配慮した働き続けやすい労働環境の整備や、入居者と職員の負担軽減のためにスライディングボード・スライディングシート・リフトなどの福祉用具を活用したケアを実践している。

【施設基本状況】

施設名	ゆーとりあ	所在地	大阪府堺市	居室種別	ユニット型個室
施設開設年	2015年	定員数	入所（入居）80人 （併設　短期入所生活介護20人）	平均要介護度	3.8
職員配置（職員１人あたりの利用者人数）（介護職員・看護職員）	１．８：１	ユニット・グループの定員とユニット・グループ数	１０人×８ユニット		
介護職員の配置状況	ユニット固定	勤務表の作成単位	ユニット	勤務表の作成者	リーダー
就業規則に規定されている勤務時間帯の種類（シフト数）	25				

【ヒアリング内容】

法人・施設の理念	理念は、開設の職員が議論を重ね、職員が覚えやすく、実行に移せるように、との考えからシンプルなものにした。同法人が本施設開設前から運営したきた軽費老人ホームでの支援をもとに、当たり前にその人らしく過ごす、という理念を本施設の入居者にも実践していこう、という思いが込められている。常に会議の場、研修の場で唱和し、ケアが理念に基づき実行されているのか、見直しを行っている。
勤務の体制	職員はユニットに固定配置しており、１ユニットに常勤４人、非常勤１、２名を配置している。主に定年後の方をサポート職員として10名程採用しており、１ユニットに１名配置していることが体制上の特徴である。サポート職員は、主に、朝・夕の食事の時間等の手厚い職員配置が必要な時間帯に勤務している。職員のシフトは25種類あり、30分単位で柔軟にシフトが組めるようになっており、各ユニットで入居者の暮らしに合わせて調整できる。夜勤は12時間勤務（19時～7時）となっており、夜勤時間帯中４時間は日勤時間帯と重なっており、この時間帯を使って、入居者の暮らしに合わせた支援を行うことができるようになっている。
日常の支援について	【起床】起床支援にあたっては、24Hシートのアセスメントを作成している。病院や老健から移って来られた方、自宅から来られた方のそれぞれの事情や状態を個別にみて支援することができている。職員は入居者一人ひとりの起床の時間があることを理解している。 【排泄】トイレに座ることを基本にし、尿測を行い、タイミングを把握するようにしている。布パンツ、パット、紙オムツを入居者に合わせて使用している。尿測の効果として、パットを使っていない方が２割いる。おむつゼロを目標にしている。 【食事】起床支援と同様に、入居者の生活リズムに合わせた支援ができている。食器は入居者が用意したものも使用している。正しい姿勢で食事ができるよう入居者の下腿長を測り、テーブルといすの高さを入所者ごとに合わせている。食事の際は、必ず車いすからいすに座りなおしてもらっていることが特徴である。食事形態は、普通食（利用者に合わせて一口大に刻むといった配慮をする）、軟菜、ソフト食、ミキサー食に対応している。食事に時間がかかる場合は温めなおし、美味しく食べてもらえるようにしている。入所者の嗜好品を把握し、食べたいものを食べたいときに食べることができるよう準備している。入所者の希望があればアルコール飲料も可としている。 【入浴】マンツーマン入浴を行っている。入所者によって入浴したい時間帯や入浴支援にかかる時間は異なっており、状態や希望に応じて対応できるようにしている。施設としては、毎日、入浴支援が可能な状態である（施設として曜日に制限をかけていない）。 【看取り】普段のケアの延長線上に、いつか訪れるものだと考えている。看取り期となったら、家族へ看護職員、医師、施設長から説明をしている。また、看取り後には施設長も含めて職員で振り返りを行っている。 【レクリエーション】編み物、お花、カラオケ等、ユニットとは異なる場所に移動して行っている。レクリエーションは家族と一緒に行う、見守ることも可能。実施しているレクリエーションの内容や入居者の希望するレクリエーションは、ケアプランにおとしている。
建物・設備の状況	２・３階に居住部分があり、各階に４ユニットあり、２ユニットずつ協力体制がとれるよう扉で繋がっている。パブリックスペースには、喫茶店、簡易の売店があり、外部の方も利用できる。ユニットの玄関を入ると、すぐに入所者がテレビを見たり横になったりできる共同生活室がある。共同生活室の奥にキッチン、食卓がある。それぞれが視線を遮るような配置になっているので、入居者が職員に見張られように感じず、居心地よくくつろげる空間になっている。浴室は各ユニットにあり、全て個浴である（リフトはなし）。共同生活室も食卓には植物等が置いており、家庭に近い雰囲気を演出している。居室は、入所者が自由に個人のものを持ち込めるようになっている。

チームケアの状況	ユニットに１名づつ看護職員を配置し、連携ができるように努めている。夜間オンコールを含め、積極的に多職種と協力体制をとる看護職員もおり、職員自ら積極的に個別ケアを進めている様子が伺える。さらに、各ユニットの介護支援会議には、看護職員全員が参加している。介護職員をいかにバックアップするか、看護職員間の意思統一を図るようにしている。栄養士は、「おうちごはん」と題し、お昼に各ユニットで調理し、ユニットの職員との連携に努めている。リハビリ職(PT)もポジショニングや適切な介護支援用具を活用した介護技術面のサポートを行っており、どの職種の職員も同じ方向を向いて個別ケアを実践できるようミーティングを頻繁に開催するようにしている。職種に関係なく、記録は一元化している。

【総論】

集団ケアではなく、入居者一人ひとりの意思を大事にした個別ケアに取り組みたいと考えており、施設長は管理者研修、職員はリーダー研修を通して、個別ケアの理解を深めている。施設の課題は、なかなか人事異動ができず、ユニットによって取り組みのレベルに差が生じていることである。アセスメントが活用しきれていないこともあった。今後は、一部のユニットリーダー、職員の配置異動を検討している。ユニット間の人事異動を行うことで、お互いケアの見直しを行い、職員としてさらにステップアップすることを期待している。また、入居者、家族の要望にはできる限り応えていきたいと考えているが、中には過度な要望もあり、どこまで対応すればよいか、個別ケアとの関係で悩むことがある。夜間の職員の負担軽減のために、予測型見守りシステム等の介護ロボットを利用していくことも検討している。

この事業は、平成 30 年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
により実施したものです。

「特別養護老人ホームにおける個別ケアの手法開発に関する調査研究事業」報告書

平成 31 年（2019）3 月発行

一般社団法人　日本ユニットケア推進センター
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 308 号室
禁無断転載